

坂出市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
結果報告書

令和2年3月

坂 出 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
7	評価項目の判定について	1
II	回答者の属性	2
1	調査票記入者	2
III	調査結果	4
1	家族や生活状況について	4
	（1）家族構成について.....	5
	（2）介護・介助の状況について.....	8
	（3）現在の経済状況.....	13
	（4）住まいの状況.....	15
2	からだを動かすことについて	16
	（1）運動器の機能について.....	16
	（2）転倒について.....	17
	（3）閉じこもり傾向について.....	18
3	食えることについて	24
	（1）BMI 算出.....	24
	（2）口腔機能について.....	24
	（3）体重減少の有無について.....	27

4	毎日の生活について	29
	(1) 認知機能について	29
	(2) IADL<手段的日常生活動作>について(老研式活動能力指標)	30
	(3) 社会参加-知的能動性(老研式活動能力指標)	32
	(4) 社会参加-社会的役割(老研式活動能力指標)	33
	(5) 趣味の有無	35
	(6) 生きがいの有無	35
	(7) 記憶力や判断力, 伝達力について	36
5	地域での活動について	38
	(1) 社会参加の状況	38
	(2) 地域づくりへの参加意向(参加者)	46
	(3) 地域づくりへの参加意向(企画・運営)	48
6	たすけあいについて	50
	(1) たすけあいの状況	50
	(2) 地域の相談窓口の活用状況	59
	(3) 友人関係について	60
7	健康について	62
	(1) 主観的健康感	62
	(2) 主観的幸福感	64
	(3) うつ傾向について	67
	(4) 飲酒の習慣	68
	(5) 喫煙の習慣	69
	(6) 現在治療中, 後遺症のある病気について	71
8	認知症にかかる相談窓口の把握について	74
	(1) 認知症の症状について	74
	(2) 認知症の相談窓口について	74
9	在宅医療・介護について	76
	(1) 治療・ケアに関する家族間の相談	76
	(2) 治療・ケアに関する書面作成	76
10	介護・福祉サービスについて	77
	(1) 介護予防について	77
	(2) 介護保険について	78
	(3) 将来の住まいと介護サービスについて	84
	(4) 地域の高齢者への手助けについて	92
	(5) 高齢化社会において重要な方策	95
	(6) 介護を行う際や外出の際に困っていること	96

IV	前回調査との比較	97
1	家族や生活状況について	97
2	からだを動かすことについて	104
3	食べることについて	118
4	毎日の生活について	129
5	地域での活動について	150
6	たすけあいについて	156
7	健康について	166
8	介護・福祉サービスについて	174
V	生活機能評価等に関する分析	183
1	機能別リスク該当者割合の分析	183
2	日常生活	197
3	社会参加	199

I 調査の概要

1 調査の目的

本市では、高齢者の方がたが、健康で安心して暮らすことのできる長寿社会の実現に向けて、令和3年度から令和5年度までの3ヵ年を計画期間とする第8期介護保険事業計画を策定する予定となっています。今回の調査は、介護保険事業等に関する計画を見直し、今後の高齢者福祉施策を推進していくための基礎資料を作成することを目的としています。

2 調査対象

- ①一般高齢者・事業対象者：市内在住の65歳以上の方および事業対象者の方から無作為抽出
- ②要支援認定者：要支援1・要支援2の認定者（令和元年12月31日現在）から無作為抽出

3 調査期間

令和2年2月24日から令和2年3月19日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
一般高齢者・事業対象者	2,000通	1,422通	71.1%
要支援認定者	1,000通	698通	69.8%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

7 評価項目の判定について

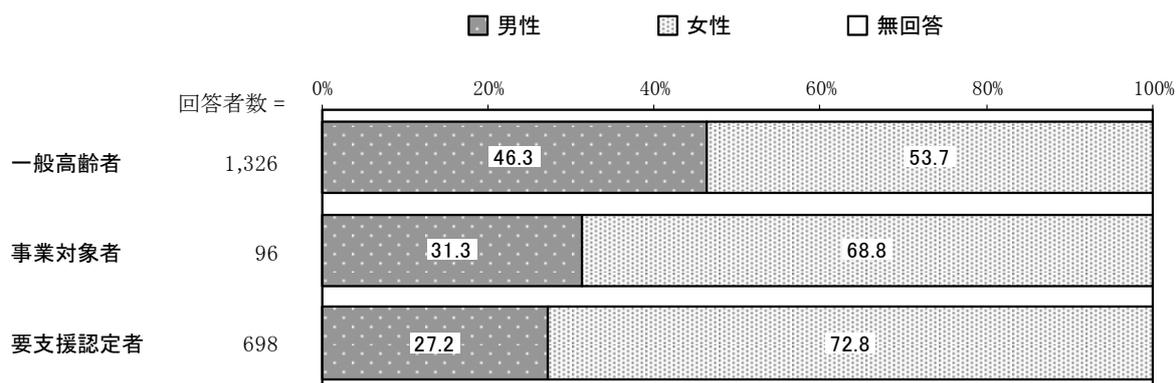
評価項目別の判定結果については、国が配布した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」実施の手引き、および老研式活動能力指標に基づき集計したものとなっています。

II 回答者の属性

1 調査票記入者

性別

一般高齢者では、「男性」の割合が46.3%、「女性」の割合が53.7%となっています。
 事業対象者では、「男性」の割合が31.3%、「女性」の割合が68.8%となっています。
 要支援認定者では、「男性」の割合が27.2%、「女性」の割合が72.8%となっています。

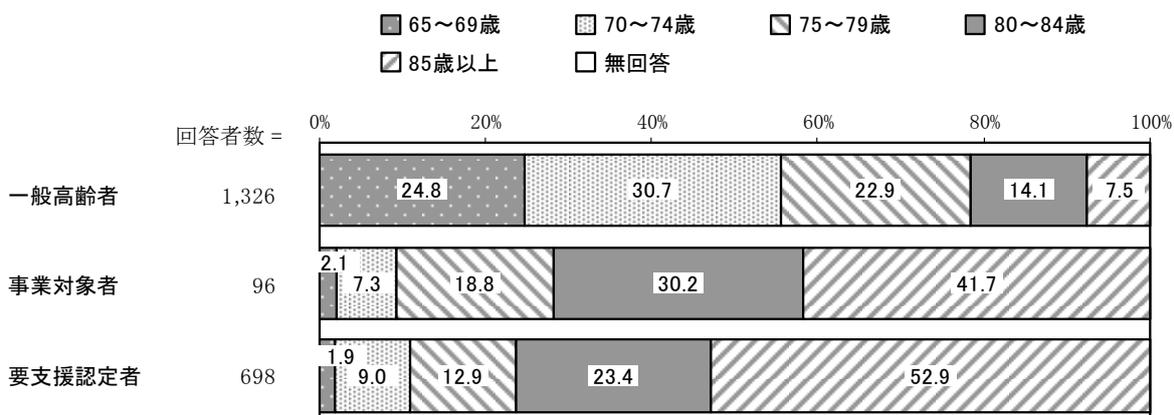


年齢構成

一般高齢者では、「70～74歳」の割合が30.7%と最も高く、次いで「65～69歳」の割合が24.8%、「75～79歳」の割合が22.9%となっています。

事業対象者では、「85歳以上」の割合が41.7%と最も高く、次いで「80～84歳」の割合が30.2%、「75～79歳」の割合が18.8%となっています。

要支援認定者では、「85歳以上」の割合が52.9%と最も高く、次いで「80～84歳」の割合が23.4%、「75～79歳」の割合が12.9%となっています。

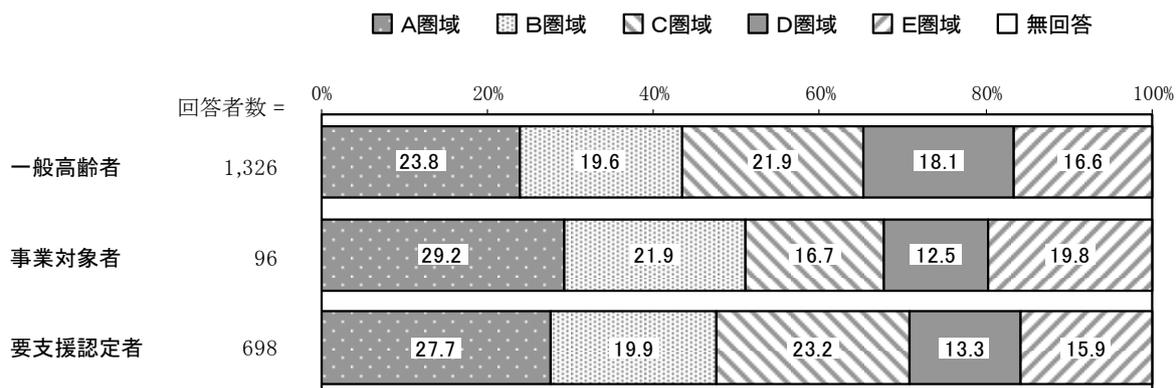


日常生活圏域

一般高齢者では、「A圏域」の割合が 23.8%と最も高く、次いで「C圏域」の割合が 21.9%、「B圏域」の割合が 19.6%となっています。

事業対象者では、「A圏域」の割合が 29.2%と最も高く、次いで「B圏域」の割合が 21.9%、「E圏域」の割合が 19.8%となっています。

要支援認定者では、「A圏域」の割合が 27.7%と最も高く、次いで「C圏域」の割合が 23.2%、「B圏域」の割合が 19.9%となっています。



Ⅲ 調査結果

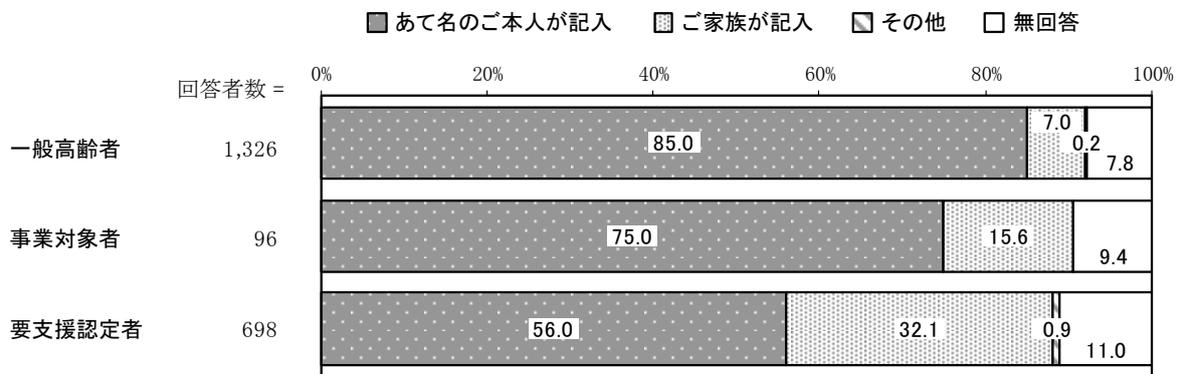
1 家族や生活状況について

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

一般高齢者では、「あて名のご本人が記入」の割合が 85.0%、「ご家族が記入」の割合が 7.0% となっています。

事業対象者では、「あて名のご本人が記入」の割合が 75.0%、「ご家族が記入」の割合が 15.6% となっています。

要支援認定者では、「あて名のご本人が記入」の割合が 56.0%、「ご家族が記入」の割合が 32.1% となっています。



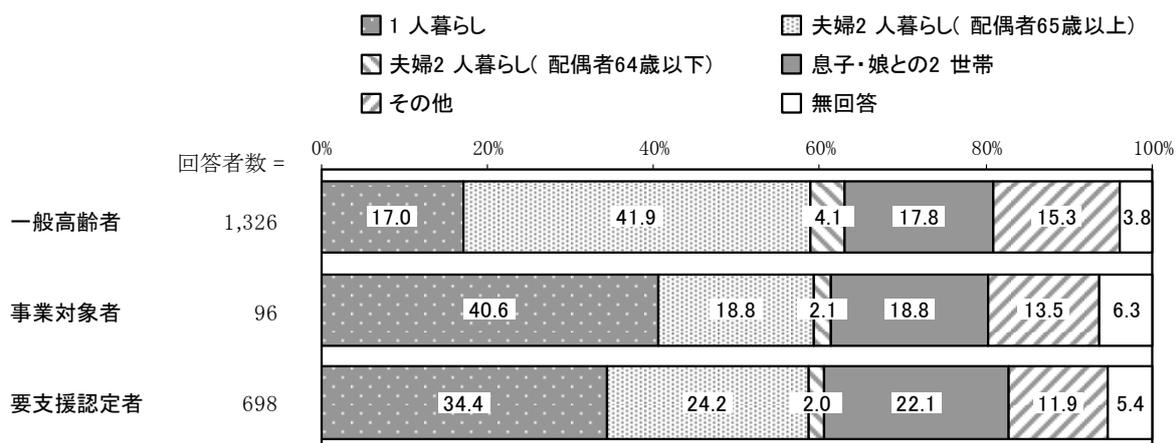
(1) 家族構成について

問1 (1) 家族構成をお教えてください。

一般高齢者では、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が41.9%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」の割合が17.8%、「1人暮らし」の割合が17.0%となっています。

事業対象者では、「1人暮らし」の割合が40.6%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が18.8%となっています。

要支援認定者では、「1人暮らし」の割合が34.4%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が24.2%、「息子・娘との2世帯」の割合が22.1%となっています。



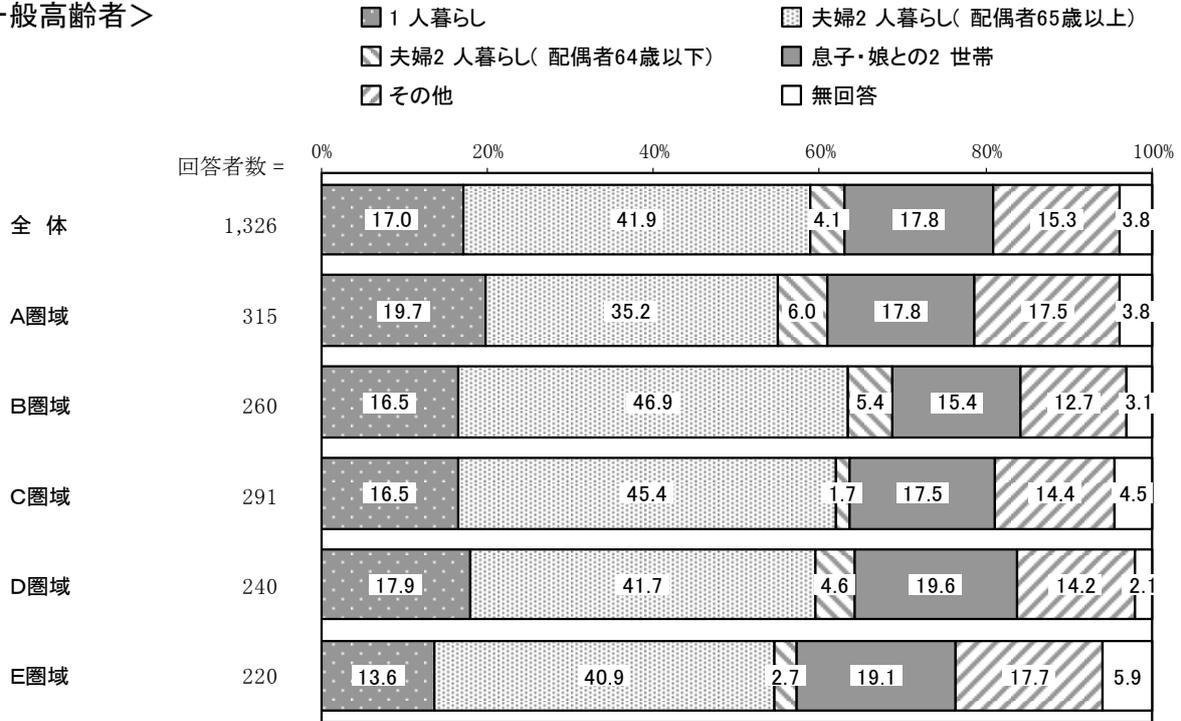
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、一般高齢者では、『B圏域』、『C圏域』で「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が高く、4割半ばとなっています。

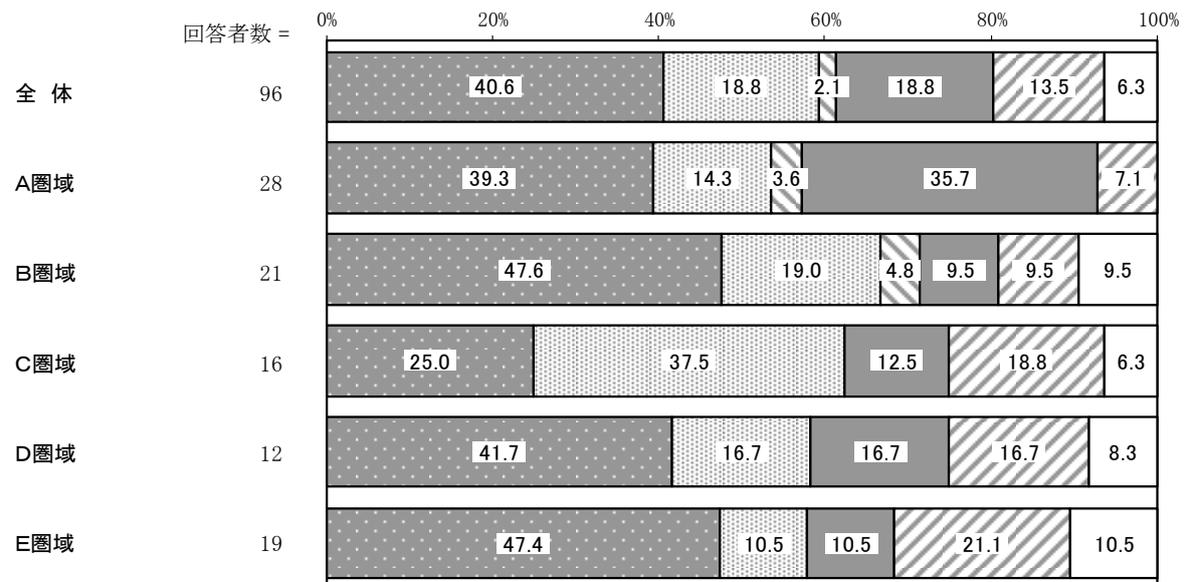
事業対象者では、『B圏域』、『E圏域』で「1人暮らし」の割合が高く、約5割となっています。

要支援認定者では、『A圏域』、『B圏域』で「1人暮らし」の割合が高く、約4割となっています。

<一般高齢者>

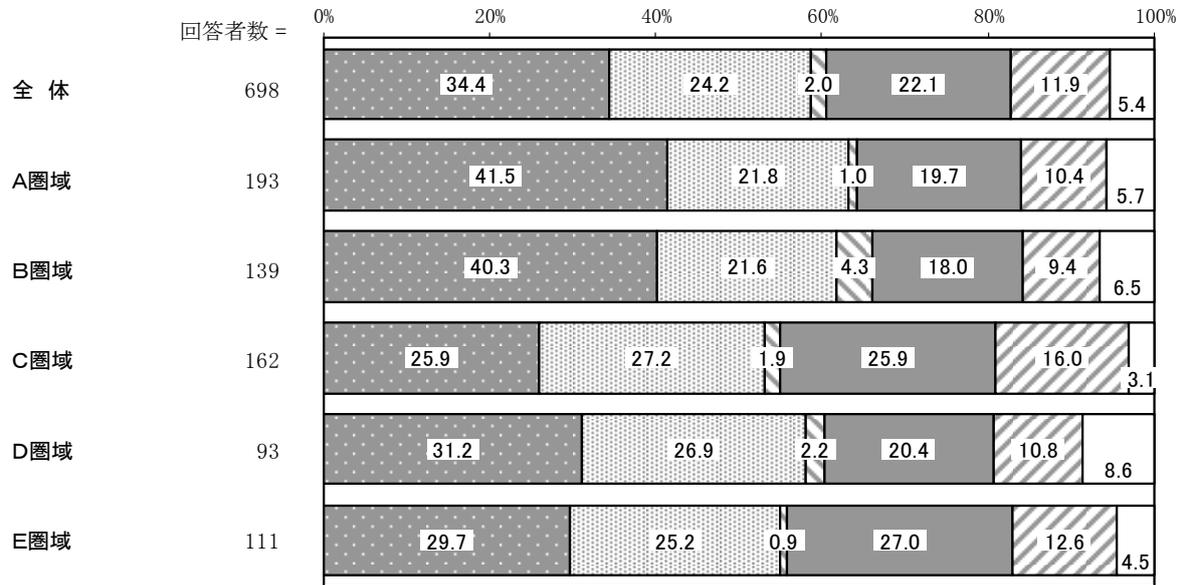


<事業対象者>



<要支援認定者>

- 1人暮らし
- 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
- 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
- 息子・娘との2世帯
- その他
- 無回答



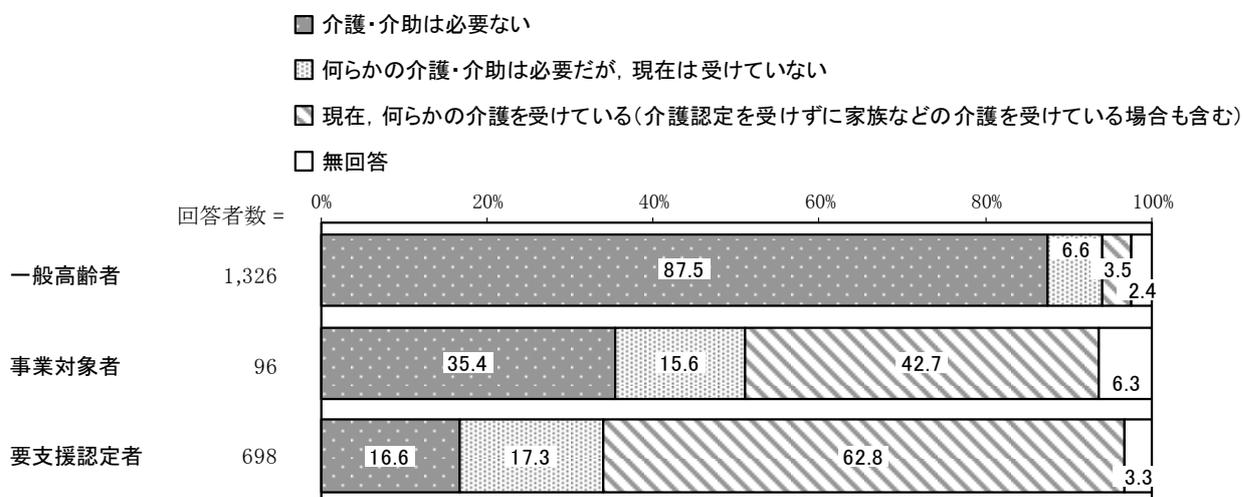
(2) 介護・介助の状況について

問1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

一般高齢者では、「介護・介助は必要ない」の割合が87.5%と最も高くなっています。

事業対象者では、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が42.7%と最も高く、次いで「介護・介助は必要ない」の割合が35.4%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が15.6%となっています。

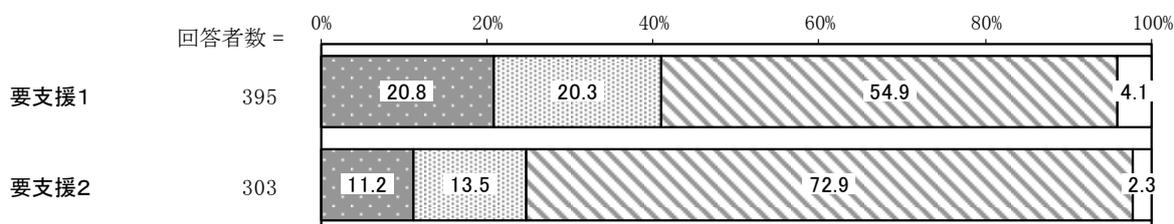
要支援認定者では、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が62.8%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が17.3%、「介護・介助は必要ない」の割合が16.6%となっています。



【介護度別】

要支援認定者を介護度別で見ると、『要支援2』では「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が高く、約7割となっています。

<要支援認定者>



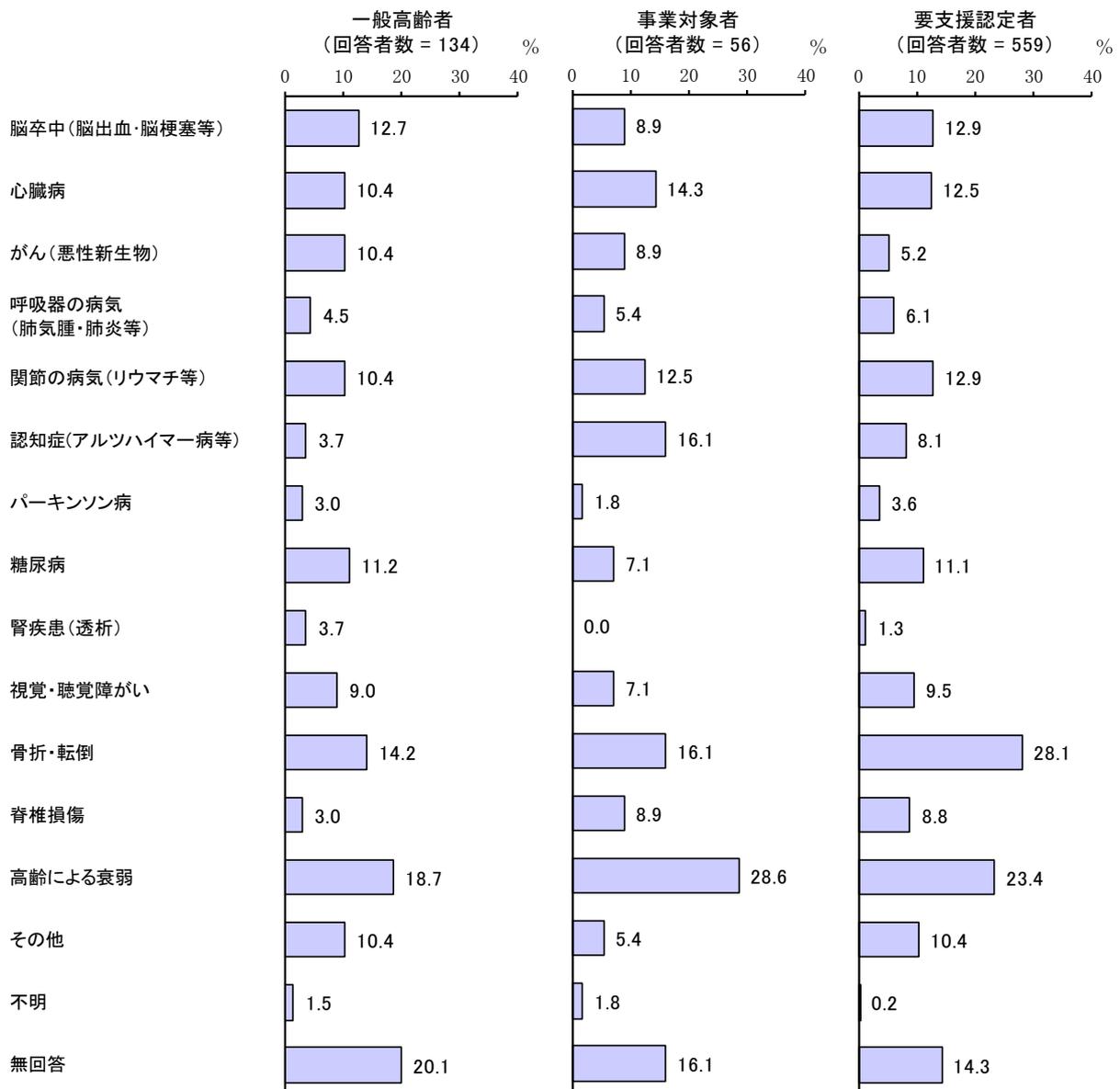
(2) で「介護・介助は必要ない」以外のかたのみ

問1 (2) ①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも)

一般高齢者では、「高齢による衰弱」の割合が18.7%と最も高く、次いで「骨折・転倒」の割合が14.2%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」の割合が12.7%となっています。

事業対象者では、「高齢による衰弱」の割合が28.6%と最も高く、次いで「認知症(アルツハイマー病等)」、「骨折・転倒」の割合が16.1%となっています。

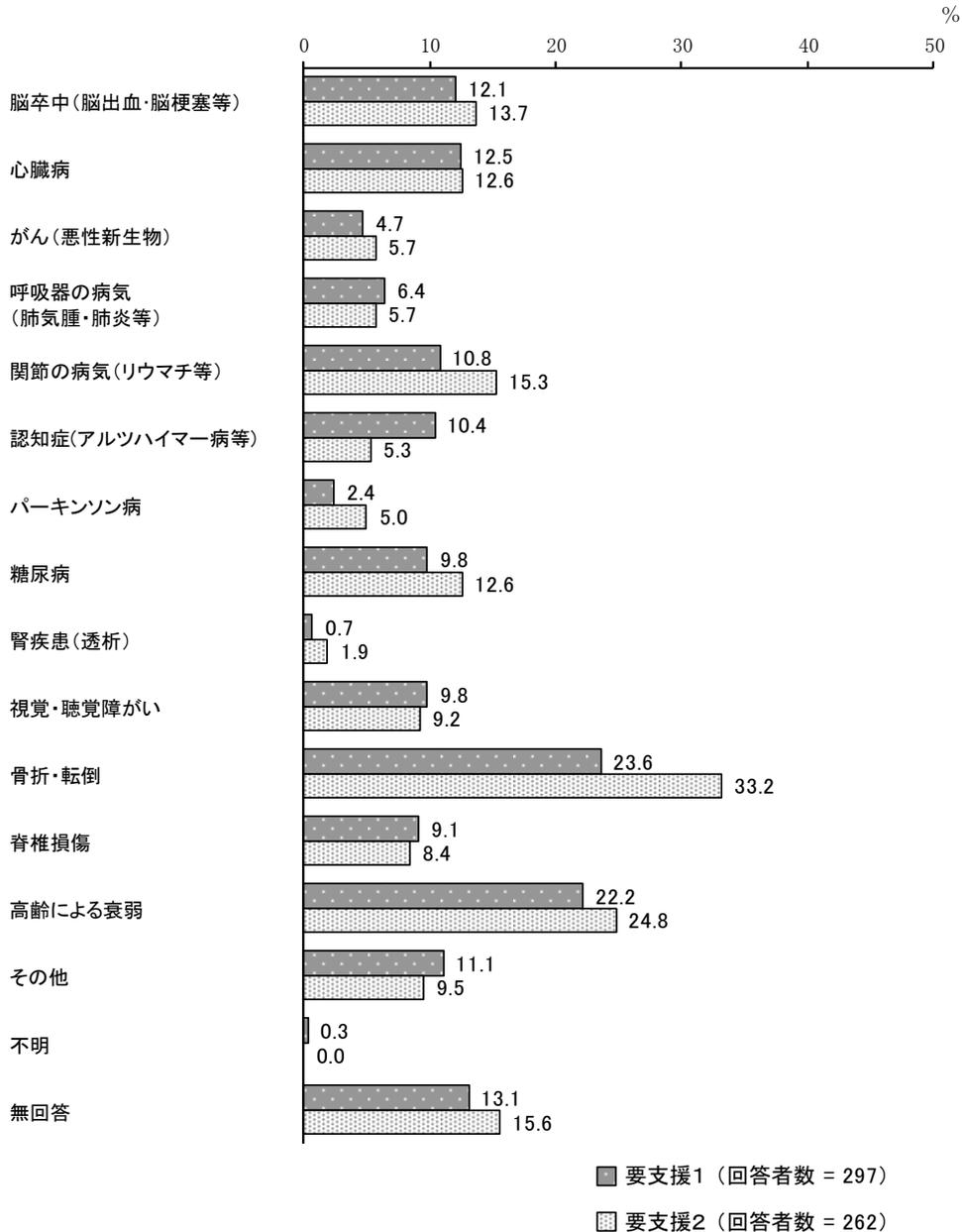
要支援認定者では、「骨折・転倒」の割合が28.1%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」の割合が23.4%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」、「関節の病気(リウマチ等)」の割合が12.9%となっています。



【介護度別】

<要支援認定者>

要支援認定者を介護度別で見ると、『要支援1』では「認知症(アルツハイマー病等)」の割合が高くなっています。また、『要支援2』では「骨折・転倒」の割合が高くなっています。



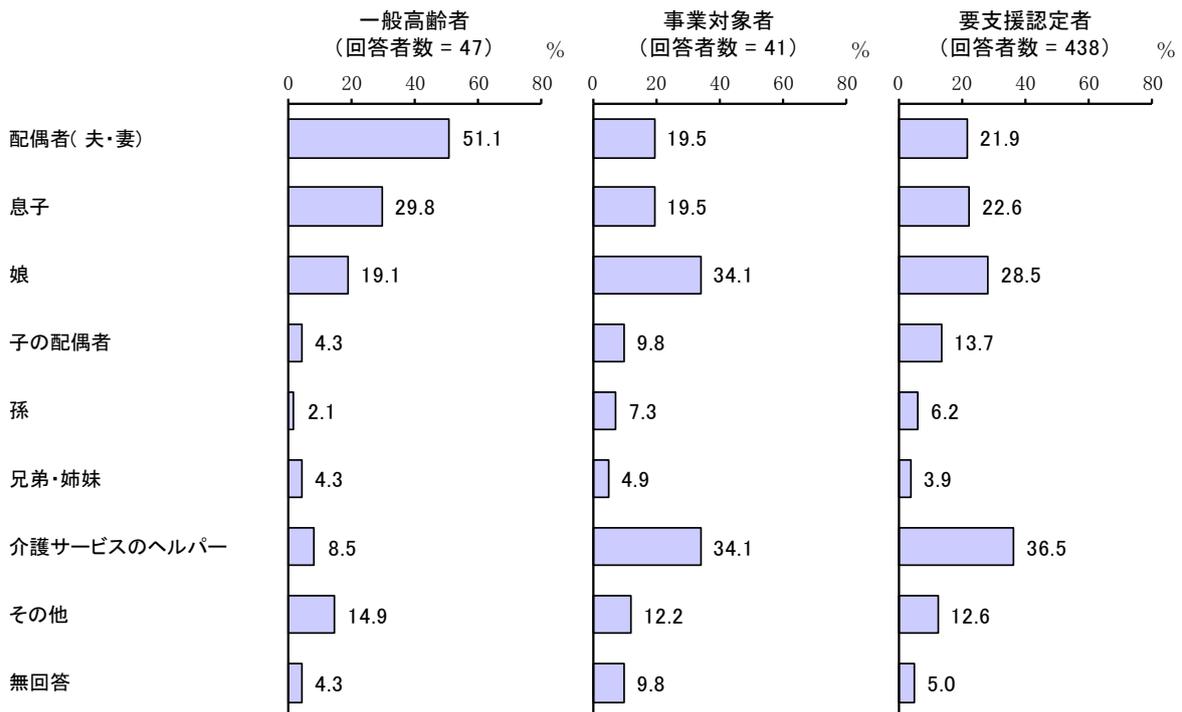
(2) で「現在、何らかの介護を受けている」のかたのみ

問 1 (2) ②主にどなたの介護、介助を受けていますか。(いくつでも)

一般高齢者では、「配偶者(夫・妻)」の割合が51.1%と最も高く、次いで「息子」の割合が29.8%、「娘」の割合が19.1%となっています。

事業対象者では、「娘」、「介護サービスのヘルパー」の割合が34.1%と最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」、「息子」の割合が19.5%となっています。

要支援認定者では、「介護サービスのヘルパー」の割合が36.5%と最も高く、次いで「娘」の割合が28.5%、「息子」の割合が22.6%となっています。



【家族構成別】

家族構成別でみると、一般高齢者では、『夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）』で「配偶者（夫・妻）」の割合が高く、7 割半ばとなっています。

事業対象者では、有効回答数が少ないため、参考とします。

要支援認定者では、『夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）』で『配偶者（夫・妻）』の割合が高く、約 7 割となっています。また、『1 人暮らし』で「介護サービスのヘルパー」の割合が、『息子・娘との 2 世帯』で「息子」「娘」「子の配偶者」の割合が高くなっています。

<一般高齢者>

単位：%

区分	有効回答数 (件)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サ ービスの ヘルパー	その他	無回 答
全体	47	51.1	29.8	19.1	4.3	2.1	4.3	8.5	14.9	4.3
※1 人暮らし	7	—	28.6	28.6	—	—	—	—	42.9	—
夫婦 2 人暮らし(配偶者 65 歳以上)	17	76.5	5.9	5.9	—	—	—	5.9	11.8	5.9
※夫婦 2 人暮らし(配偶者 64 歳以下)	3	33.3	33.3	33.3	—	—	33.3	—	33.3	—
息子・娘との 2 世帯	13	61.5	61.5	30.8	7.7	7.7	7.7	15.4	—	—
その他	5	40.0	20.0	20.0	—	—	—	20.0	20.0	—

※有効回答数が少ないため、参考とします。

<※事業対象者>

単位：%

区分	有効回答数 (件)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サ ービスの ヘルパー	その他	無回 答
全体	41	19.5	19.5	34.1	9.8	7.3	4.9	34.1	12.2	9.8
1 人暮らし	15	—	13.3	40.0	—	6.7	13.3	40.0	6.7	13.3
※夫婦 2 人暮らし(配偶者 65 歳以上)	8	62.5	—	12.5	—	12.5	—	37.5	12.5	12.5
夫婦 2 人暮らし(配偶者 64 歳以下)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
息子・娘との 2 世帯	9	22.2	55.6	55.6	22.2	11.1	—	22.2	11.1	—
その他	9	11.1	11.1	22.2	22.2	—	—	33.3	22.2	11.1

※有効回答数が少ないため、参考とします。

<要支援認定者>

単位：％

区分	有効回答数(件)	配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全体	438	21.9	22.6	28.5	13.7	6.2	3.9	36.5	12.6	5.0
1人暮らし	140	0.7	15.0	27.9	7.1	3.6	6.4	63.6	17.1	4.3
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	105	68.6	9.5	18.1	7.6	2.9	1.9	20.0	7.6	5.7
*夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	9	55.6	11.1	—	—	—	11.1	33.3	11.1	—
息子・娘との2世帯	104	11.5	39.4	42.3	23.1	11.5	1.9	24.0	11.5	3.8
その他	59	8.5	32.2	30.5	23.7	8.5	1.7	28.8	15.3	6.8

※有効回答数が少ないため、参考とします。

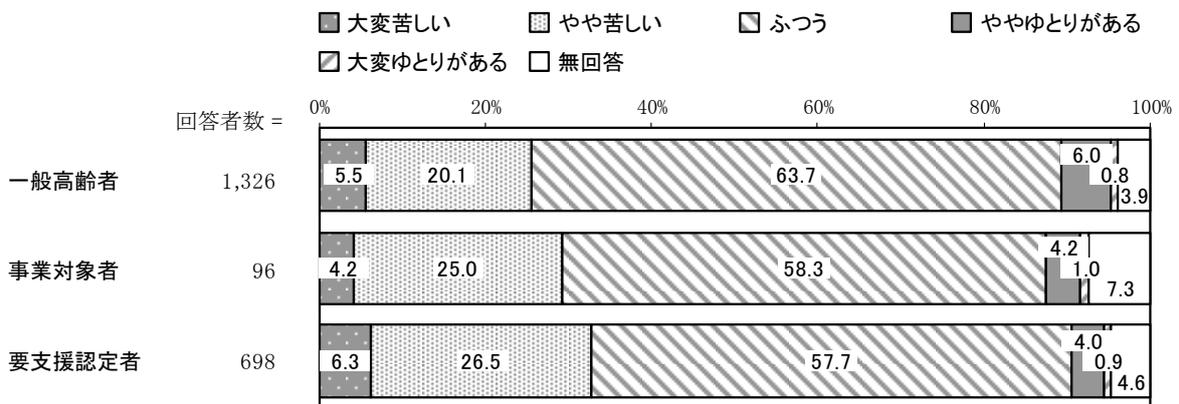
(3) 現在の経済状況

問1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

一般高齢者では、「大変苦しい」と「やや苦しい」をあわせた“苦しい”の割合が25.6%、「ふつう」の割合が63.7%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」をあわせた“ゆとりがある”の割合が6.8%となっています。

事業対象者では、“苦しい”の割合が29.2%、「ふつう」の割合が58.3%，“ゆとりがある”の割合が5.2%となっています。

要支援認定者では、“苦しい”の割合が32.8%、「ふつう」の割合が57.7%，“ゆとりがある”の割合が4.9%となっています。



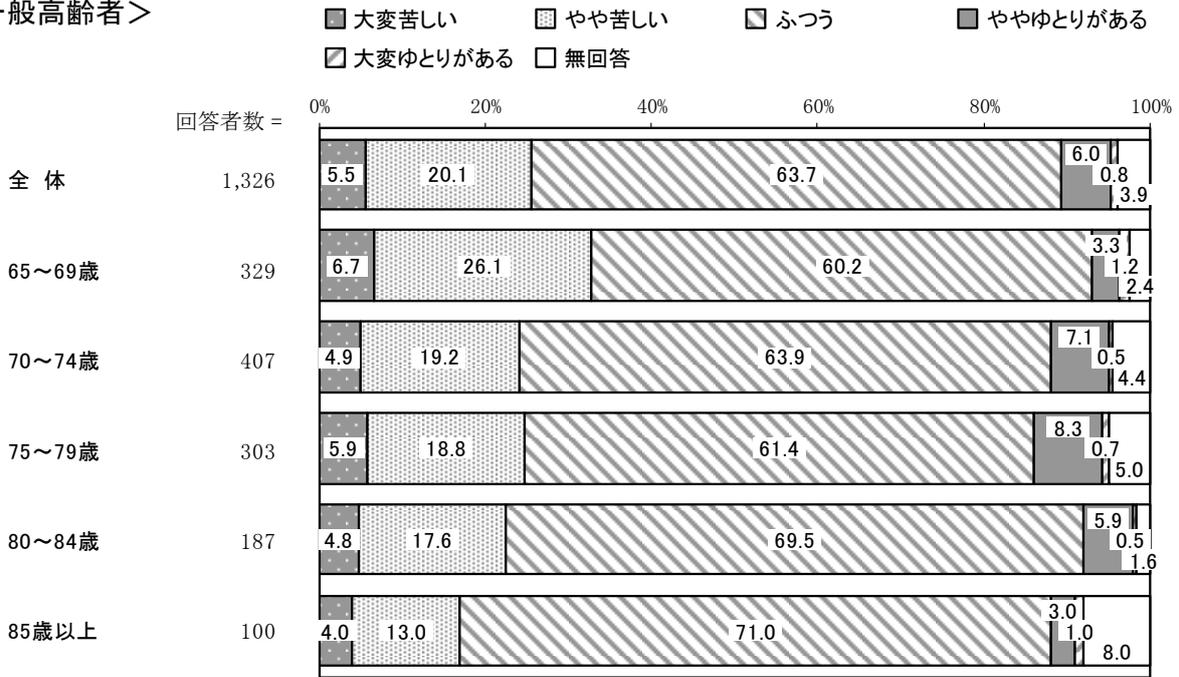
【年齢別】

年齢別でみると，一般高齢者では，年齢が下がるにつれ“苦しい”の割合が高くなる傾向がみられ，『65～69歳』で約3割となっています。

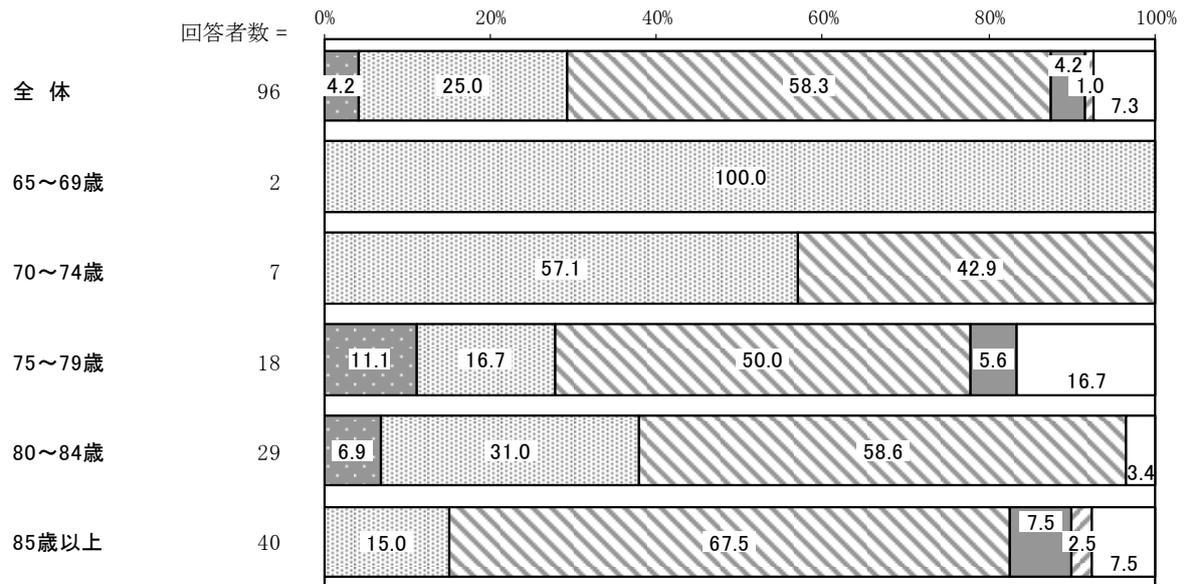
事業対象者では，有効回答数が少ないため，参考とします。

要支援認定者では，年齢が下がるにつれ“苦しい”の割合が高くなっており，『65～69歳』で4割半ばとなっています。

<一般高齢者>

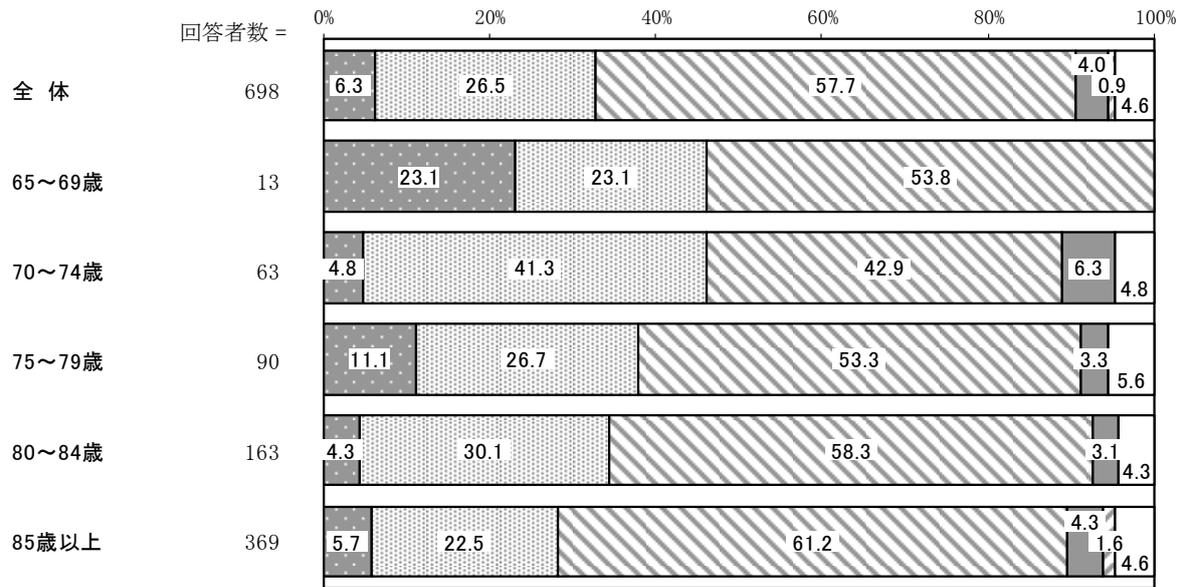


【※事業対象者】



※有効回答数が少ないため，参考とします。

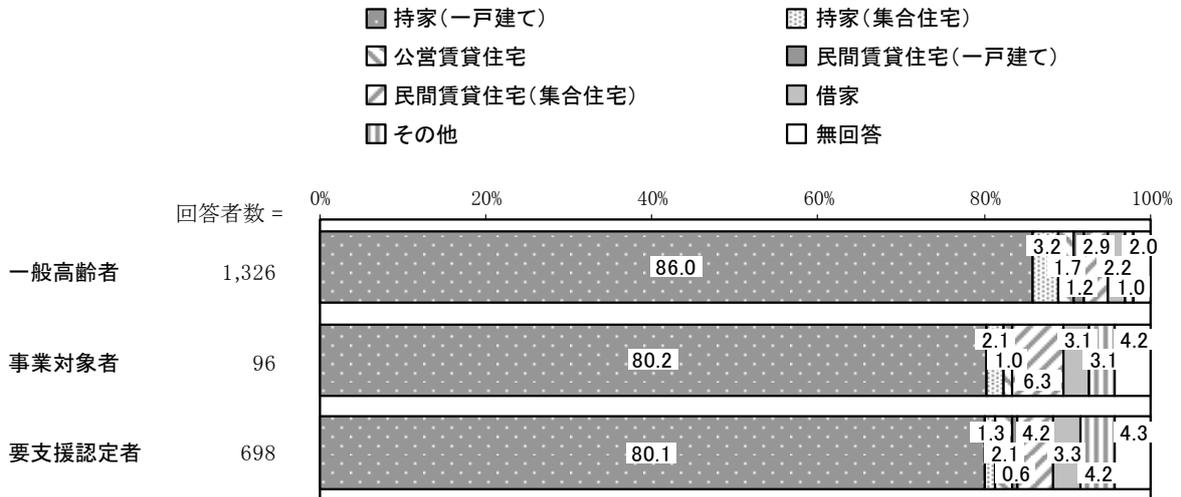
【要支援認定者】



(4) 住まいの状況

問1 (4) お住まいは一戸建て、または、集合住宅のどちらですか。

一般高齢者では、「持家（一戸建て）」の割合が86.0%と最も高くなっています。
 事業対象者では、「持家（一戸建て）」の割合が80.2%と最も高くなっています。
 要支援認定者では、「持家（一戸建て）」の割合が80.1%と最も高くなっています。



2 からだを動かすことについて

(1) 運動器の機能について

問2 (1) 階段を手すりや壁をつたわずにのぼっていますか。

問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

問2 (3) 15分位続けて歩いていますか。

一般高齢者では、いずれの設問でも「できるし、している」の割合が最も高くなっていますが、『(1) 階段を手すりや壁をつたわずにのぼっていますか。』では6割未満と、他の運動に比べ、低くなっています。

事業対象者では、『(1) 階段を手すりや壁をつたわずにのぼっていますか。』で「できない」の割合が最も高く、約5割となっています。

要支援認定者では、いずれの設問でも「できない」の割合が最も高く、特に『(1) 階段を手すりや壁をつたわずにのぼっていますか。』で7割半ばとなっています。

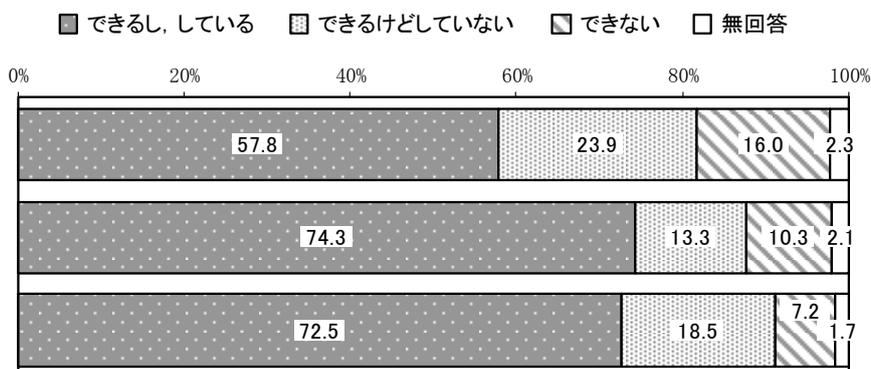
【一般高齢者】

回答者数 = 1,326

(1) 階段を手すりや壁をつたわずにのぼっていますか。

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

(3) 15分位続けて歩いていますか。



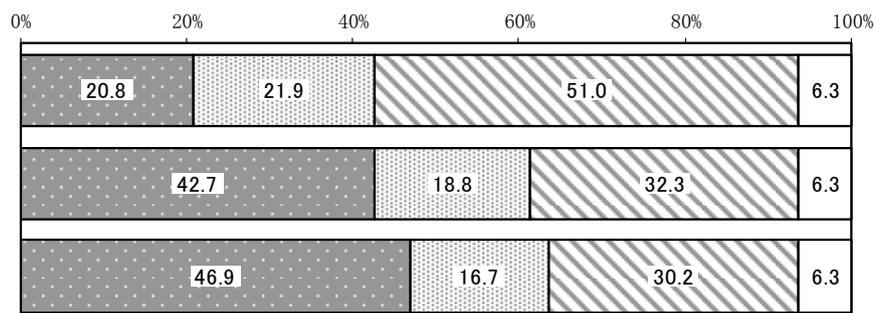
【事業対象者】

回答者数 = 96

(1) 階段を手すりや壁をつたわずにのぼっていますか。

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

(3) 15分位続けて歩いていますか。



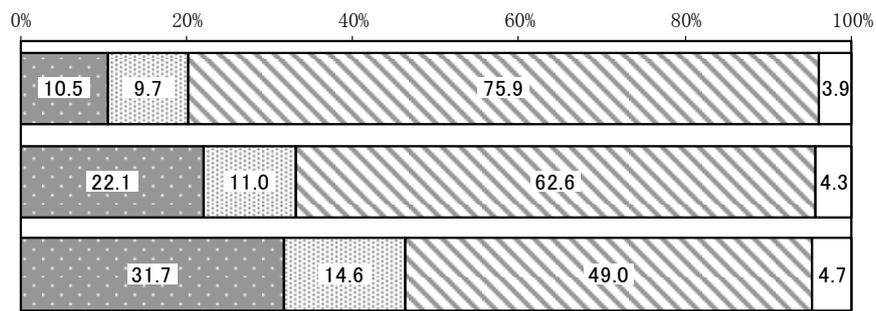
【要支援認定者】

回答者数 = 698

(1) 階段を手すりや壁をつたわずにのぼっていますか。

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

(3) 15分位続けて歩いていますか。



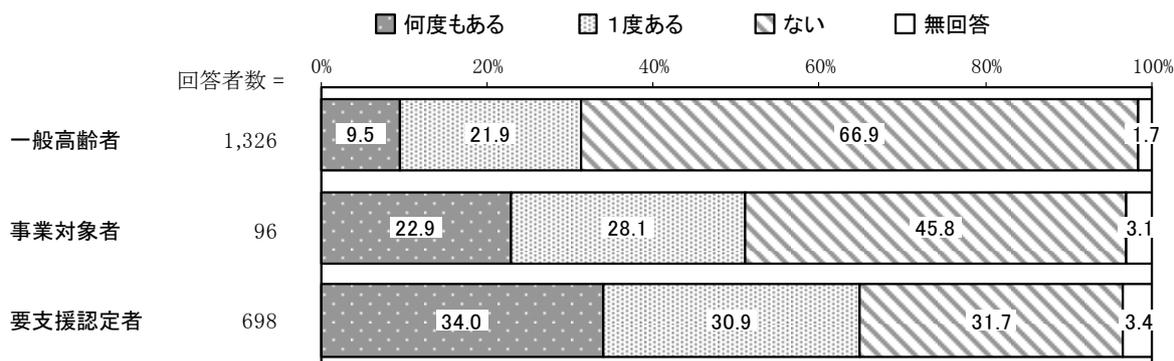
(2) 転倒について

問2 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。

一般高齢者では、「ない」の割合が66.9%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が21.9%となっています。

事業対象者では、「ない」の割合が45.8%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が28.1%、「何度もある」の割合が22.9%となっています。

要支援認定者では、「何度もある」の割合が34.0%と最も高く、次いで「ない」の割合が31.7%、「1度ある」の割合が30.9%となっています。

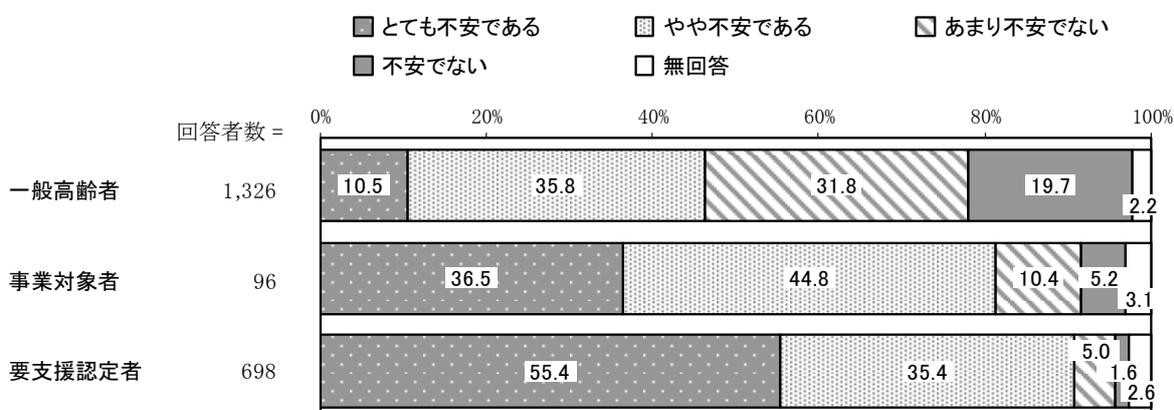


問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか。

一般高齢者では、「とても不安である」と「やや不安である」をあわせた“不安である”の割合が46.3%、「あまり不安でない」と「不安でない」をあわせた“不安でない”の割合が51.5%となっています。

事業対象者では、“不安である”の割合が81.3%，“不安でない”の割合が15.6%となっています。

要支援認定者では，“不安である”の割合が90.8%，“不安でない”の割合が6.6%となっています。



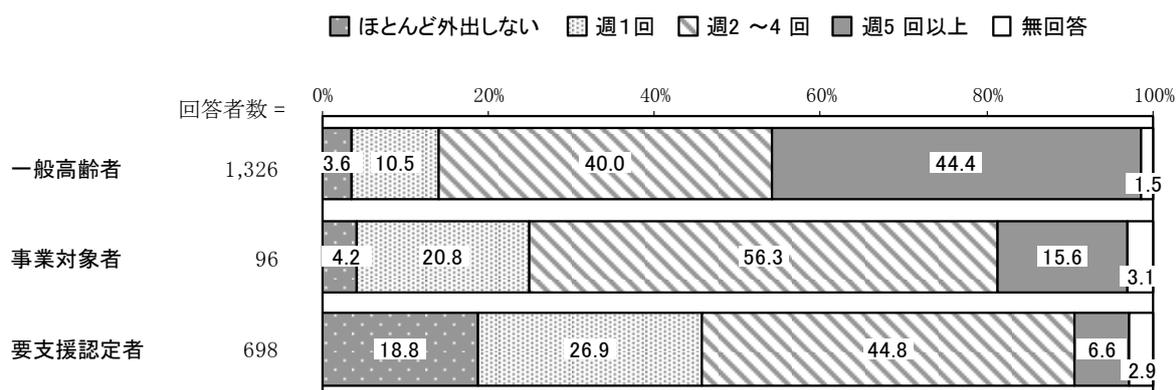
(3) 閉じこもり傾向について

問2 (6) 週に1回以上は外出していますか。

一般高齢者では、「週5回以上」の割合が44.4%と最も高く、次いで「週2~4回」の割合が40.0%、「週1回」の割合が10.5%となっています。

事業対象者では、「週2~4回」の割合が56.3%と最も高く、次いで「週1回」の割合が20.8%、「週5回以上」の割合が15.6%となっています。

要支援認定者では、「週2~4回」の割合が44.8%と最も高く、次いで「週1回」の割合が26.9%、「ほとんど外出しない」の割合が18.8%となっています。

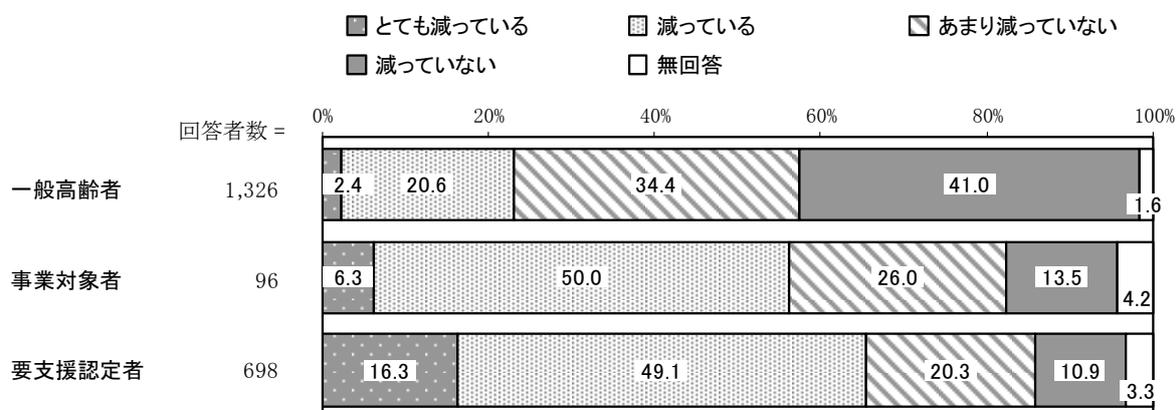


問2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

一般高齢者では、「とても減っている」と「減っている」をあわせた“減っている”の割合が23.0%、「あまり減っていない」と「減っていない」をあわせた“減っていない”の割合が75.4%となっています。

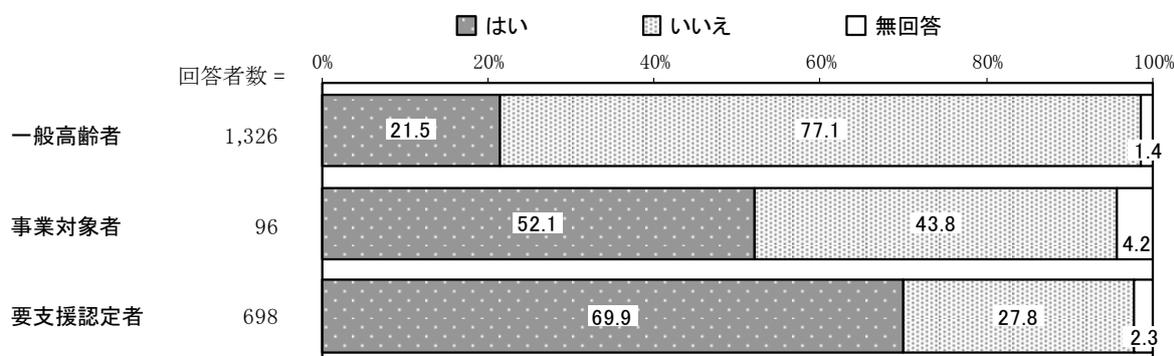
事業対象者では、“減っている”の割合が56.3%，“減っていない”の割合が39.5%となっています。

要支援認定者では、“減っている”の割合が65.4%，“減っていない”の割合が31.2%となっています。



問2 (8) 外出を控えていますか。

一般高齢者では、「はい」の割合が21.5%、「いいえ」の割合が77.1%となっています。
 事業対象者では、「はい」の割合が52.1%、「いいえ」の割合が43.8%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が69.9%、「いいえ」の割合が27.8%となっています。



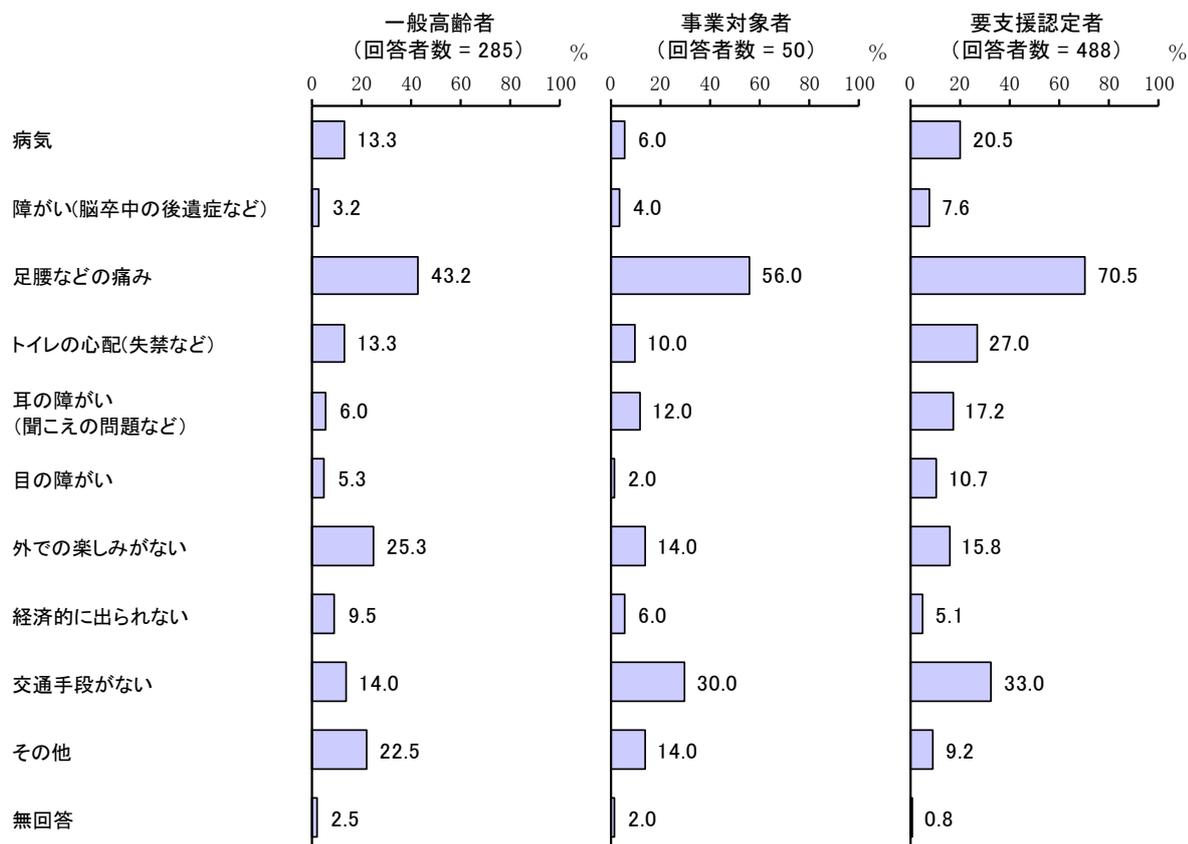
(8) で「はい」(外出を控えている)のかたのみ

問2 (8) ①外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

一般高齢者では、「足腰などの痛み」の割合が43.2%と最も高く、次いで「外での楽しみがない」の割合が25.3%、「交通手段がない」の割合が14.0%となっています。

事業対象者では、「足腰などの痛み」の割合が56.0%と最も高く、次いで「交通手段がない」の割合が30.0%、「外での楽しみがない」の割合が14.0%となっています。

要支援認定者では、「足腰などの痛み」の割合が70.5%と最も高く、次いで「交通手段がない」の割合が33.0%、「トイレの心配(失禁など)」の割合が27.0%となっています。

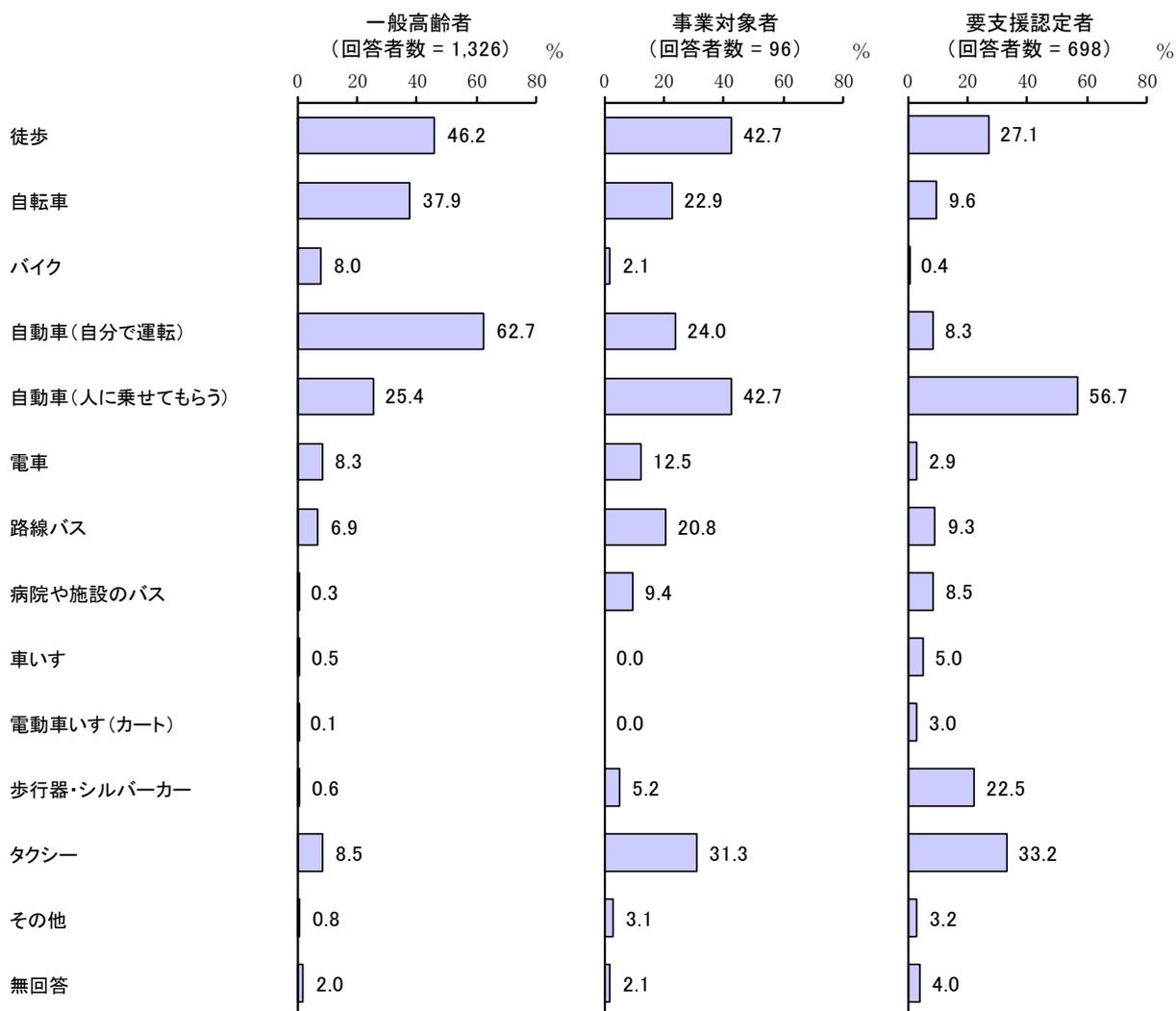


問2（9）外出する際の移動手段は何ですか。（いくつでも）

一般高齢者では、「自動車（自分で運転）」の割合が62.7%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が46.2%、「自転車」の割合が37.9%となっています。

事業対象者では、「徒歩」、「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が42.7%と最も高く、次いで「タクシー」の割合が31.3%となっています。

要支援認定者では、「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が56.7%と最も高く、次いで「タクシー」の割合が33.2%、「徒歩」の割合が27.1%となっています。

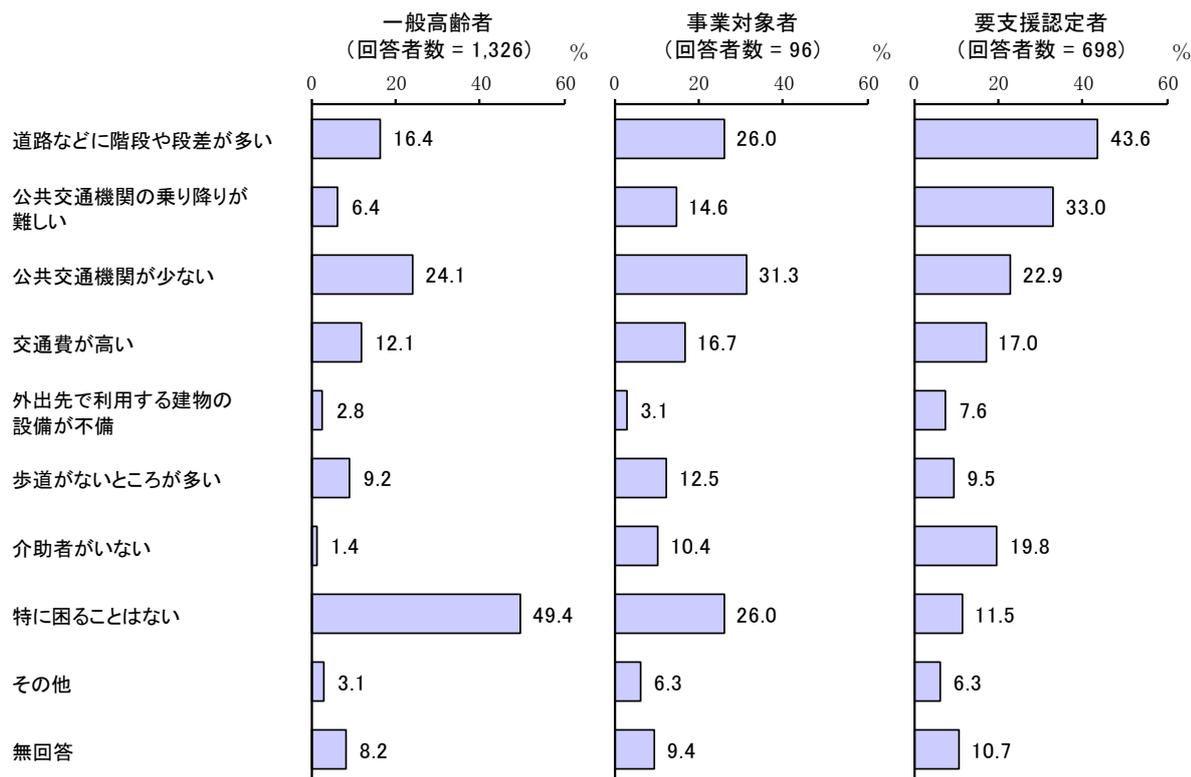


問2 (10) 外出する際、困ることを3つまで選んでください。

一般高齢者では、「特に困ることはない」の割合が49.4%と最も高く、次いで「公共交通機関が少ない」の割合が24.1%、「道路などに階段や段差が多い」の割合が16.4%となっています。

事業対象者では、「公共交通機関が少ない」の割合が31.3%と最も高く、次いで「道路などに階段や段差が多い」、「特に困ることはない」の割合が26.0%となっています。

要支援認定者では、「道路などに階段や段差が多い」の割合が43.6%と最も高く、次いで「公共交通機関の乗り降りが難しい」の割合が33.0%、「公共交通機関が少ない」の割合が22.9%となっています。



【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、一般高齢者では、いずれの圏域でも「特に困ることはない」が約5割となっています。また、『C圏域』、『E圏域』で「公共交通機関が少ない」の割合が高く、3割を超えています。また、『A圏域』、『B圏域』で「道路などに階段や段差が多い」の割合が高く、約2割となっています。

事業対象者では、『C圏域』で「公共交通機関が少ない」の割合が高く、約6割となっています。また、『A圏域』、『B圏域』で「道路などに階段や段差が多い」の割合が高く、約3割となっています。

要支援認定者では、『A圏域』、『E圏域』で「道路などに階段や段差が多い」の割合が高く、約5割となっています。また、『C圏域』で「公共交通機関が少ない」の割合が高く、3割半ばとなっています。

<一般高齢者>

単位：％

区分	有効回答数 (件)	道路などに階段や 段差が多い	公共交通機関の 乗り降りが難しい	公共交通機関が少ない	交通費が高い	外出先で利用する 建物の設備が不備	歩道がないところが 多い	介助者がいない	特に困ることはない	その他	無回答
全 体	1326	16.4	6.4	24.1	12.1	2.8	9.2	1.4	49.4	3.1	8.2
A圏域	315	18.4	5.7	17.8	12.7	1.6	10.5	1.6	50.8	2.2	8.3
B圏域	260	21.2	5.4	11.9	9.6	2.7	9.6	1.2	56.9	3.1	6.5
C圏域	291	13.4	7.2	34.4	15.1	3.1	7.9	1.4	42.6	2.7	9.6
D圏域	240	13.8	7.5	24.6	10.0	3.8	11.3	1.3	51.3	5.4	6.7
E圏域	220	14.5	6.4	33.2	12.3	3.2	6.4	1.4	45.5	2.3	10.0

<事業対象者>

単位：％

区分	有効回答数(件)	道路などに階段や段差が多い	公共交通機関の乗り降りが難しい	公共交通機関が少ない	交通費が高い	外出先で利用する建物の設備が不備	歩道がないところが多い	介助者がいない	特に困ることはない	その他	無回答
全体	96	26.0	14.6	31.3	16.7	3.1	12.5	10.4	26.0	6.3	9.4
A圏域	28	32.1	10.7	25.0	10.7	3.6	10.7	7.1	32.1	—	7.1
B圏域	21	33.3	23.8	9.5	19.0	9.5	4.8	9.5	23.8	9.5	4.8
C圏域	16	6.3	18.8	62.5	25.0	—	18.8	12.5	6.3	6.3	18.8
D圏域	12	16.7	8.3	25.0	8.3	—	8.3	16.7	33.3	8.3	16.7
E圏域	19	31.6	10.5	42.1	21.1	—	21.1	10.5	31.6	10.5	5.3

<要支援認定者>

単位：％

区分	有効回答数(件)	道路などに階段や段差が多い	公共交通機関の乗り降りが難しい	公共交通機関が少ない	交通費が高い	外出先で利用する建物の設備が不備	歩道がないところが多い	介助者がいない	特に困ることはない	その他	無回答
全体	698	43.6	33.0	22.9	17.0	7.6	9.5	19.8	11.5	6.3	10.7
A圏域	193	50.3	34.2	13.5	12.4	7.8	11.9	23.3	10.9	7.8	7.3
B圏域	139	43.9	26.6	10.8	13.7	13.7	10.1	14.4	14.4	7.9	14.4
C圏域	162	37.7	34.6	36.4	22.2	4.3	7.4	22.8	9.3	3.1	13.0
D圏域	93	34.4	35.5	25.8	17.2	5.4	9.7	18.3	14.0	6.5	11.8
E圏域	111	47.7	34.2	32.4	21.6	6.3	7.2	17.1	9.9	6.3	8.1

3 食べることについて

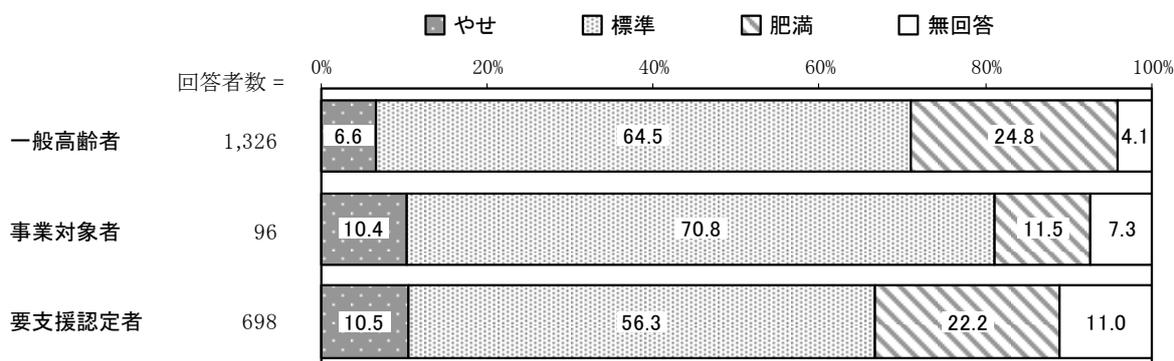
(1) BMI 算出

問3 (1) 身長・体重 (BMI 算出)

一般高齢者では、「標準」の割合が 64.5%と最も高く、次いで「肥満」の割合が 24.8%となっています。

事業対象者では、「標準」の割合が 70.8%と最も高く、次いで「肥満」の割合が 11.5%、「やせ」の割合が 10.4%となっています。

要支援認定者では、「標準」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「肥満」の割合が 22.2%、「やせ」の割合が 10.5%となっています。



(2) 口腔機能について

問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

問3 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか。

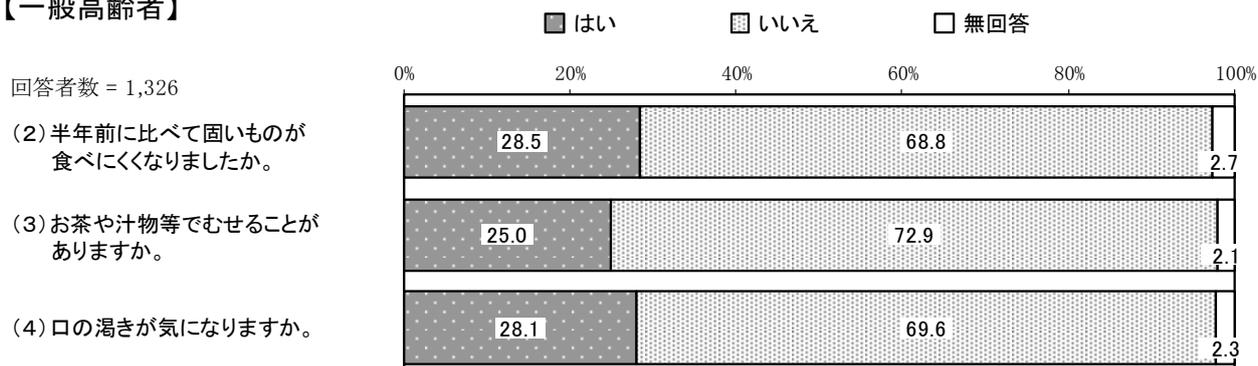
問3 (4) 口の渇きが気になりますか。

一般高齢者では、すべての設問で「いいえ」の割合が約7割を占めています。

事業対象者では、『(4) 口の渇きが気になりますか』で「はい」の割合が高く、約5割となっています。

要支援認定者では、『(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。』、『(4) 口の渇きが気になりますか』で「はい」の割合が高く、5割を超えています。

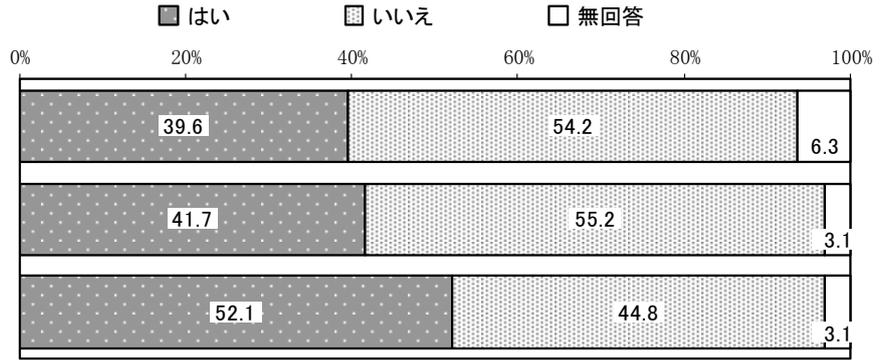
【一般高齢者】



【事業対象者】

回答者数 = 96

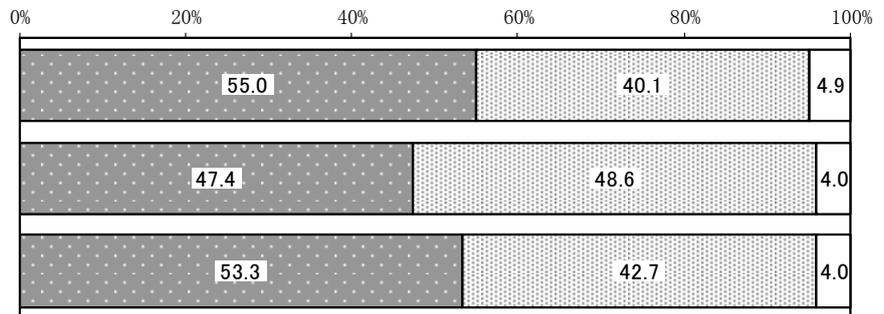
- (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。
- (3) お茶や汁物等でむせることがありますか。
- (4) 口の渇きが気になりますか。



【要支援認定者】

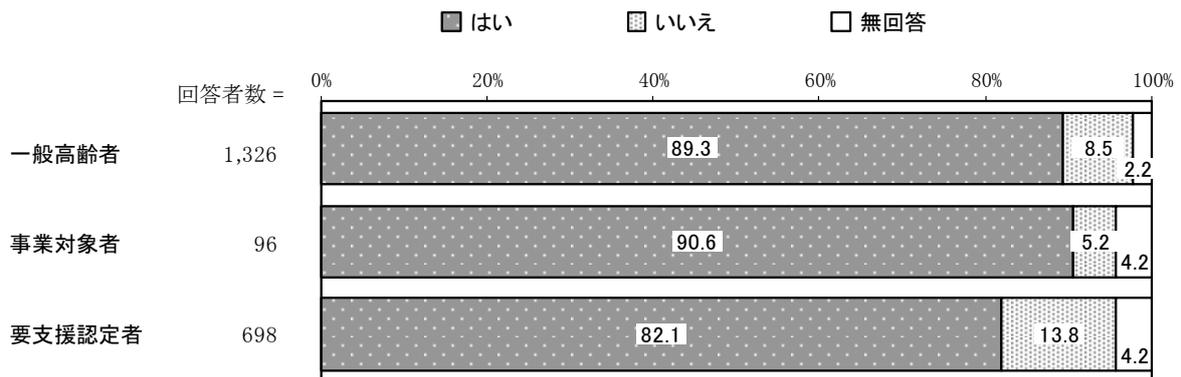
回答者数 = 698

- (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。
- (3) お茶や汁物等でむせることがありますか。
- (4) 口の渇きが気になりますか。



問3 (5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか。

一般高齢者では、「はい」の割合が89.3%、「いいえ」の割合が8.5%となっています。
 事業対象者では、「はい」の割合が90.6%、「いいえ」の割合が5.2%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が82.1%、「いいえ」の割合が13.8%となっています。

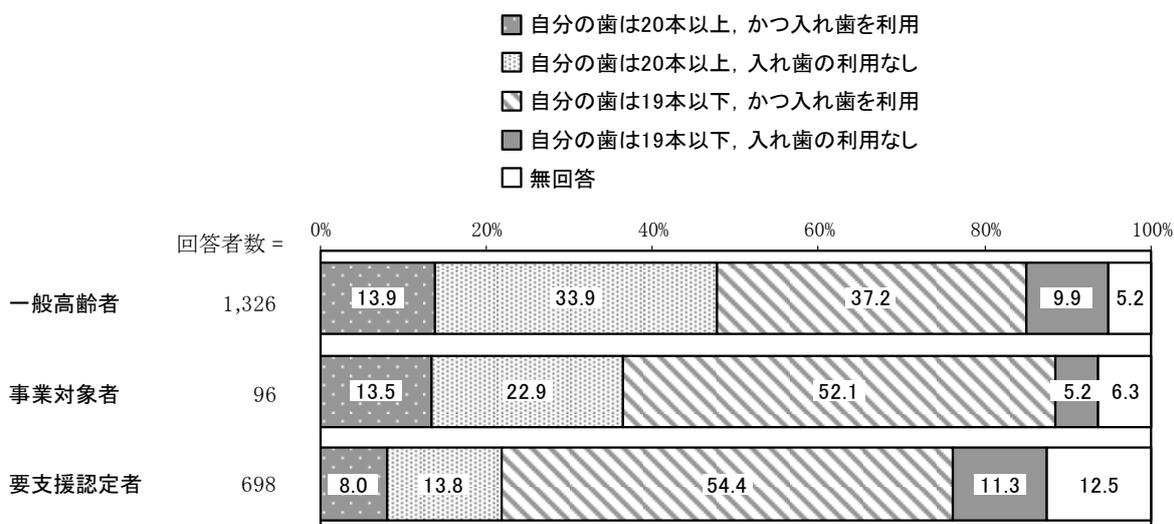


問3 (6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

一般高齢者では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が37.2%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が33.9%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が13.9%となっています。

事業対象者では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が52.1%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が22.9%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が13.5%となっています。

要支援認定者では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が54.4%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が13.8%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」の割合が11.3%となっています。

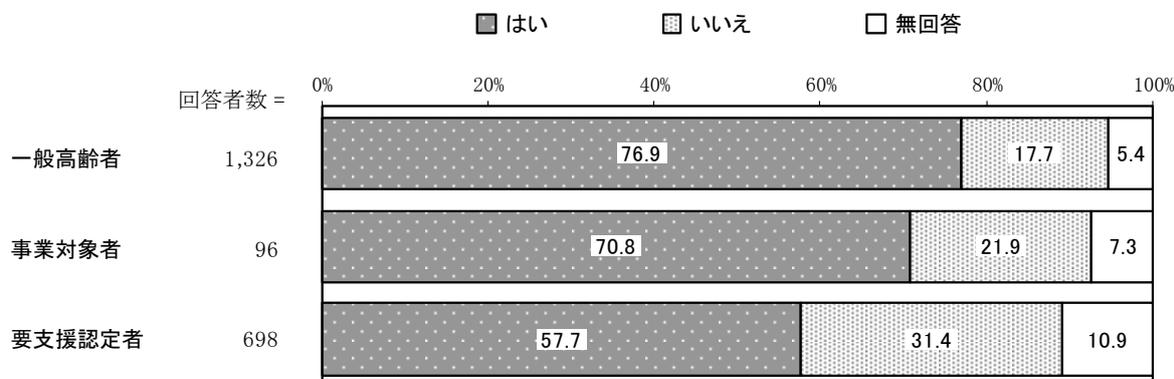


問3 (6) ①噛み合わせは良いですか

一般高齢者では、「はい」の割合が76.9%、「いいえ」の割合が17.7%となっています。

事業対象者では、「はい」の割合が70.8%、「いいえ」の割合が21.9%となっています。

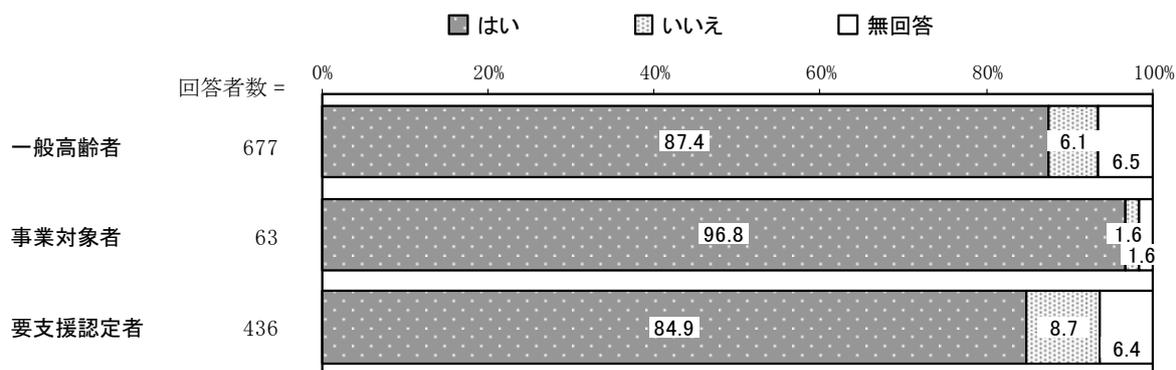
要支援認定者では、「はい」の割合が57.7%、「いいえ」の割合が31.4%となっています。



(6)で「1. 自分の歯は20本以上, かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下, かつ入れ歯を利用」のかたのみ

問3 (6) ②毎日入れ歯の手入れをしていますか。

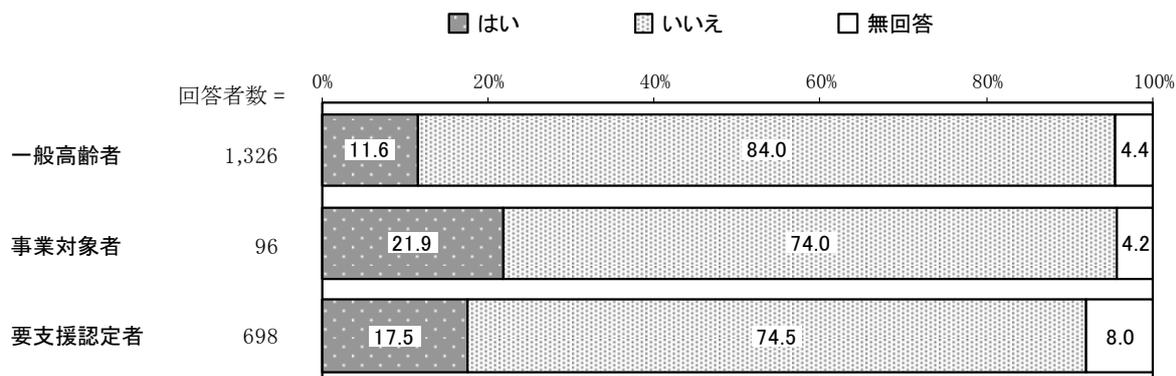
一般高齢者では、「はい」の割合が87.4%、「いいえ」の割合が6.1%となっています。
 事業対象者では、「はい」の割合が96.8%、「いいえ」の割合が1.6%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が84.9%、「いいえ」の割合が8.7%となっています。



(3) 体重減少の有無について

問3 (7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

一般高齢者では、「はい」の割合が11.6%、「いいえ」の割合が84.0%となっています。
 事業対象者では、「はい」の割合が21.9%、「いいえ」の割合が74.0%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が17.5%、「いいえ」の割合が74.5%となっています。

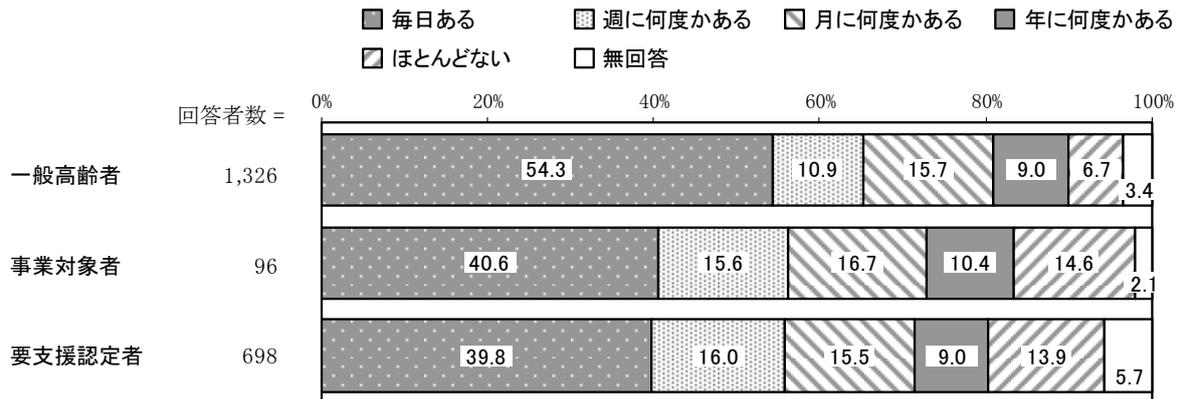


問3（8）どなたかと食事をともにする機会がありますか。

一般高齢者では、「毎日ある」の割合が54.3%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が15.7%、「週に何度かある」の割合が10.9%となっています。

事業対象者では、「毎日ある」の割合が40.6%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が16.7%、「週に何度かある」の割合が15.6%となっています。

要支援認定者では、「毎日ある」の割合が39.8%と最も高く、次いで「週に何度かある」の割合が16.0%、「月に何度かある」の割合が15.5%となっています。

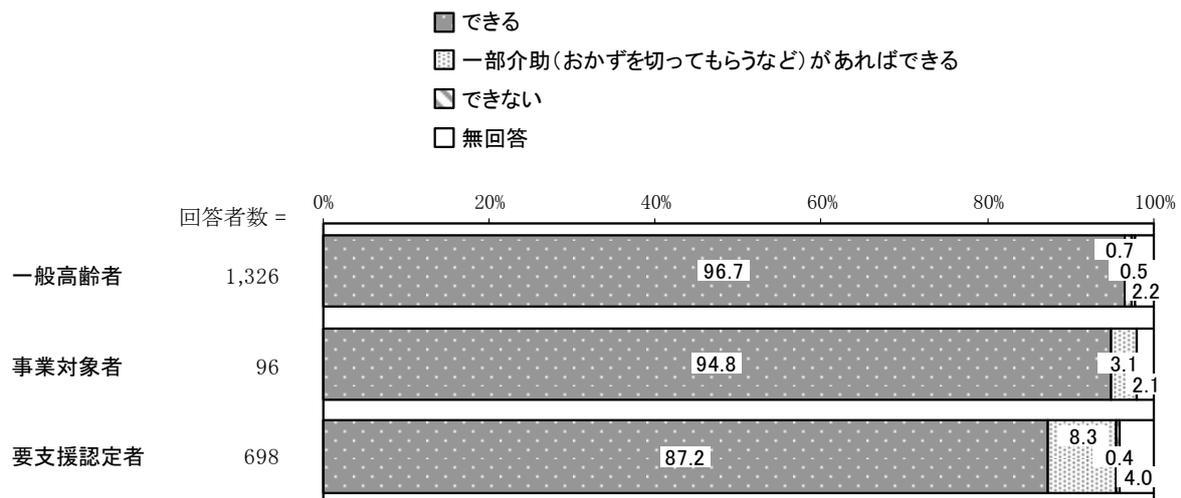


問3（9）食事は自分で食べられますか。

一般高齢者では、「できる」の割合が96.7%と最も高くなっています。

事業対象者では、「できる」の割合が94.8%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「できる」の割合が87.2%と最も高くなっています。



4 毎日の生活について

(1) 認知機能について

問4 (1) 物忘れが多いと感じますか。

問4 (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

問4 (3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。

一般高齢者では、『(1) 物忘れが多いと感じますか。』で「はい」の割合が約4割となっています。事業対象者では、『(1) 物忘れが多いと感じますか。』で「はい」の割合が約6割となっています。要支援認定者では、『(1) 物忘れが多いと感じますか。』で「はい」の割合が約6割となっています。

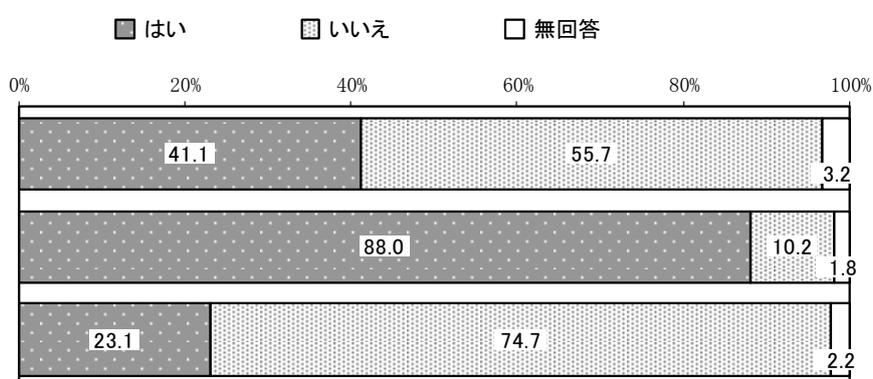
【一般高齢者】

回答者数 = 1,326

(1) 物忘れが多いと感じますか。

(2) 自分で電話番号を調べて、
電話をかけることをして
いますか。

(3) 今日が何月何日かわからない
時がありますか。



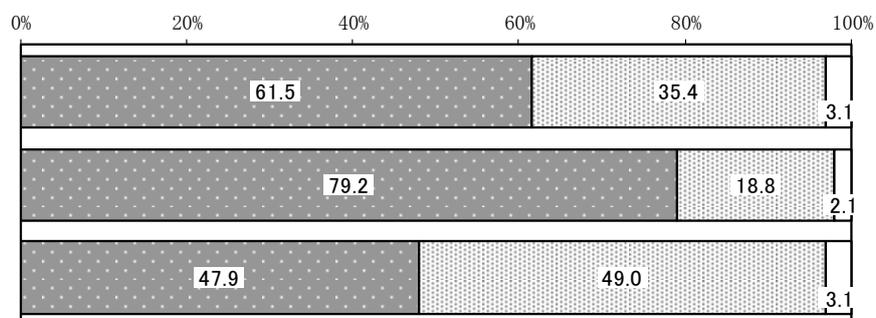
【事業対象者】

回答者数 = 96

(1) 物忘れが多いと感じますか。

(2) 自分で電話番号を調べて、
電話をかけることをして
いますか。

(3) 今日が何月何日かわからない
時がありますか。



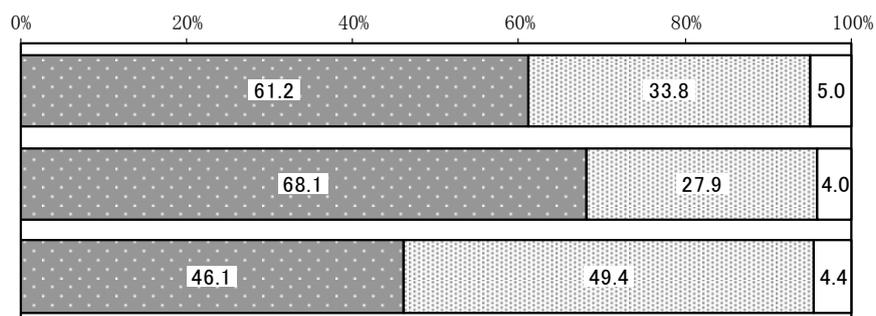
【要支援認定者】

回答者数 = 698

(1) 物忘れが多いと感じますか。

(2) 自分で電話番号を調べて、
電話をかけることをして
いますか。

(3) 今日が何月何日かわからない
時がありますか。



(2) IADL<手段的日常生活動作>について (老研式活動能力指標)

問4 (4) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)

問4 (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。

問4 (6) 自分で食事の用意をしていますか。

問4 (7) 自分で請求書の支払いをしていますか。

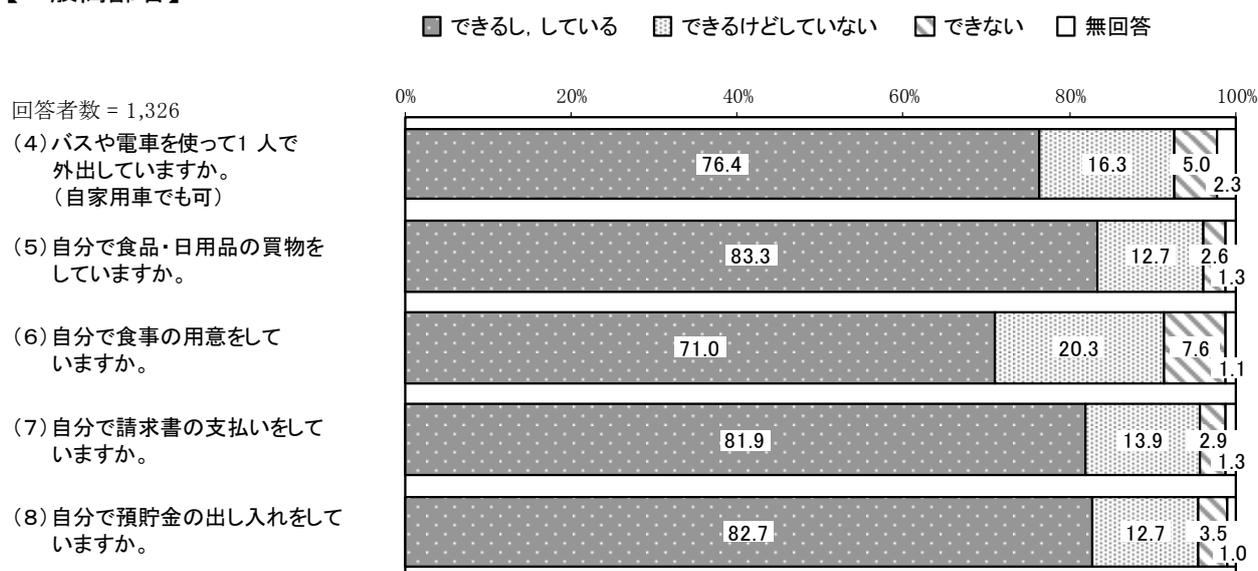
問4 (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

一般高齢者では、すべての設問で「できるし、している」の割合が最も高く、7割を超えています。もっとも、『(6) 自分で食事の用意をしていますか。』では「できるけどしていない」の割合が高く、約2割となっています。

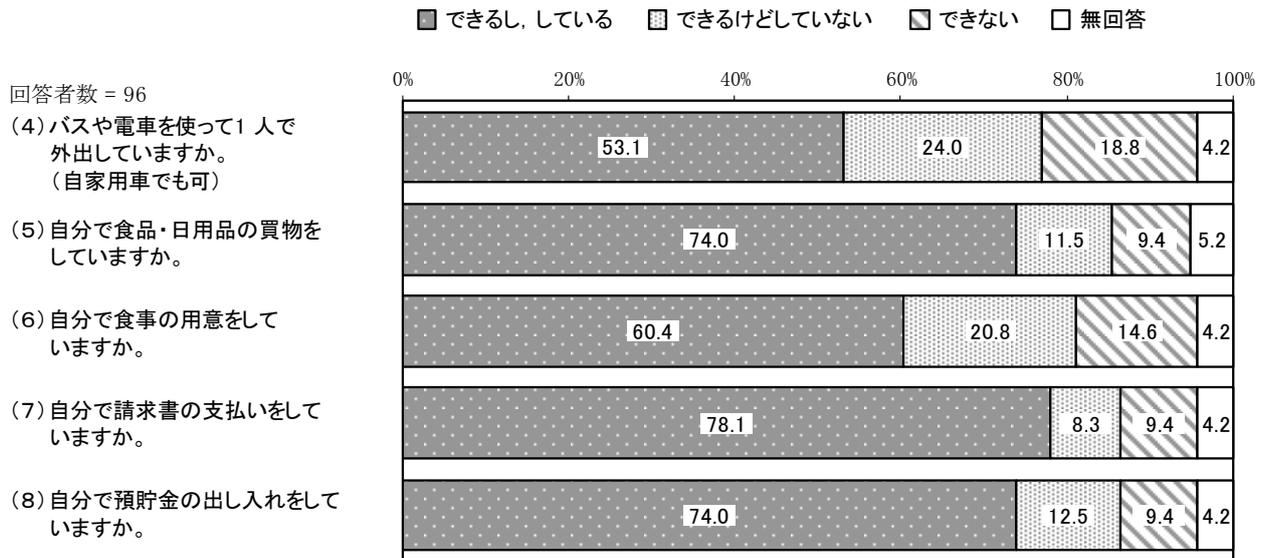
事業対象者では、『(4) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)』、『(6) 自分で食事の用意をしていますか。』で「できるし、している」の割合が低く、5割から6割となっています。

要支援認定者では、『(4) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)』で「できない」の割合が高く、約5割となっています。

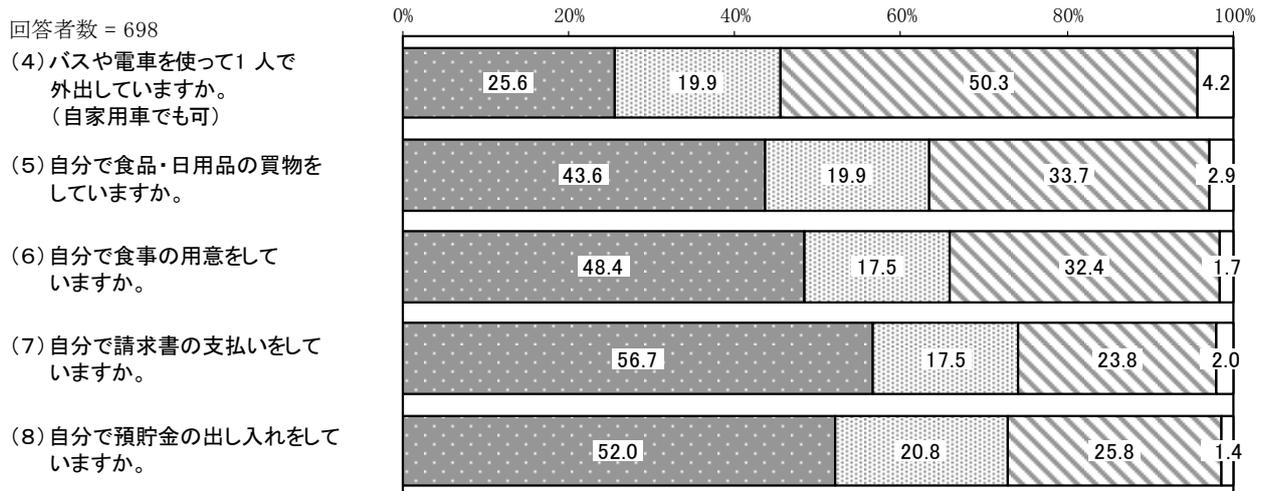
【一般高齢者】



【事業対象者】



【要支援認定者】



(3) 社会参加—知的能動性（老研式活動能力指標）

問4 (9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。

問4 (10) 新聞を読んでいますか。

問4 (11) 本や雑誌を読んでいますか。

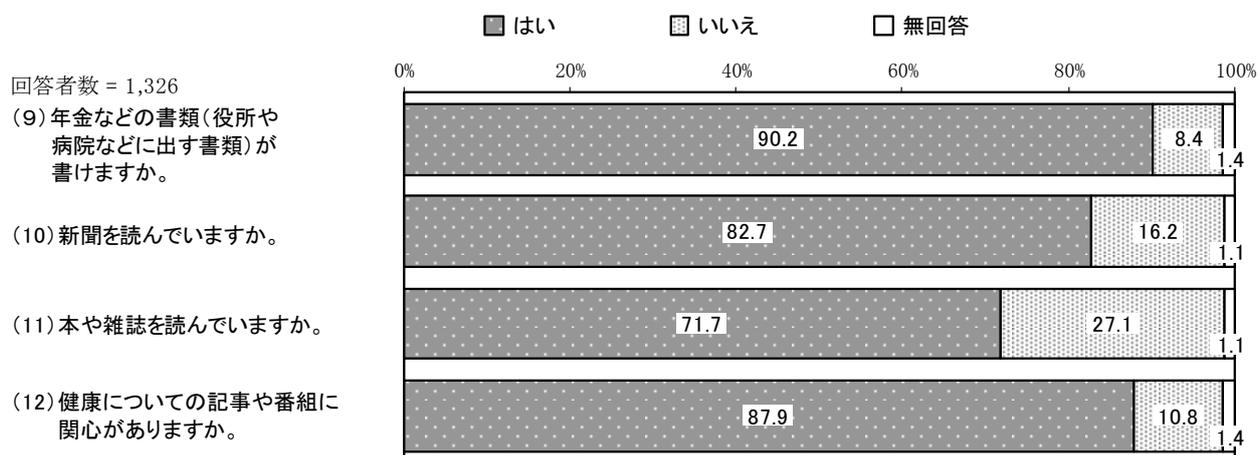
問4 (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。

一般高齢者では、すべての設問で「はい」の割合が高く、7割を超えています。もっとも、『(11) 本や雑誌を読んでいますか。』では「いいえ」の割合が約3割となっています。

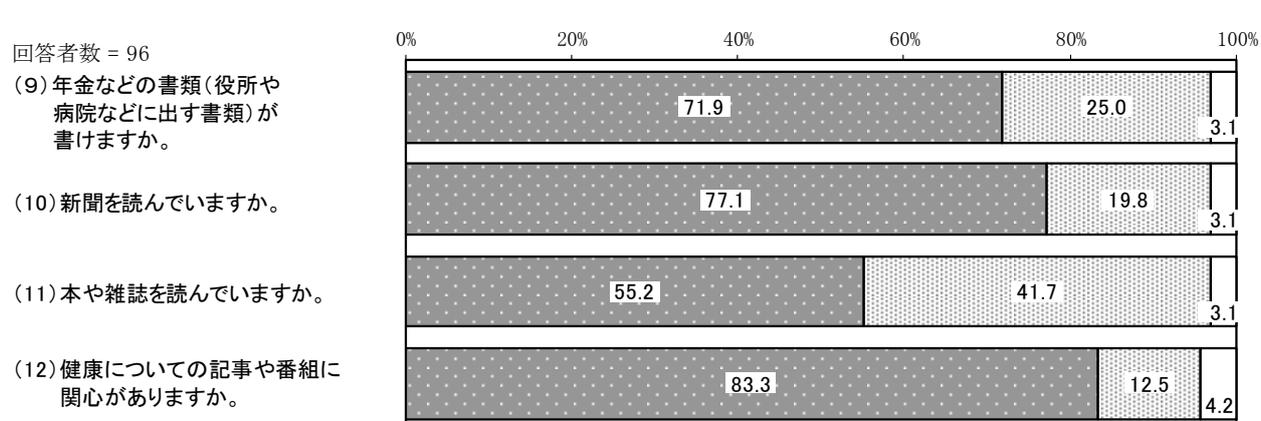
事業対象者では、『(11) 本や雑誌を読んでいますか。』で「いいえ」の割合が高く、約4割となっています。その他の設問では「はい」の割合が高く、7割を超えています。

要支援認定者では、すべての設問で「いいえ」よりも「はい」の割合が高く、『(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。』で約8割となっています。

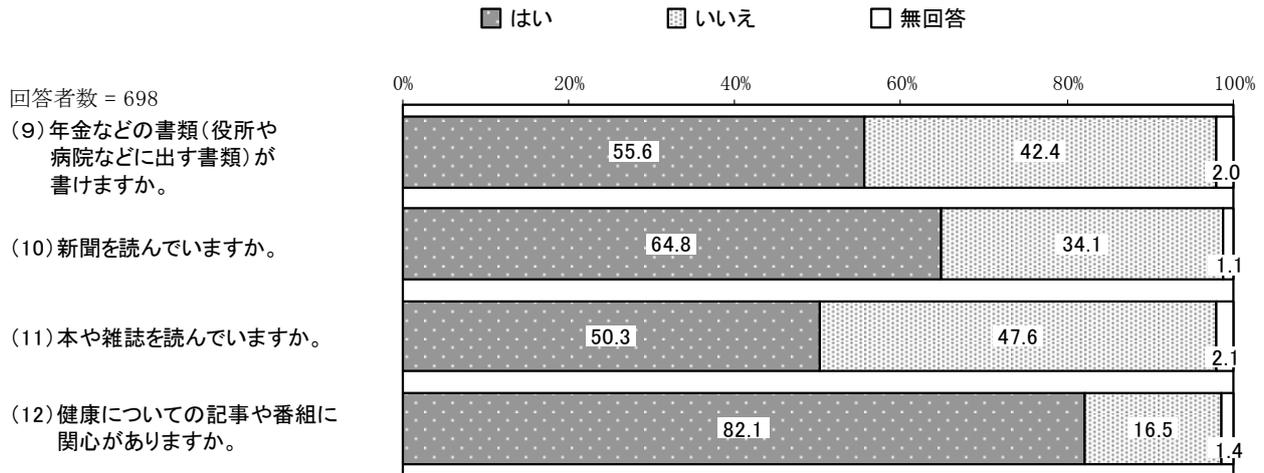
【一般高齢者】



【事業対象者】



【要支援認定者】



(4) 社会参加—社会的役割 (老研式活動能力指標)

問4 (13) 友人の家を訪ねていますか。

問4 (14) 家族や友人の相談にのっていますか。

問4 (15) 病人を見舞うことができますか。

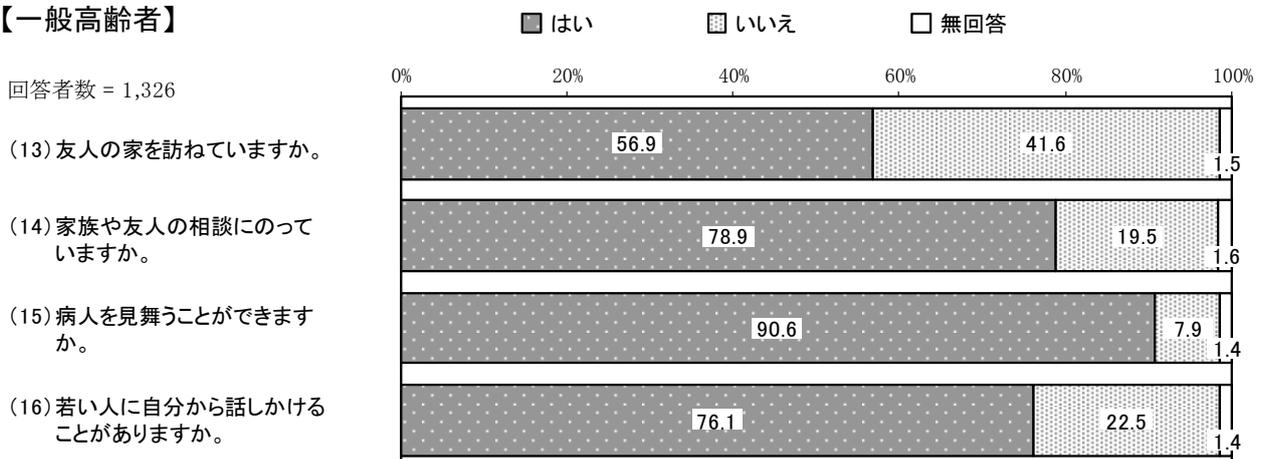
問4 (16) 若い人に自分から話しかけることがありますか。

一般高齢者では、『(13) 友人の家を訪ねていますか。』で「いいえ」の割合が高く、約4割となっています。その他の設問では、「はい」の割合が高く、約8割から約9割となっています。

事業対象者では、『(13) 友人の家を訪ねていますか。』で「いいえ」の割合が高く、6割半ばとなっています。

要支援認定者では、『(13) 友人の家を訪ねていますか。』、『(14) 家族や友人の相談にのっていますか。』では「はい」の割合よりも「いいえ」の割合が高く、特に『(13) 友人の家を訪ねていますか。』では「いいえ」の割合が約7割となっています。

【一般高齢者】



【事業対象者】

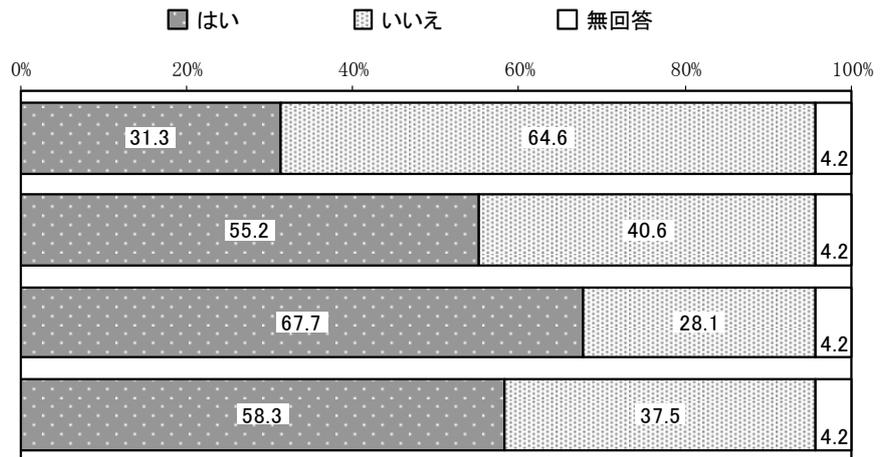
回答者数 = 96

(13) 友人の家を訪ねていますか。

(14) 家族や友人の相談にのっていますか。

(15) 病人を見舞うことができますか。

(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか。



【要支援認定者】

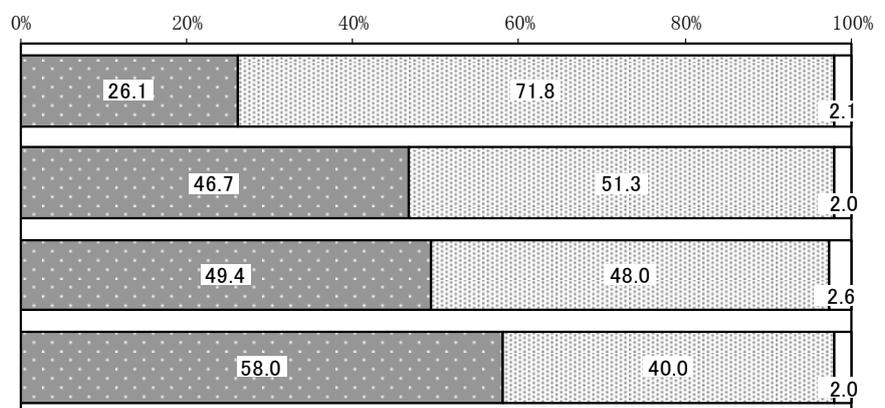
回答者数 = 698

(13) 友人の家を訪ねていますか。

(14) 家族や友人の相談にのっていますか。

(15) 病人を見舞うことができますか。

(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか。



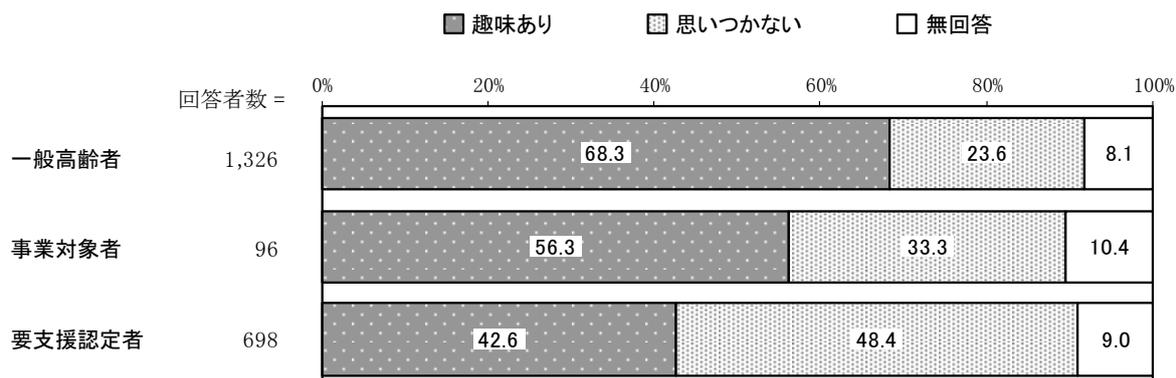
(5) 趣味の有無

問4 (17) 趣味はありますか。

一般高齢者では、「趣味あり」の割合が68.3%、「思いつかない」の割合が23.6%となっています。

事業対象者では、「趣味あり」の割合が56.3%、「思いつかない」の割合が33.3%となっています。

要支援認定者では、「趣味あり」の割合が42.6%、「思いつかない」の割合が48.4%となっています。



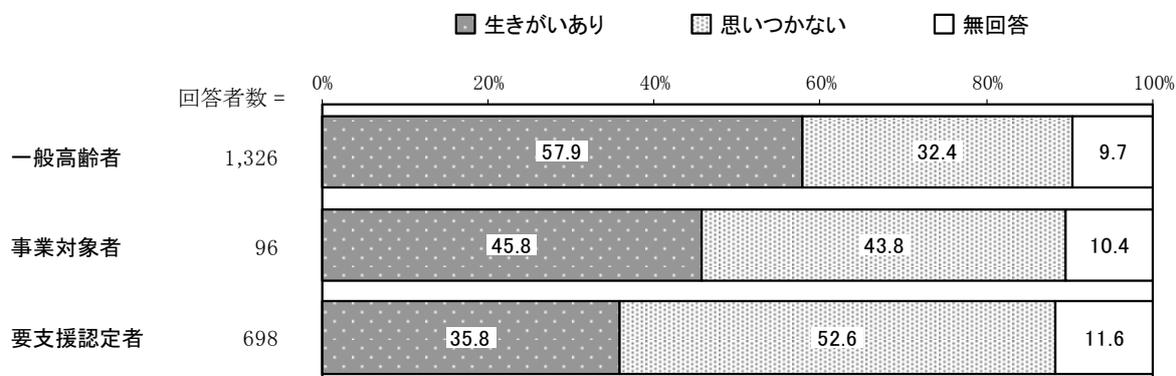
(6) 生きがいの有無

問4 (18) 生きがいはありますか。

一般高齢者では、「生きがいあり」の割合が57.9%、「思いつかない」の割合が32.4%となっています。

事業対象者では、「生きがいあり」の割合が45.8%、「思いつかない」の割合が43.8%となっています。

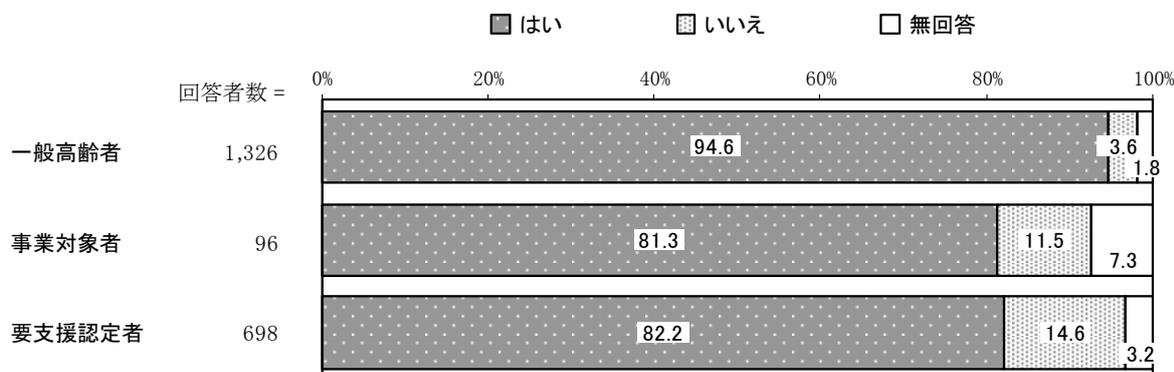
要支援認定者では、「生きがいあり」の割合が35.8%、「思いつかない」の割合が52.6%となっています。



(7) 記憶力や判断力, 伝達力について

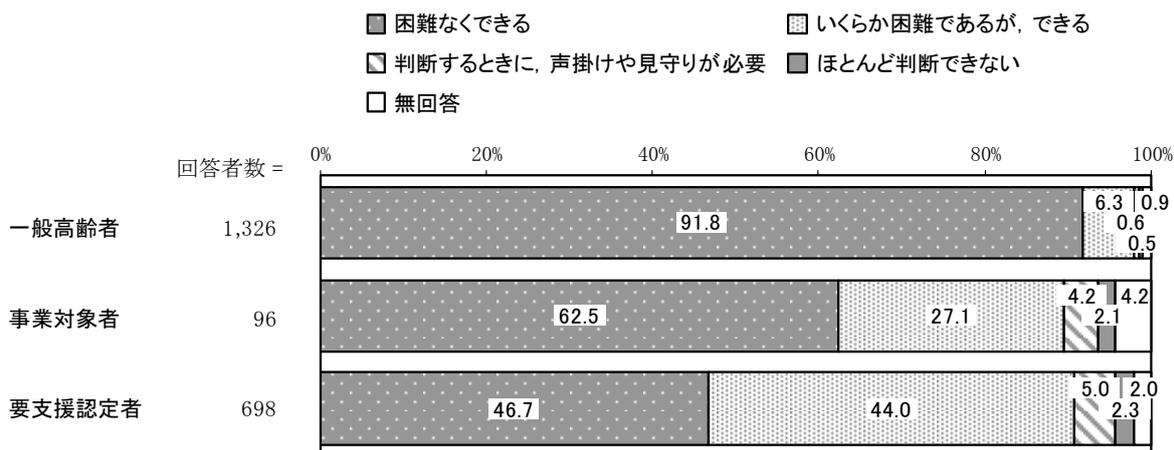
問4 (19) 5分前のことが思い出せますか。

一般高齢者では、「はい」の割合が94.6%、「いいえ」の割合が3.6%となっています。
 事業対象者では、「はい」の割合が81.3%、「いいえ」の割合が11.5%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が82.2%、「いいえ」の割合が14.6%となっています。



問4 (20) その日の活動(食事をする, 衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか。

一般高齢者では、「困難なくできる」の割合が91.8%と最も高くなっています。
 事業対象者では、「困難なくできる」の割合が62.5%と最も高く、次いで「いくらか困難であるが、できる」の割合が27.1%となっています。
 要支援認定者では、「困難なくできる」の割合が46.7%と最も高く、次いで「いくらか困難であるが、できる」の割合が44.0%となっています。

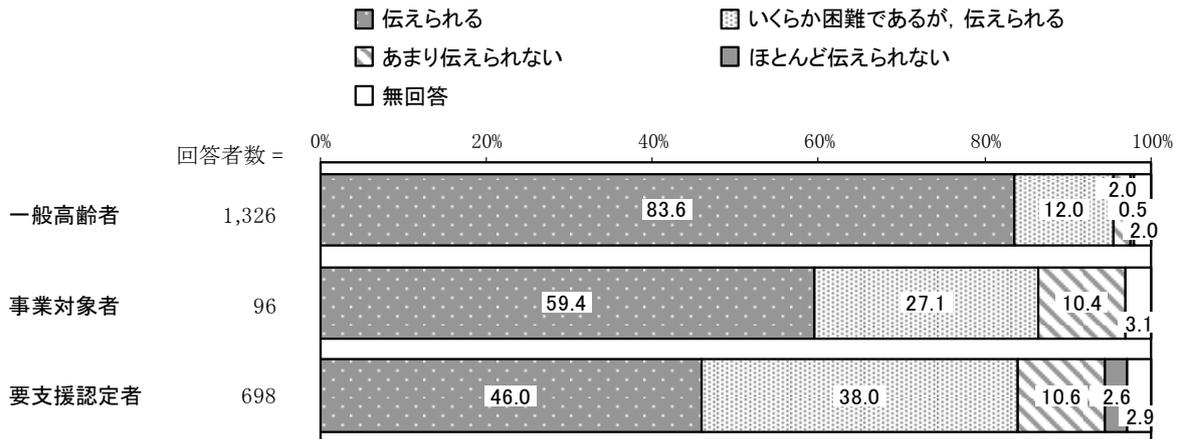


問4 (21) 人に自分の考えをうまく伝えられますか。

一般高齢者では、「伝えられる」の割合が83.6%と最も高く、次いで「いくらか困難であるが、伝えられる」の割合が12.0%となっています。

事業対象者では、「伝えられる」の割合が59.4%と最も高く、次いで「いくらか困難であるが、伝えられる」の割合が27.1%、「あまり伝えられない」の割合が10.4%となっています。

要支援認定者では、「伝えられる」の割合が46.0%と最も高く、次いで「いくらか困難であるが、伝えられる」の割合が38.0%、「あまり伝えられない」の割合が10.6%となっています。



5 地域での活動について

(1) 社会参加の状況

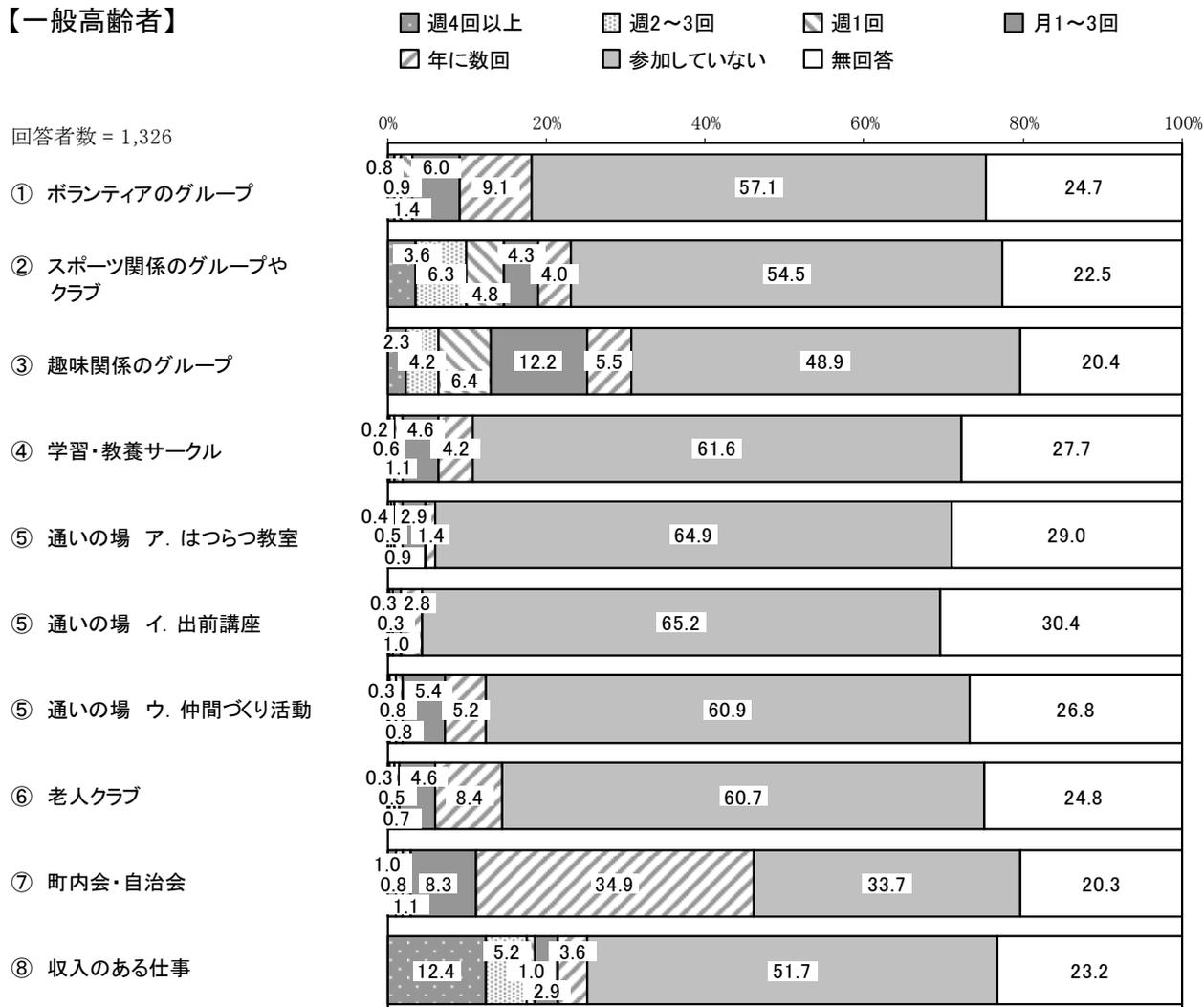
問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
※① - ⑧それぞれに回答してください

一般高齢者では、『⑦ 町内会・自治会』で参加している人の割合が高く、4割半ばとなっています。一方、『⑤ 通いの場 ア. はつらつ教室』、『⑤ 通いの場 イ. 出前講座』、『⑤ 通いの場 ウ. 仲間づくり活動』では「参加していない」の割合が高く、6割半ばとなっています。

事業対象者では、『⑦ 町内会・自治会』で参加している人の割合が約3割となっているものの、その他の項目では1割前後と低くなっています。

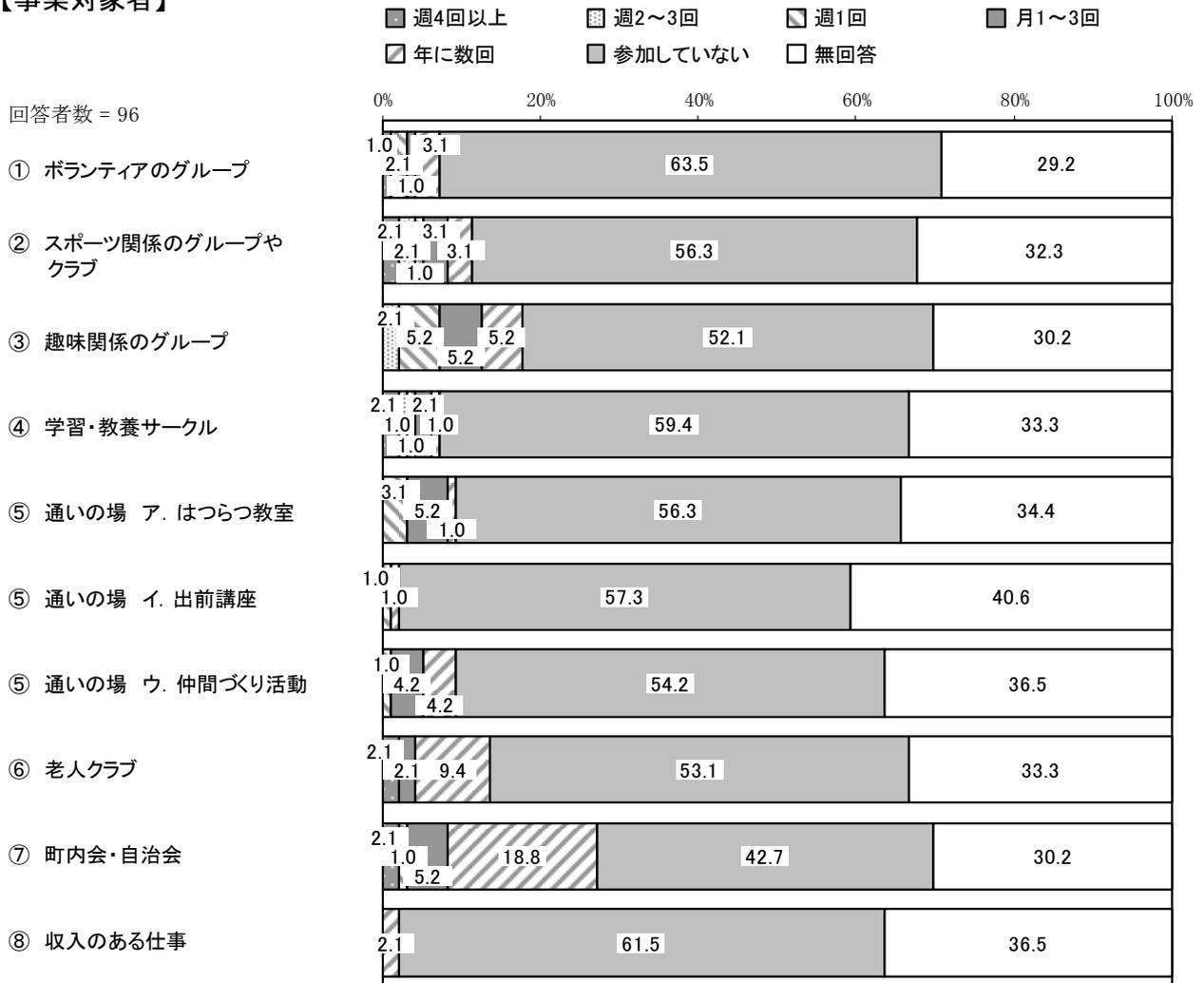
要支援認定者では、すべての項目で「参加していない」の割合が高く、6割前後となっています。

【一般高齢者】



【事業対象者】

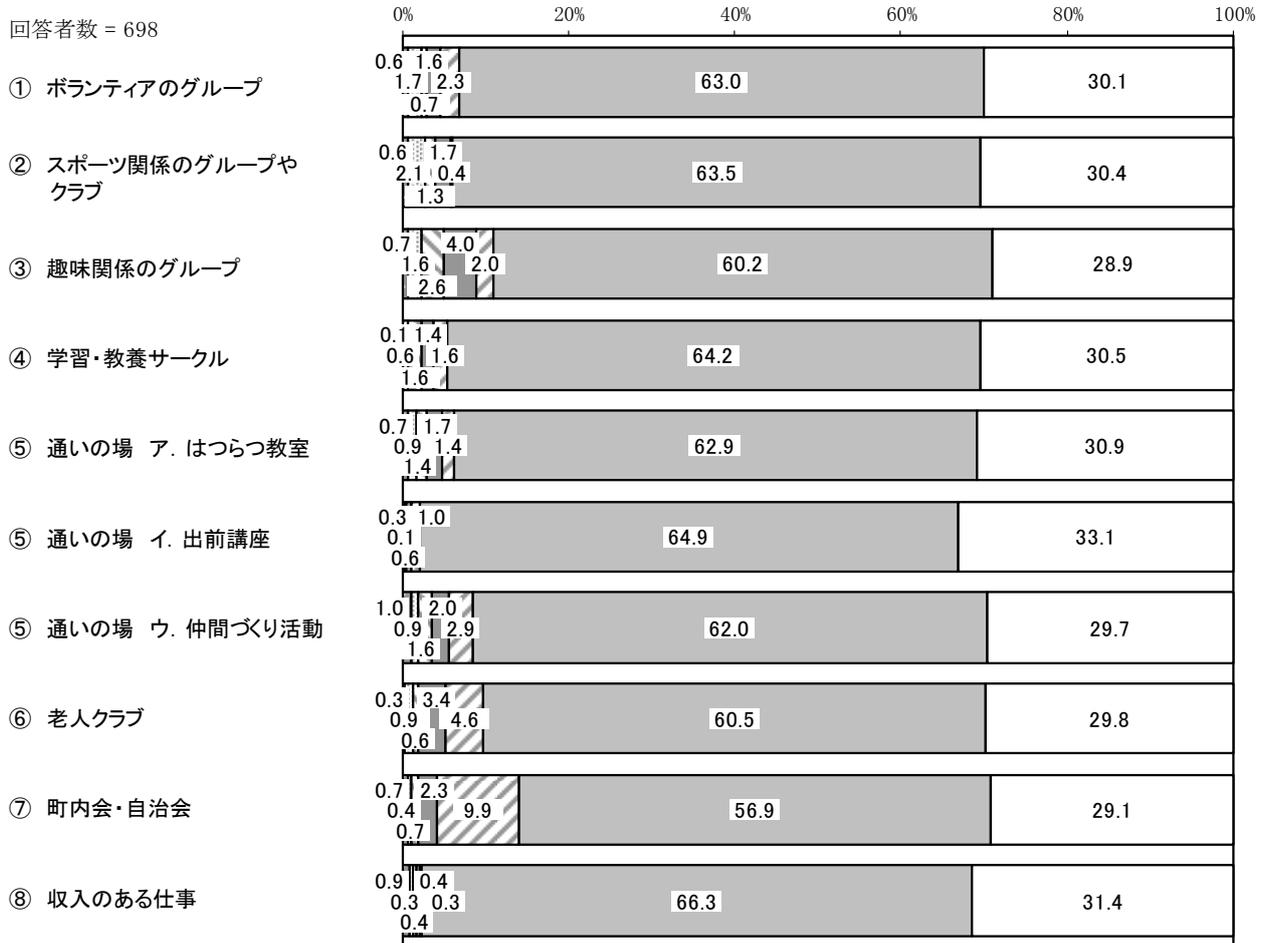
回答者数 = 96



【要支援認定者】

■ 週4回以上 ▨ 週2~3回 ▩ 週1回 ■ 月1~3回
 ▨ 年に数回 □ 参加していない □ 無回答

回答者数 = 698

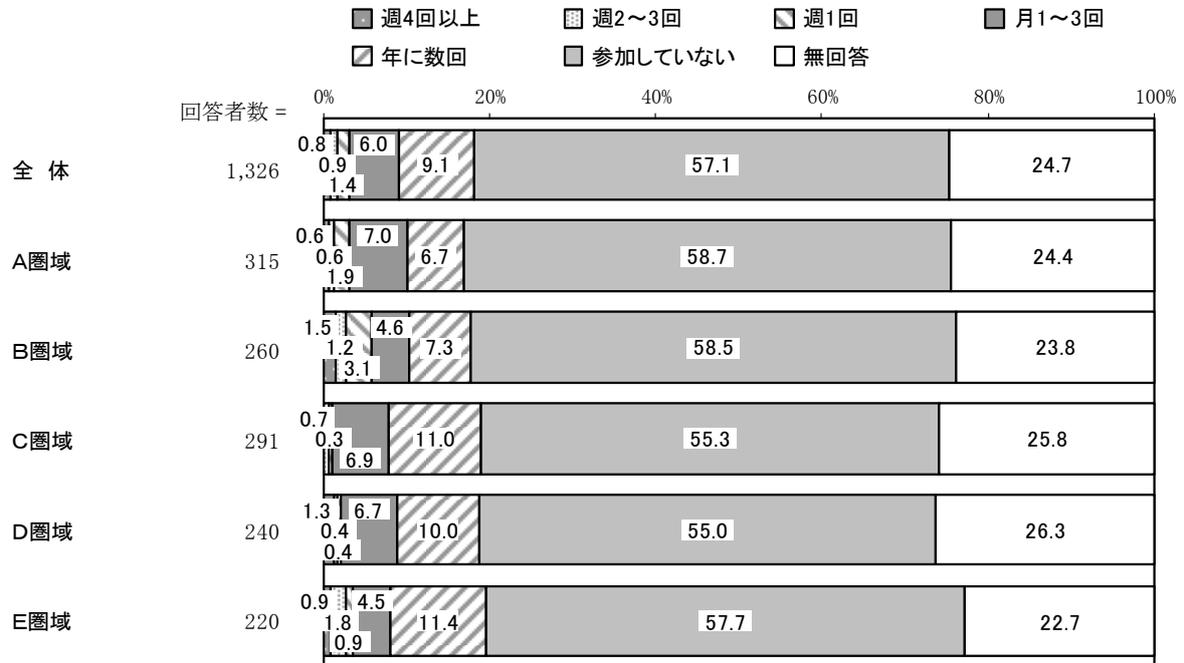


【日常生活圏域別】

＜一般高齢者＞

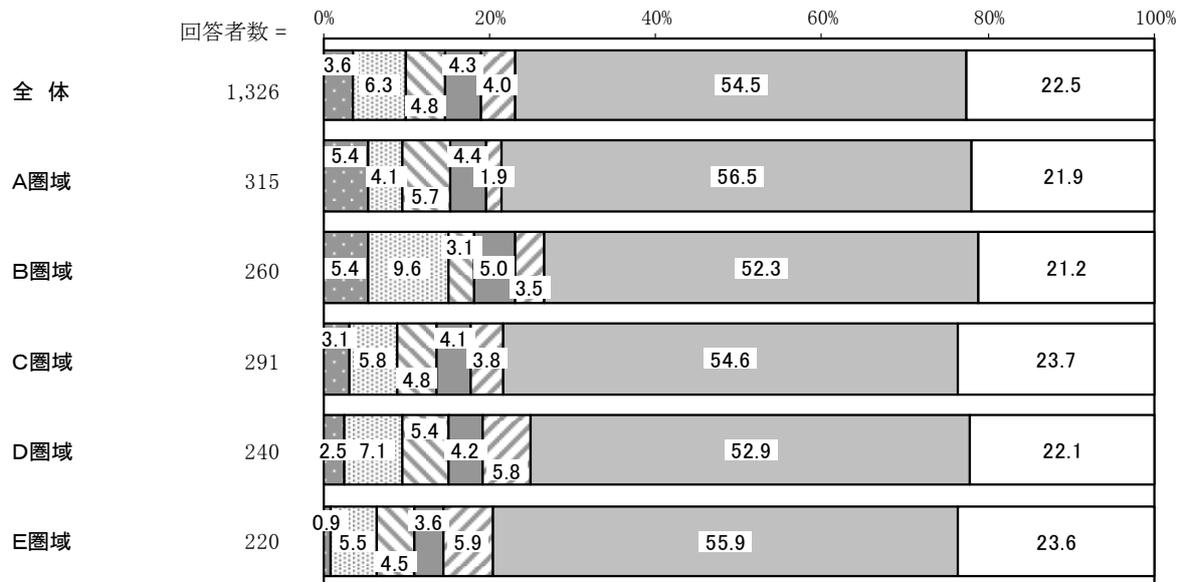
① ボランティアのグループ

一般高齢者を日常生活圏域別でみると、大きな差異はみられません。



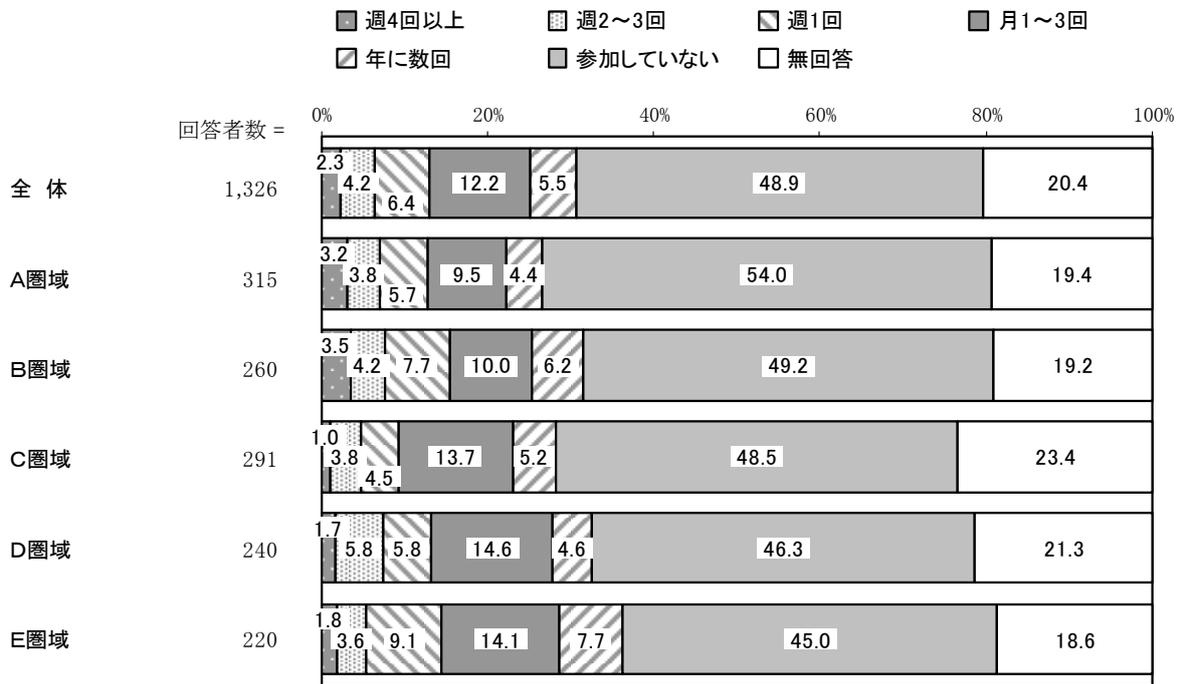
② スポーツ関係のグループやクラブ

一般高齢者を日常生活圏域別でみると、大きな差異はみられません。



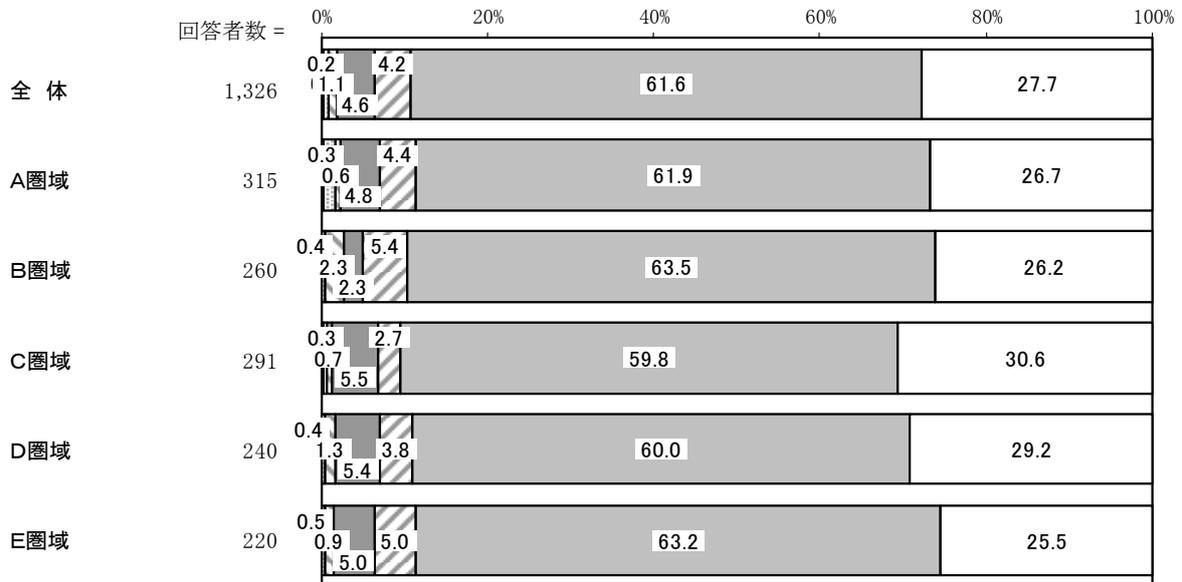
③ 趣味関係のグループ

一般高齢者を日常生活圏域別で見ると、A圏域で「参加していない」の割合が高く、5割半ばとなっています。



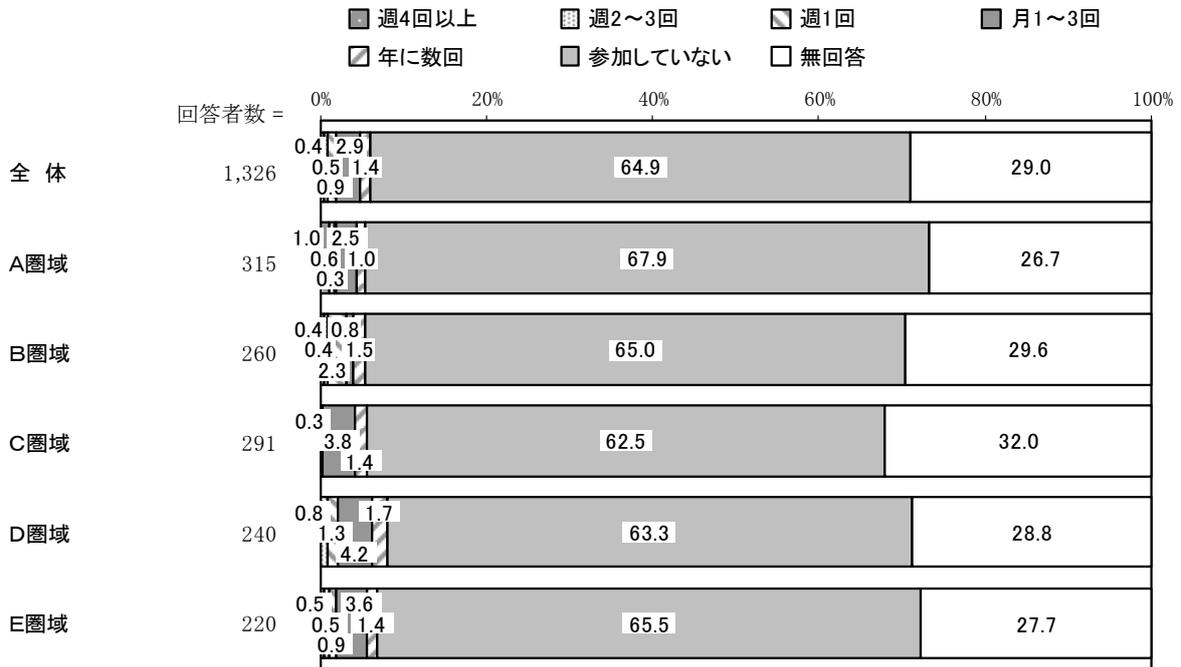
④ 学習・教養サークル

一般高齢者を日常生活圏域別で見ると、大きな差異はみられません。



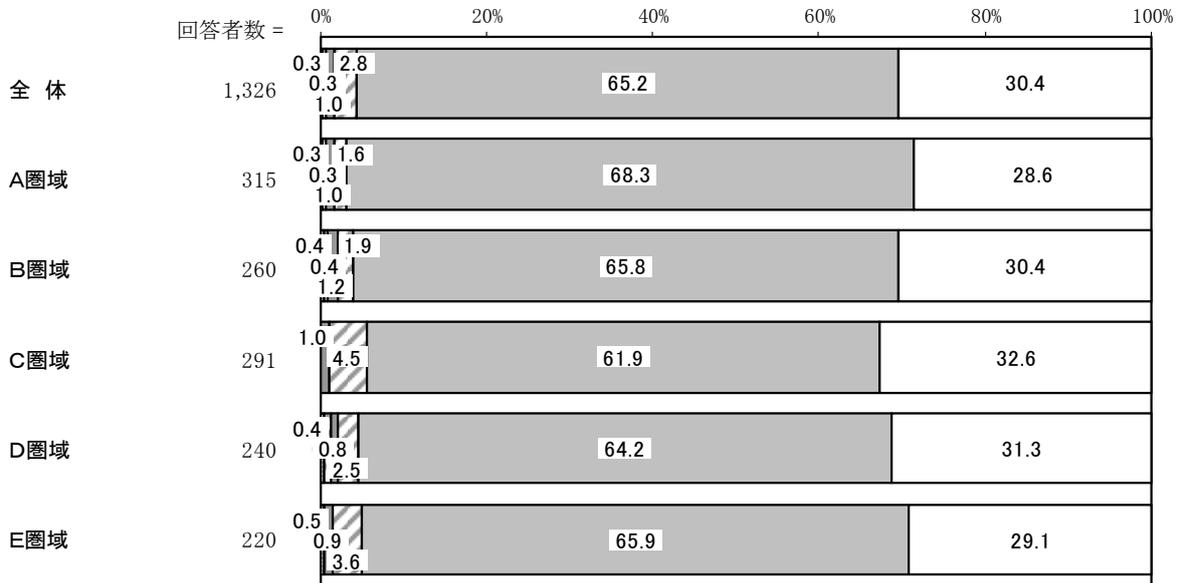
⑤ 通いの場 ア. はつらつ教室

一般高齢者を日常生活圏域別で見ると、大きな差異はみられません。



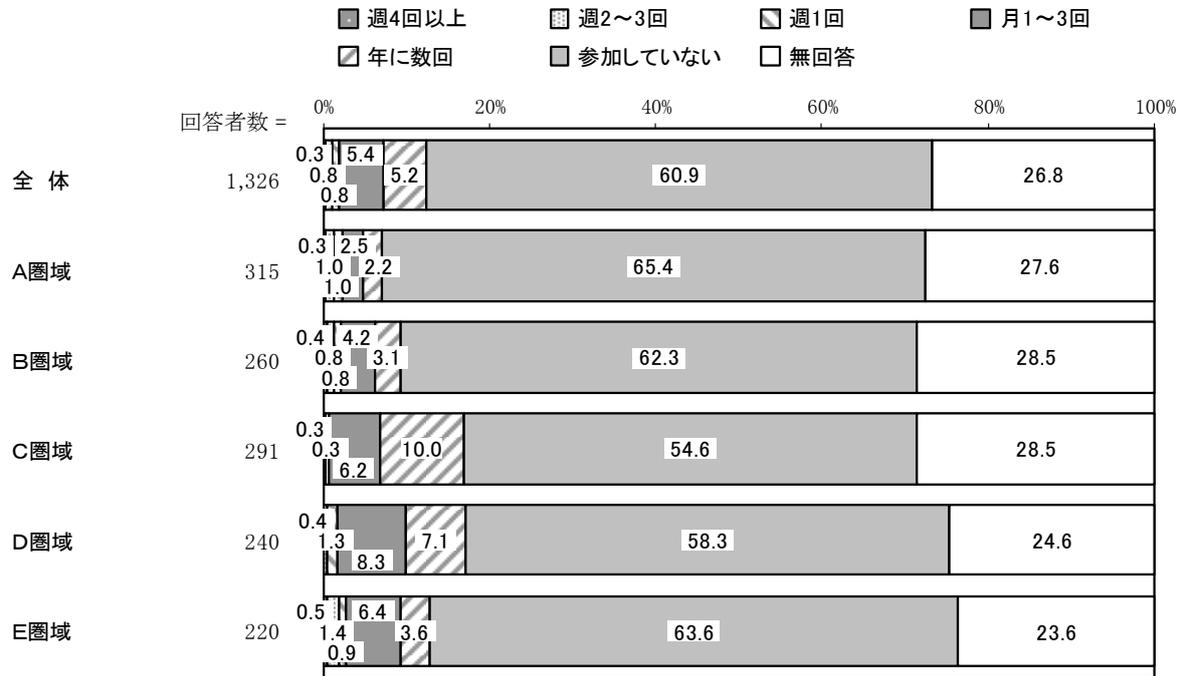
⑤ 通いの場 イ. 出前講座

一般高齢者を日常生活圏域別で見ると、大きな差異はみられません。



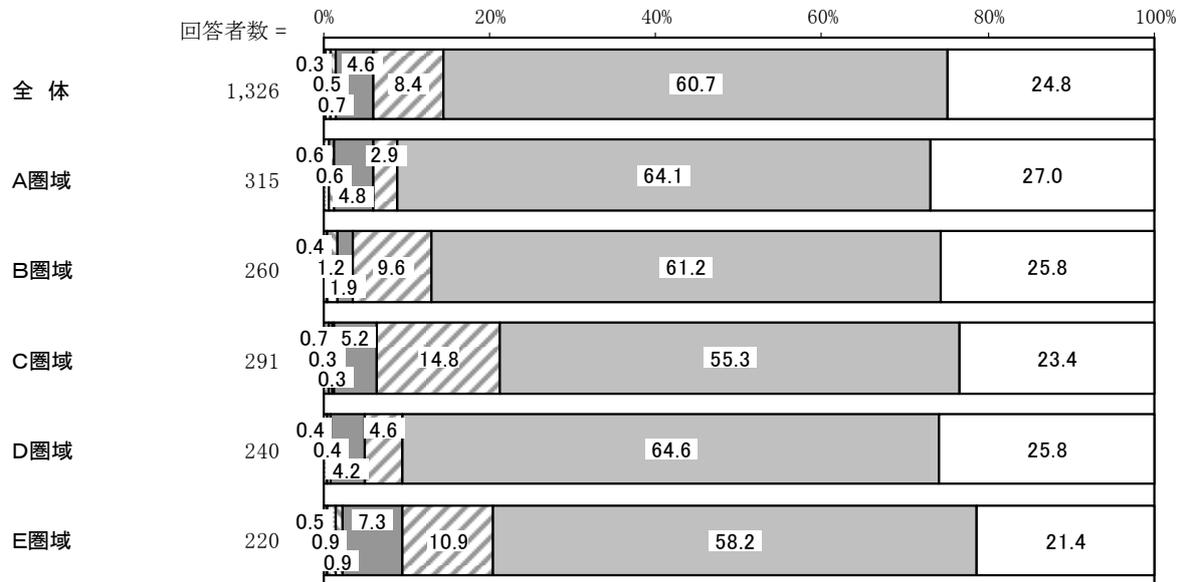
⑤ 通いの場 ウ. 仲間づくり活動

一般高齢者を日常生活圏域別で見ると、C圏域で「年に数回」の割合が高く、1割となっています。



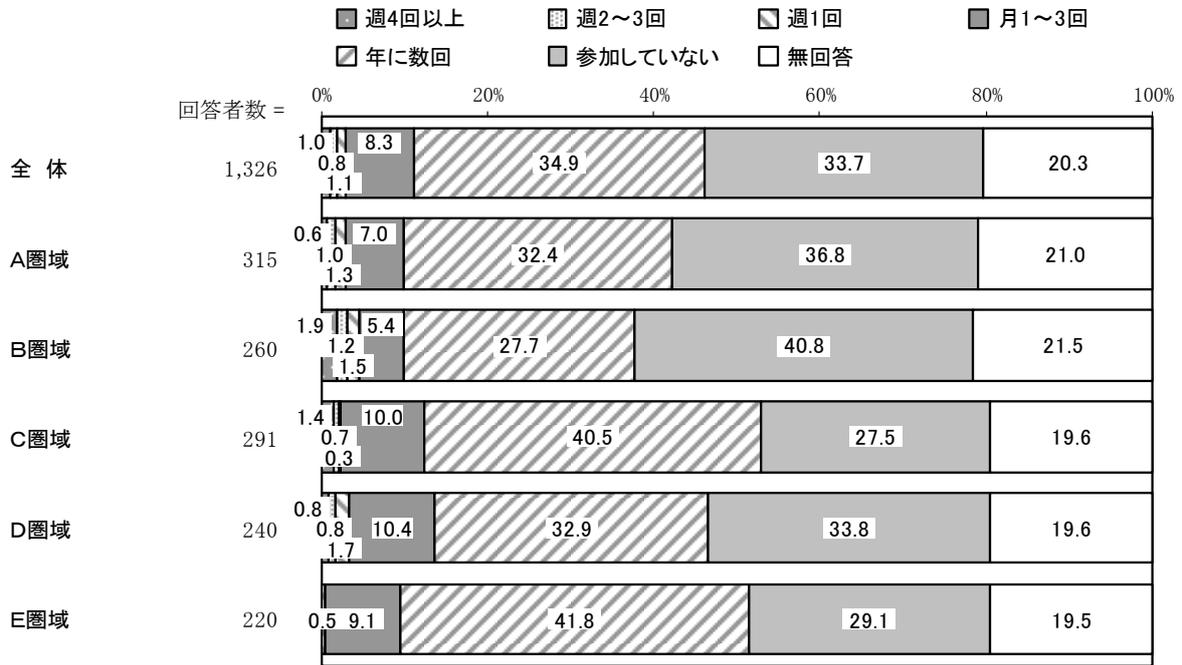
⑥ 老人クラブ

一般高齢者を日常生活圏域別で見ると、C圏域で「年に数回」の割合が高く、1割半ばとなっています。



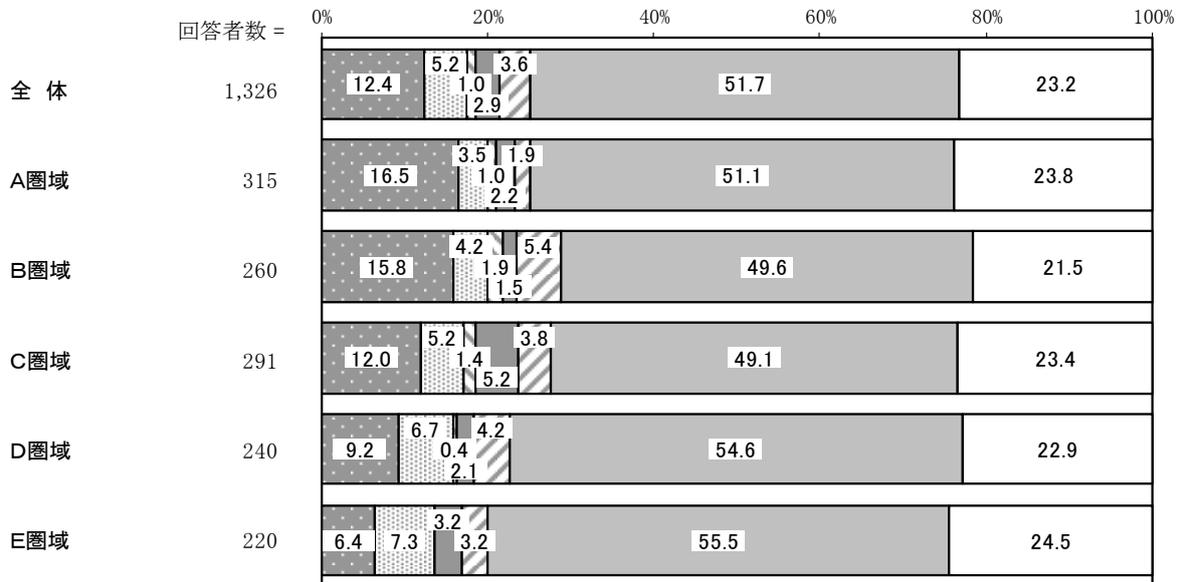
⑦ 町内会・自治会

一般高齢者を日常生活圏域別で見ると、B圏域で「参加していない」の割合が、C圏域、E圏域で「年に数回」の割合が高く、約4割となっています。



⑧ 収入のある仕事

一般高齢者を日常生活圏域別で見ると、A圏域、B圏域で「週4回以上」の割合が高く、1割半ばとなっています。



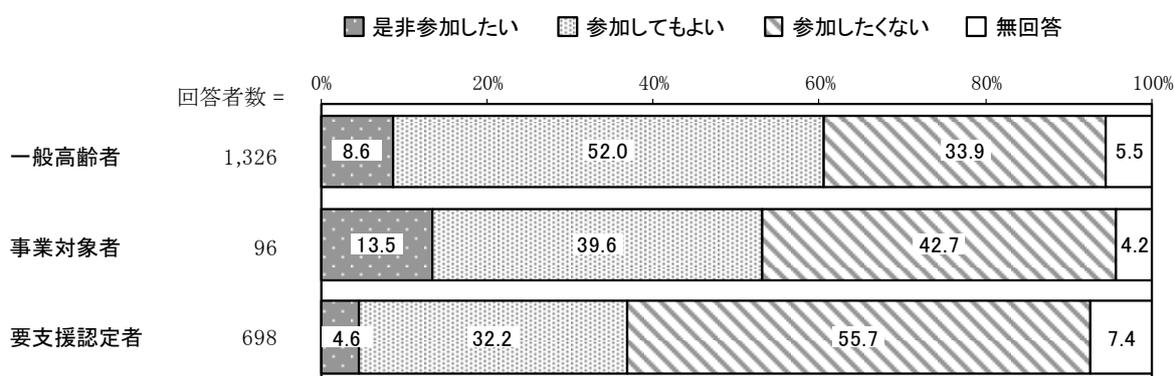
(2) 地域づくりへの参加意向 (参加者)

問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

一般高齢者では、「参加してもよい」の割合が52.0%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が33.9%となっています。

事業対象者では、「参加したくない」の割合が42.7%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が39.6%、「是非参加したい」の割合が13.5%となっています。

要支援認定者では、「参加したくない」の割合が55.7%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が32.2%となっています。



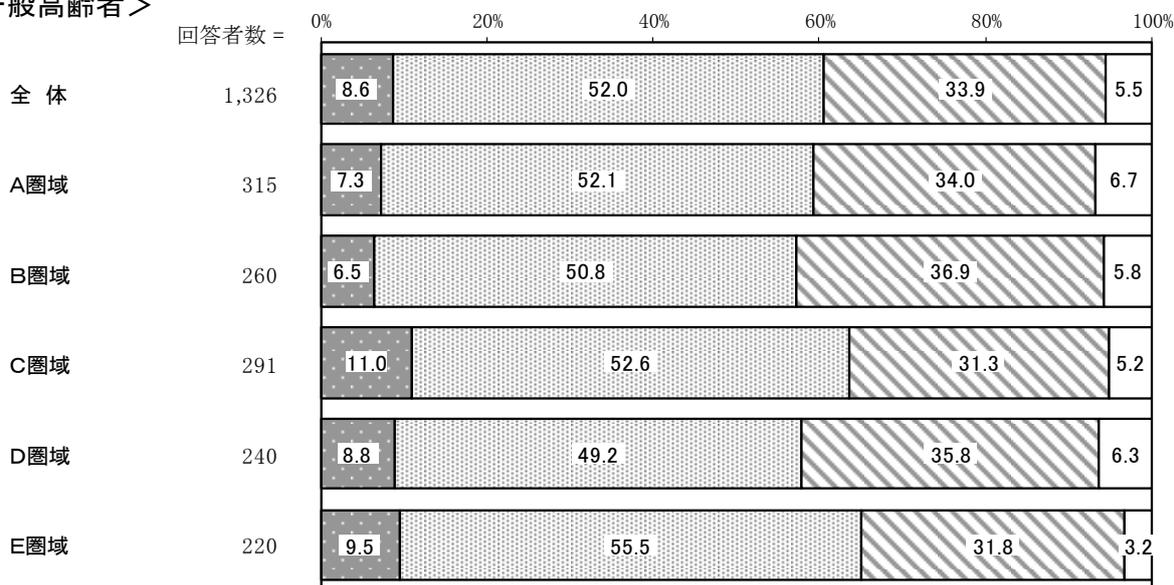
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、一般高齢者では、大きな差異はみられません。

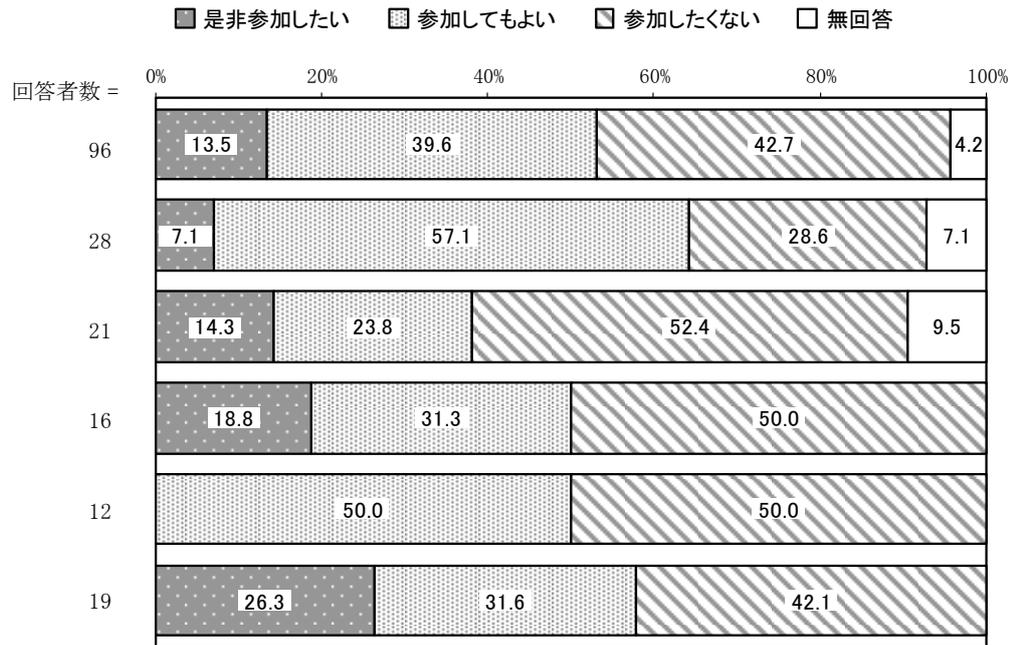
事業対象者では、『A圏域』で「参加してもよい」の割合が高く、約6割となっています。また、『E圏域』で「是非参加したい」の割合が高く、2割半ばとなっています。

要支援認定者では、『B圏域』、『C圏域』で「参加したくない」の割合が高く、約6割となっています。

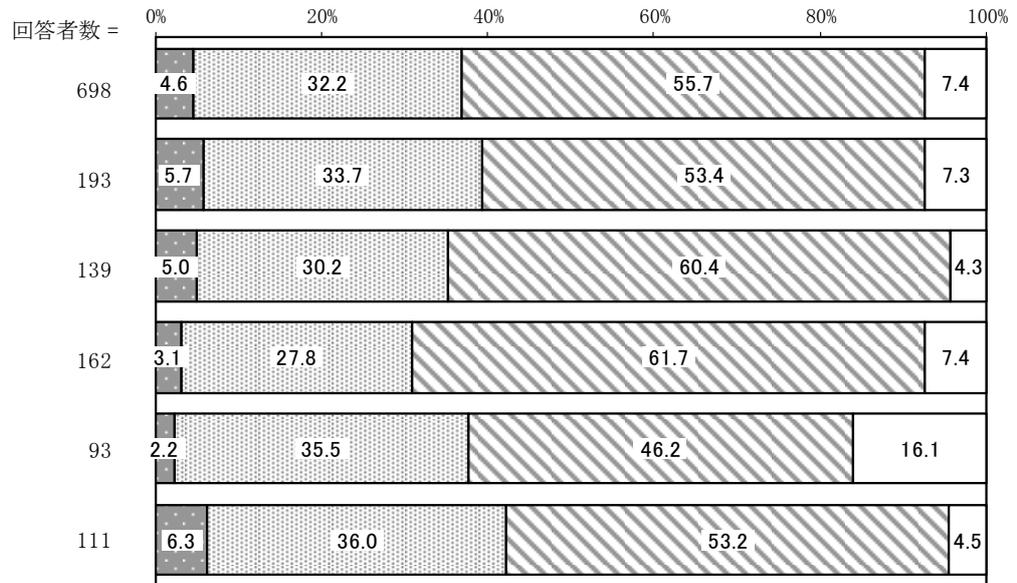
<一般高齢者>



<事業対象者>



<要支援認定者>



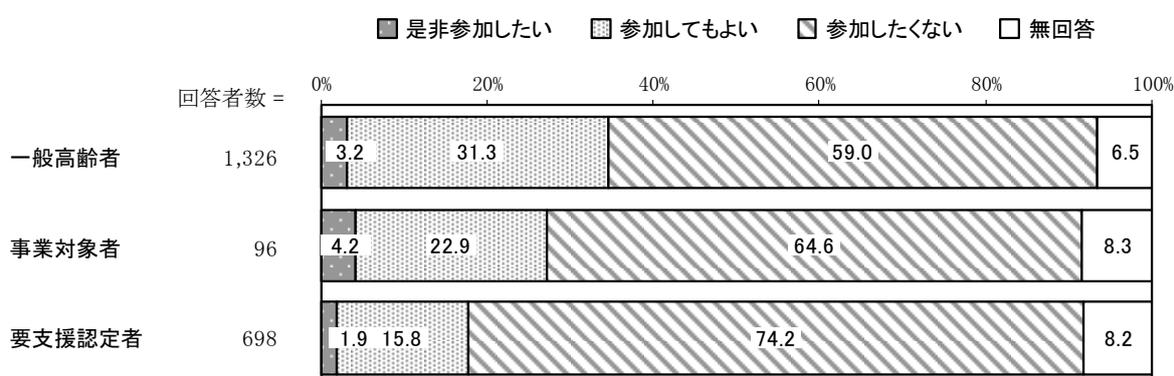
(3) 地域づくりへの参加意向 (企画・運営)

問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営 (お世話役) として参加してみたいと思いますか。

一般高齢者では、「参加したくない」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 31.3%となっています。

事業対象者では、「参加したくない」の割合が 64.6%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 22.9%となっています。

要支援認定者では、「参加したくない」の割合が 74.2%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 15.8%となっています。



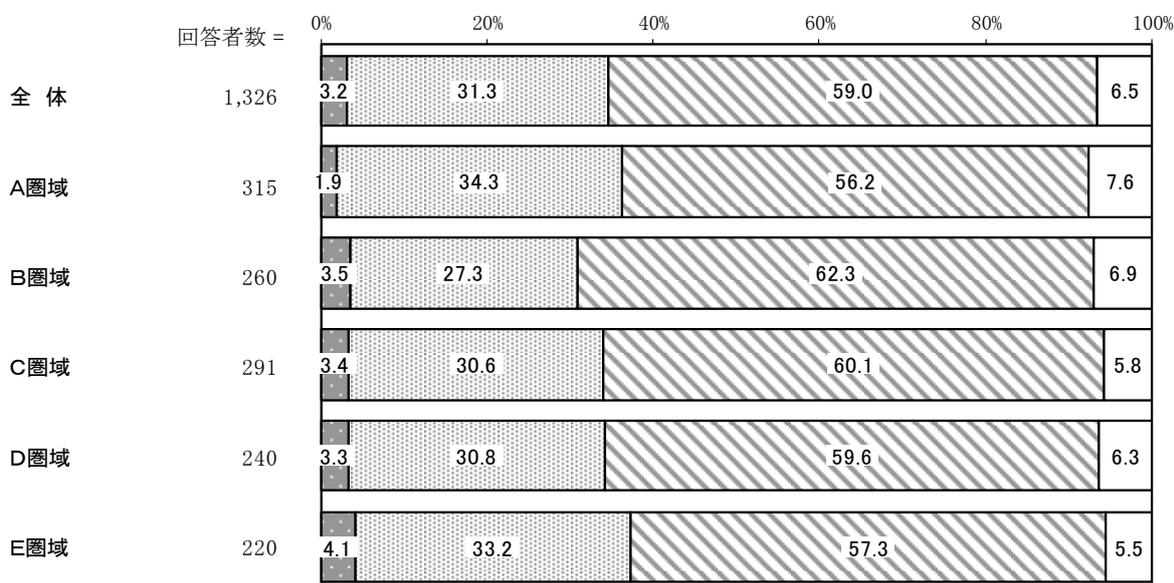
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、一般高齢者では、大きな差異はみられません。

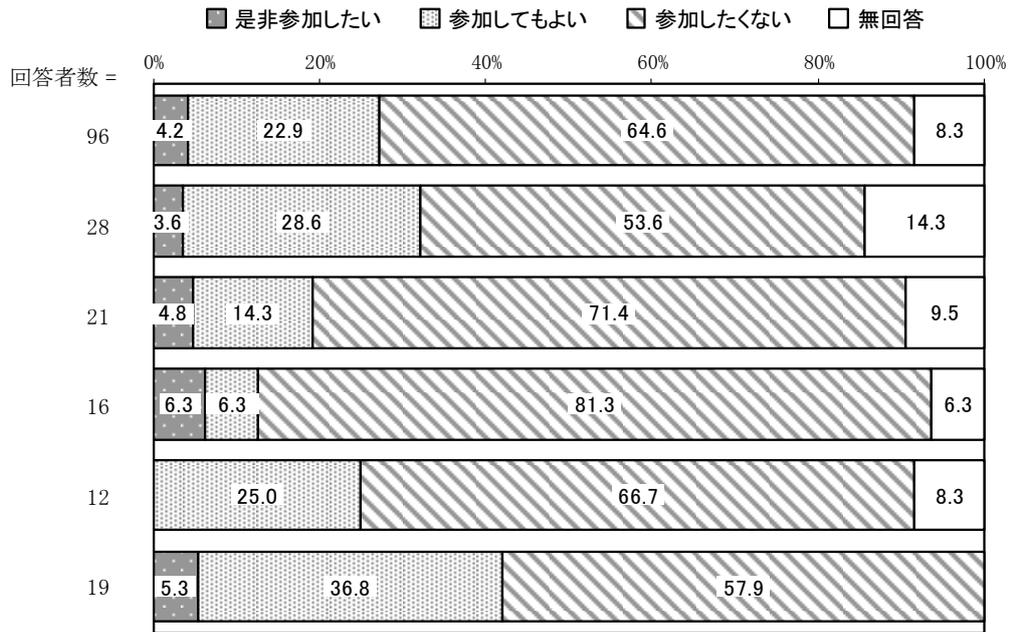
事業対象者では、『C圏域』で「参加したくない」の割合が高く、約8割となっています。また、『E圏域』で「参加してもよい」の割合が高く、3割半ばとなっています。

要支援認定者では、『B圏域』、『C圏域』で「参加したくない」の割合が高く、約8割となっています。

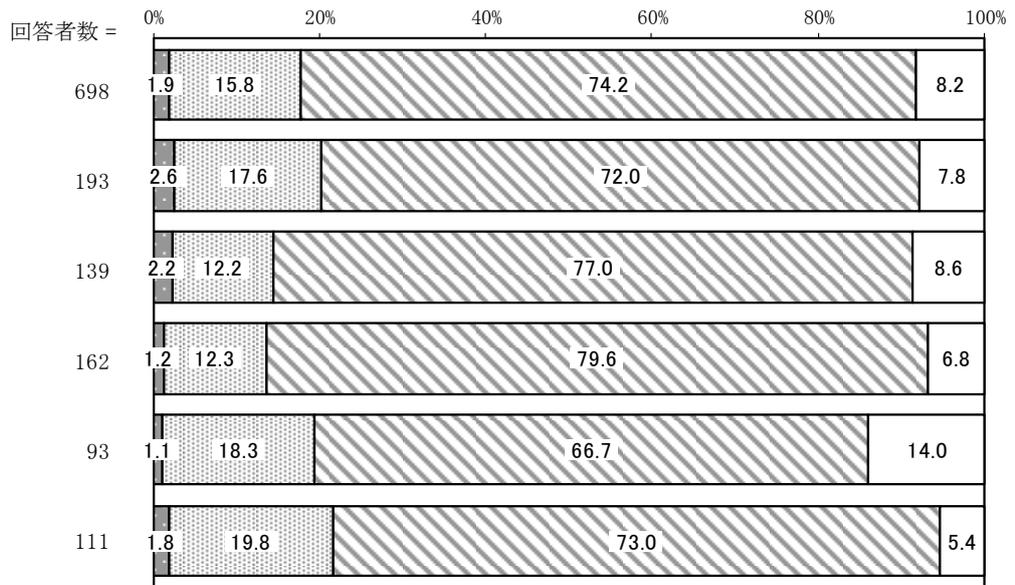
<一般高齢者>



<事業対象者>



<要支援認定者>



6 たすけあいについて

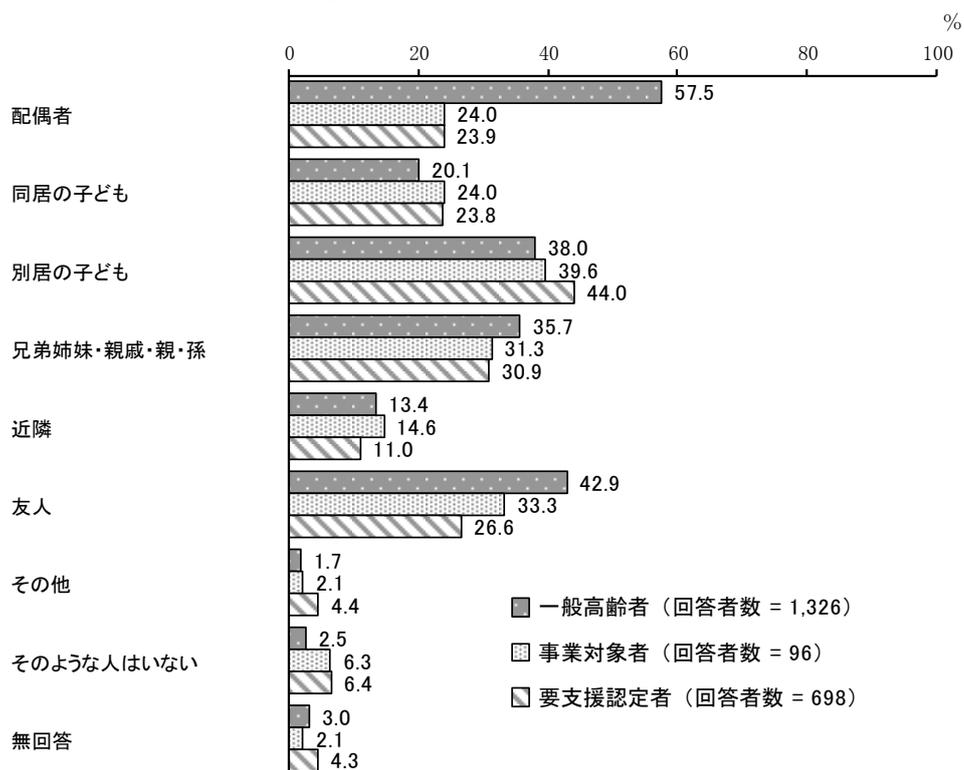
(1) たすけあいの状況

問6 (1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人。(いくつでも)

一般高齢者では、「配偶者」の割合が57.5%と最も高く、次いで「友人」の割合が42.9%、「別居の子ども」の割合が38.0%となっています。

事業対象者では、「別居の子ども」の割合が39.6%と最も高く、次いで「友人」の割合が33.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が31.3%となっています。

要支援認定者では、「別居の子ども」の割合が44.0%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が30.9%、「友人」の割合が26.6%となっています。



【家族構成別】

家族構成別でみると、一般高齢者では、『夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）』、『夫婦 2 人暮らし（配偶者 64 歳以下）』で「配偶者」の割合が、『息子・娘との 2 世帯』で「同居の子ども」の割合が高くなっています。また、『1 人暮らし』で「友人」、「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

事業対象者では、『夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）』で「配偶者」の割合が、『息子・娘との 2 世帯』で「同居の子ども」の割合が高く、約 8 割となっています。また、『1 人暮らし』で「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」の割合が高く、約 4 割となっています。

要支援認定者では、『夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）』で「配偶者」の割合が、『息子・娘との 2 世帯』で「同居の子ども」の割合が高く、約 7 割となっています。また、『夫婦 2 人暮らし（配偶者 64 歳以下）』で「近隣」の割合が高く、3 割半ばとなっています。

<一般高齢者>

単位：％

区分	有効回答数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	いない そのような人は	無回答
全体	1326	57.5	20.1	38.0	35.7	13.4	42.9	1.7	2.5	3.0
1 人暮らし	226	1.8	1.8	43.4	41.6	18.6	51.3	4.0	7.1	4.9
夫婦 2 人暮らし(配偶者 65 歳以上)	555	80.9	4.1	46.5	33.3	12.8	43.4	0.4	1.1	1.8
夫婦 2 人暮らし(配偶者 64 歳以下)	55	78.2	14.5	23.6	23.6	12.7	29.1	3.6	3.6	3.6
息子・娘との 2 世帯	236	58.5	57.2	28.0	35.2	12.3	36.4	0.4	2.1	3.4
その他	203	50.7	41.4	28.1	40.4	11.8	45.3	4.4	1.5	2.5

<事業対象者>

単位：％

区分	有効回答数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	いない そのような人は	無回答
全体	96	24.0	24.0	39.6	31.3	14.6	33.3	2.1	6.3	2.1
1 人暮らし	39	—	—	51.3	38.5	15.4	43.6	5.1	5.1	2.6
夫婦 2 人暮らし(配偶者 65 歳以上)	18	83.3	—	38.9	11.1	16.7	33.3	—	5.6	—
*夫婦 2 人暮らし(配偶者 64 歳以下)	2	—	—	50.0	50.0	50.0	—	—	50.0	—
息子・娘との 2 世帯	18	27.8	77.8	33.3	22.2	11.1	33.3	—	5.6	—
その他	13	23.1	53.8	15.4	46.2	7.7	15.4	—	7.7	—

※有効回答数が少ないため、参考とします。

<要支援認定者>

単位：％

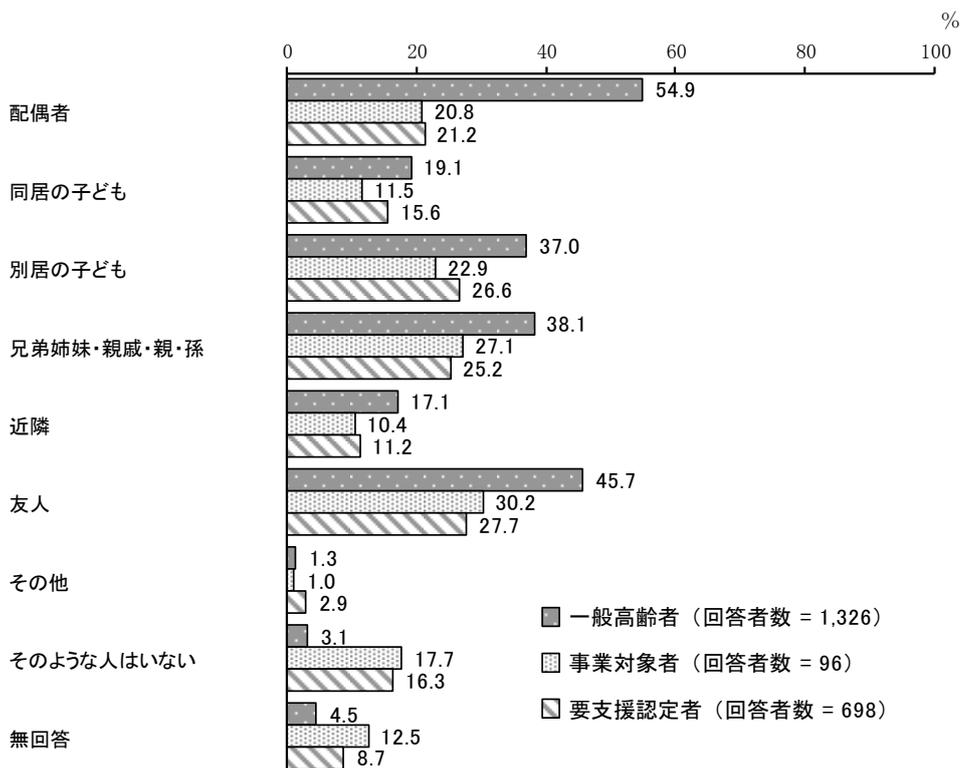
区分	有効回答数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	そのような人は いない	無回答
全体	698	23.9	23.8	44.0	30.9	11.0	26.6	4.4	6.4	4.3
1人暮らし	240	0.4	1.3	53.3	32.5	17.9	33.3	5.4	8.8	2.5
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	169	70.4	7.1	42.6	24.9	4.1	23.7	3.0	4.1	3.6
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	14	28.6	7.1	28.6	35.7	35.7	28.6	7.1	—	21.4
息子・娘との2世帯	154	15.6	68.2	39.6	35.7	11.7	23.4	3.2	5.2	1.9
その他	83	15.7	43.4	38.6	30.1	2.4	20.5	6.0	6.0	7.2

問6(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人。(いくつでも)

一般高齢者では、「配偶者」の割合が54.9%と最も高く、次いで「友人」の割合が45.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が38.1%となっています。

事業対象者では、「友人」の割合が30.2%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が27.1%、「別居の子ども」の割合が22.9%となっています。

要支援認定者では、「友人」の割合が27.7%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が26.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が25.2%となっています。



【家族構成別】

家族構成別でみると、一般高齢者では、『夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）』、『夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）』で「配偶者」、「別居の子ども」の割合が、『息子・娘との2世帯』で「同居の子ども」の割合が高くなっています。また、『1人暮らし』で「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」、「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

事業対象者では、『夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）』で「配偶者」の割合が、『息子・娘との2世帯』で「同居の子ども」の割合が高くなっています。また、『1人暮らし』で「そのような人はいない」の割合が高く、2割半ばとなっています。

要支援認定者では、『夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）』で「配偶者」の割合が、『息子・娘との2世帯』で「同居の子ども」の割合が、『夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）』で「近隣」の割合が高くなっています。また、『1人暮らし』で「そのような人はいない」の割合が高く、約2割となっています。

<一般高齢者>

単位：%

区分	有効回答数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1326	54.9	19.1	37.0	38.1	17.1	45.7	1.3	3.1	4.5
1人暮らし	226	1.3	2.7	35.4	44.7	20.8	56.6	3.5	6.2	6.6
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	555	75.5	4.3	41.8	35.5	18.4	46.3	0.5	1.6	4.1
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	55	76.4	9.1	41.8	23.6	14.5	30.9	1.8	1.8	3.6
息子・娘との2世帯	236	59.3	54.7	31.8	39.4	14.8	37.3	0.4	3.0	3.4
その他	203	50.7	38.4	33.0	42.4	14.3	47.3	1.5	3.9	3.4

<事業対象者>

単位：％

区分	有効回答数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	その いない ような人は	無回答
全体	96	20.8	11.5	22.9	27.1	10.4	30.2	1.0	17.7	12.5
1人暮らし	39	2.6	—	23.1	28.2	10.3	38.5	—	25.6	10.3
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	18	66.7	—	33.3	16.7	11.1	27.8	—	11.1	16.7
※夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	2	—	—	—	50.0	50.0	—	—	50.0	—
息子・娘との2世帯	18	22.2	33.3	22.2	16.7	5.6	33.3	—	11.1	16.7
その他	13	15.4	30.8	7.7	46.2	—	7.7	7.7	15.4	7.7

※有効回答数が少ないため、参考とします。

<要支援認定者>

単位：％

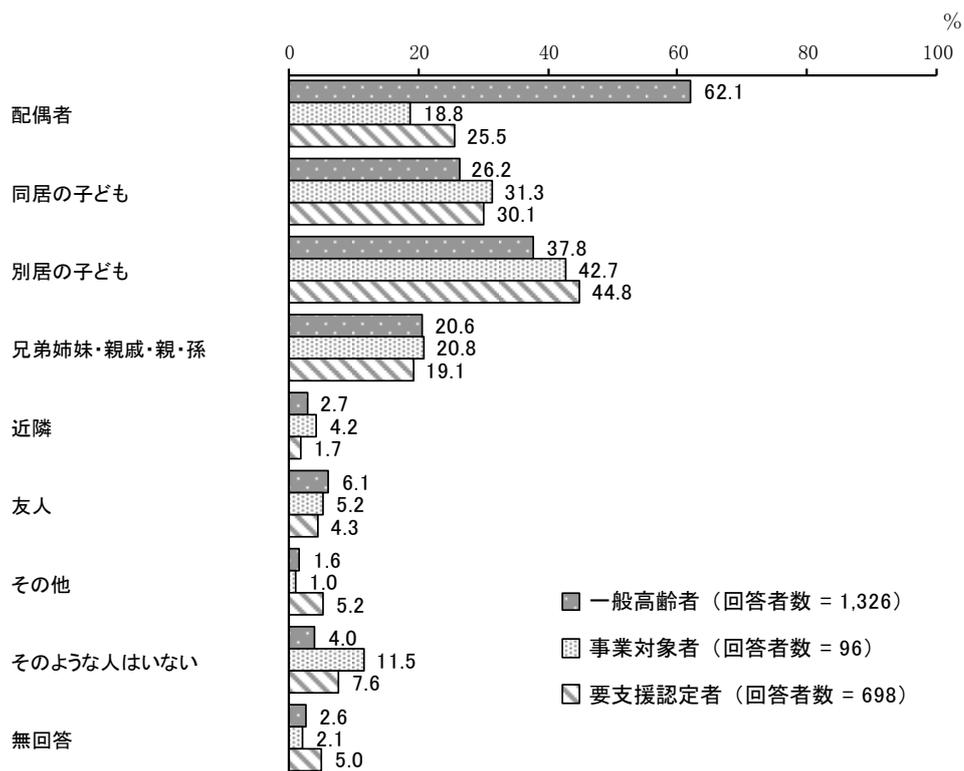
区分	有効回答数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	その いない ような人は	無回答
全体	698	21.2	15.6	26.6	25.2	11.2	27.7	2.9	16.3	8.7
1人暮らし	240	0.4	0.8	30.0	24.6	17.5	31.3	3.3	20.8	8.8
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	169	62.7	4.7	27.8	23.1	4.7	23.7	3.0	10.1	7.1
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	14	35.7	7.1	21.4	35.7	35.7	35.7	—	7.1	21.4
息子・娘との2世帯	154	13.0	41.6	25.3	30.5	9.7	26.6	1.9	16.9	7.1
その他	83	12.0	31.3	20.5	21.7	7.2	22.9	3.6	19.3	9.6

問6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。
(いくつでも)

一般高齢者では、「配偶者」の割合が62.1%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が37.8%、「同居の子ども」の割合が26.2%となっています。

事業対象者では、「別居の子ども」の割合が42.7%と最も高く、次いで「同居の子ども」の割合が31.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が20.8%となっています。

要支援認定者では、「別居の子ども」の割合が44.8%と最も高く、次いで「同居の子ども」の割合が30.1%、「配偶者」の割合が25.5%となっています。



【家族構成別】

家族構成別でみると、一般高齢者では、『夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）』、『夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）』で「配偶者」の割合が、『息子・娘との2世帯』で「同居の子ども」の割合が高くなっています。また、『1人暮らし』で「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」、「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

事業対象者では、『夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）』で「配偶者」の割合が、『息子・娘との2世帯』で「同居の子ども」の割合が高くなっています。また、『1人暮らし』で「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」、「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

要支援認定者では、『夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）』で「配偶者」の割合が、『息子・娘との2世帯』で「同居の子ども」の割合が高くなっています。また、『1人暮らし』で「別居の子ども」、「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

<一般高齢者>

単位：％

区分	有効回答数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全体	1326	62.1	26.2	37.8	20.6	2.7	6.1	1.6	4.0	2.6
1人暮らし	226	2.2	3.5	49.6	30.5	8.0	15.5	2.7	15.0	3.5
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	555	87.0	4.9	44.9	17.7	2.0	4.5	0.7	1.8	2.5
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	55	89.1	20.0	27.3	20.0	—	1.8	1.8	—	1.8
息子・娘との2世帯	236	63.1	75.0	24.2	20.3	1.3	4.7	0.4	0.8	2.1
その他	203	54.7	49.8	26.6	19.7	1.5	3.9	3.4	3.4	1.5

<事業対象者>

単位：％

区分	有効回答数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全体	96	18.8	31.3	42.7	20.8	4.2	5.2	1.0	11.5	2.1
1人暮らし	39	—	2.6	59.0	23.1	5.1	12.8	2.6	15.4	2.6
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	18	72.2	—	33.3	16.7	5.6	—	—	11.1	—
※夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	2	—	—	50.0	50.0	—	—	—	50.0	—
息子・娘との2世帯	18	16.7	94.4	27.8	11.1	—	—	—	—	—
その他	13	15.4	69.2	30.8	30.8	—	—	—	7.7	—

※有効回答数が少ないため、参考とします。

<要支援認定者>

単位：％

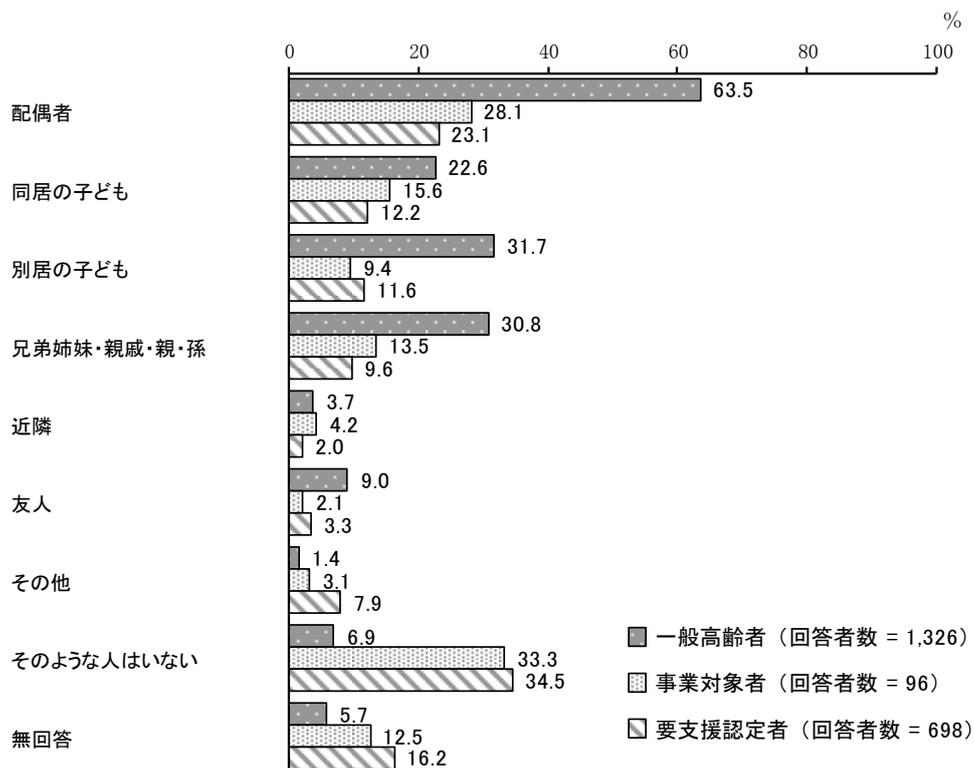
区分	有効回答数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	そのような人は いない	無回答
全体	698	25.5	30.1	44.8	19.1	1.7	4.3	5.2	7.6	5.0
1人暮らし	240	1.3	2.1	57.1	18.3	2.5	5.0	5.8	15.4	6.7
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	169	74.6	5.3	43.8	16.6	1.2	3.0	3.6	4.1	1.2
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	14	50.0	14.3	21.4	21.4	7.1	—	—	7.1	21.4
息子・娘との2世帯	154	15.6	83.8	38.3	21.4	1.9	4.5	3.2	1.9	2.6
その他	83	14.5	57.8	34.9	21.7	—	4.8	10.8	1.2	7.2

問6(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人。(いくつでも)

一般高齢者では、「配偶者」の割合が63.5%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が31.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が30.8%となっています。

事業対象者では、「そのような人はいない」の割合が33.3%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が28.1%、「同居の子ども」の割合が15.6%となっています。

要支援認定者では、「そのような人はいない」の割合が34.5%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が23.1%、「同居の子ども」の割合が12.2%となっています。



【家族構成別】

家族構成別でみると、一般高齢者では、『夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）』、『夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）』で「配偶者」の割合が、『息子・娘との2世帯』で「同居の子ども」の割合が高くなっています。また、『1人暮らし』で「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」、「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

事業対象者では、『夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）』で「配偶者」の割合が、『息子・娘との2世帯』で「同居の子ども」の割合が高くなっています。また、『1人暮らし』で「そのような人はいない」の割合が高く、約5割となっています。

要支援認定者では、『夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）』で「配偶者」の割合が、『息子・娘との2世帯』で「同居の子ども」の割合が高くなっています。また、『1人暮らし』で「そのような人はいない」の割合が高く、約5割となっています。

<一般高齢者>

単位：％

区分	有効回答数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	いない そのような人は	無回答
全体	1326	63.5	22.6	31.7	30.8	3.7	9.0	1.4	6.9	5.7
1人暮らし	226	2.2	2.2	34.1	37.6	7.1	19.9	0.9	21.7	9.7
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	555	89.4	5.2	39.3	29.0	2.7	7.0	0.7	2.7	3.4
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	55	90.9	14.5	30.9	29.1	5.5	3.6	—	—	3.6
息子・娘との2世帯	236	63.6	61.0	21.6	28.4	3.4	7.6	0.4	5.1	6.8
その他	203	56.7	47.3	23.6	33.5	2.0	6.4	4.4	6.9	4.4

<事業対象者>

単位：％

区分	有効回答数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	いない そのような人は	無回答
全体	96	28.1	15.6	9.4	13.5	4.2	2.1	3.1	33.3	12.5
1人暮らし	39	2.6	5.1	12.8	17.9	5.1	2.6	5.1	51.3	17.9
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	18	83.3	—	11.1	5.6	5.6	5.6	—	5.6	11.1
*夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	2	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
息子・娘との2世帯	18	33.3	38.9	—	16.7	—	—	5.6	22.2	5.6
その他	13	30.8	30.8	7.7	15.4	—	—	—	38.5	—

※有効回答数が少ないため、参考とします。

<要支援認定者>

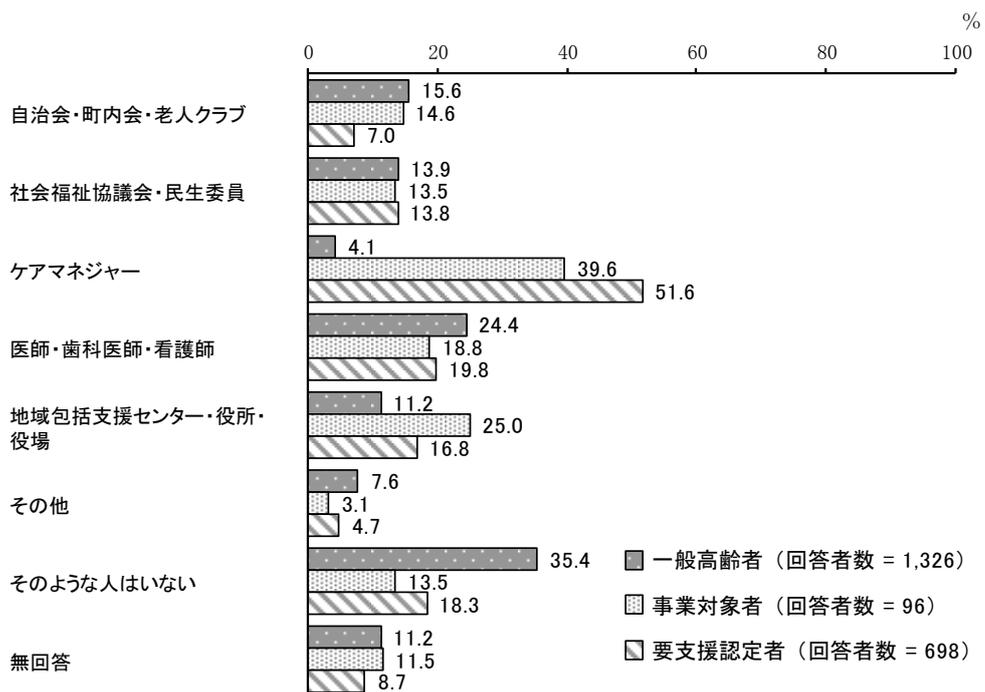
単位：％

区分	有効回答数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣	友人	その他	そのような人は いない	無回答
全体	698	23.1	12.2	11.6	9.6	2.0	3.3	7.9	34.5	16.2
1人暮らし	240	—	0.8	13.3	8.8	2.5	3.8	9.6	48.8	20.0
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	169	66.9	4.1	11.8	9.5	1.2	2.4	5.9	13.0	11.8
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	14	50.0	—	21.4	21.4	—	—	7.1	7.1	21.4
息子・娘との2世帯	154	14.9	31.8	9.7	11.0	1.3	3.9	7.8	41.6	8.4
その他	83	12.0	26.5	4.8	9.6	3.6	3.6	8.4	31.3	22.9

(2) 地域の相談窓口の活用状況

問6 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(いくつでも)

一般高齢者では、「そのような人はいない」の割合が35.4%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」の割合が24.4%、「自治会・町内会・老人クラブ」の割合が15.6%となっています。
事業対象者では、「ケアマネジャー」の割合が39.6%と最も高く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」の割合が25.0%、「医師・歯科医師・看護師」の割合が18.8%となっています。
要支援認定者では、「ケアマネジャー」の割合が51.6%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」の割合が19.8%、「そのような人はいない」の割合が18.3%となっています。



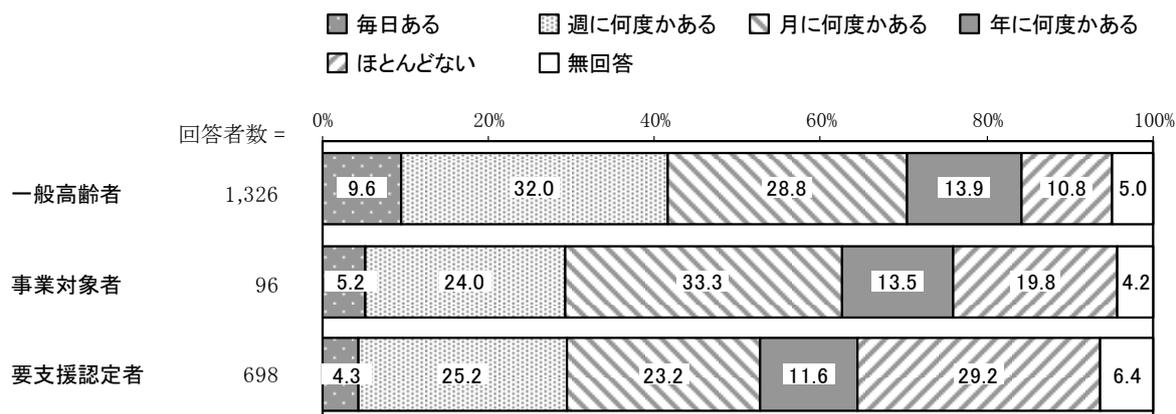
(3) 友人関係について

問6 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

一般高齢者では、「週に何度かある」の割合が32.0%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が28.8%、「年に何度かある」の割合が13.9%となっています。

事業対象者では、「月に何度かある」の割合が33.3%と最も高く、次いで「週に何度かある」の割合が24.0%、「ほとんどない」の割合が19.8%となっています。

要支援認定者では、「ほとんどない」の割合が29.2%と最も高く、次いで「週に何度かある」の割合が25.2%、「月に何度かある」の割合が23.2%となっています。

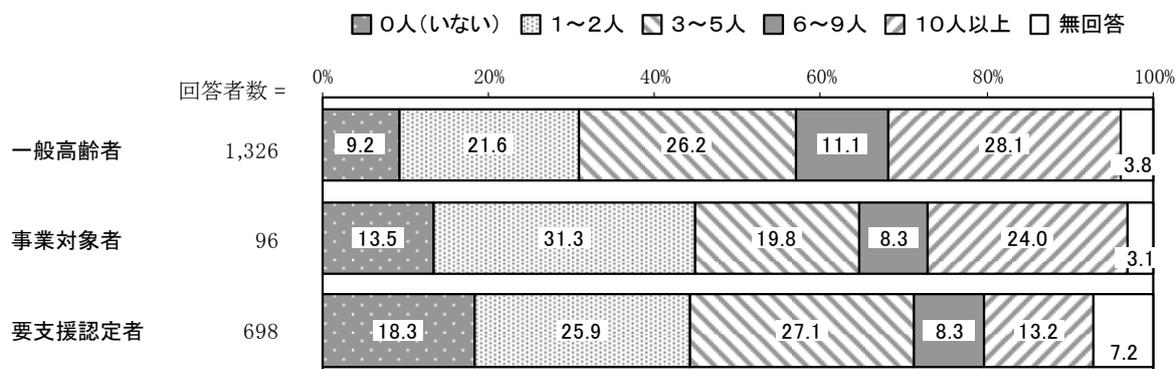


問6 (7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。 (同じ人には何度会っても1人と数えることとします)

一般高齢者では、「10人以上」の割合が28.1%と最も高く、次いで「3～5人」の割合が26.2%、「1～2人」の割合が21.6%となっています。

事業対象者では、「1～2人」の割合が31.3%と最も高く、次いで「10人以上」の割合が24.0%、「3～5人」の割合が19.8%となっています。

要支援認定者では、「3～5人」の割合が27.1%と最も高く、次いで「1～2人」の割合が25.9%、「0人(いない)」の割合が18.3%となっています。

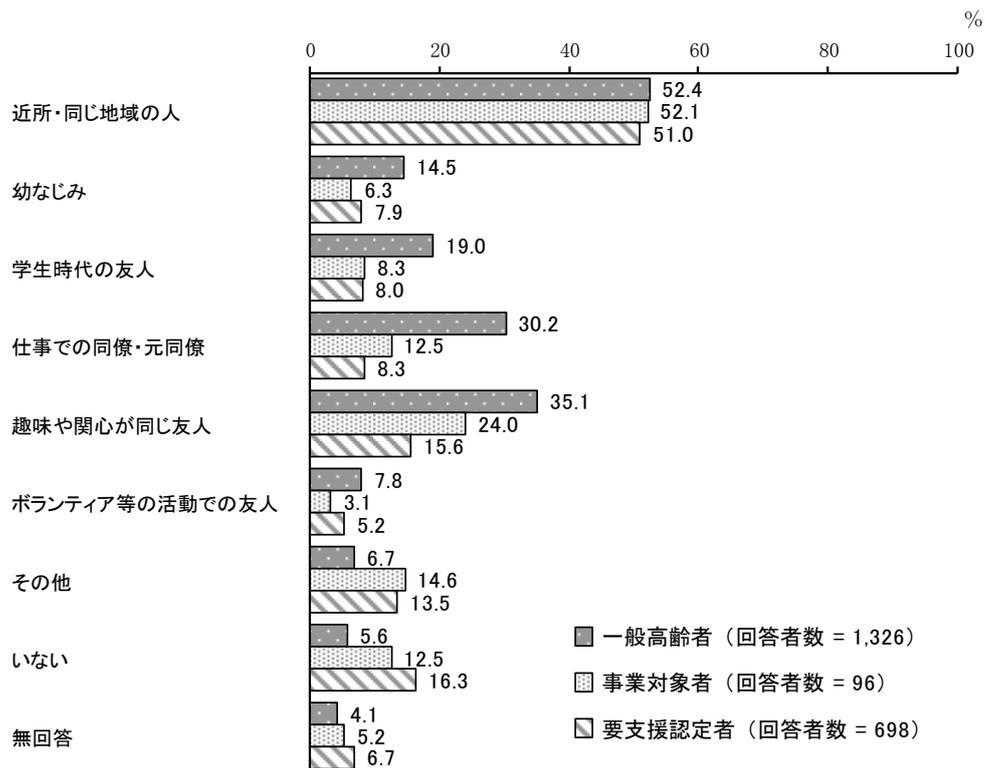


問6（8）よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（いくつでも）

一般高齢者では、「近所・同じ地域の人」の割合が52.4%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」の割合が35.1%、「仕事での同僚・元同僚」の割合が30.2%となっています。

事業対象者では、「近所・同じ地域の人」の割合が52.1%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」の割合が24.0%、「仕事での同僚・元同僚」、「いない」の割合が12.5%となっています。

要支援認定者では、「近所・同じ地域の人」の割合が51.0%と最も高く、次いで「いない」の割合が16.3%、「趣味や関心が同じ友人」の割合が15.6%となっています。



7 健康について

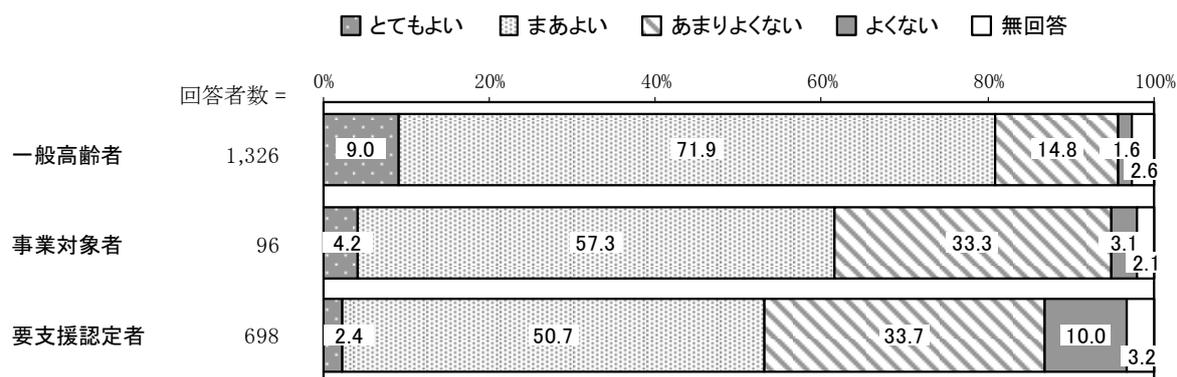
(1) 主観的健康感

問7 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

一般高齢者では、「とてもよい」と「まあよい」をあわせた“よい”の割合が80.9%、「あまりよくない」と「よくない」をあわせた“よくない”の割合が16.4%となっています。

事業対象者では，“よい”の割合が61.5%，“よくない”の割合が36.4%となっています。

要支援認定者では，“よい”の割合が53.1%，“よくない”の割合が43.7%となっています。



【性別，年齢別】

性別でみると，一般高齢者では，大きな差異はみられません。

事業対象者では，『男性』で“よくない”の割合が高く，4割半ばとなっています。

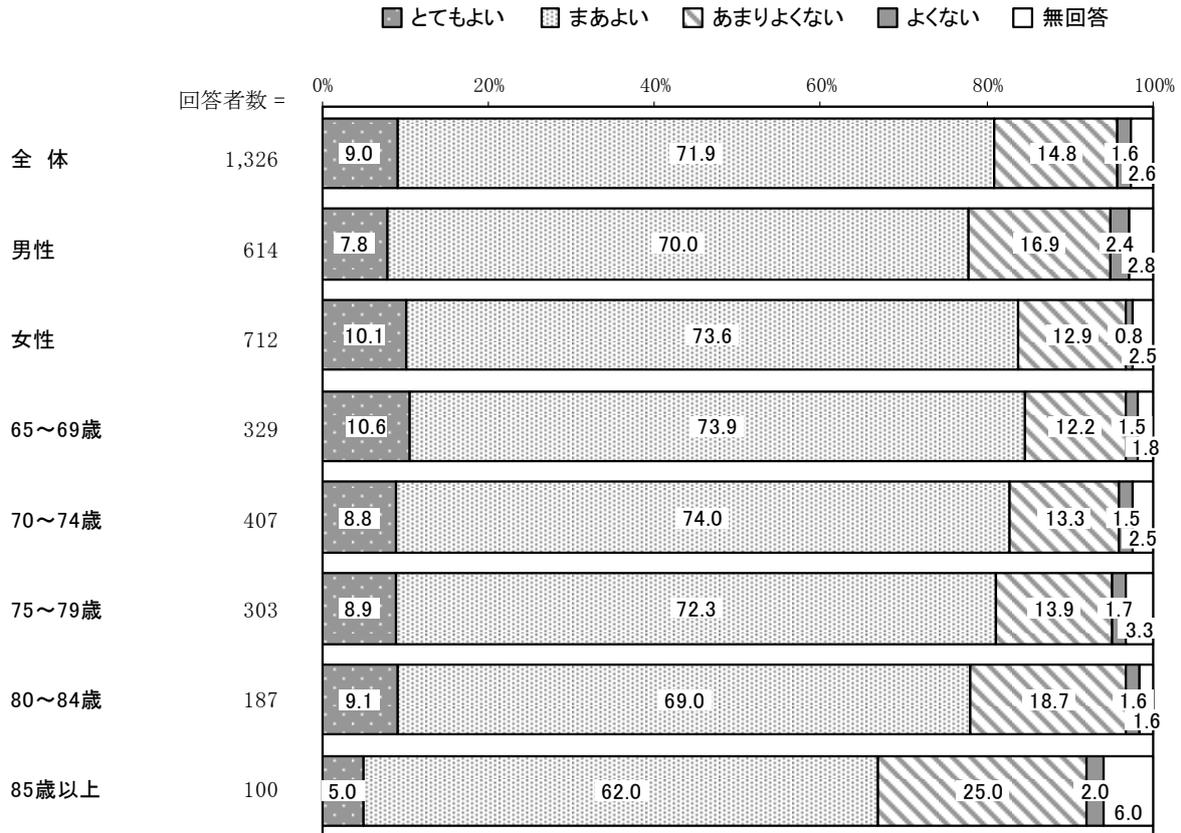
要支援認定者では，大きな差異はみられません。

年齢別でみると，一般高齢者では，年齢が上がるにつれ“よくない”の割合が高くなっており，85歳以上で約3割となっています。

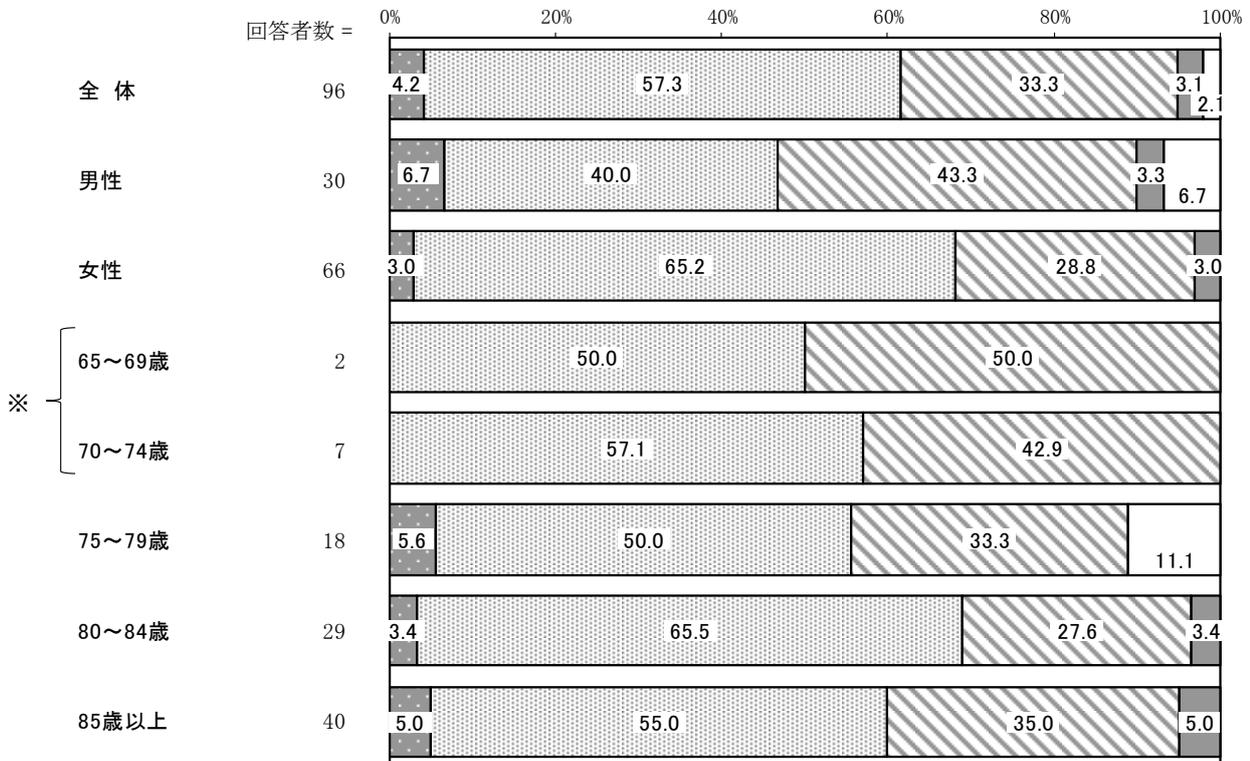
事業対象者では，『85歳以上』で“よくない”の割合が高く，4割となっています。

要支援認定者では，『65～69歳』，『75～79歳』で“よくない”の割合が高く，約5割となっています。

<一般高齢者>

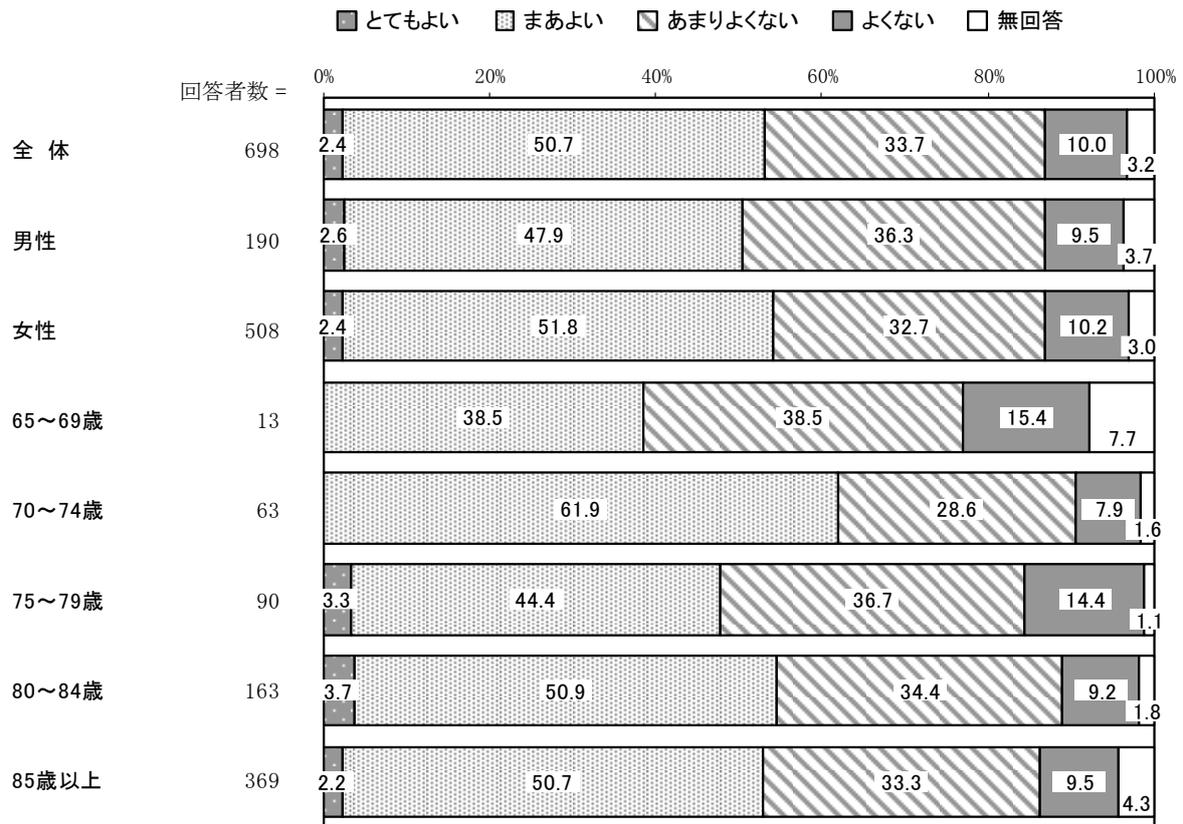


<事業対象者>



※有効回答数が少ないため参考とします。

<要支援認定者>



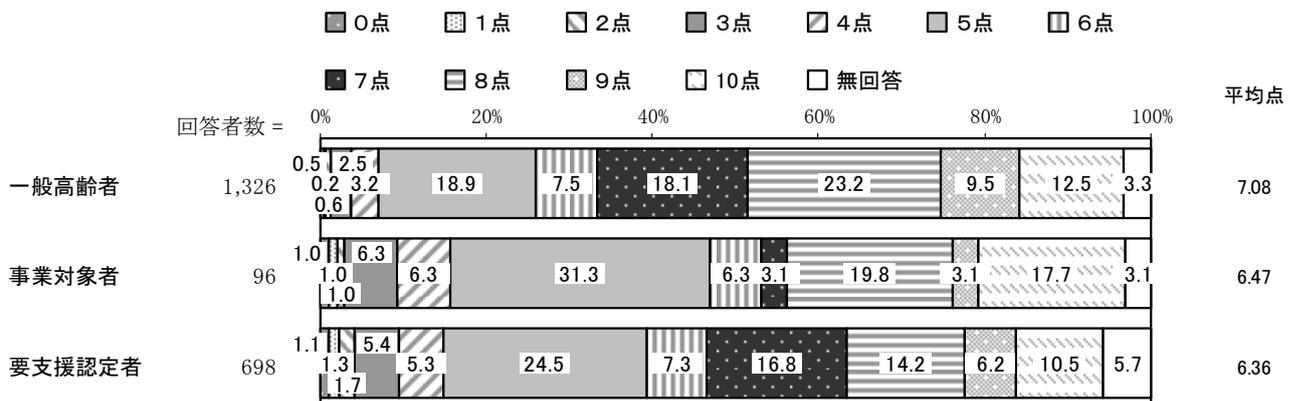
(2) 主観的幸福感

問7 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」を0点, 「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

一般高齢者では、「8点」の割合が23.2%と最も高く、次いで「5点」の割合が18.9%、「7点」の割合が18.1%となっています。

事業対象者では、「5点」の割合が31.3%と最も高く、次いで「8点」の割合が19.8%、「10点」の割合が17.7%となっています。

要支援認定者では、「5点」の割合が24.5%と最も高く、次いで「7点」の割合が16.8%、「8点」の割合が14.2%となっています。



【性別，年齢別】

性別でみると，一般高齢者では，大きな差異はみられません。

事業対象者では，『男性』では「4点」，「6点」の割合が高くなっています。また，『女性』では「10点」の割合が高くなっています。

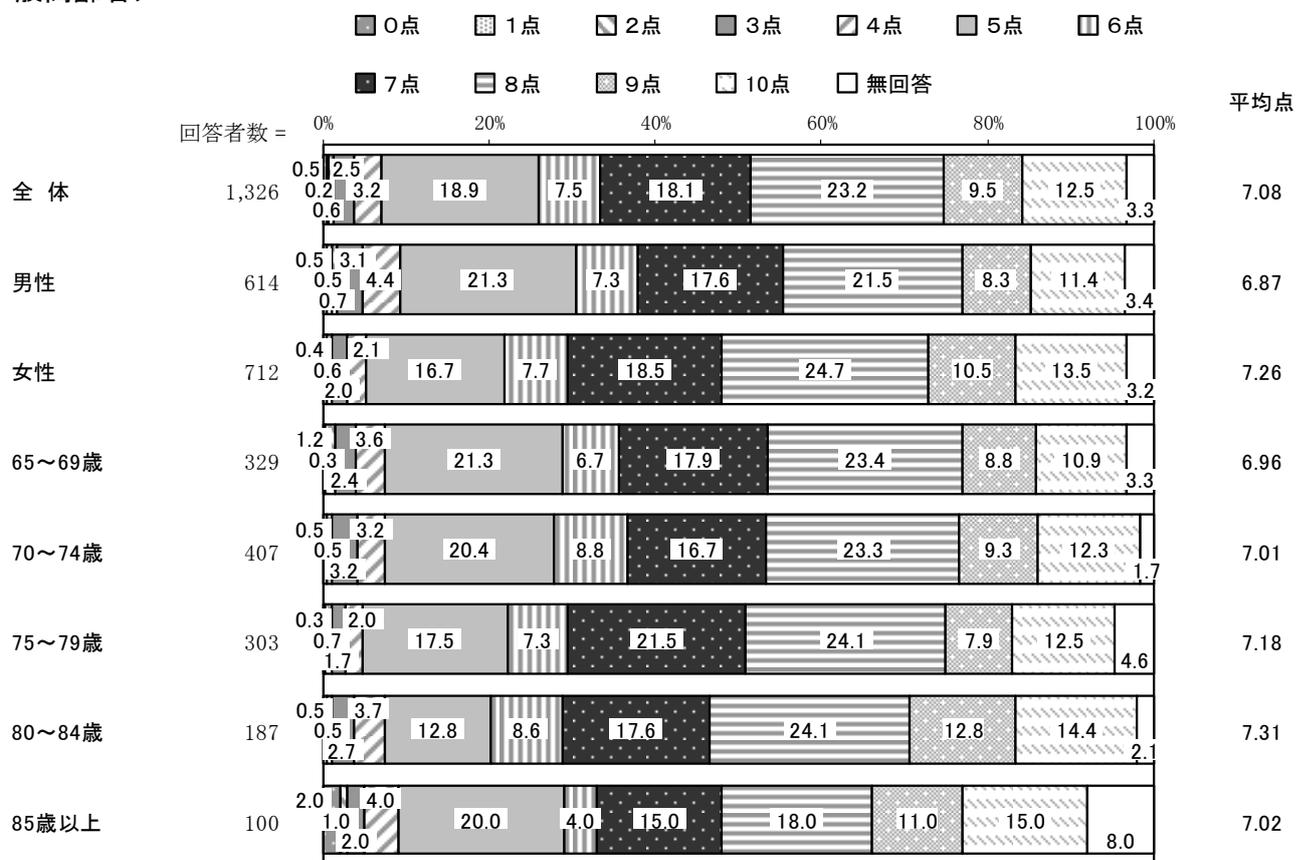
要支援認定者では，『男性』では「5点」の割合が高く，約3割となっています。

年齢別でみると，一般高齢者では，大きな差異はみられません。

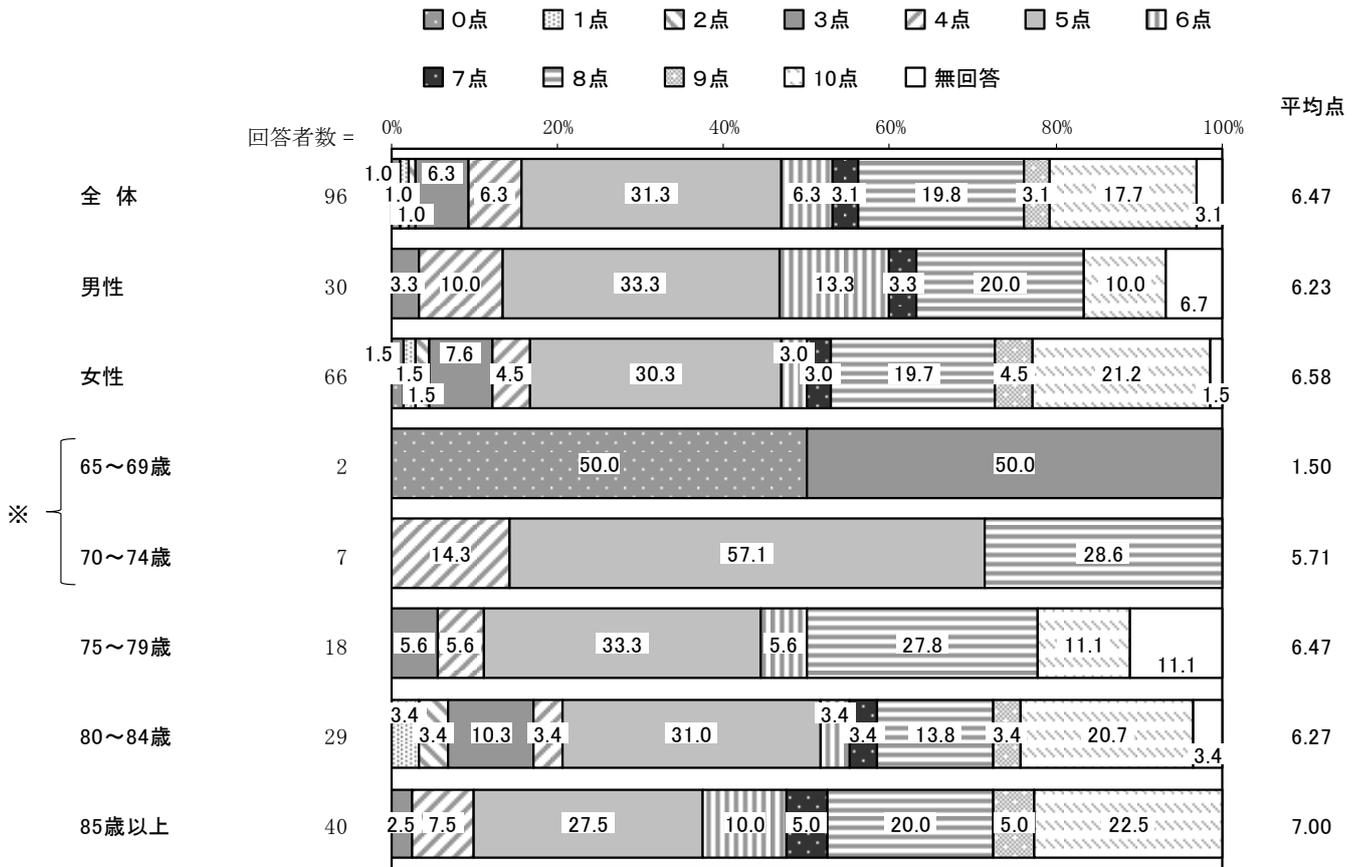
事業対象者では，『75～79歳』で「8点」の割合が高く，約3割となっています。

要支援認定者では，『75～79歳』で「3点」，「4点」の割合が高くなっています。

<一般高齢者>

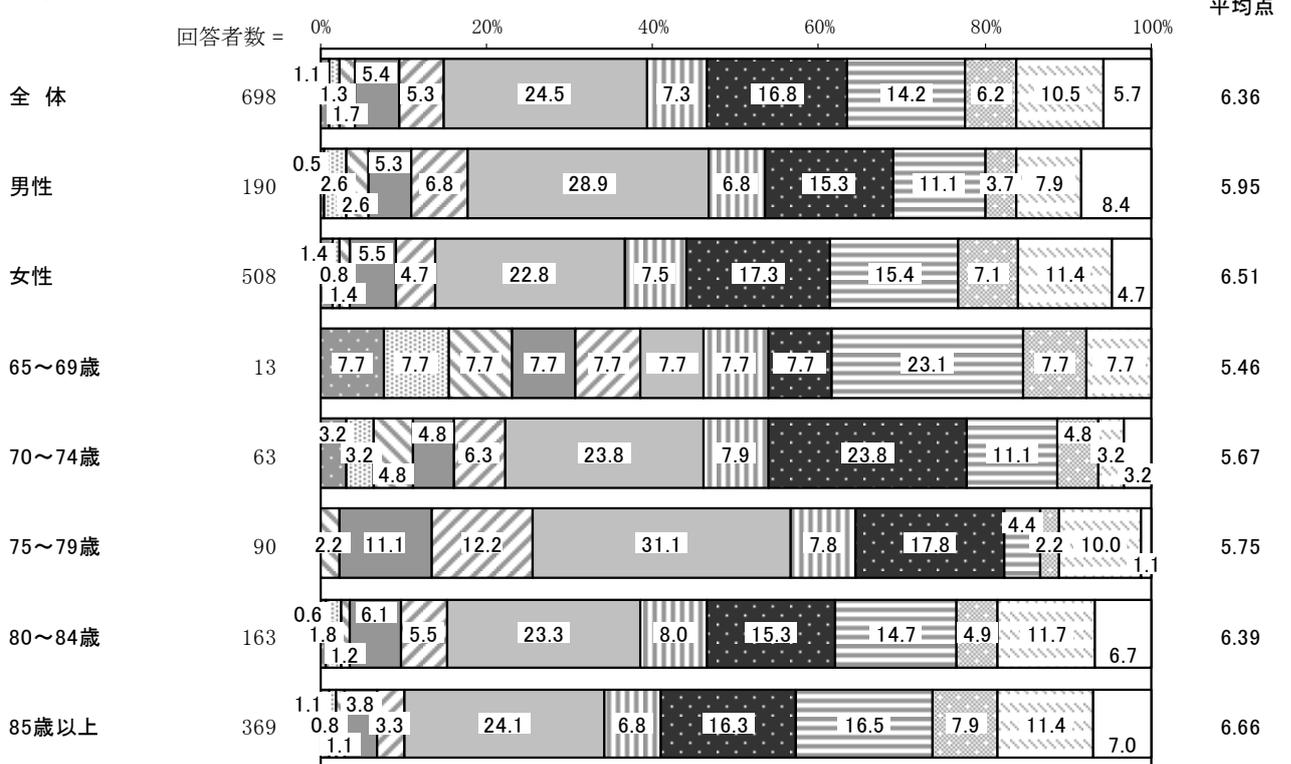


<事業対象者>



※有効回答数が少ないため参考とします。

<要支援認定者>



(3) うつ傾向について

問7 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

問7 (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

一般高齢者では、どちらの設問でも「はい」の割合より「いいえ」の割合が高くなっています。

事業対象者では、『(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。』で「いいえ」の割合より「はい」の割合が高く、約5割となっています。

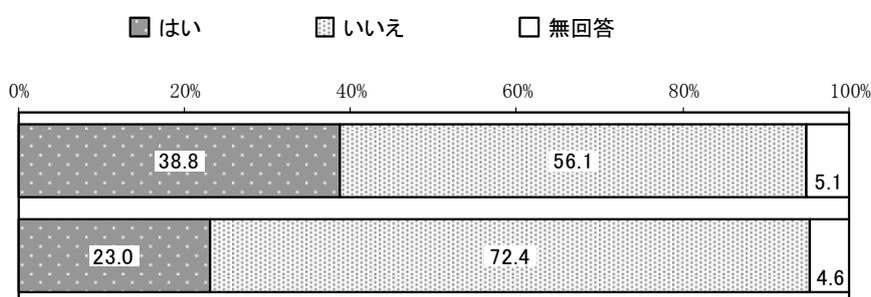
要支援認定者では、『(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。』で「いいえ」の割合より「はい」の割合が高く、5割半ばとなっています。

【一般高齢者】

回答者数 = 1,326

(3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

(4)この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

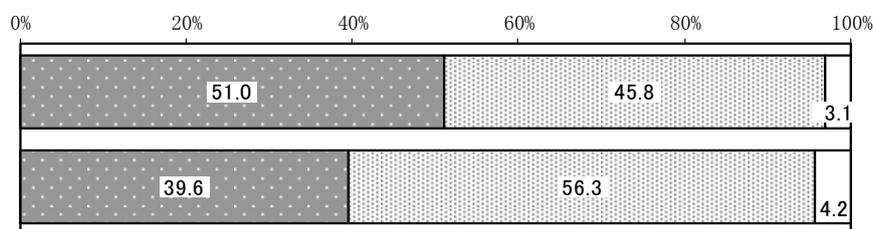


【事業対象者】

回答者数 = 96

(3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

(4)この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

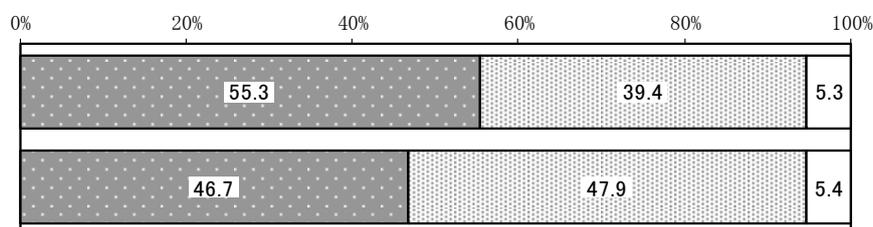


【要支援認定者】

回答者数 = 698

(3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

(4)この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。



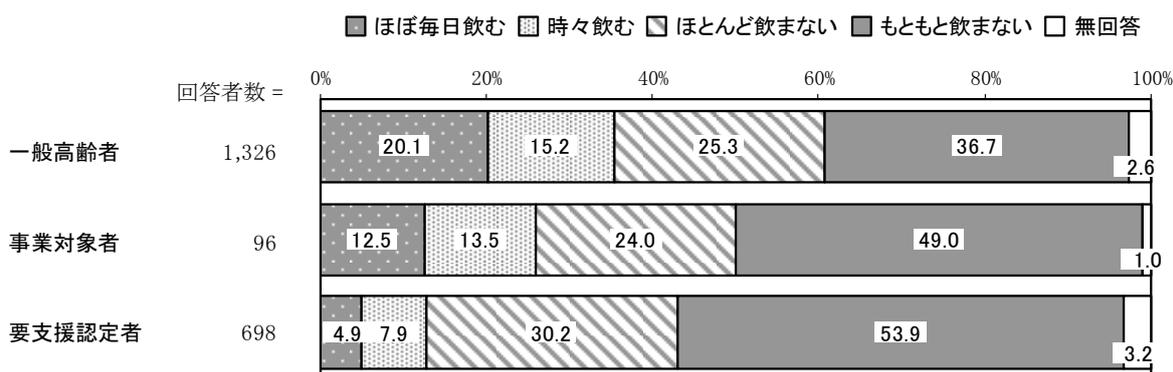
(4) 飲酒の習慣

問7 (5) お酒は飲みますか。

一般高齢者では、「もともと飲まない」の割合が36.7%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が25.3%、「ほぼ毎日飲む」の割合が20.1%となっています。

事業対象者では、「もともと飲まない」の割合が49.0%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が24.0%、「時々飲む」の割合が13.5%となっています。

要支援認定者では、「もともと飲まない」の割合が53.9%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が30.2%となっています。



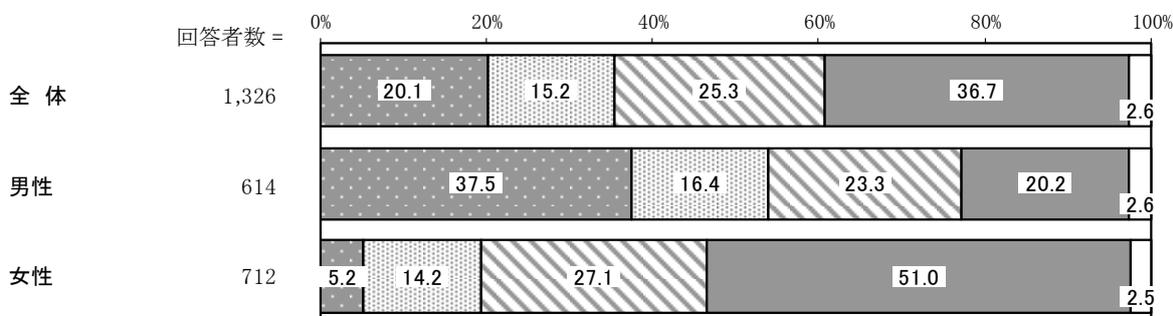
【性別】

性別でみると、一般高齢者では、『男性』では「ほぼ毎日飲む」の割合が高く、約4割となっています。また、『女性』では「もともと飲まない」の割合が高く、約5割となっています。

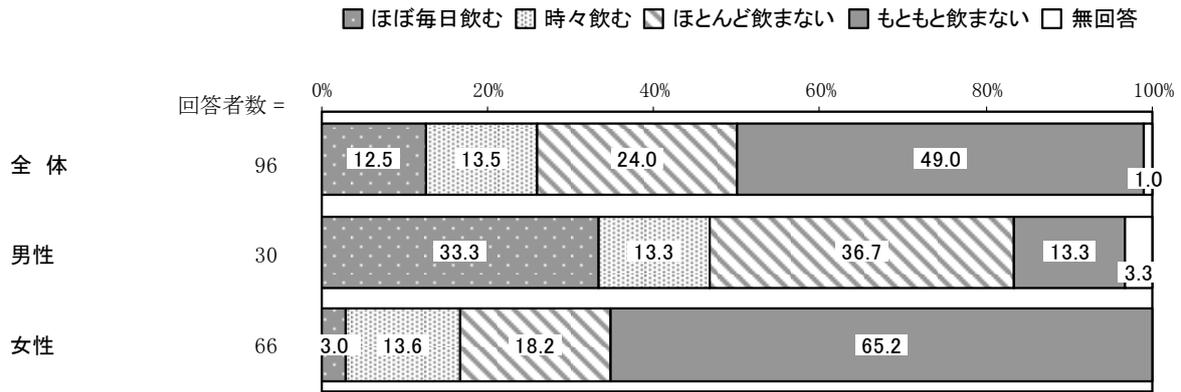
事業対象者では、『男性』では「ほぼ毎日飲む」、「ほとんど飲まない」の割合が高く、3割を超えています。また、『女性』では「もともと飲まない」の割合が高く、6割半ばとなっています。

要支援認定者では、『男性』では「ほぼ毎日飲む」、「時々飲む」、「ほとんど飲まない」の割合が高くなっています。また、『女性』では「もともと飲まない」の割合が高く、6割半ばとなっています。

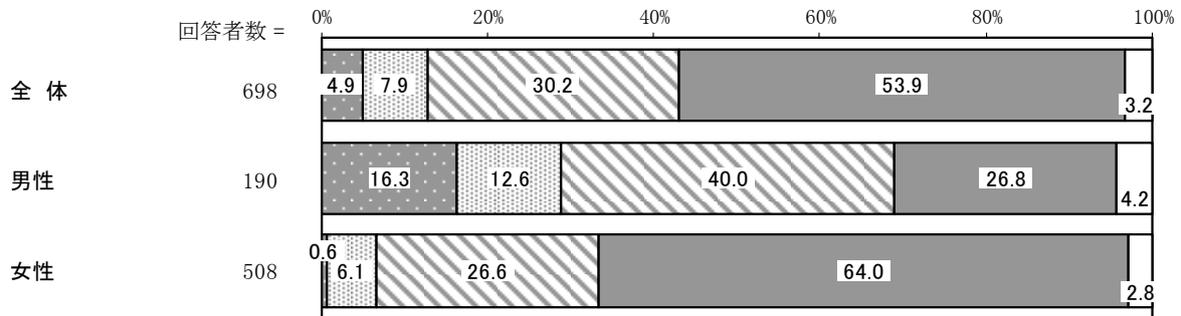
<一般高齢者>



<事業対象者>



<要支援認定者>



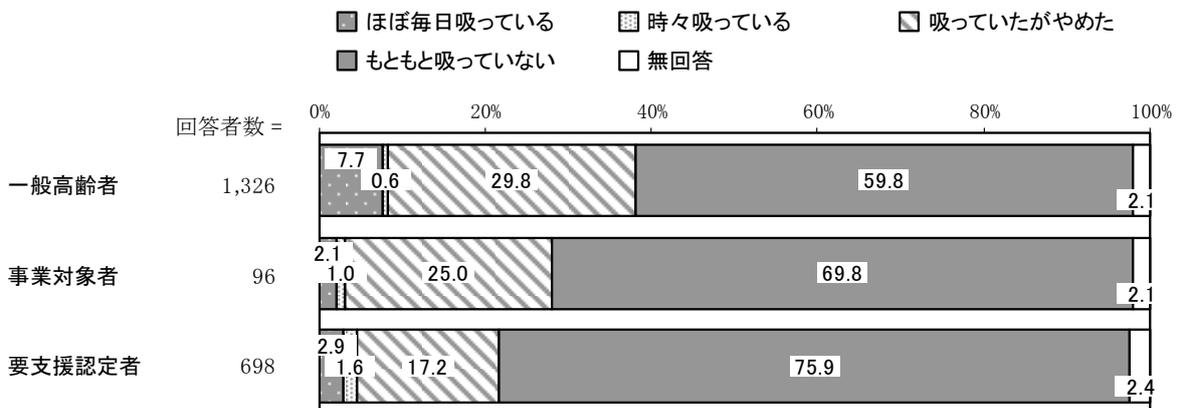
(5) 喫煙の習慣

問7 (6) タバコは吸っていますか。

一般高齢者では、「もともと吸っていない」の割合が 59.8%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 29.8%となっています。

事業対象者では、「もともと吸っていない」の割合が 69.8%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 25.0%となっています。

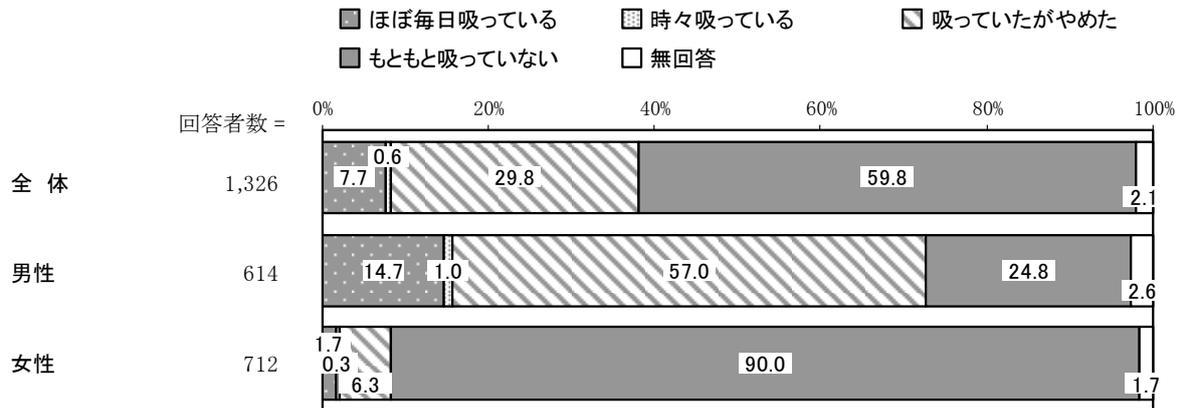
要支援認定者では、「もともと吸っていない」の割合が 75.9%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 17.2%となっています。



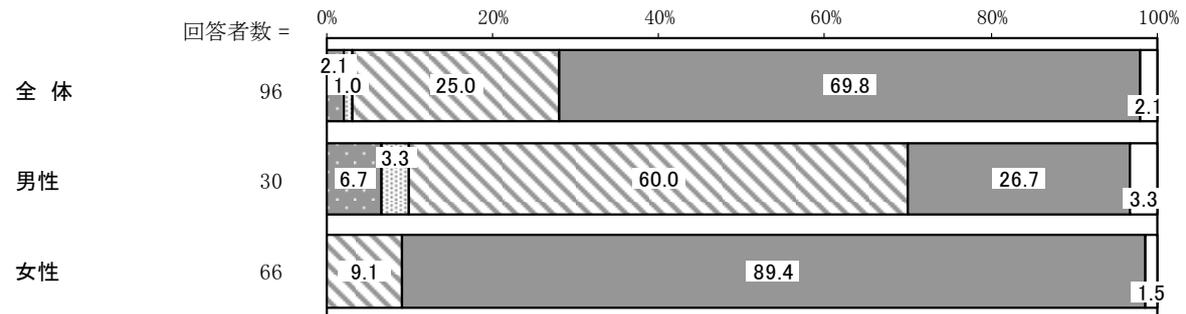
【性別】

性別でみると、一般高齢者、事業対象者、要支援認定者のいずれでも、『男性』では「ほぼ毎日吸っている」、「吸っていたがやめた」の割合が高くなっています。また、『女性』では「もともと吸っていない」の割合が高く、9割となっています。

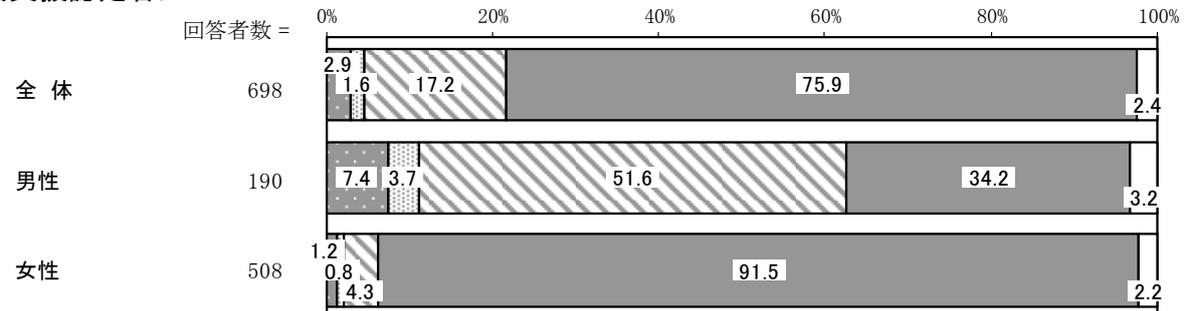
<一般高齢者>



<事業対象者>



<要支援認定者>



(6) 現在治療中、後遺症のある病気について

問7 (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

一般高齢者では、「高血圧」の割合が43.1%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が17.2%、「糖尿病」の割合が13.3%となっています。

事業対象者では、「高血圧」の割合が49.0%と最も高く、次いで「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が30.2%、「目の病気」の割合が27.1%となっています。

要支援認定者では、「高血圧」の割合が46.8%と最も高く、次いで「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が30.7%、「目の病気」の割合が27.5%となっています。



【性別】

性別でみると、一般高齢者では、男女ともに「高血圧」が高い割合ですが、『男性』では「心臓病」、「糖尿病」、「腎臓・前立腺の病気」の割合も高くなっています。また、『女性』では「高脂血症（脂質異常）」「筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等）」の割合も高くなっています。

事業対象者では、男女ともに「高血圧」が高い割合ですが、『男性』では「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、「糖尿病」、「腎臓・前立腺の病気」の割合も高くなっています。また、『女性』では「心臓病」、「高脂血症（脂質異常）」、「胃腸・肝臓・胆のうの病気」、「筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等）」、「認知症（アルツハイマー病等）」、「目の病気」の割合が高くなっています。

要支援認定者では、男女ともに「高血圧」が高い割合ですが、『男性』では「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、「心臓病」、「糖尿病」、「腎臓・前立腺の病気」、「目の病気」の割合が高くなっています。また、『女性』では「筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等）」、「外傷（転倒・骨折等）」、「目の病気」の割合が高くなっています。

<一般高齢者>

単位：％

区分	有効回答数（件）	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等）	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体	1326	12.5	43.1	3.5	8.9	13.3	12.6	6.0	8.0	8.9	11.9	2.4	4.3	1.0	0.8	0.9	0.7	17.2	5.4	8.4	7.3
男性	614	12.4	43.8	5.4	12.5	16.9	8.0	8.0	8.6	16.4	5.0	1.6	4.9	0.7	0.5	1.0	0.8	16.4	6.4	7.8	5.5
女性	712	12.6	42.4	1.8	5.8	10.3	16.6	4.4	7.4	2.4	17.8	3.1	3.8	1.3	1.1	0.8	0.6	17.8	4.5	9.0	8.8

<事業対象者>

単位：％

区分	有効回答数(件)	ない	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体	96	2.1	49.0	6.3	12.5	11.5	11.5	7.3	13.5	9.4	30.2	5.2	5.2	3.1	4.2	10.4	2.1	27.1	11.5	7.3	9.4
男性	30	3.3	40.0	13.3	10.0	16.7	—	6.7	6.7	20.0	6.7	—	3.3	—	3.3	6.7	3.3	16.7	13.3	—	13.3
女性	66	1.5	53.0	3.0	13.6	9.1	16.7	7.6	16.7	4.5	40.9	7.6	6.1	4.5	4.5	12.1	1.5	31.8	10.6	10.6	7.6

<要支援認定者>

単位：％

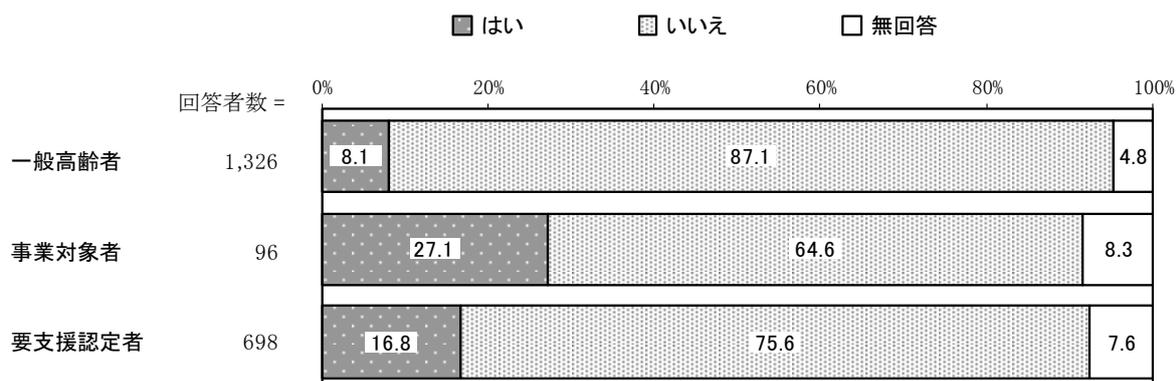
区分	有効回答数(件)	ない	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体	698	1.6	46.8	12.5	18.3	18.6	9.3	10.2	8.9	10.5	30.7	14.9	5.9	2.6	2.4	5.3	3.9	27.5	12.6	7.7	5.0
男性	190	1.1	42.1	26.8	21.6	25.3	6.8	15.3	8.9	24.7	14.2	9.5	9.5	1.6	1.1	9.5	4.2	23.7	11.6	8.9	4.2
女性	508	1.8	48.6	7.1	17.1	16.1	10.2	8.3	8.9	5.1	36.8	16.9	4.5	3.0	3.0	3.7	3.7	28.9	13.0	7.3	5.3

8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状について

問8 (1) 認知症の症状がある、または、家族に認知症の症状がある人がいますか。

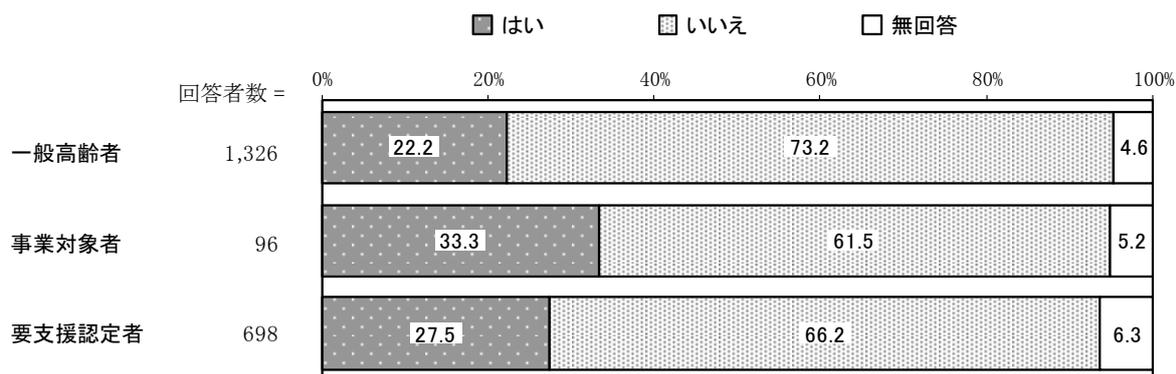
一般高齢者では、「はい」の割合が8.1%、「いいえ」の割合が87.1%となっています。
事業対象者では、「はい」の割合が27.1%、「いいえ」の割合が64.6%となっています。
要支援認定者では、「はい」の割合が16.8%、「いいえ」の割合が75.6%となっています。



(2) 認知症の相談窓口について

問8 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

一般高齢者では、「はい」の割合が22.2%、「いいえ」の割合が73.2%となっています。
事業対象者では、「はい」の割合が33.3%、「いいえ」の割合が61.5%となっています。
要支援認定者では、「はい」の割合が27.5%、「いいえ」の割合が66.2%となっています。



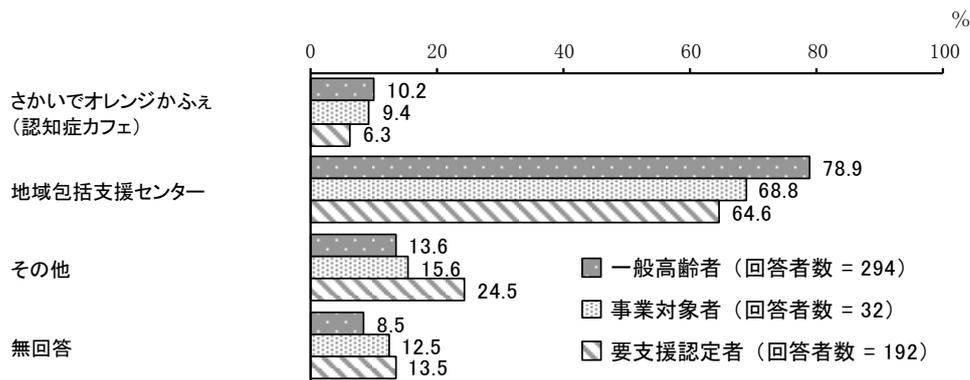
(2) で「はい」のかたのみ

問8 相談窓口で知っているところはどこですか。(いくつでも)

一般高齢者では、「地域包括支援センター」の割合が78.9%、「さかいでオレンジかふえ（認知症カフェ）」の割合が10.2%となっています。

事業対象者では、「地域包括支援センター」の割合が68.8%、「さかいでオレンジかふえ（認知症カフェ）」の割合が9.4%となっています。

要支援認定者では、「地域包括支援センター」の割合が64.6%、「さかいでオレンジかふえ（認知症カフェ）」の割合が6.3%となっています。



9 在宅医療・介護について

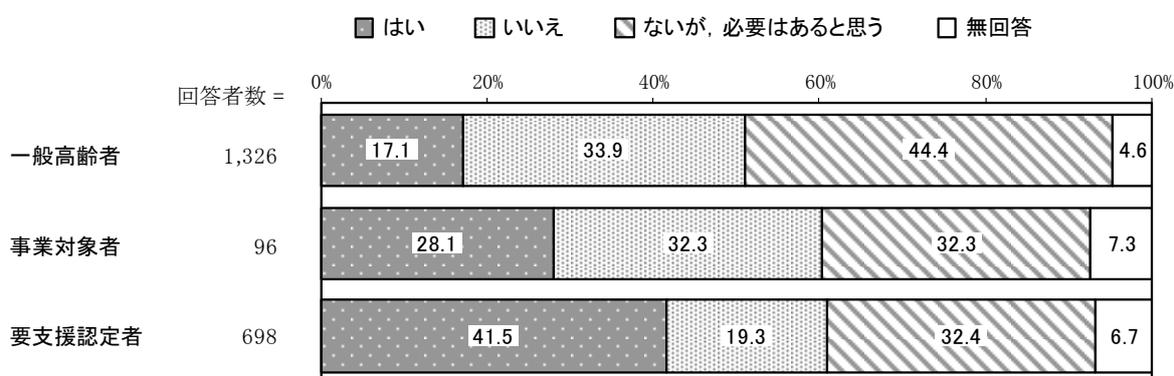
(1) 治療・ケアに関する家族間の相談

問9 (1) あなたは、自分の希望する治療やケアについて、家族と話し合ったことがありますか。

一般高齢者では、「ないが、必要はあると思う」の割合が44.4%と最も高く、次いで「いいえ」の割合が33.9%、「はい」の割合が17.1%となっています。

事業対象者では、「いいえ」、「ないが、必要はあると思う」の割合が32.3%と最も高く、次いで「はい」の割合が28.1%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が41.5%と最も高く、次いで「ないが、必要はあると思う」の割合が32.4%、「いいえ」の割合が19.3%となっています。



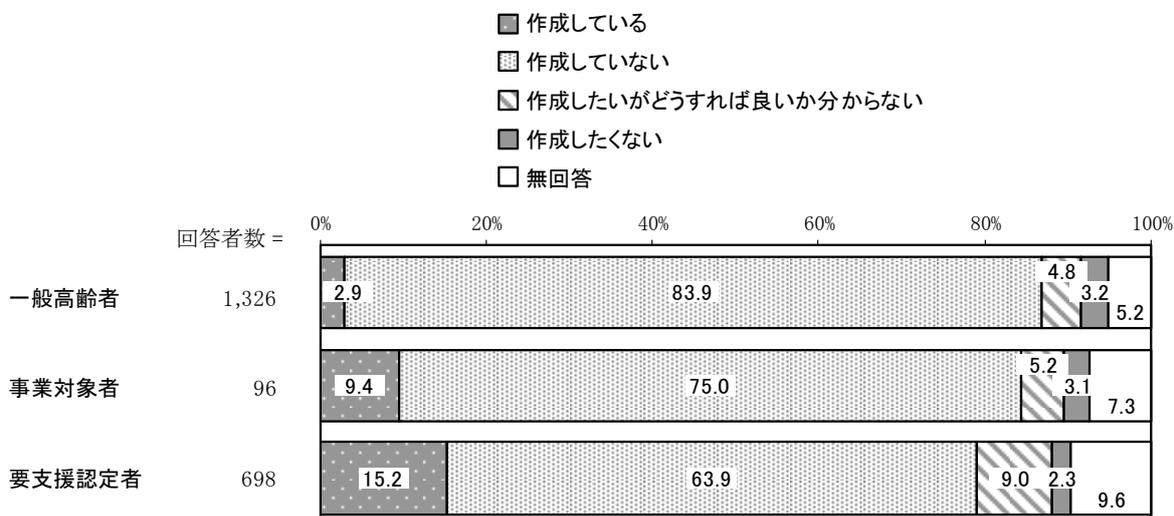
(2) 治療・ケアに関する書面作成

問9 (2) あなたは、自分の希望する治療やケアについて、書面を作成していますか

一般高齢者では、「作成していない」の割合が83.9%と最も高くなっています。

事業対象者では、「作成していない」の割合が75.0%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「作成していない」の割合が63.9%と最も高く、次いで「作成している」の割合が15.2%となっています。



10 介護・福祉サービスについて

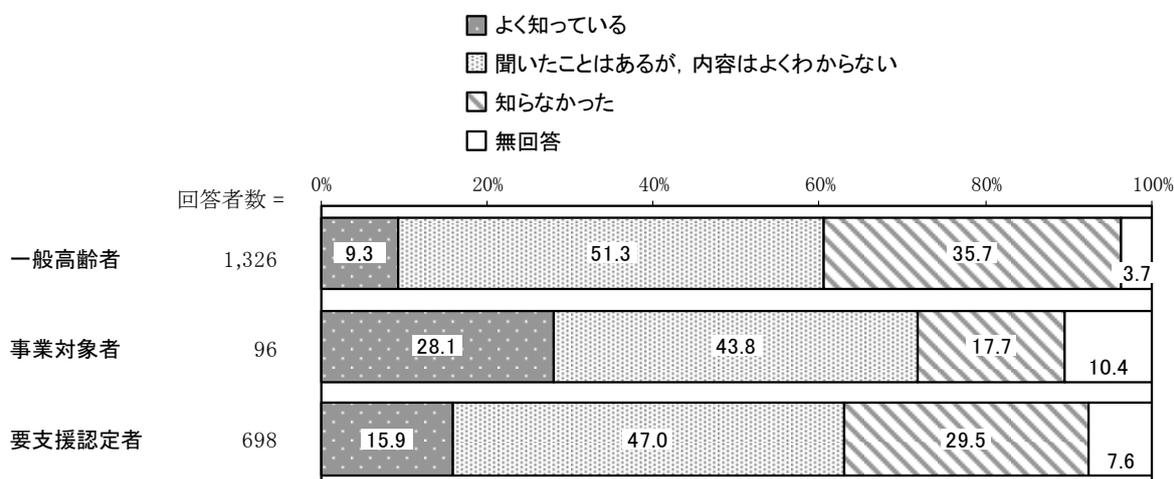
(1) 介護予防について

問 10 (1) 平均寿命が 80 歳を超えていく中、長い人生を自分らしく過ごすためには、心と体の健康寿命も伸ばすことが大切です。本市では、高齢者の皆さん自らが介護予防を行う手助けとして「はつらつ教室」等、さまざまな「介護予防事業」を行っています。市が行う「介護予防事業」について当てはまるものを 1 つだけ選んでください。

一般高齢者では、「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が 35.7%となっています。

事業対象者では、「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「よく知っている」の割合が 28.1%、「知らなかった」の割合が 17.7%となっています。

要支援認定者では、「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が 29.5%、「よく知っている」の割合が 15.9%となっています。

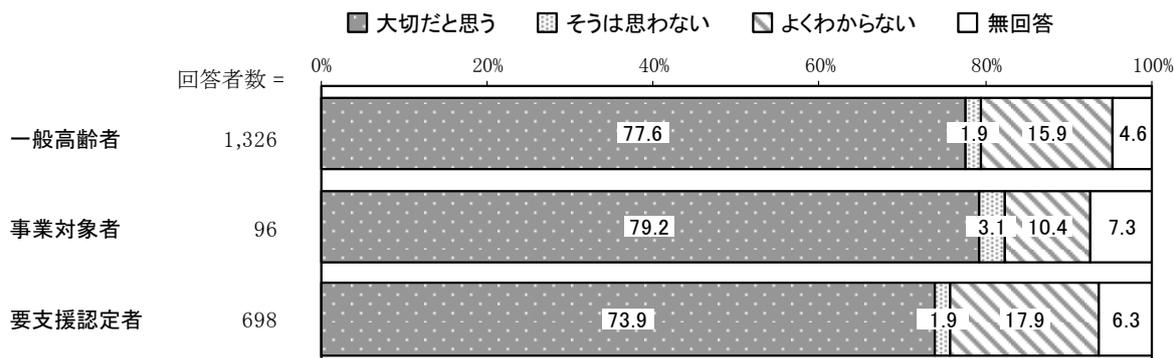


問 10 (2) 介護予防の取り組みを推進することは、大切だと思いますか。

一般高齢者では、「大切だと思う」の割合が 77.6%と最も高く、次いで「よくわからない」の割合が 15.9%となっています。

事業対象者では、「大切だと思う」の割合が 79.2%と最も高く、次いで「よくわからない」の割合が 10.4%となっています。

要支援認定者では、「大切だと思う」の割合が 73.9%と最も高く、次いで「よくわからない」の割合が 17.9%となっています。



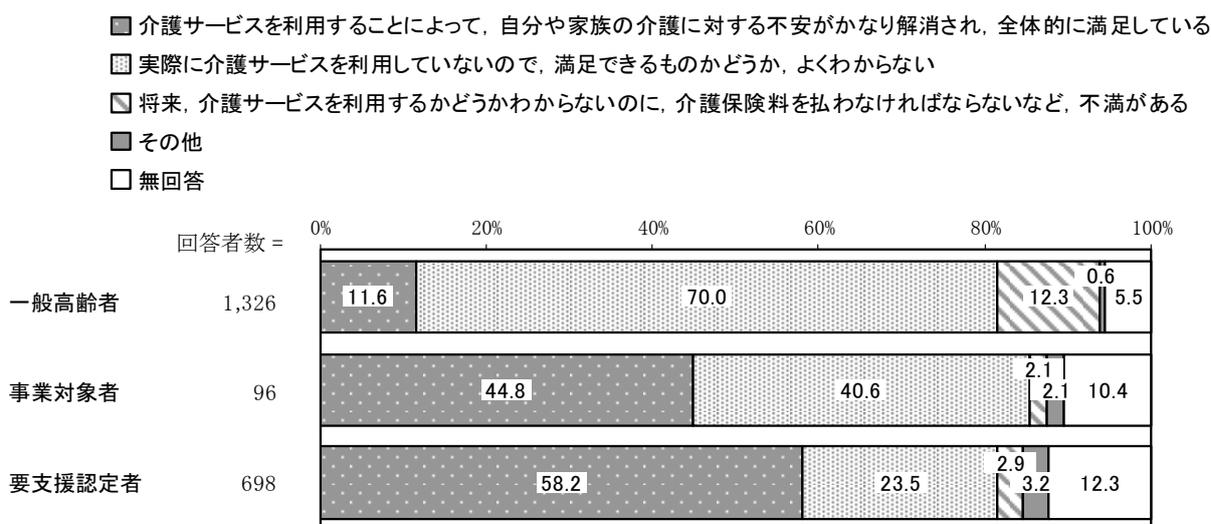
(2) 介護保険について

問 10 (3) 現在の介護保険に対するあなたの評価として一番近いものを1つだけ選んでください。

一般高齢者では、「実際に介護サービスを利用していないので、満足できるものかどうか、よくわからない」の割合が70.0%と最も高く、次いで「将来、介護サービスを利用するかどうかかわからないのに、介護保険料を払わなければならないなど、不満がある」の割合が12.3%、「介護サービスを利用することによって、自分や家族の介護に対する不安がかなり解消され、全体的に満足している」の割合が11.6%となっています。

事業対象者では、「介護サービスを利用することによって、自分や家族の介護に対する不安がかなり解消され、全体的に満足している」の割合が44.8%と最も高く、次いで「実際に介護サービスを利用していないので、満足できるものかどうか、よくわからない」の割合が40.6%となっています。

要支援認定者では、「介護サービスを利用することによって、自分や家族の介護に対する不安がかなり解消され、全体的に満足している」の割合が58.2%と最も高く、次いで「実際に介護サービスを利用していないので、満足できるものかどうか、よくわからない」の割合が23.5%となっています。

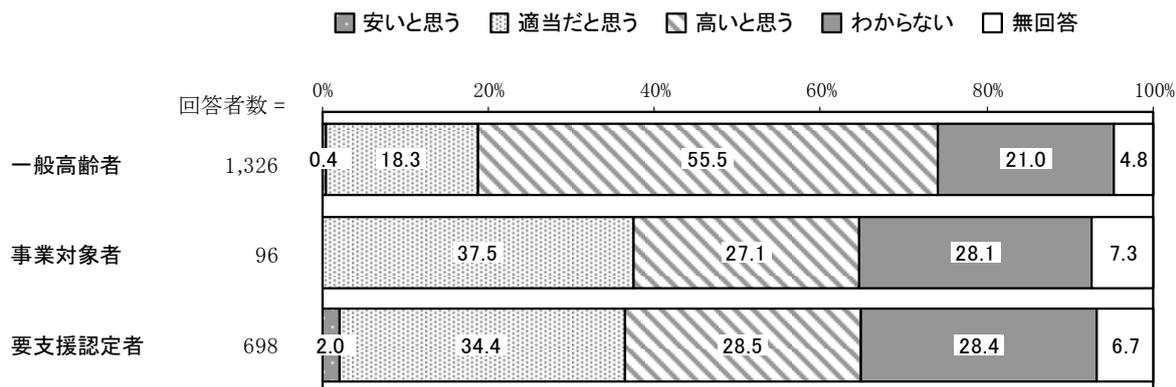


問10(4) 現在納付されている介護保険料の額についてどのように感じていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

一般高齢者では、「高いと思う」の割合が55.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が21.0%、「適当だと思う」の割合が18.3%となっています。

事業対象者では、「適当だと思う」の割合が37.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が28.1%、「高いと思う」の割合が27.1%となっています。

要支援認定者では、「適当だと思う」の割合が34.4%と最も高く、次いで「高いと思う」の割合が28.5%、「わからない」の割合が28.4%となっています。



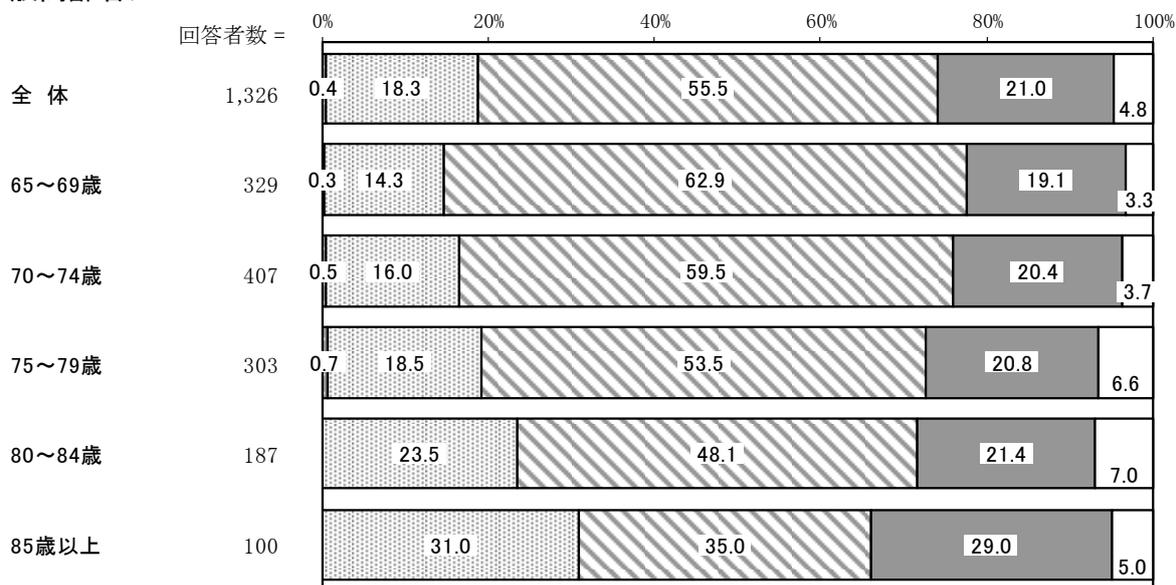
【年齢別】

年齢別でみると、一般高齢者では、年齢が上がるにつれ「適当だと思う」の割合が、年齢が下がるにつれ「高いと思う」の割合が高くなっています。

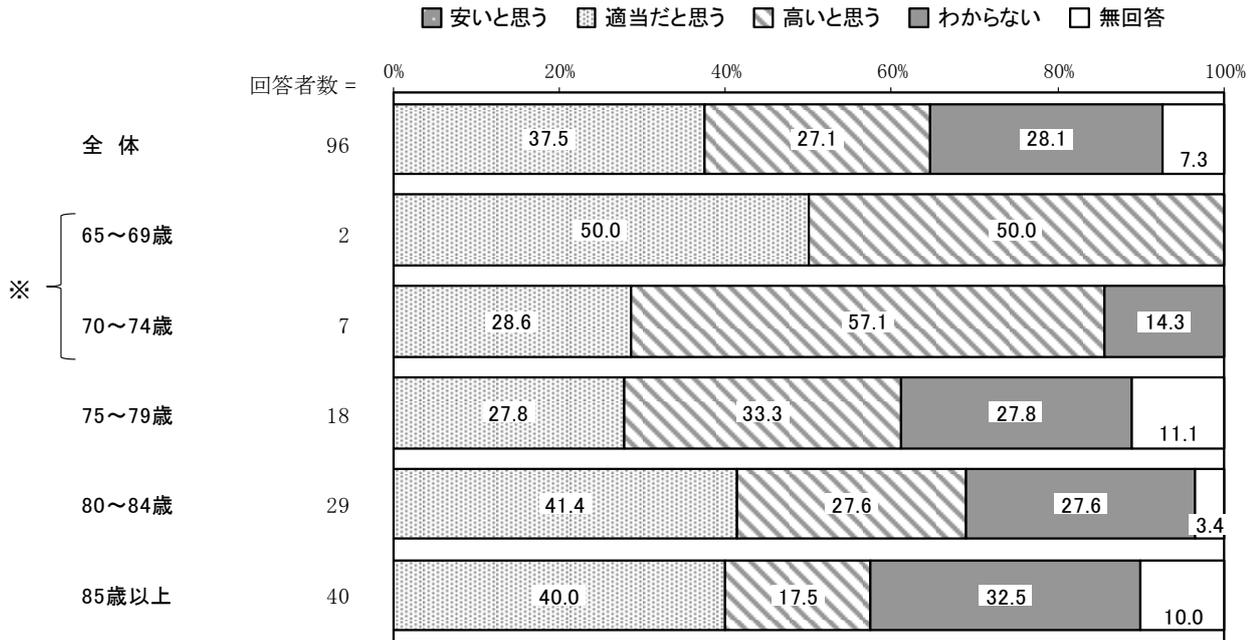
事業対象者では、『80～84歳』、『85歳以上』で「適当だと思う」の割合が高く、約4割となっています。

要支援認定者では、『70～74歳』、『75～79歳』で「高いと思う」の割合が高く、3割半ばとなっています。

<一般高齢者>

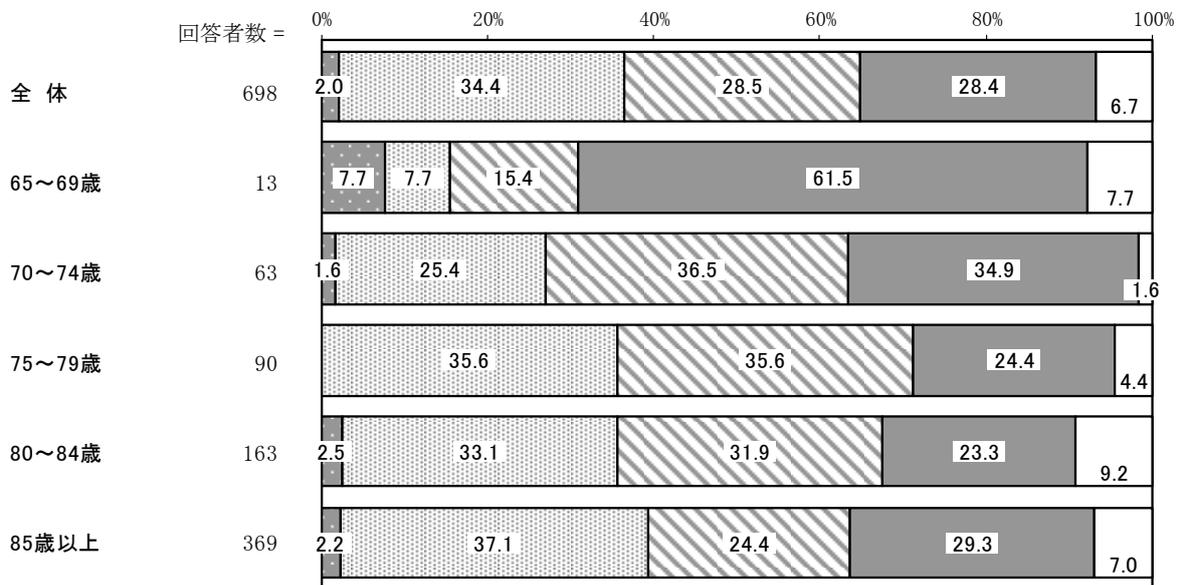


<事業対象者>



※有効回答数が少ないため参考とします。

<要支援認定者>

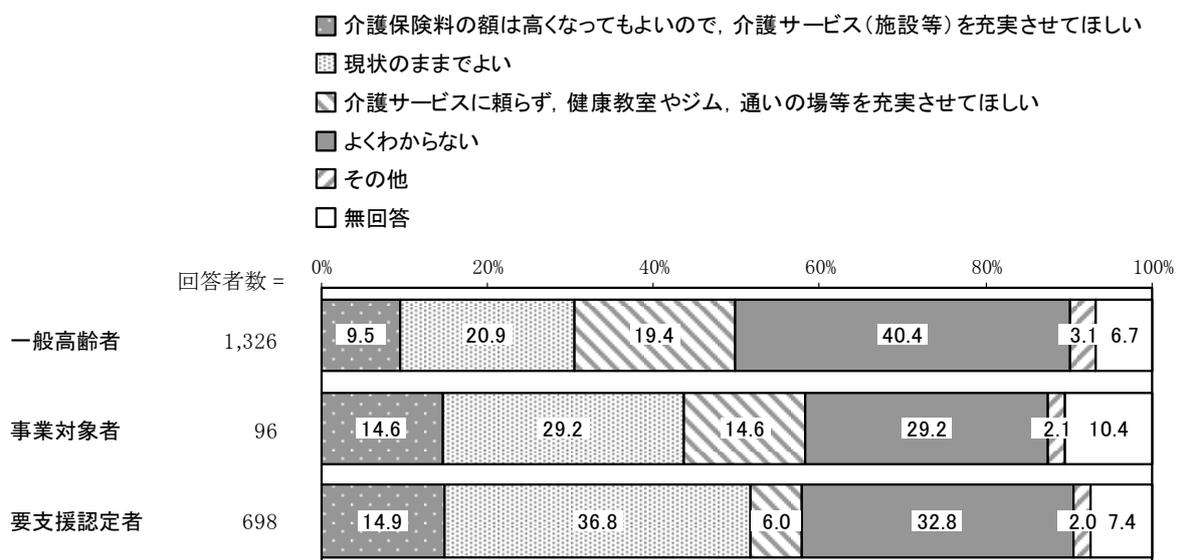


問 10 (5) 介護サービスを利用する人が増えたり、1人当たりのサービス利用額が増えたりすると、介護保険料の額は高くなる仕組みになっています。このことを踏まえた上で、介護保険のあり方についてあなたの考え方に最も近いものを1つだけ選んでください。

一般高齢者では、「よくわからない」の割合が40.4%と最も高く、次いで「現状のままでよい」の割合が20.9%、「介護サービスに頼らず、健康教室やジム、通いの場等を充実させてほしい」の割合が19.4%となっています。

事業対象者では、「現状のままでよい」、「よくわからない」の割合が29.2%と最も高く、次いで「介護保険料の額は高くなってよいので、介護サービス（施設等）を充実させてほしい」、「介護サービスに頼らず、健康教室やジム、通いの場等を充実させてほしい」の割合が14.6%となっています。

要支援認定者では、「現状のままでよい」の割合が36.8%と最も高く、次いで「よくわからない」の割合が32.8%、「介護保険料の額は高くなってよいので、介護サービス（施設等）を充実させてほしい」の割合が14.9%となっています。



【年齢別】

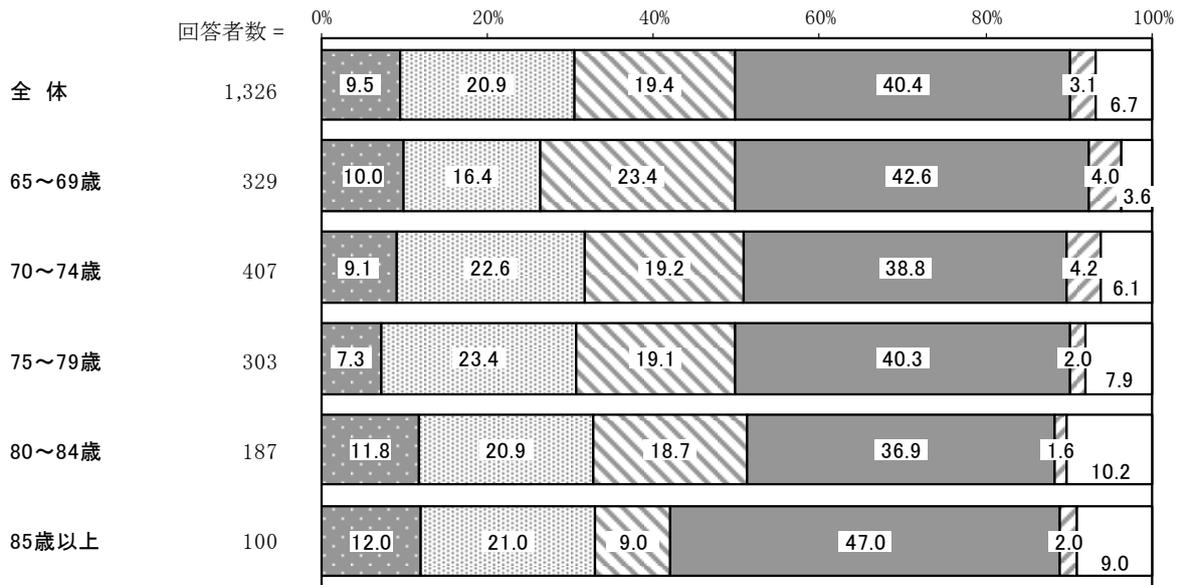
年齢別でみると、一般高齢者では、年齢が下がるにつれ「介護サービスに頼らず、健康教室やジム、通いの場等を充実させてほしい」の割合が高くなっています。

事業対象者では、『75～79歳』、『80～84歳』で「介護サービスに頼らず、健康教室やジム、通いの場等を充実させてほしい」の割合が高く、約2割となっています。

要支援認定者では、年齢が上がるにつれ「介護保険料の額は高くなってもよいので、介護サービス（施設等）を充実させてほしい」の割合が高くなる傾向がみられ、『80～84歳』、『85歳以上』で1割半ばとなっています。また、『70～74歳』、『85歳以上』で「現状のままでよい」の割合が高く、約4割となっています。

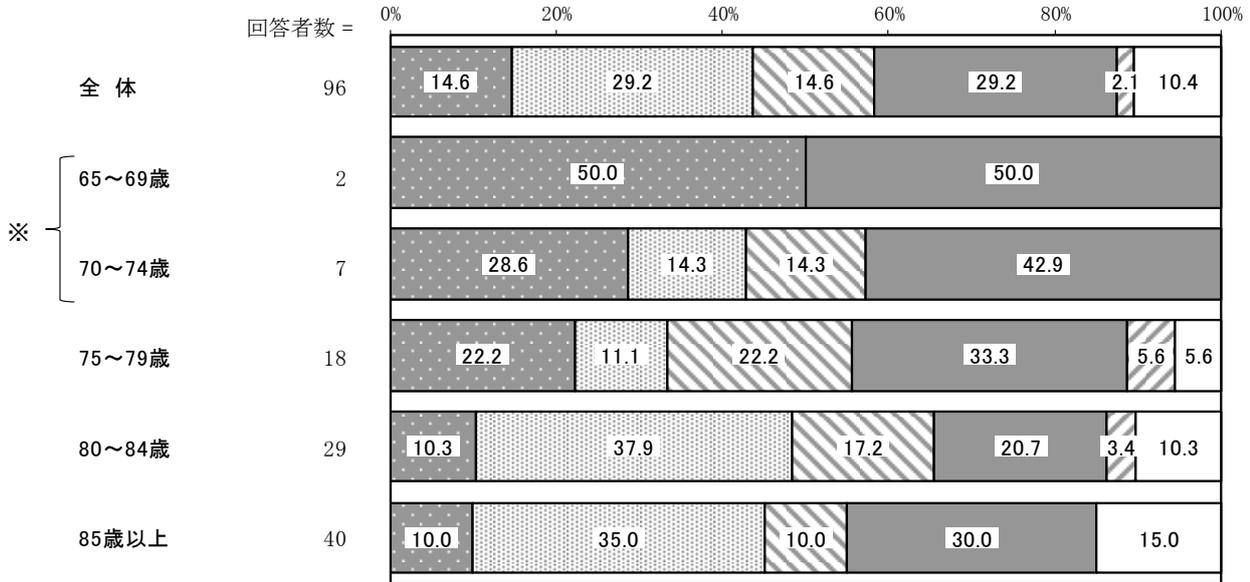
<一般高齢者>

- 介護保険料の額は高くなってもよいので、介護サービス（施設等）を充実させてほしい
- ▨ 現状のままでよい
- ▩ 介護サービスに頼らず、健康教室やジム、通いの場等を充実させてほしい
- よくわからない
- ▨ その他
- 無回答



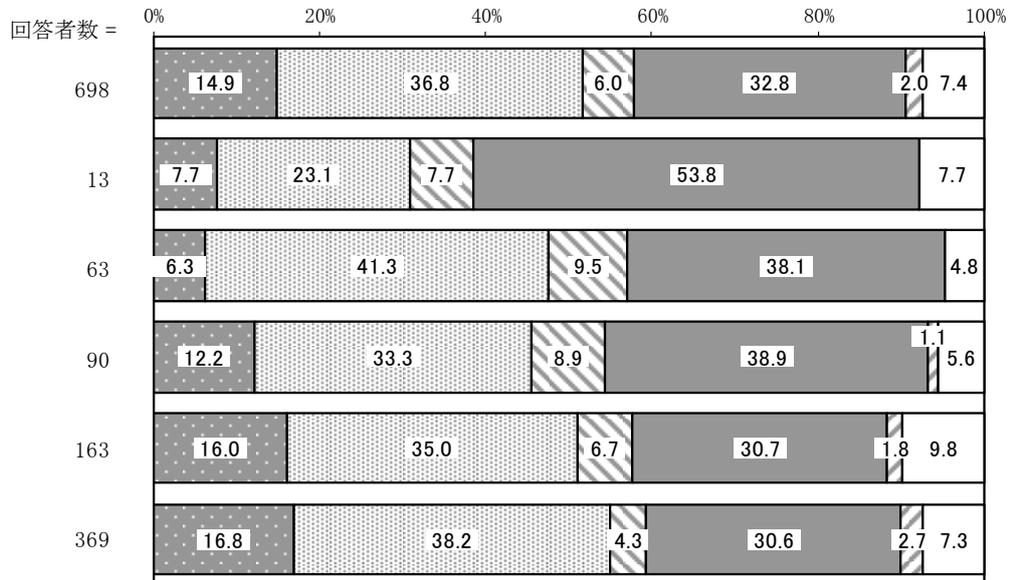
<事業対象者>

- 介護保険料の額は高くなってもよいので、介護サービス(施設等)を充実させてほしい
- ▨ 現状のままでよい
- ▩ 介護サービスに頼らず、健康教室やジム、通いの場等を充実させてほしい
- よくわからない
- ▨ その他
- 無回答



※有効回答数が少ないため参考とします。

<要支援認定者>



(3) 将来の住まいと介護サービスについて

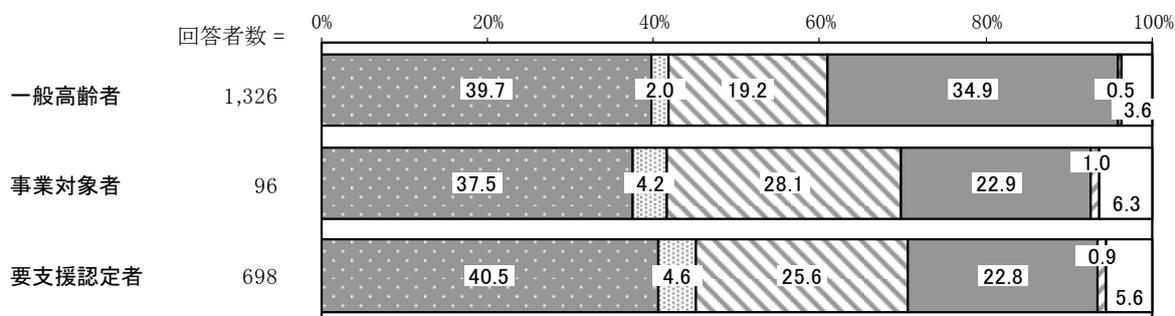
問10(6) 将来の住まいと介護サービスの利用について、どのように考えていますか。
一番近いものを1つだけ選んでください。

一般高齢者では、「介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい」の割合が39.7%と最も高く、次いで「今のところよくわからない」の割合が34.9%、「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホーム等）に入所したい」の割合が19.2%となっています。

事業対象者では、「介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい」の割合が37.5%と最も高く、次いで「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホーム等）に入所したい」の割合が28.1%、「今のところよくわからない」の割合が22.9%となっています。

要支援認定者では、「介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい」の割合が40.5%と最も高く、次いで「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホーム等）に入所したい」の割合が25.6%、「今のところよくわからない」の割合が22.8%となっています。

- 介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい
- ケア付き住宅(高齢者向けの各種サービスの利用が可能な住宅)に早めに住み替えたい
- 介護が必要になったときに、施設(特別養護老人ホーム等)に入所したい
- 今のところよくわからない
- その他
- 無回答



【家族構成別】

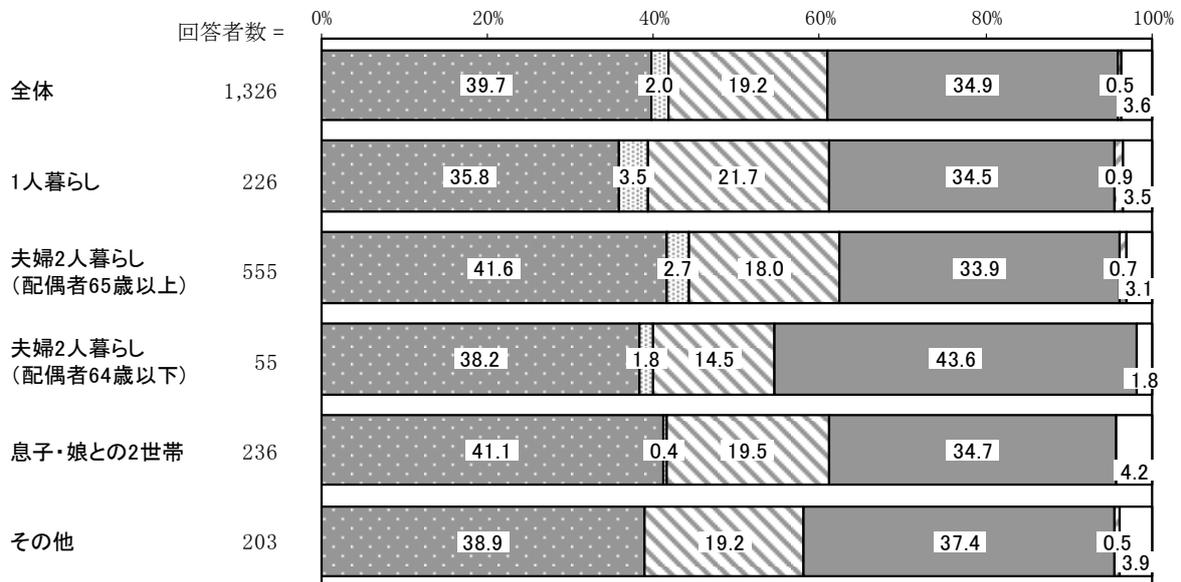
家族構成別でみると、一般高齢者では、大きな差異はみられません。

事業対象者では、『1人暮らし』で「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホーム等）に入所したい」の割合が高く、3割半ばとなっています。

要支援認定者では、『1人暮らし』、『夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）』で「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホーム等）に入所したい」の割合が高く、3割を超えています。

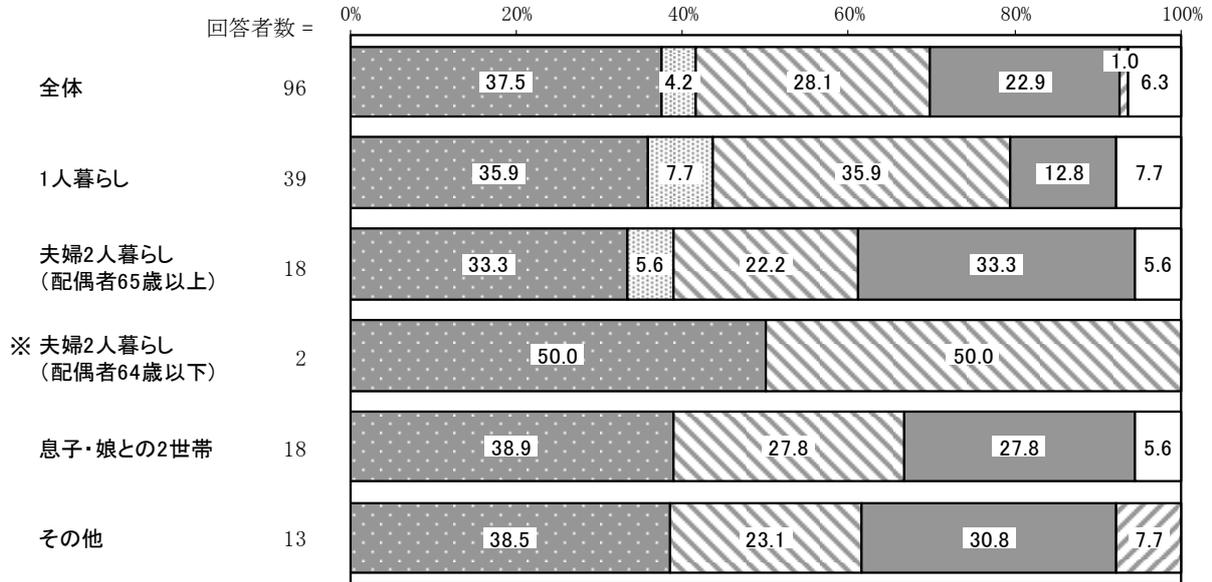
<一般高齢者>

- 介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい
- ▨ ケア付き住宅(高齢者向けの各種サービスの利用が可能な住宅)に早めに住み替えたい
- ▩ 介護が必要になったときに、施設(特別養護老人ホーム等)に入所したい
- 今のところよくわからない
- ▣ その他
- 無回答



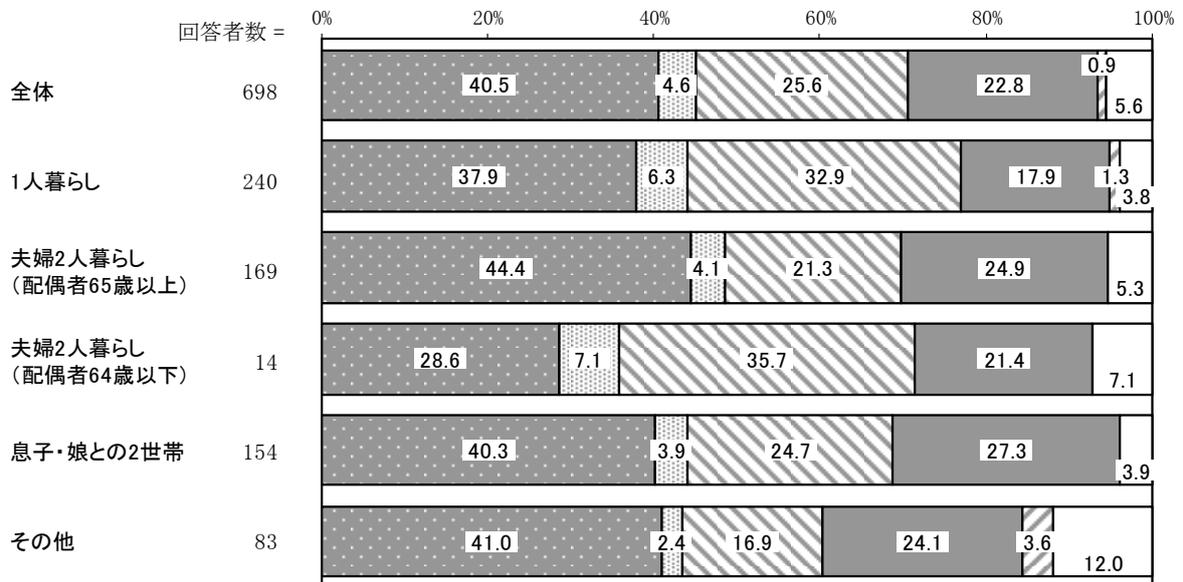
<事業対象者>

- 介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい
- ケア付き住宅(高齢者向けの各種サービスの利用が可能な住宅)に早めに住み替えたい
- 介護が必要になったときに、施設(特別養護老人ホーム等)に入所したい
- 今のところよくわからない
- その他
- 無回答



※有効回答数が少ないため参考とします。

<要支援認定者>

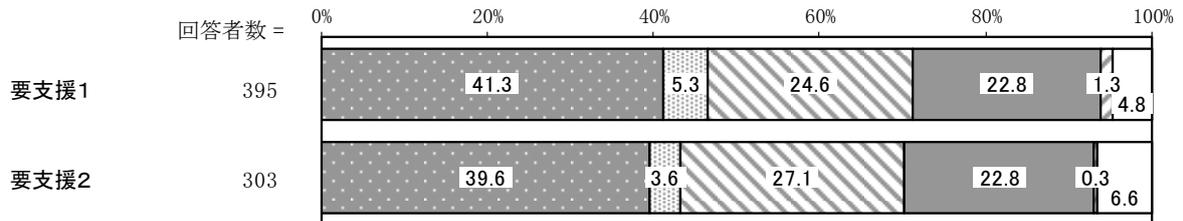


【介護度別】

要支援認定者を介護度別で見ると、大きな差異はみられません。

<要支援認定者>

- 介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい
- ケア付き住宅(高齢者向けの各種サービスの利用が可能な住宅)に早めに住み替えたい
- 介護が必要になったときに、施設(特別養護老人ホーム等)に入所したい
- 今のところよくわからない
- その他
- 無回答



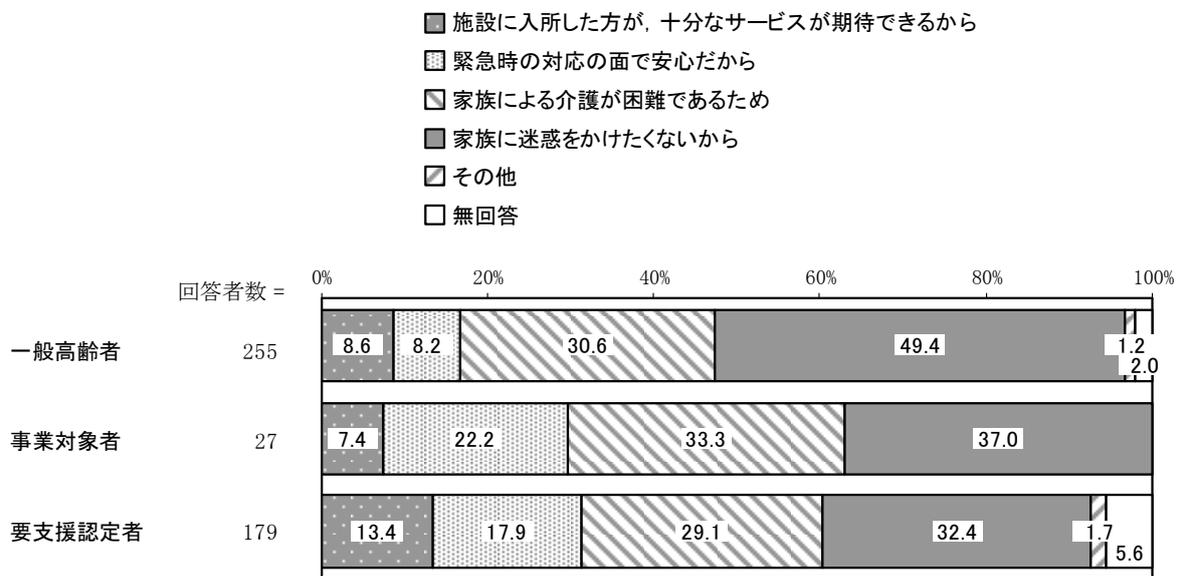
(6)で「3. 介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホーム）に入所したい」のかたのみ

問 10（7）施設入所を希望される主な理由を次の中から1つだけ選んでください。

一般高齢者では、「家族に迷惑をかけたくないから」の割合が49.4%と最も高く、次いで「家族による介護が困難であるため」の割合が30.6%となっています。

事業対象者では、「家族に迷惑をかけたくないから」の割合が37.0%と最も高く、次いで「家族による介護が困難であるため」の割合が33.3%、「緊急時の対応の面で安心だから」の割合が22.2%となっています。

要支援認定者では、「家族に迷惑をかけたくないから」の割合が32.4%と最も高く、次いで「家族による介護が困難であるため」の割合が29.1%、「緊急時の対応の面で安心だから」の割合が17.9%となっています。



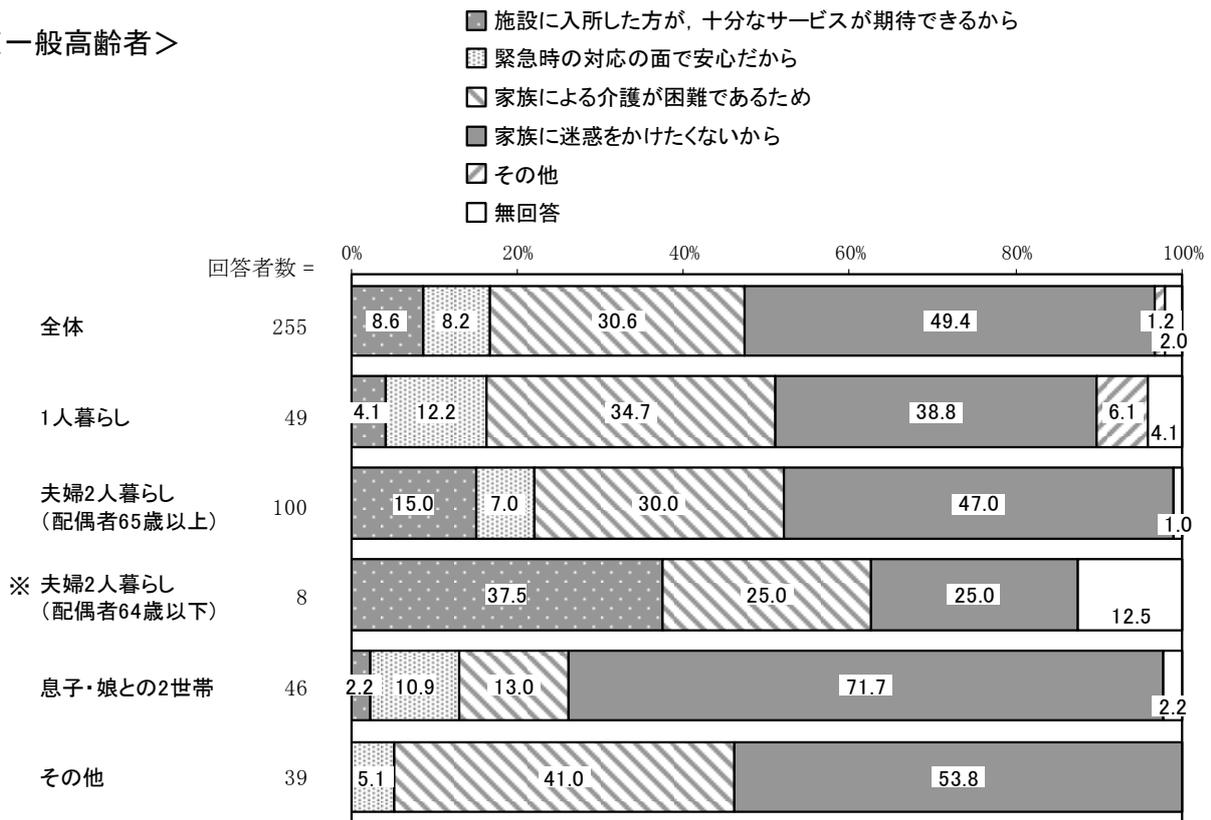
【家族構成別】

家族構成別でみると、一般高齢者では、『息子・娘との2世帯』で「家族に迷惑をかけたくないから」の割合が高く、約7割となっています。

事業対象者では、有効回答数が少ないため、参考とします。

要支援認定者では、『夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）』で「家族による介護が困難であるため」の割合が高く、4割半ばとなっています。また、『息子・娘との2世帯』で「家族に迷惑をかけたくないから」の割合が、『1人暮らし』で「施設に入所した方が、十分なサービスが期待できるから」の割合が高くなっています。

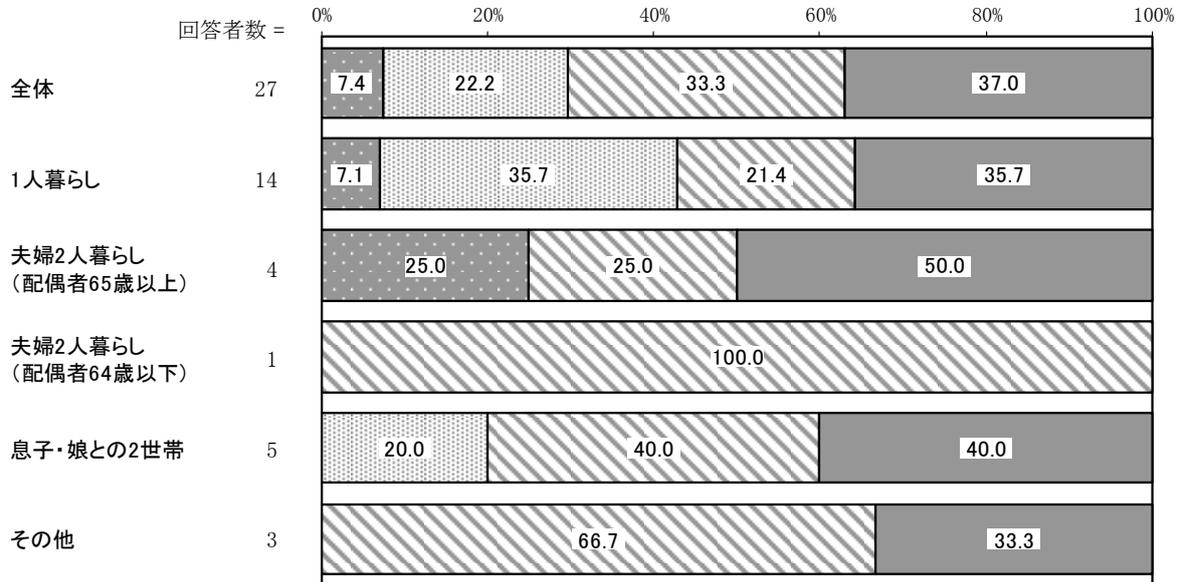
<一般高齢者>



※有効回答数が少ないため、参考とします。

<※事業対象者>

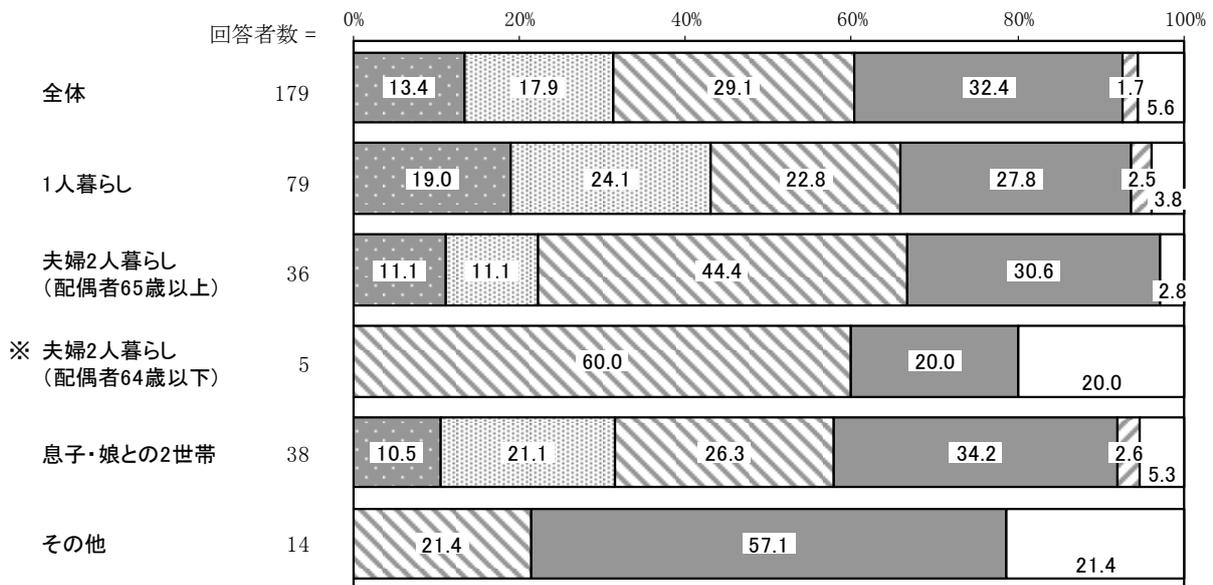
- 施設に入所した方が、十分なサービスが期待できるから
- ▨ 緊急時の対応の面で安心だから
- ▧ 家族による介護が困難であるため
- 家族に迷惑をかけたくないから
- ▨ その他
- 無回答



※有効回答数が少ないため参考とします。

<要支援認定者>

- 施設に入所した方が、十分なサービスが期待できるから
- ▨ 緊急時の対応の面で安心だから
- ▧ 家族による介護が困難であるため
- 家族に迷惑をかけたくないから
- ▨ その他
- 無回答

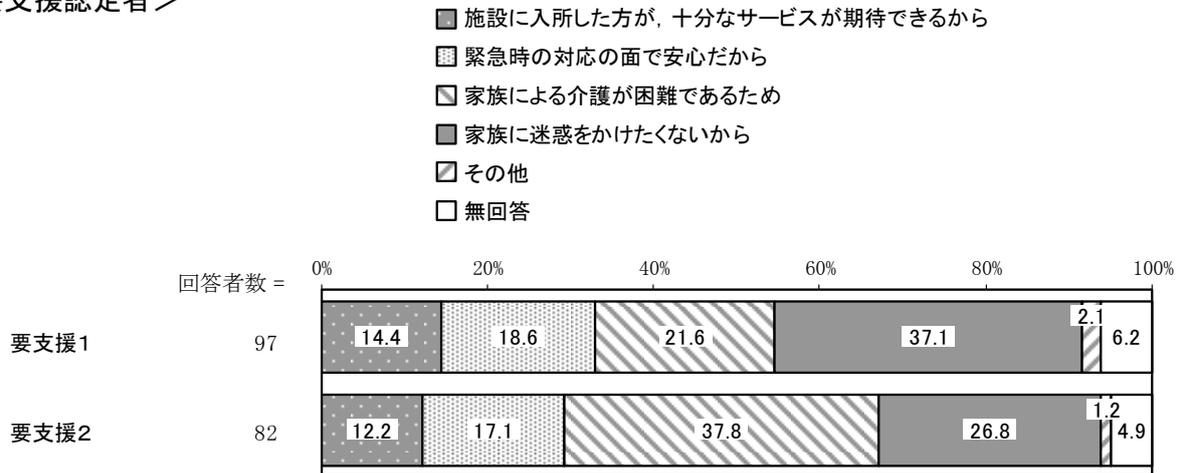


※有効回答数が少ないため、参考とします。

【介護度別】

要支援認定者を介護度別で見ると、『要支援1』で「家族に迷惑をかけたくないから」の割合が高く、約4割となっています。また、『要支援2』で「家族による介護が困難であるため」の割合が高く、約4割となっています。

<要支援認定者>



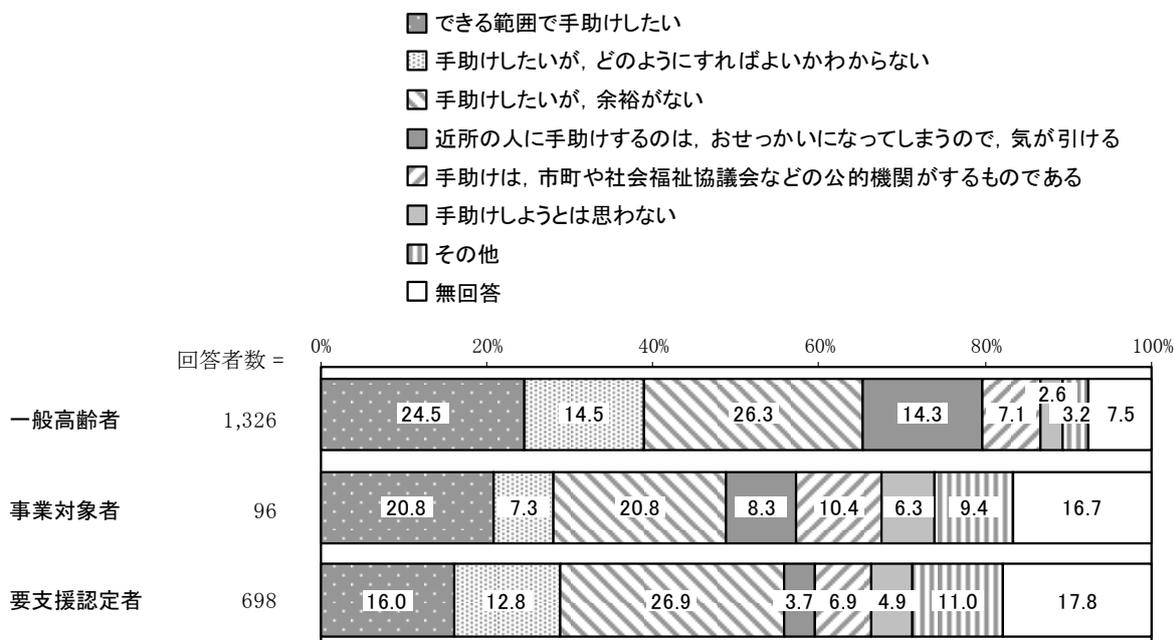
(4) 地域の高齢者への手助けについて

問10(8) 地域で何らかの日常生活の支援を必要としている一人暮らしの高齢者などへの手助けについてあなたの考えに近いものはどれですか。次の中から1つだけ選んでください。

一般高齢者では、「手助けしたいが、余裕がない」の割合が26.3%と最も高く、次いで「できる範囲で手助けしたい」の割合が24.5%、「手助けしたいが、どのようにすればよいかわからない」の割合が14.5%となっています。

事業対象者では、「できる範囲で手助けしたい」、「手助けしたいが、余裕がない」の割合が20.8%と最も高く、次いで「手助けは、市町や社会福祉協議会などの公的機関がするものである」の割合が10.4%となっています。

要支援認定者では、「手助けしたいが、余裕がない」の割合が26.9%と最も高く、次いで「できる範囲で手助けしたい」の割合が16.0%、「手助けしたいが、どのようにすればよいかわからない」の割合が12.8%となっています。



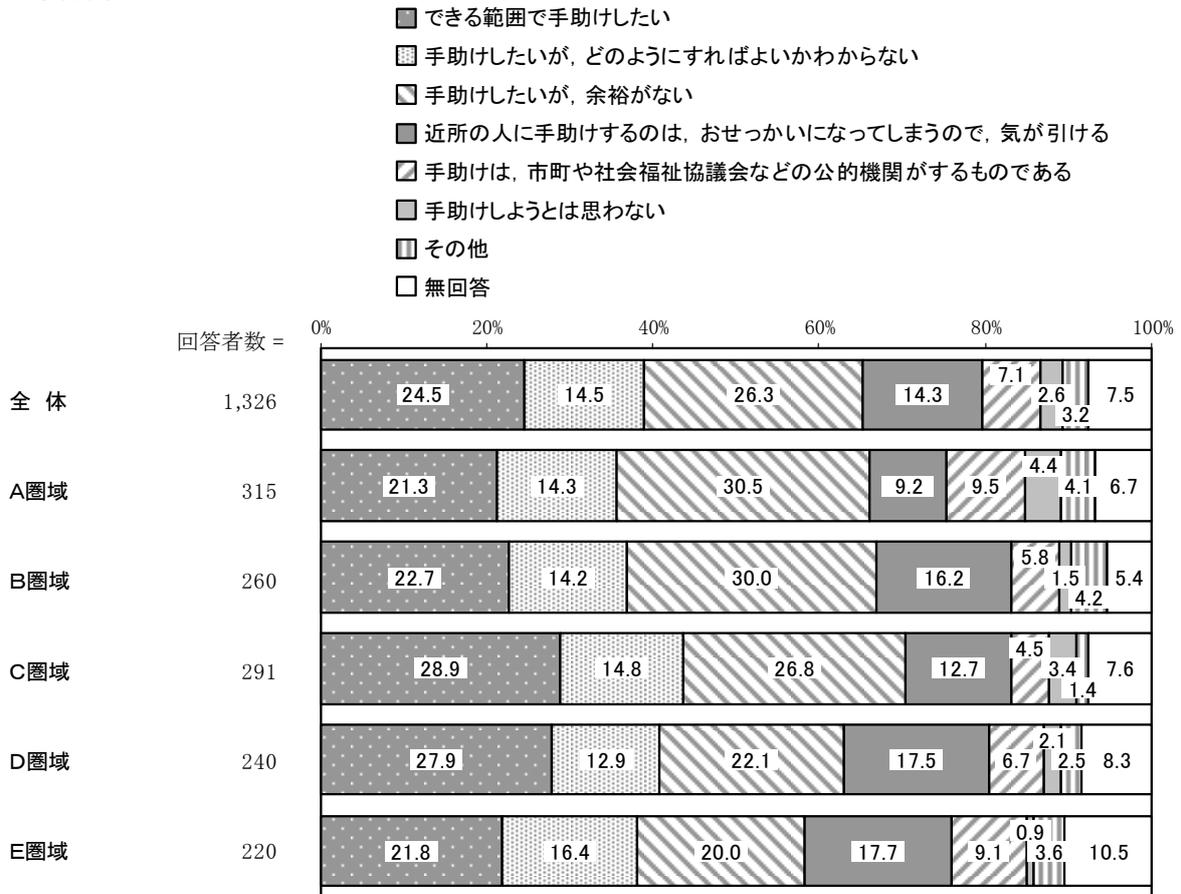
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、一般高齢者では、『A圏域』、『B圏域』で「手助けしたいが、余裕がない」の割合が、『C圏域』で「できる範囲で手助けしたい」の割合が高く、約3割となっています。

事業対象者では、『E圏域』で「手助けしたいが、余裕がない」の割合が高く、約5割となっています。

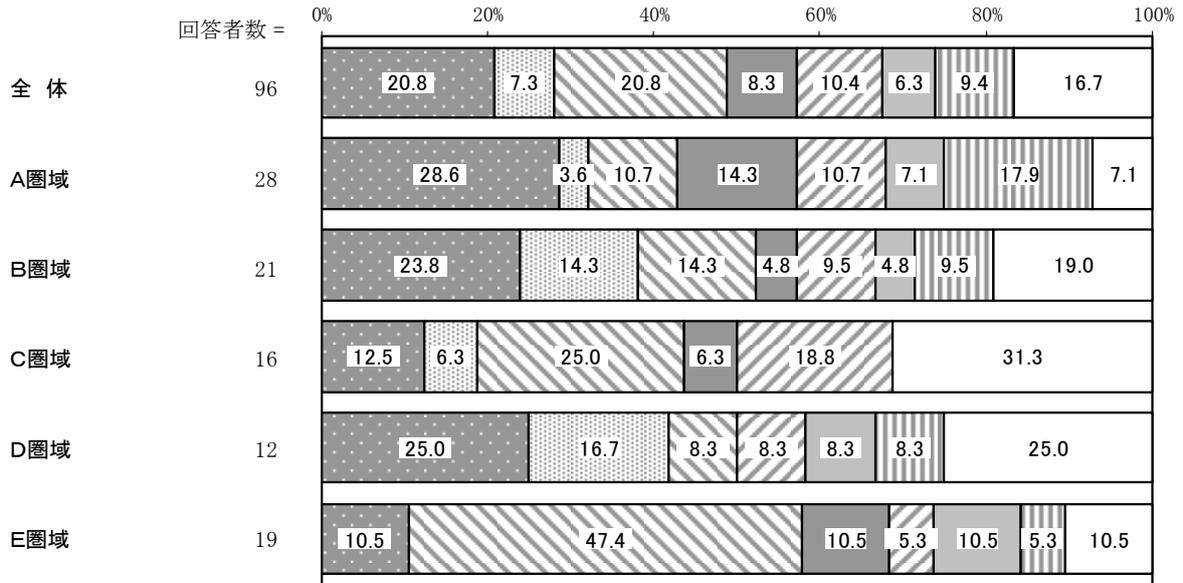
要支援認定者では、『E圏域』で「できる範囲で手助けしたい」、「手助けしたいが、余裕がない」の割合が高くなっています。

<一般高齢者>

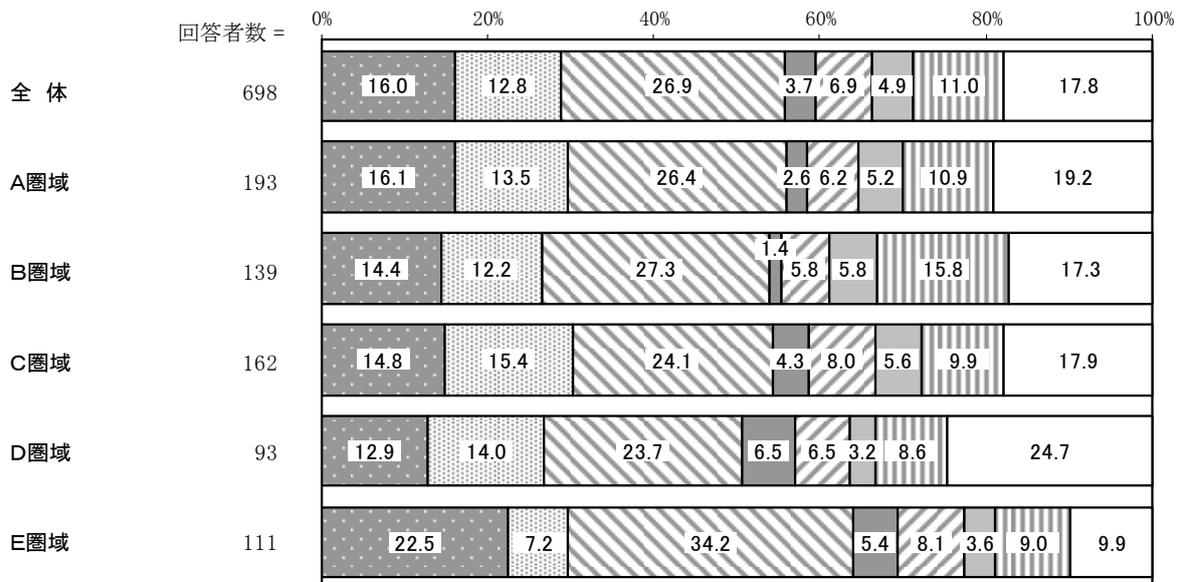


<事業対象者>

- できる範囲で手助けしたい
- ▨ 手助けしたいが、どのようにすればよいかわからない
- ▩ 手助けしたいが、余裕がない
- 近所の人に手助けするのは、おせっかいになってしまうので、気が引ける
- ▨ 手助けは、市町や社会福祉協議会などの公的機関がするものである
- 手助けしようとは思わない
- その他
- 無回答



<要支援認定者>



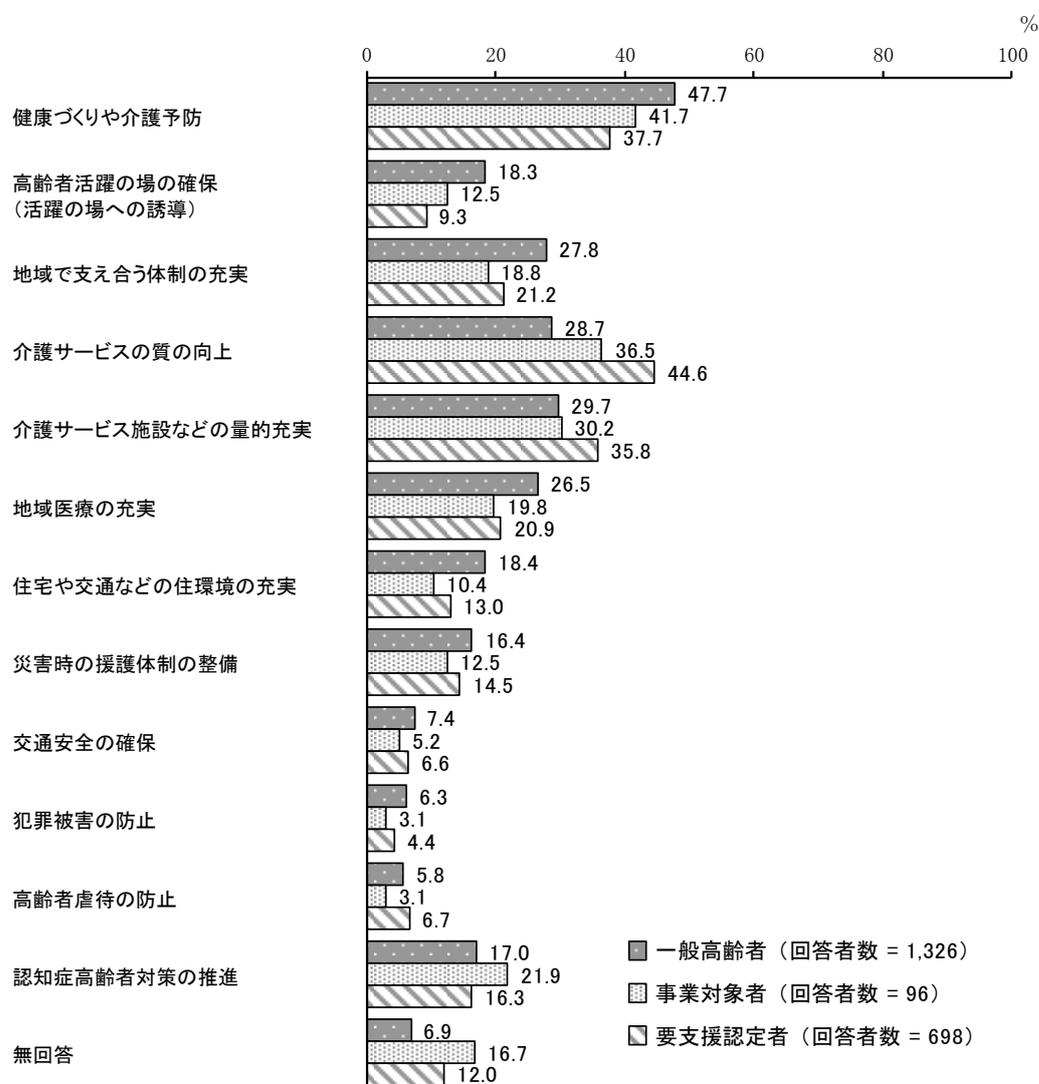
(5) 高齢化社会において重要な方策

問10(9) 今後も高齢化が進行していく社会において、あなたが重要と思われる方策を次の中から3つまで選んでください。

一般高齢者では、「健康づくりや介護予防」の割合が47.7%と最も高く、次いで「介護サービス施設などの量的充実」の割合が29.7%、「介護サービスの質の向上」の割合が28.7%となっています。

事業対象者では、「健康づくりや介護予防」の割合が41.7%と最も高く、次いで「介護サービスの質の向上」の割合が36.5%、「介護サービス施設などの量的充実」の割合が30.2%となっています。

要支援認定者では、「介護サービスの質の向上」の割合が44.6%と最も高く、次いで「健康づくりや介護予防」の割合が37.7%、「介護サービス施設などの量的充実」の割合が35.8%となっています。



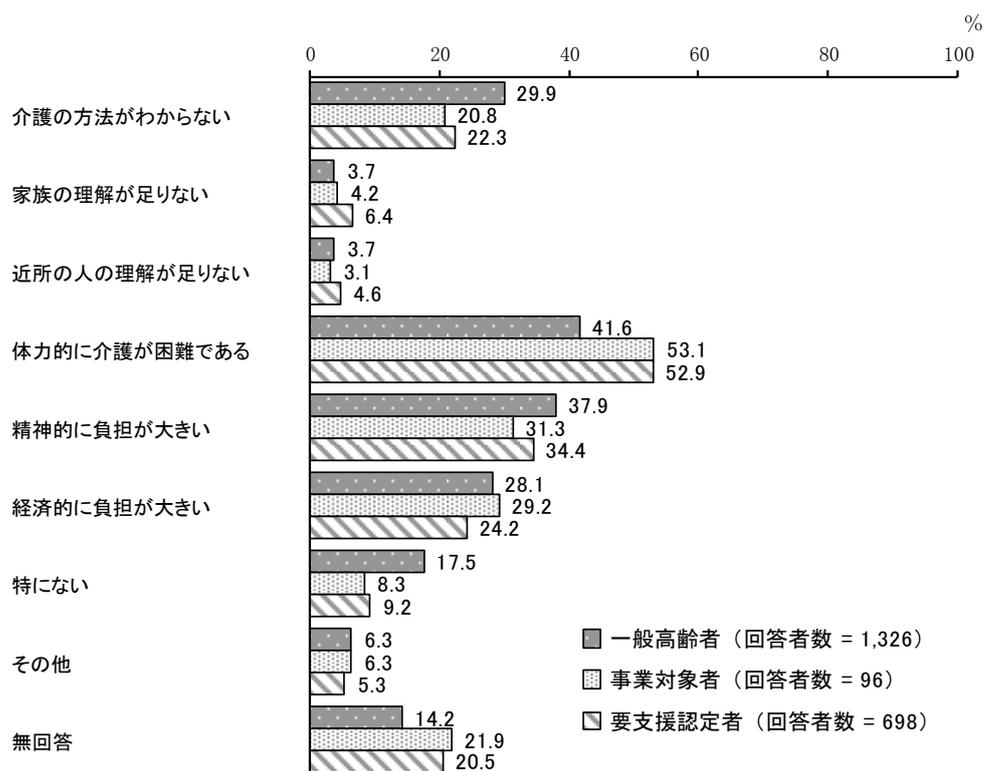
(6) 介護を行う際や外出の際に困っていること

問 10 (10) 介護を行う上で、困っていることを3つまで選んでください。

一般高齢者では、「体力的に介護が困難である」の割合が 41.6%と最も高く、次いで「精神的に負担が大きい」の割合が 37.9%、「介護の方法がわからない」の割合が 29.9%となっています。

事業対象者では、「体力的に介護が困難である」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「精神的に負担が大きい」の割合が 31.3%、「経済的に負担が大きい」の割合が 29.2%となっています。

要支援認定者では、「体力的に介護が困難である」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「精神的に負担が大きい」の割合が 34.4%、「経済的に負担が大きい」の割合が 24.2%となっています。



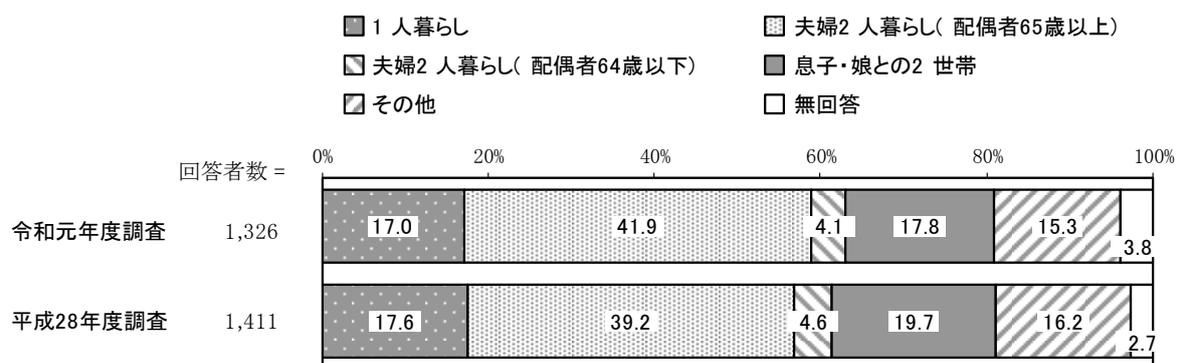
IV 前回調査との比較

1 家族や生活状況について

問1 (1) 家族構成をお教えてください。

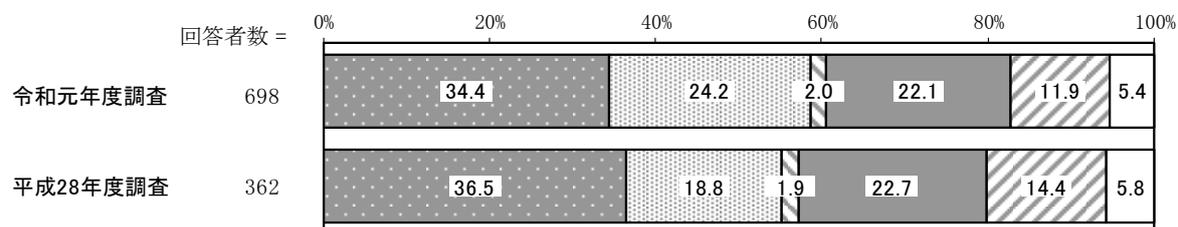
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

平成28年度調査と比較すると、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が5.4ポイント増加しています。

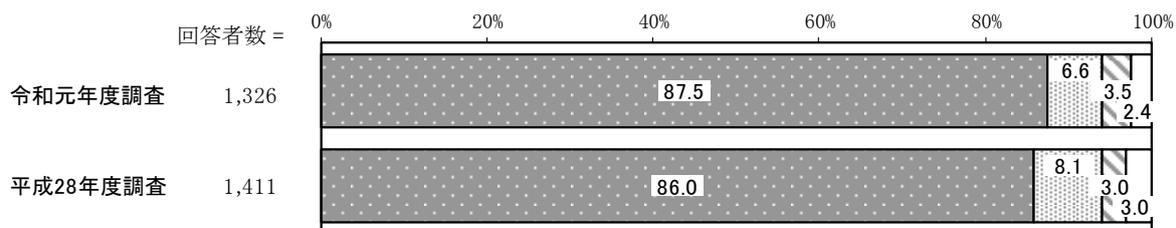


問 1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

【一般高齢者】

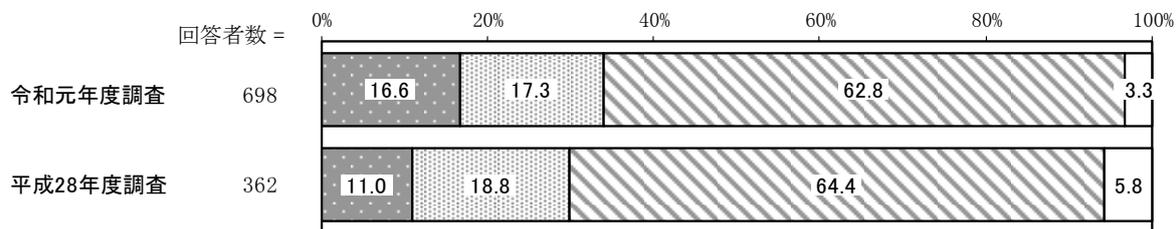
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

- 介護・介助は必要ない
- ▨ 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- ▩ 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)
- 無回答



【要支援認定者】

平成 28 年度調査と比較すると「介護・介助は必要ない」が 5.6 ポイント増加しています。

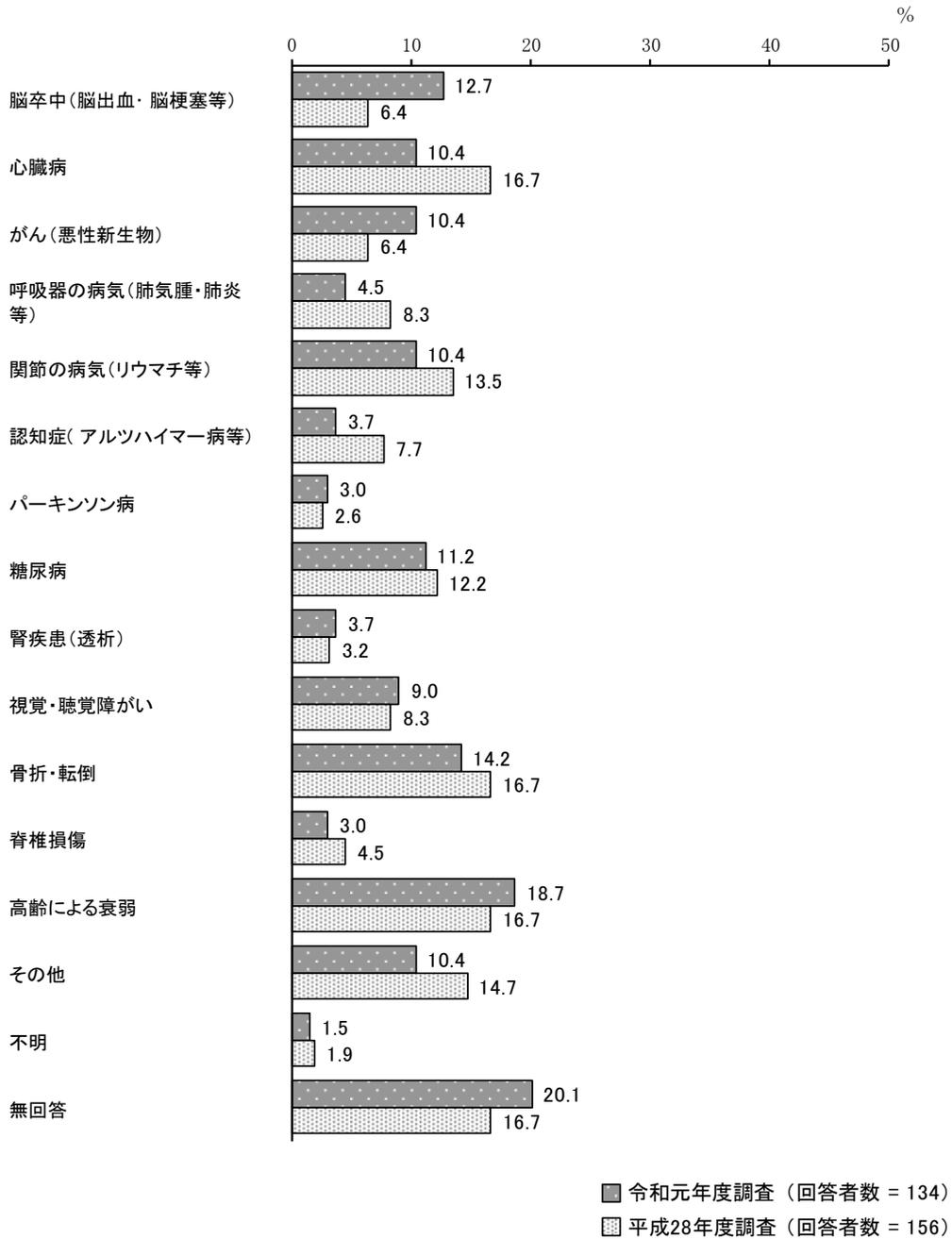


(2) で「介護・介助は必要ない」以外のかたのみ

問 1 (2) ①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも)

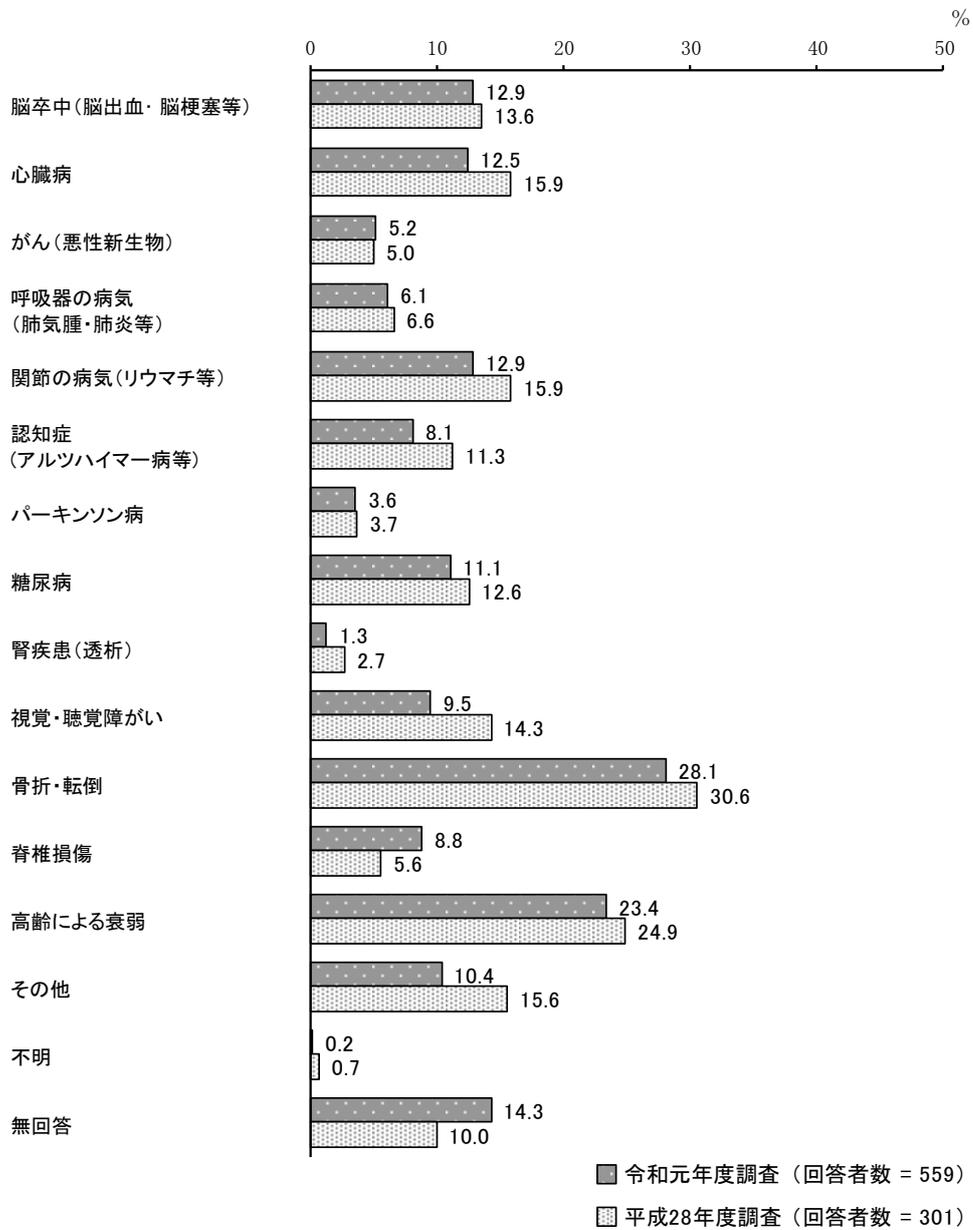
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が 6.3 ポイント増加し、「心臓病」が 6.3 ポイント減少しています。



【要支援認定者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

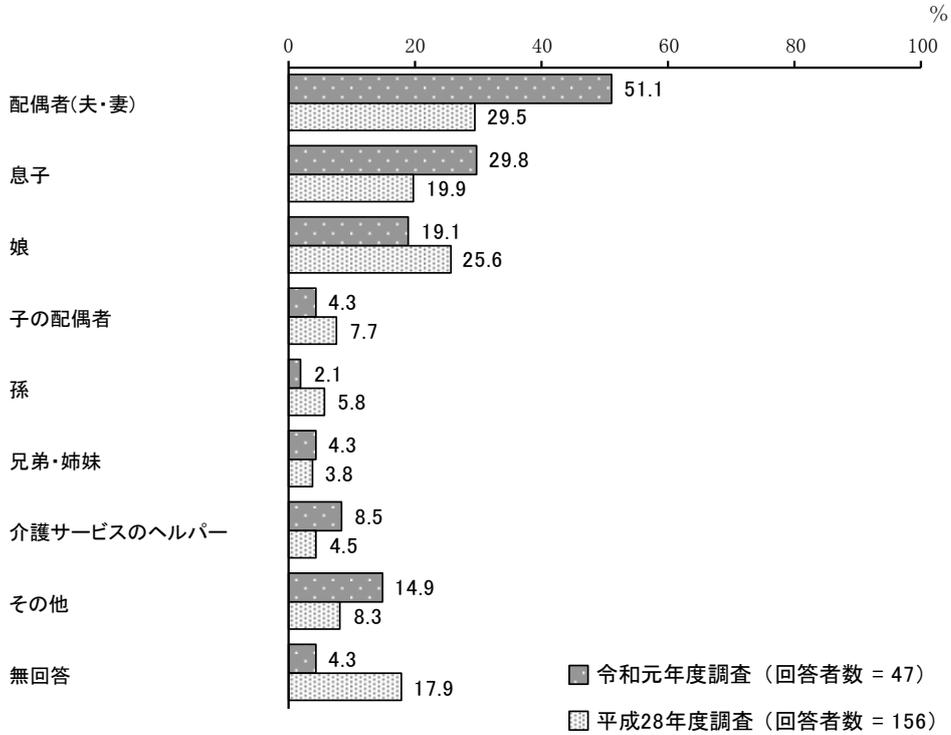


(2) で「現在、何らかの介護を受けている」のかたのみ

問 1 (2) ②主にどなたの介護，介助を受けていますか。(いくつでも)

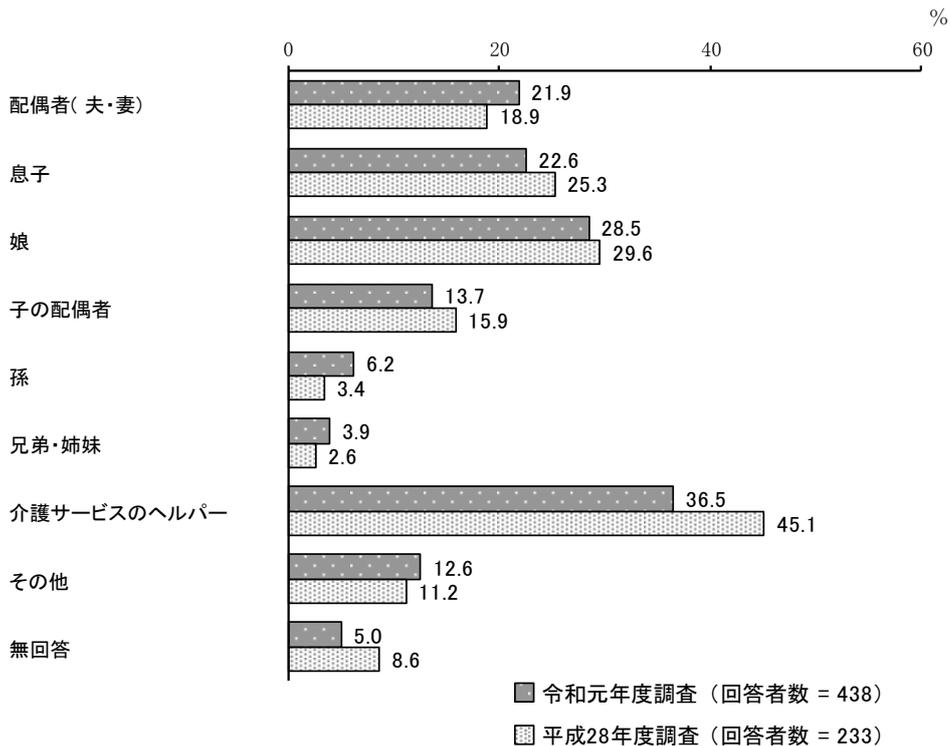
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、「配偶者(夫・妻)」が 21.6 ポイント、「息子」が 9.9 ポイント増加し、「娘」が 6.5 ポイント減少しています。



【要支援認定者】

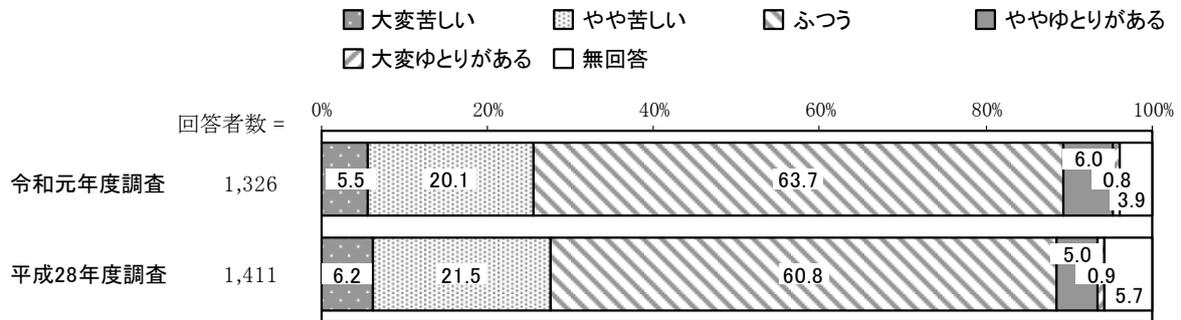
平成 28 年度調査と比較すると、「介護サービスのヘルパー」が 8.6 ポイント減少しています。



問 1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

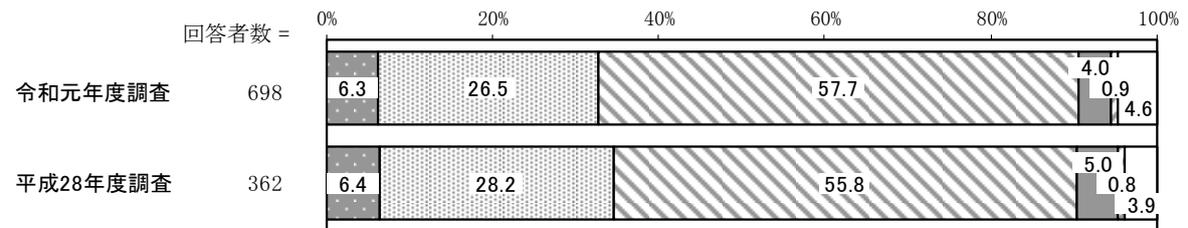
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

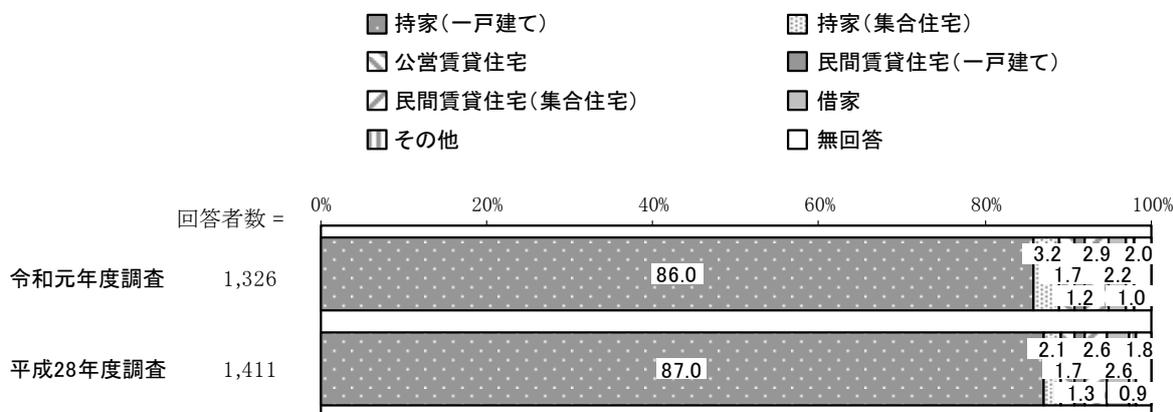
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 1 (4) お住まいは一戸建て、または、集合住宅のどちらですか。

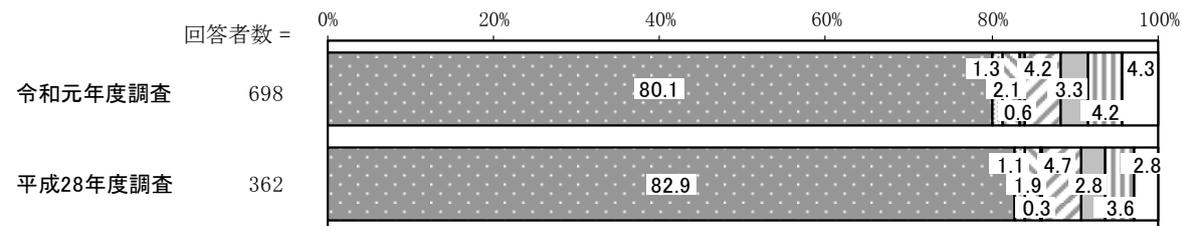
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

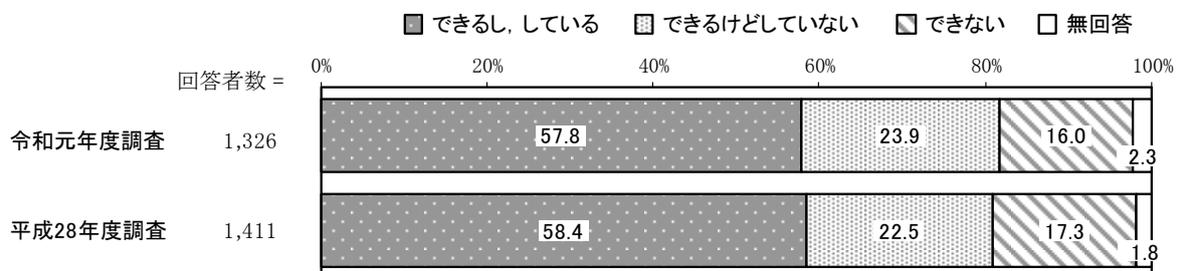


2 からだを動かすことについて

問2（1）階段を手すりや壁をつたわずにのぼっていますか。

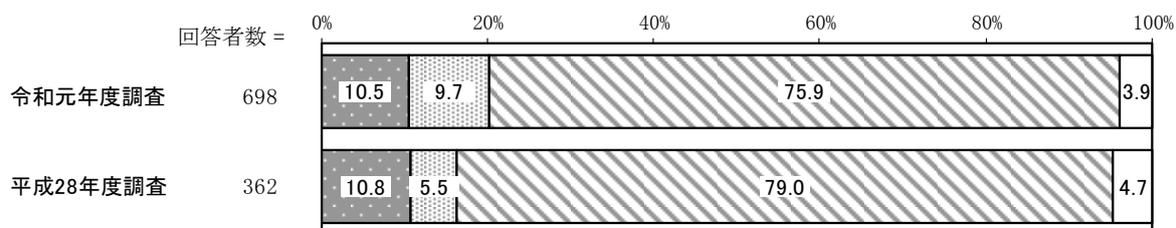
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

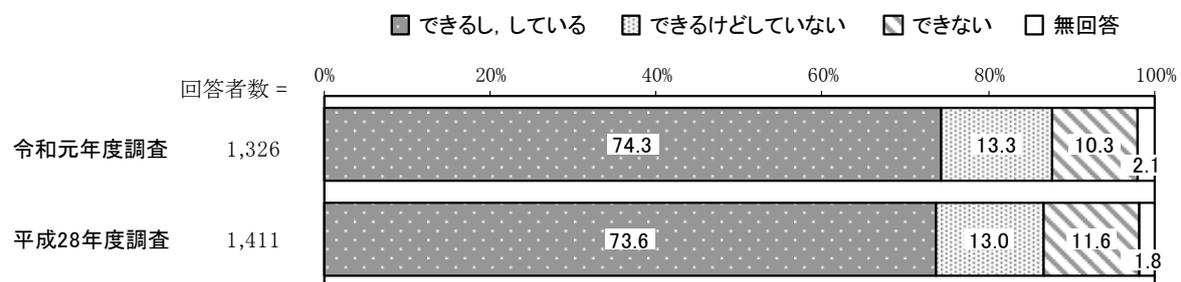
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

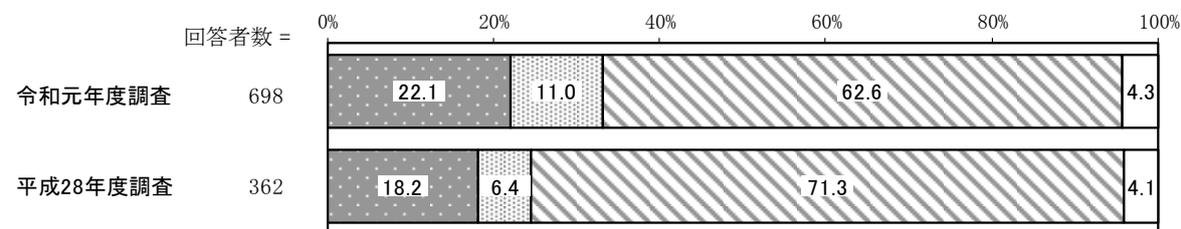
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

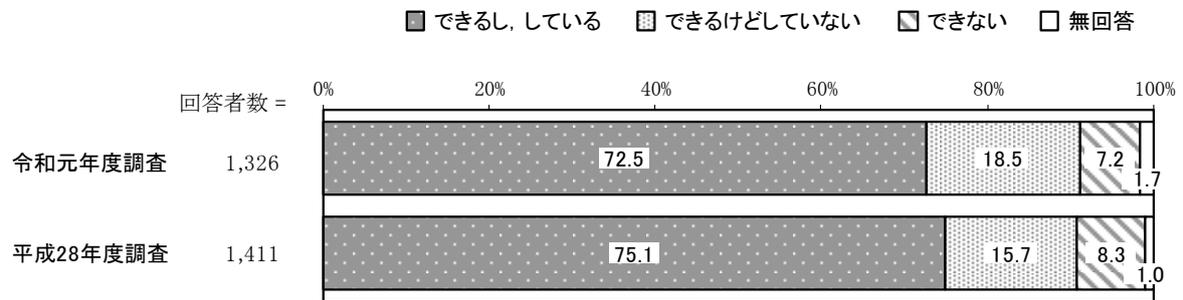
平成 28 年度調査と比較すると、「できない」が 8.7 ポイント減少しています。



問 2 (3) 15 分位続けて歩いていますか。

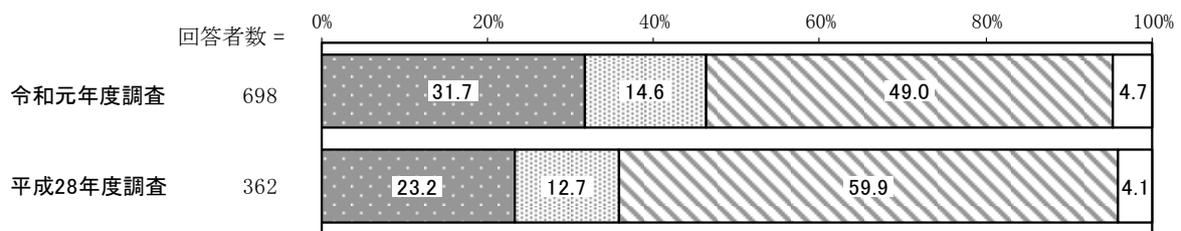
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

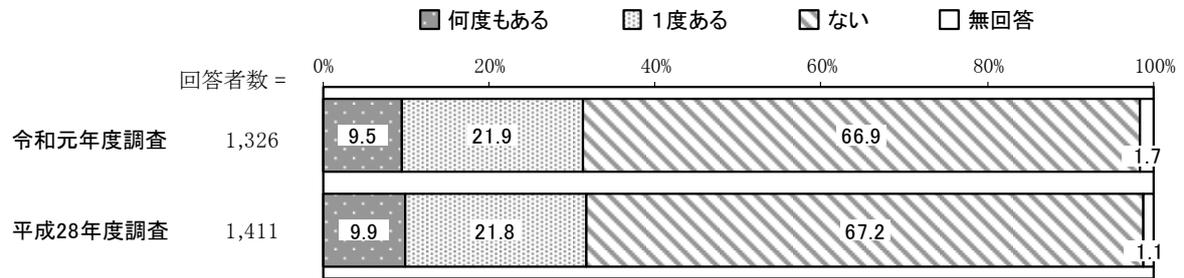
平成 28 年度調査と比較すると、「できるし、している」が 8.5 ポイント増加し、「できない」が 10.9 ポイント減少しています。



問 2 (4) 過去 1 年間に転んだ経験がありますか。

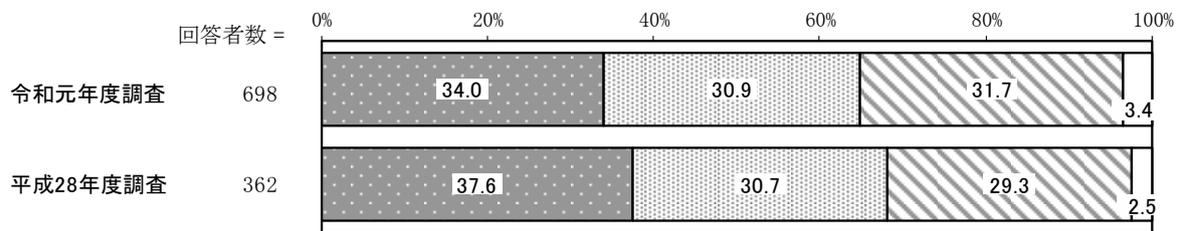
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

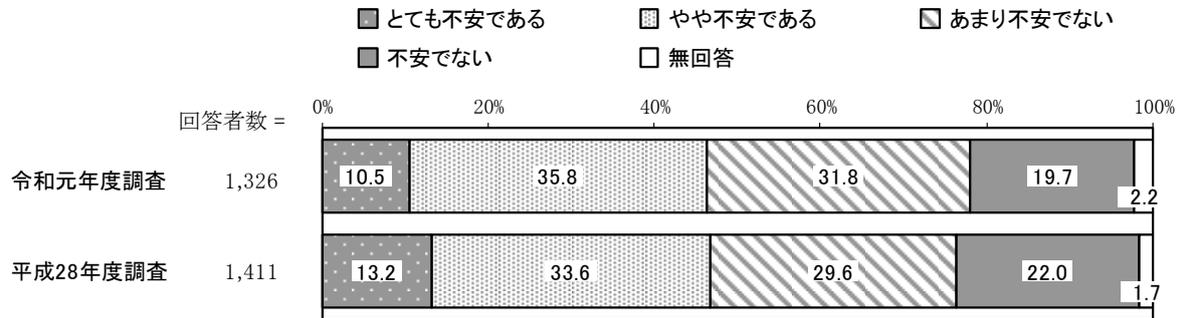
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか。

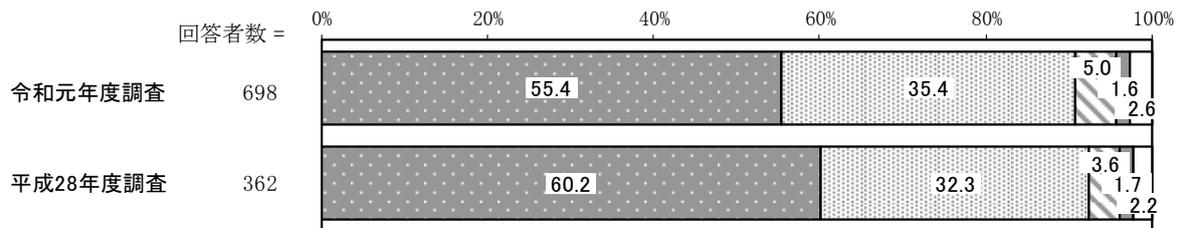
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

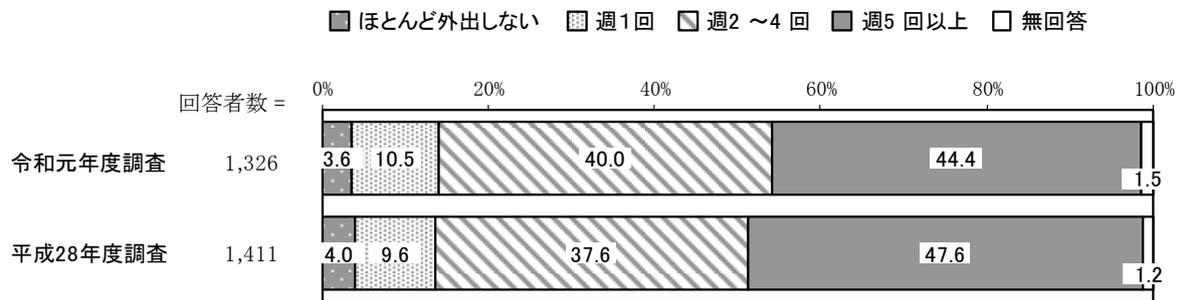
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2（6）週に1回以上は外出していますか。

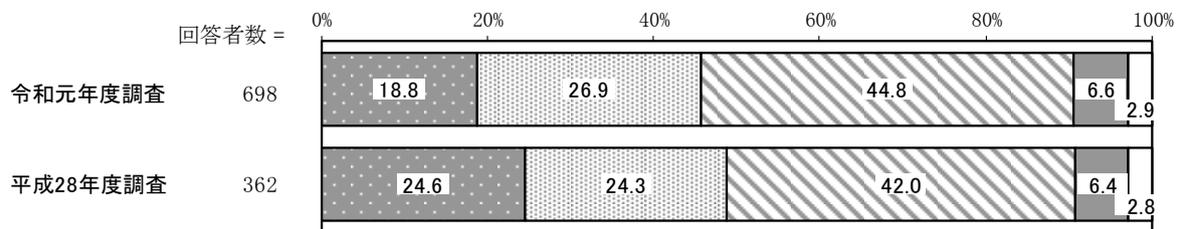
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

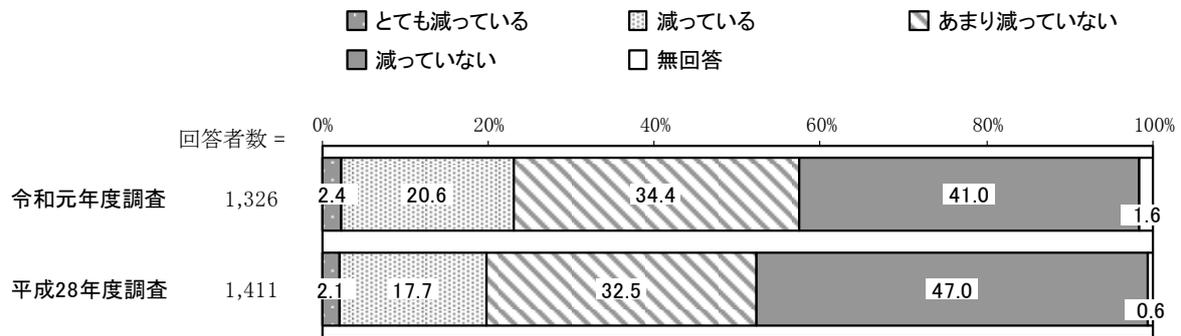
平成28年度調査と比較すると、「ほとんど外出しない」が5.8ポイント減少しています。



問2（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

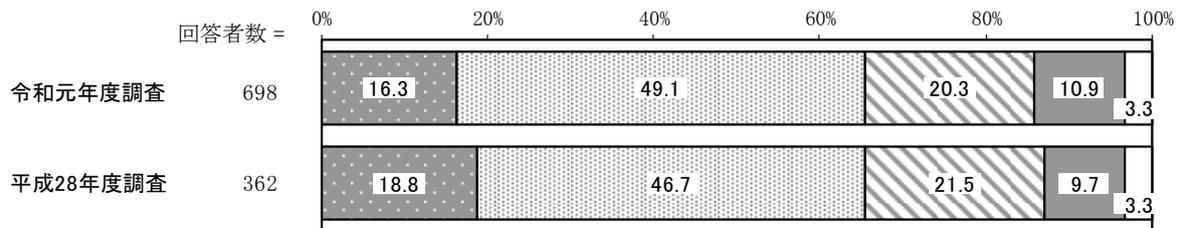
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、「減っていない」が6.0ポイント減少しています。



【要支援認定者】

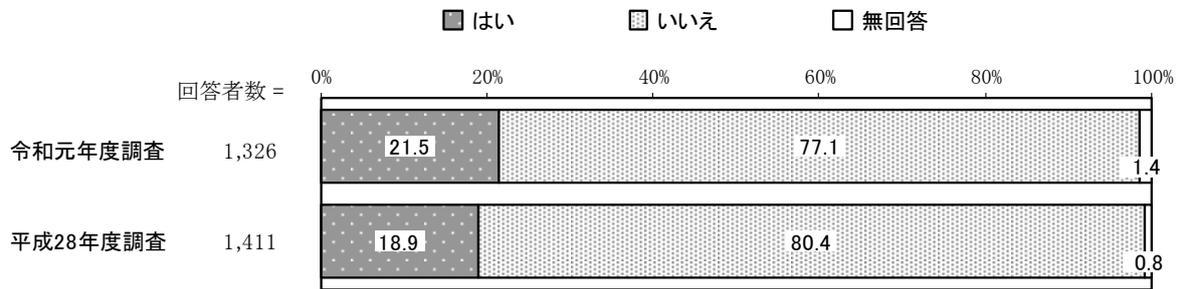
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2（8）外出を控えていますか。

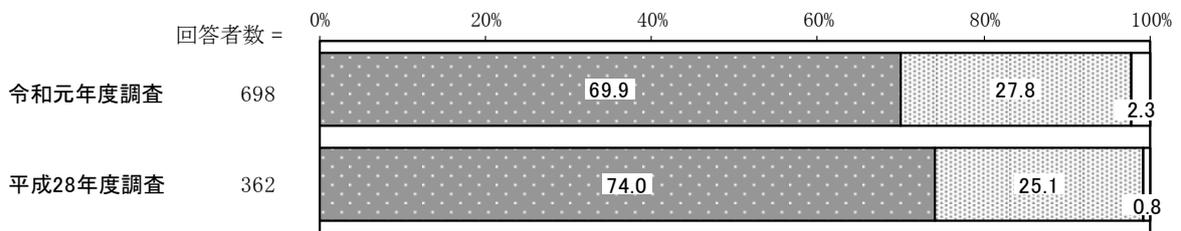
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

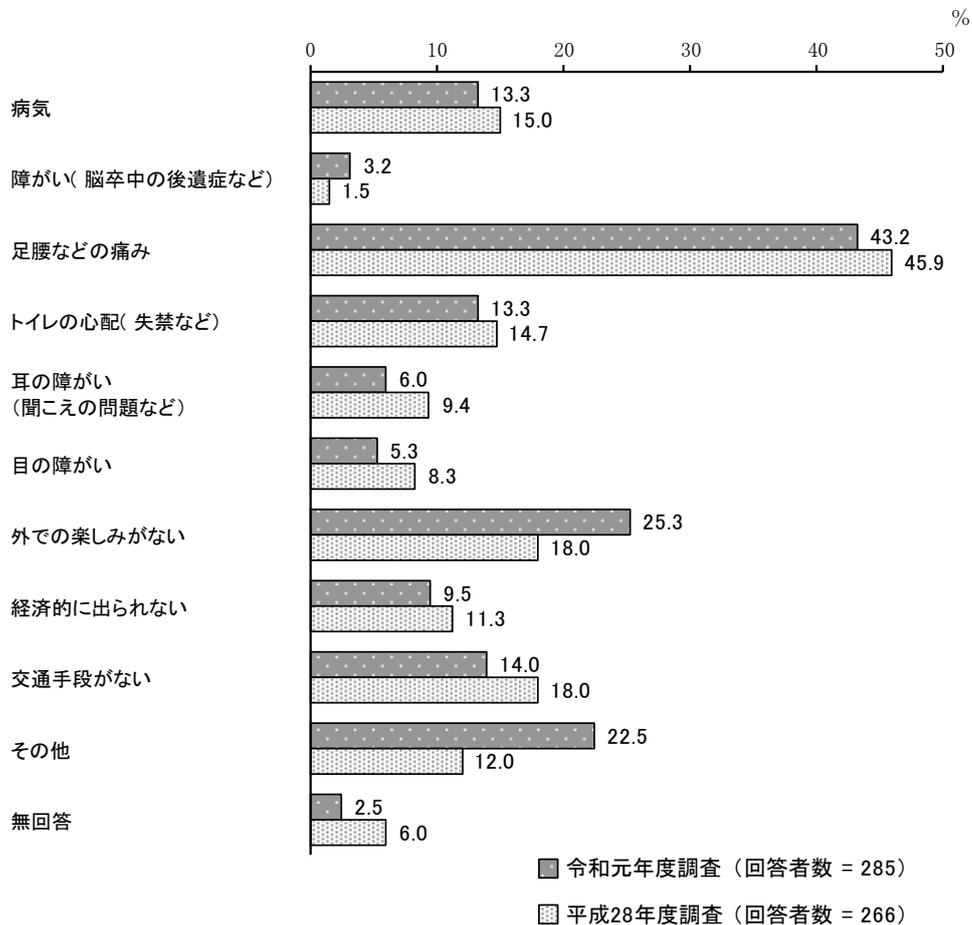


(8) で「はい」(外出を控えている)のかたのみ

問2 (8) ①外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

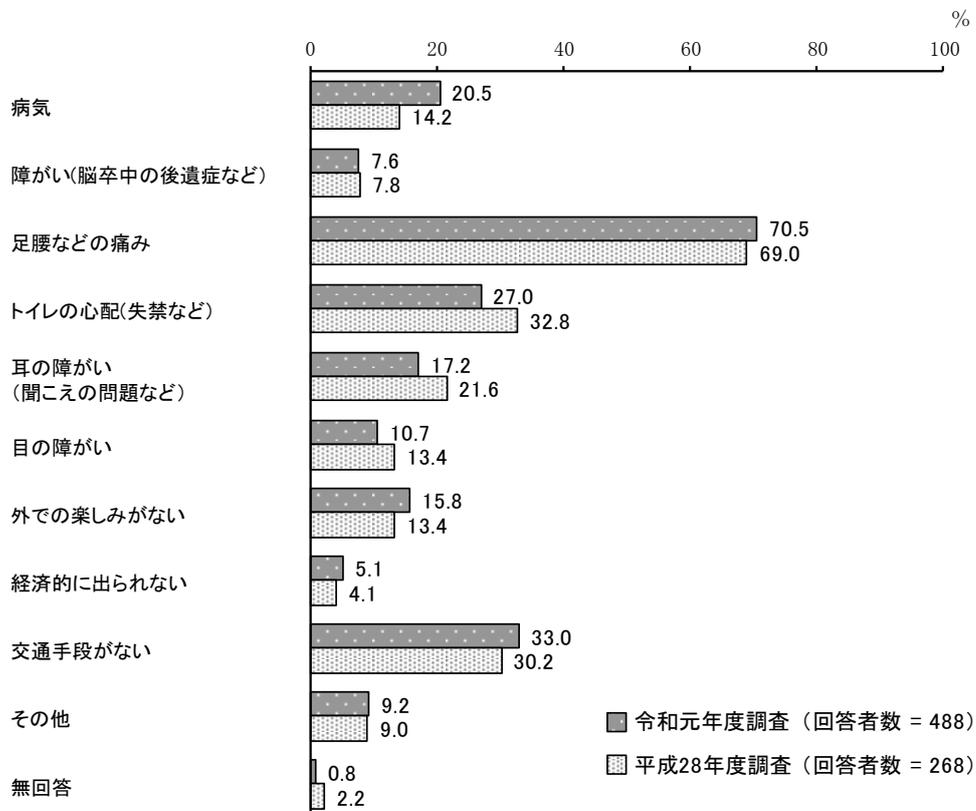
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、「外での楽しみがない」が7.3ポイント増加しています。



【要支援認定者】

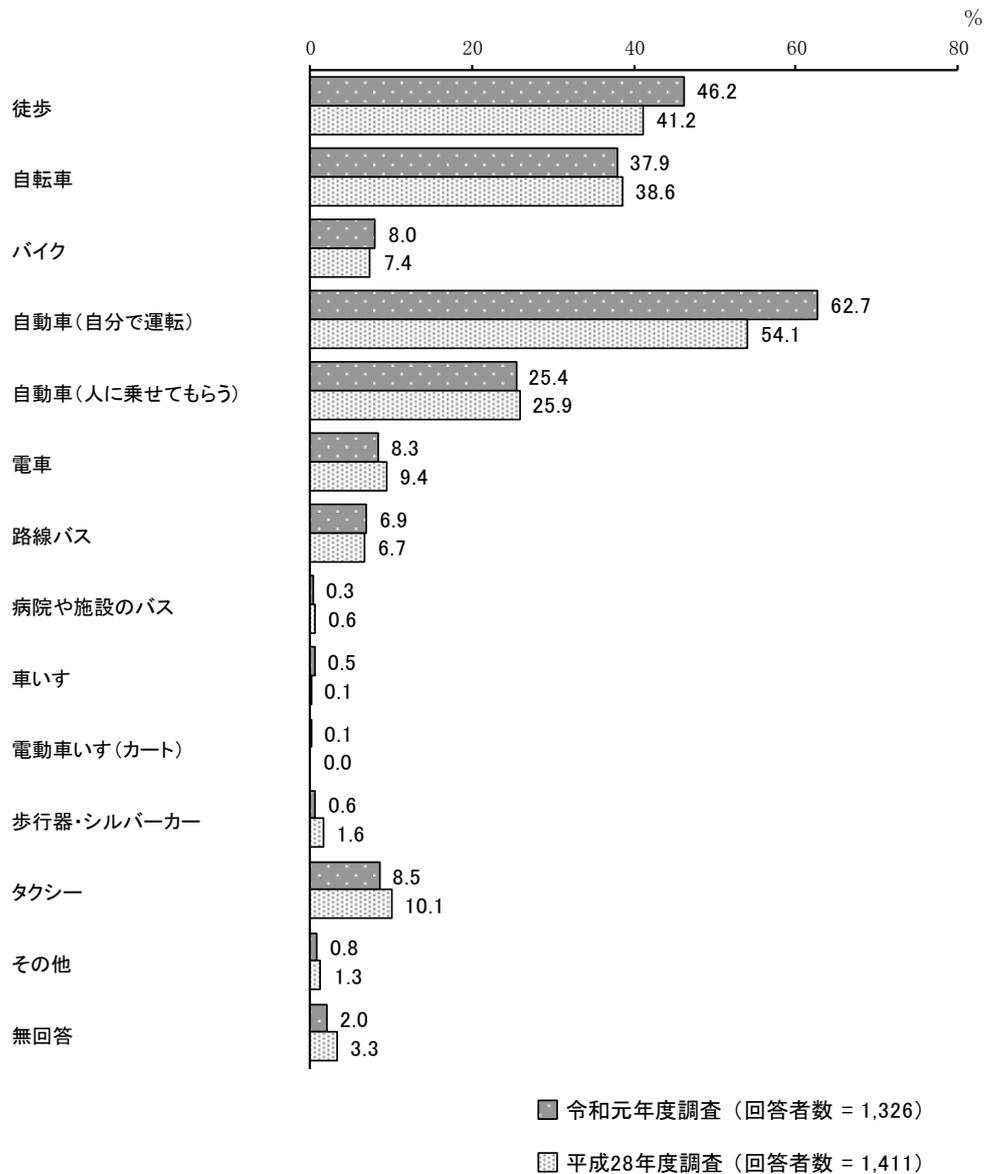
平成 28 年度調査と比較すると、「病気」が 6.3 ポイント増加し、「トイレの心配(失禁など)」が 5.8 ポイント減少しています。



問2（9）外出する際の移動手段は何ですか。（いくつでも）

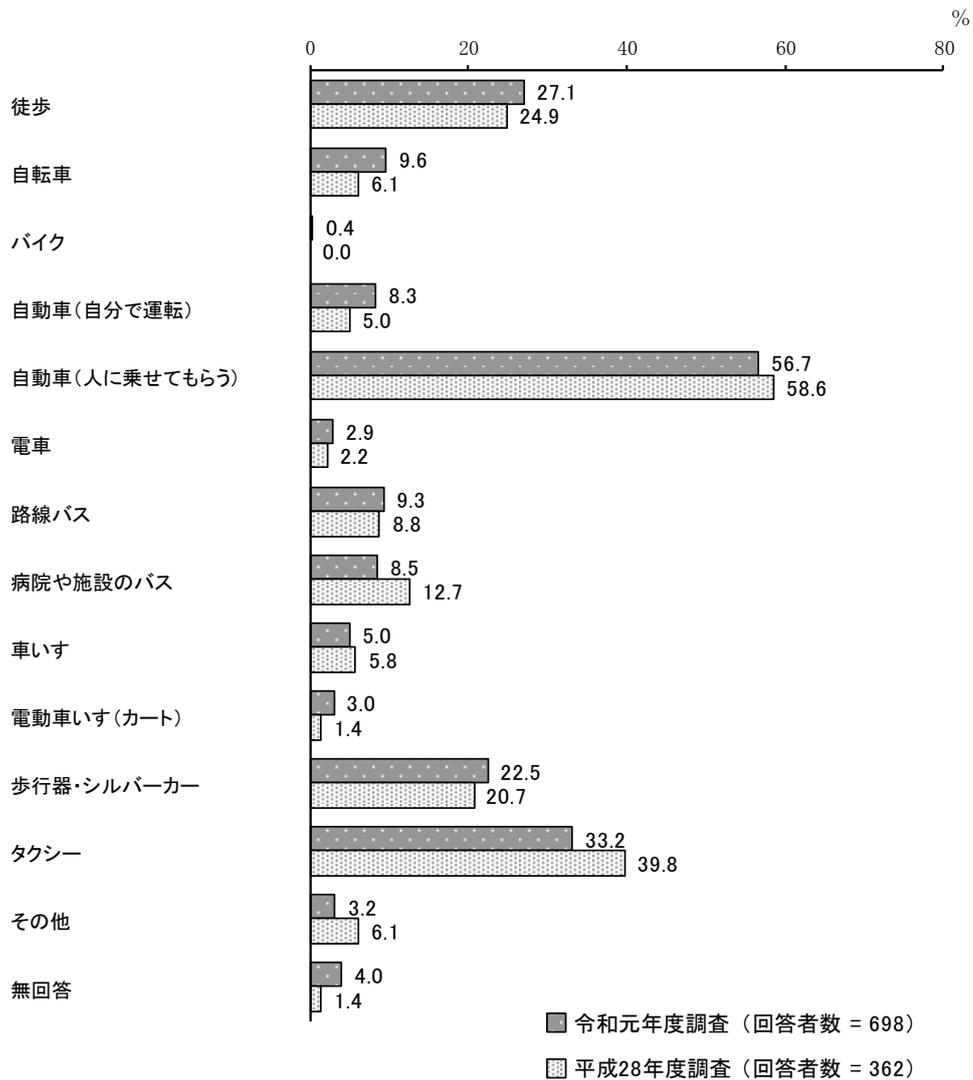
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、「徒歩」が5.0ポイント、「自動車（自分で運転）」が8.6ポイント増加しています。



【要支援認定者】

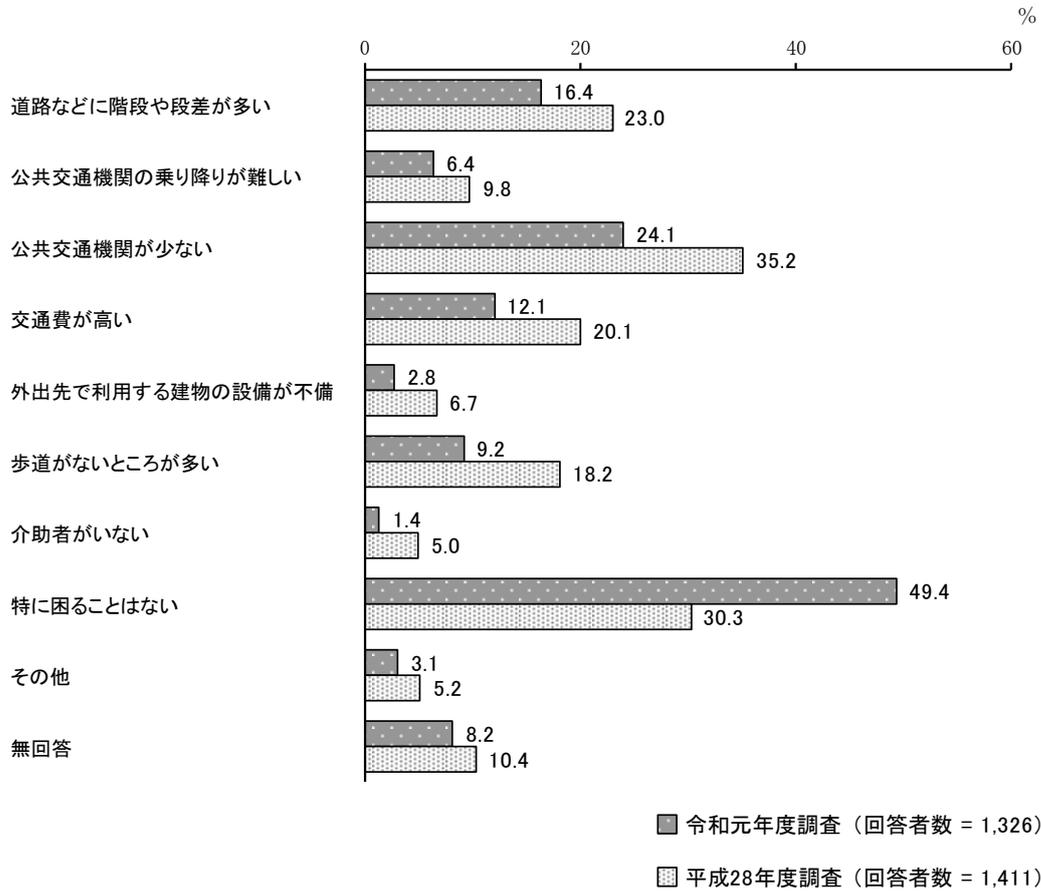
平成28年度調査と比較すると、「タクシー」が6.6ポイント減少しています。



問2 (10) 外出する際、困ることを3つまで選んでください。

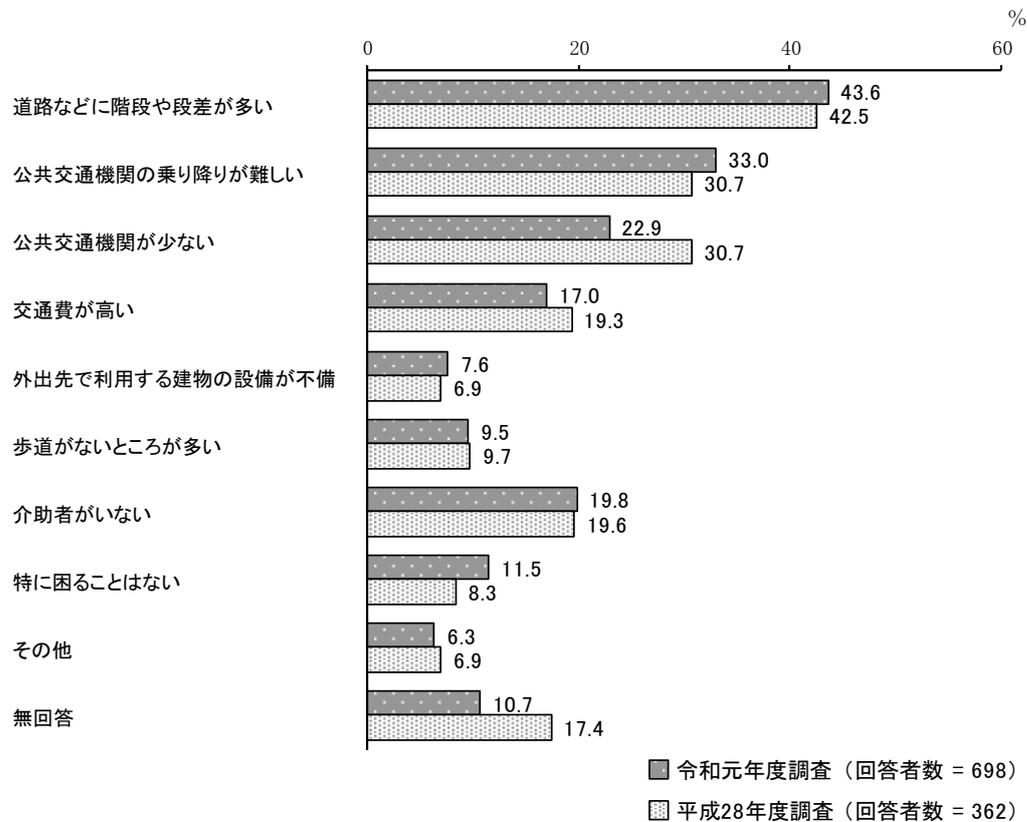
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、「特に困ることはない」が19.1ポイント増加し、「道路などに階段や段差が多い」が6.6ポイント、「公共交通機関が少ない」が11.1ポイント、「交通費が高い」が8.0ポイント、「歩道がないところが多い」が9.0ポイント減少しています。



【要支援認定者】

平成 28 年度調査と比較すると、「公共交通機関が少ない」が 7.8 ポイント減少しています。

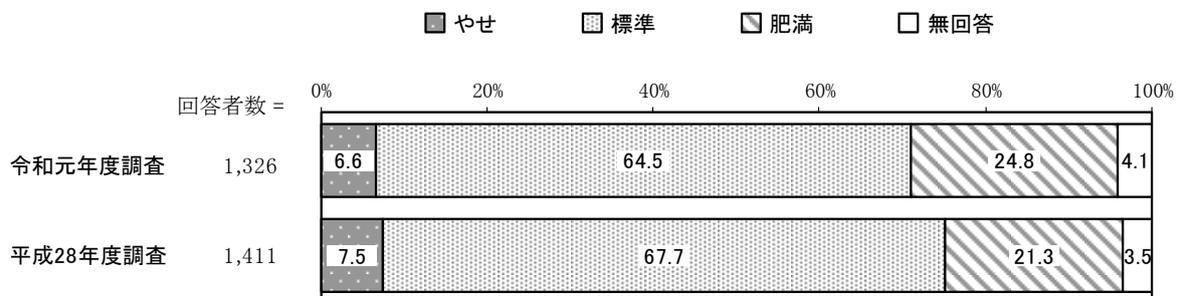


3 食べることについて

問3 (1) 身長・体重 (BMI 算出)

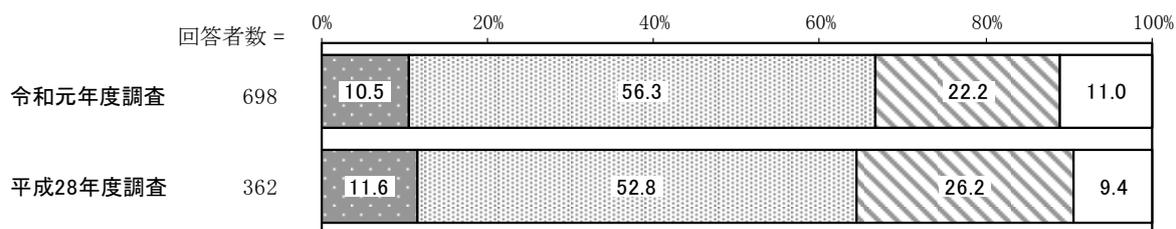
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

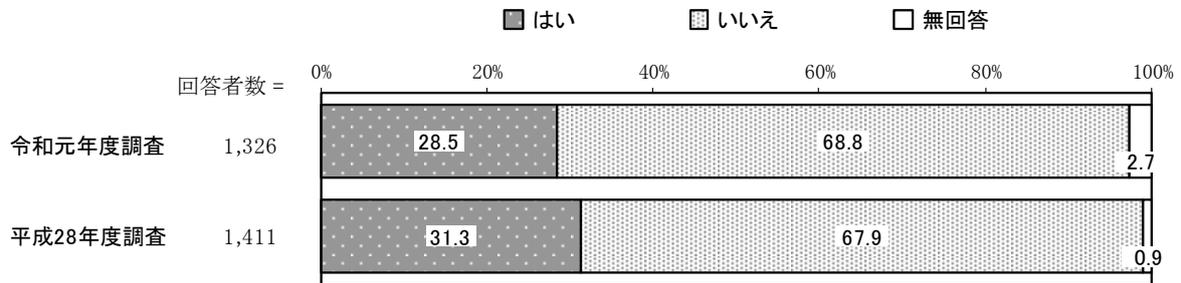
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

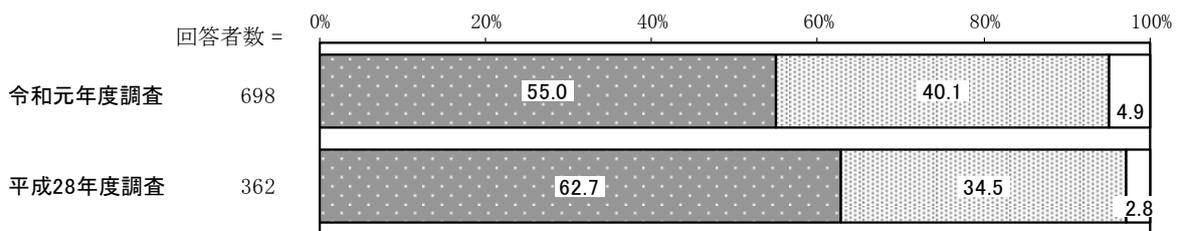
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

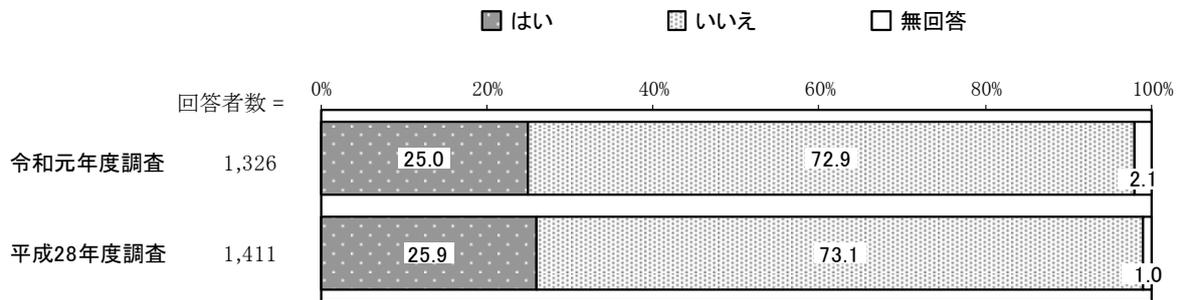
平成28年度調査と比較すると、「はい」が7.7ポイント減少し、「いいえ」が5.6ポイント増加しています。



問3 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか。

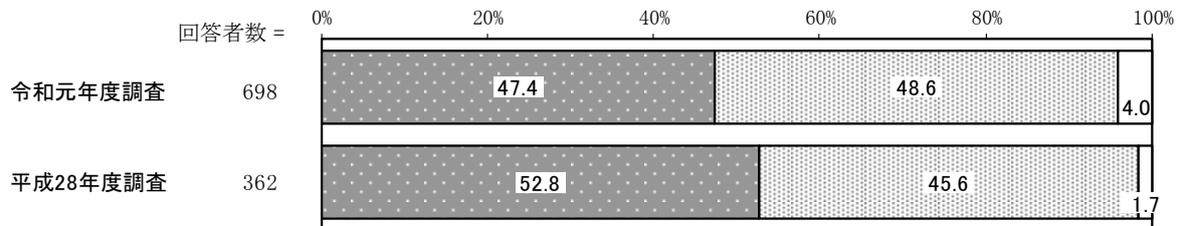
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

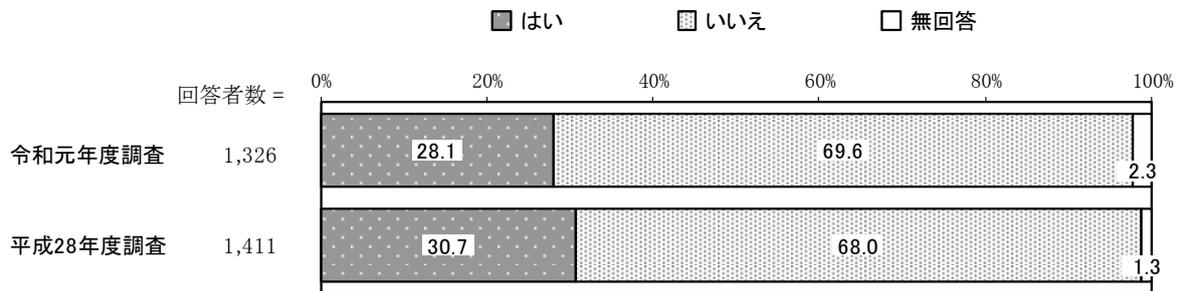
平成28年度調査と比較すると、「はい」が5.4ポイント減少しています。



問3（4）口の渇きが気になりますか。

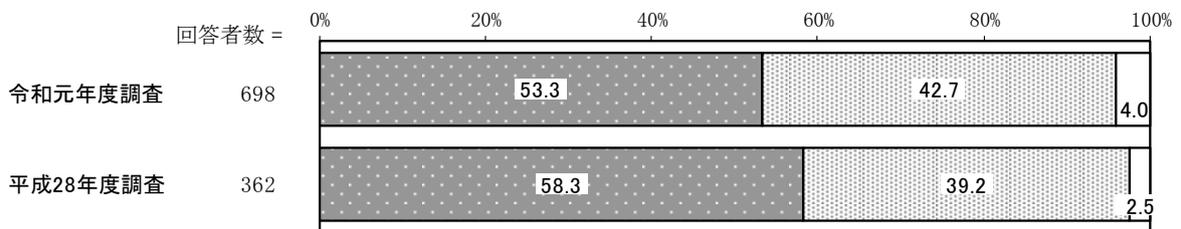
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

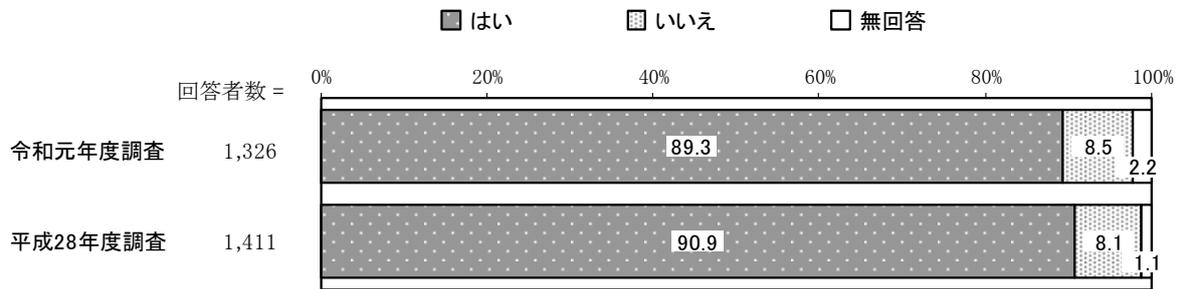
平成28年度調査と比較すると、「はい」が5.0ポイント減少しています。



問3 (5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか。

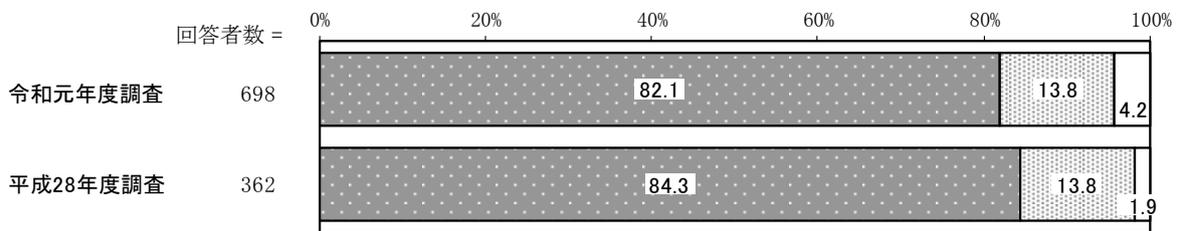
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

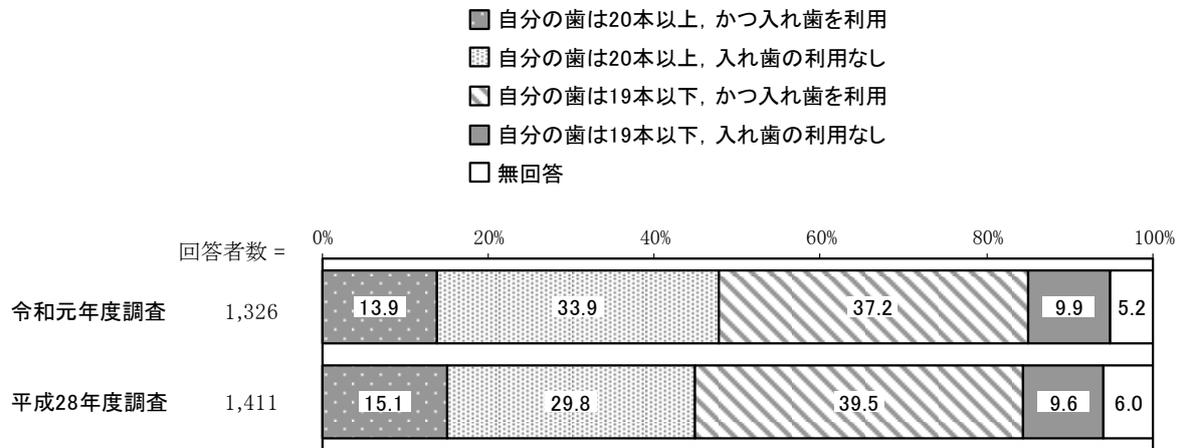
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問3 (6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

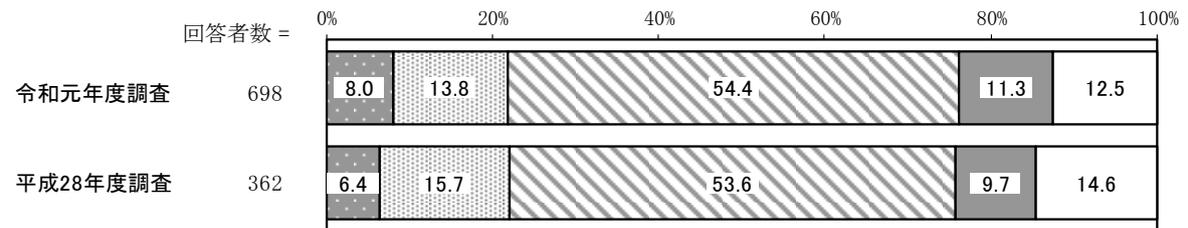
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

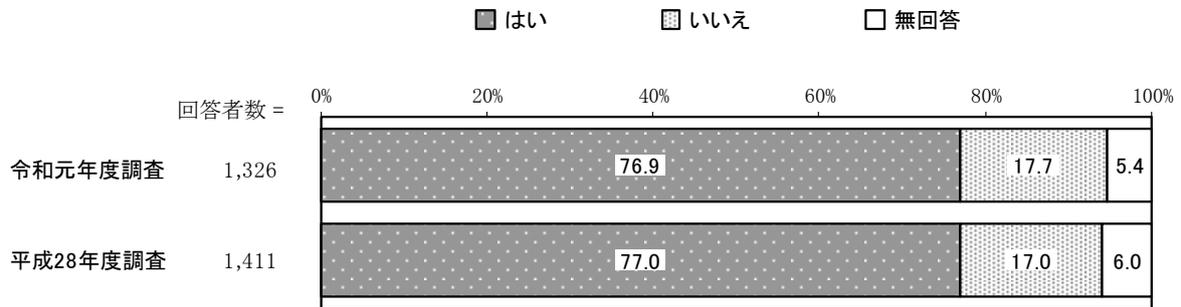
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問3 (6) ①噛み合わせは良いですか

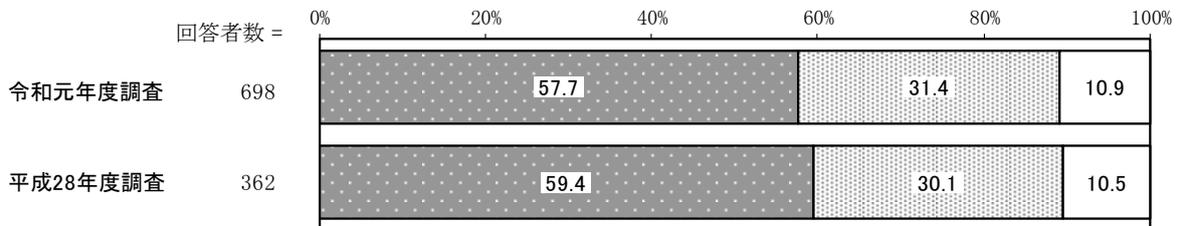
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

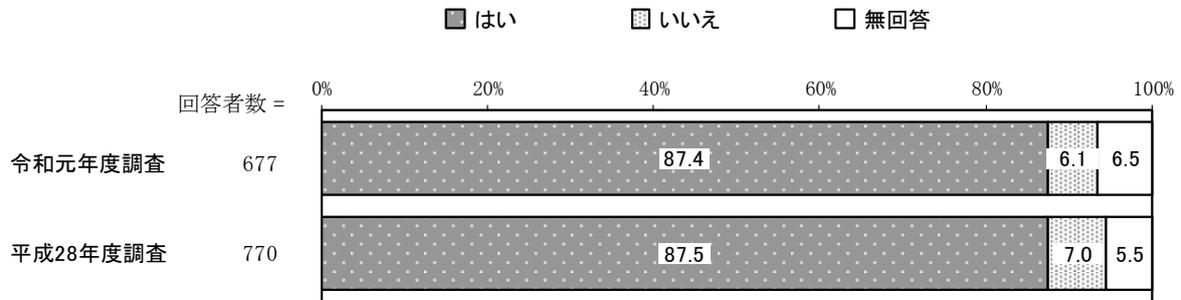


(6) で「1. 自分の歯は 20 本以上, かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は 19 本以下, かつ入れ歯を利用」のかたのみ

問 3 (6) ②毎日入れ歯の手入れをしていますか。

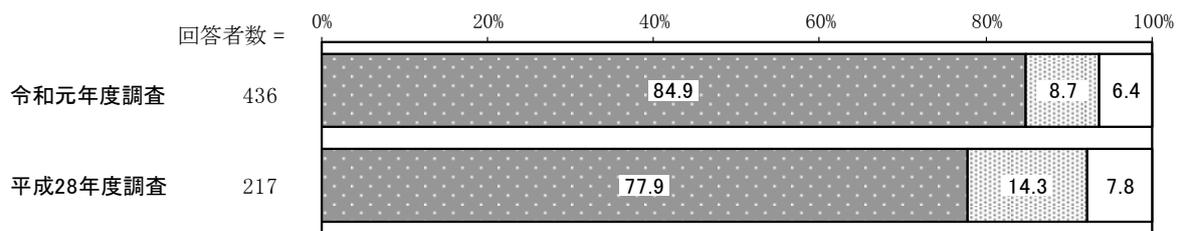
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると, 大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

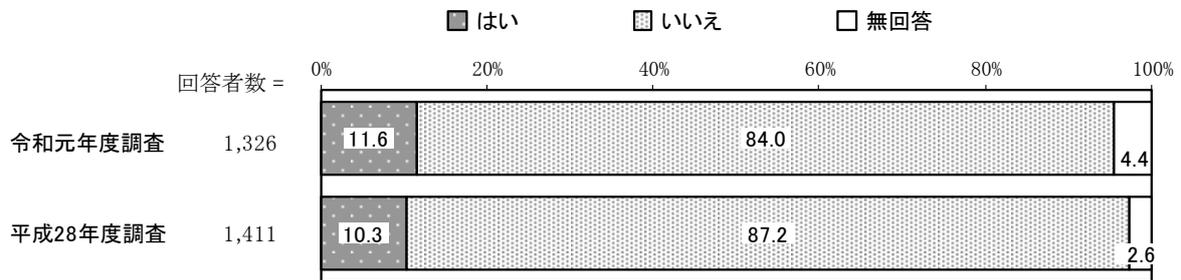
平成 28 年度調査と比較すると, 「はい」が 7.0 ポイント増加し, 「いいえ」が 5.6 ポイント減少しています。



問3 (7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

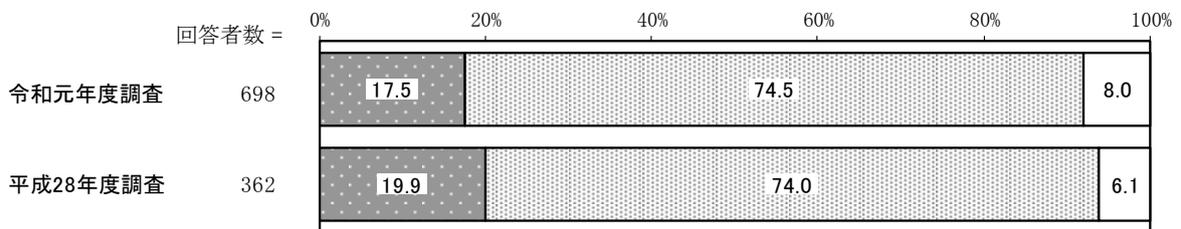
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

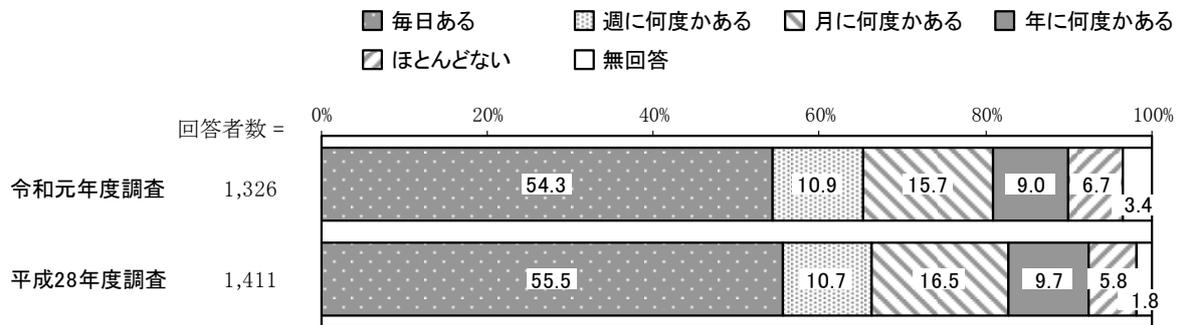
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問3 (8) どなたかと食事をとる機会がありますか。

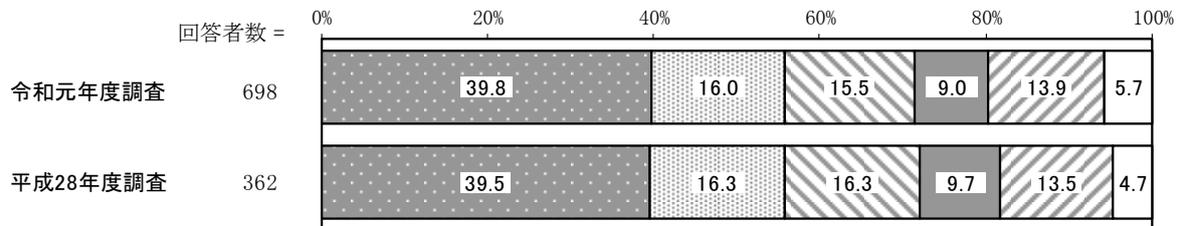
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

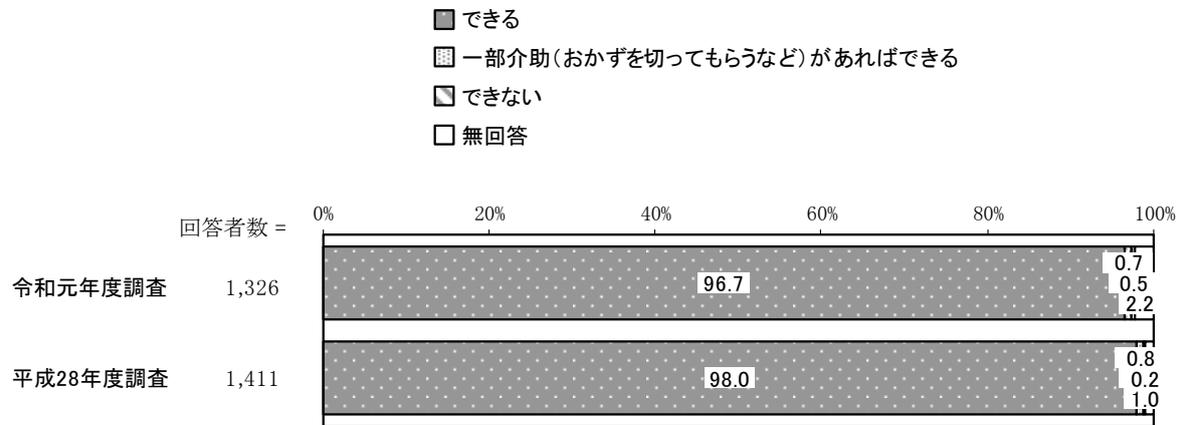
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問3 (9) 食事は自分で食べられますか。

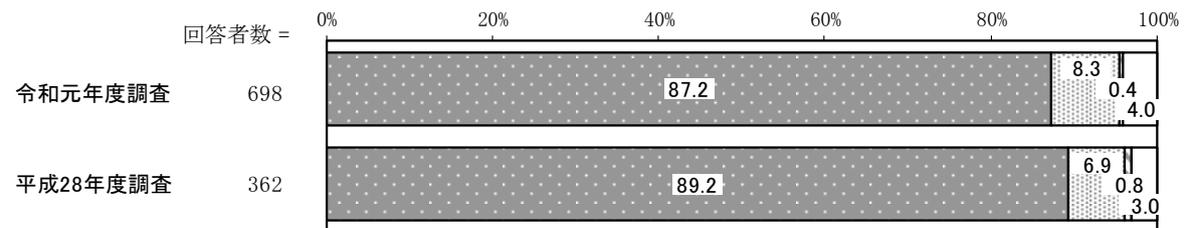
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

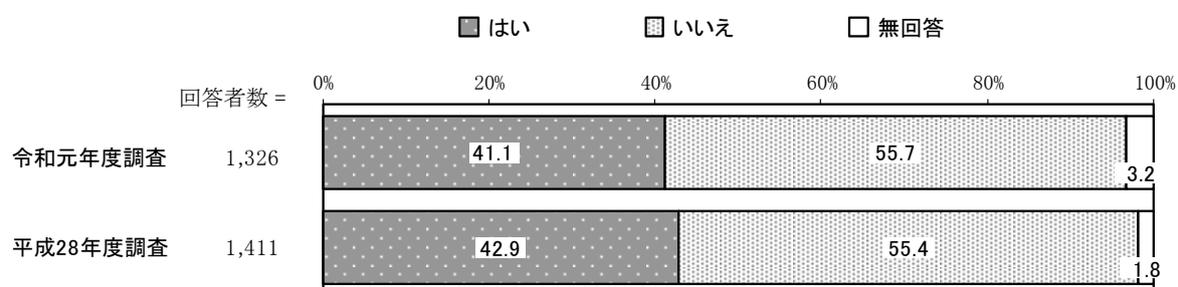


4 毎日の生活について

問4（1）物忘れが多いと感じますか。

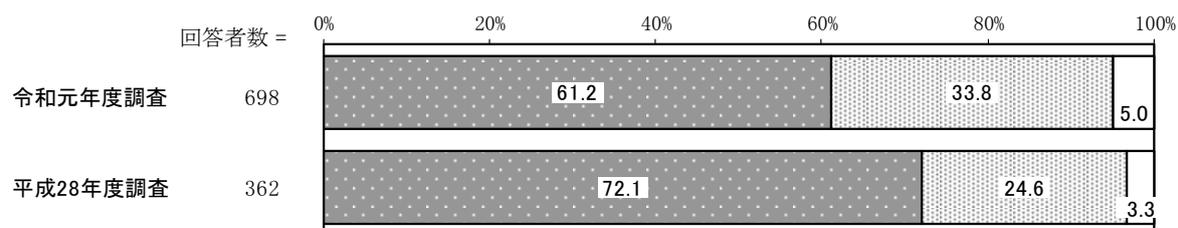
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

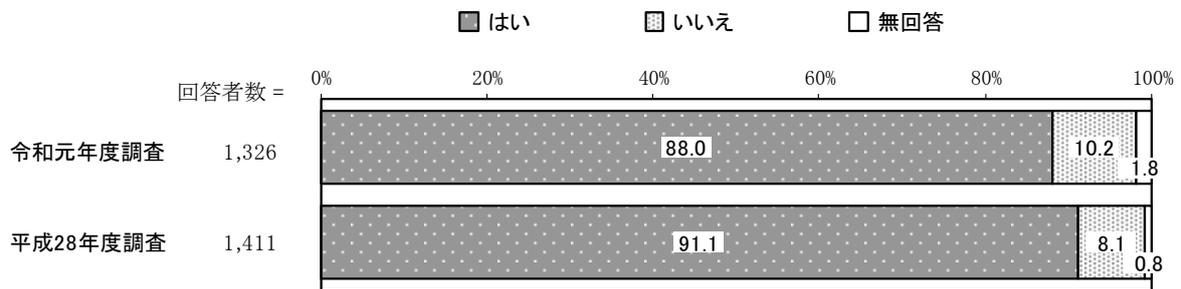
平成28年度調査と比較すると、「はい」が10.9ポイント減少し、「いいえ」が9.2ポイント増加しています。



問4（2）自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

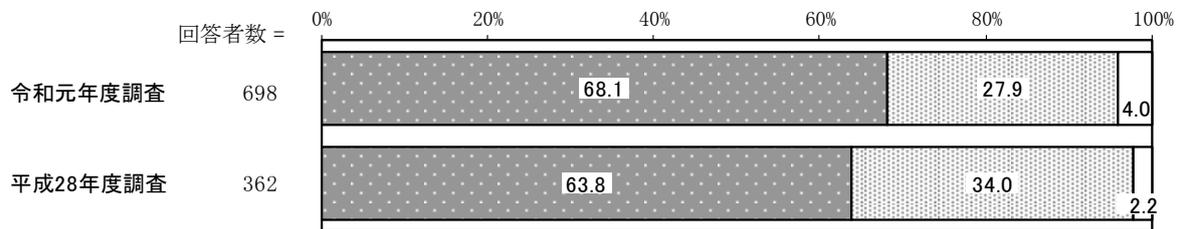
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

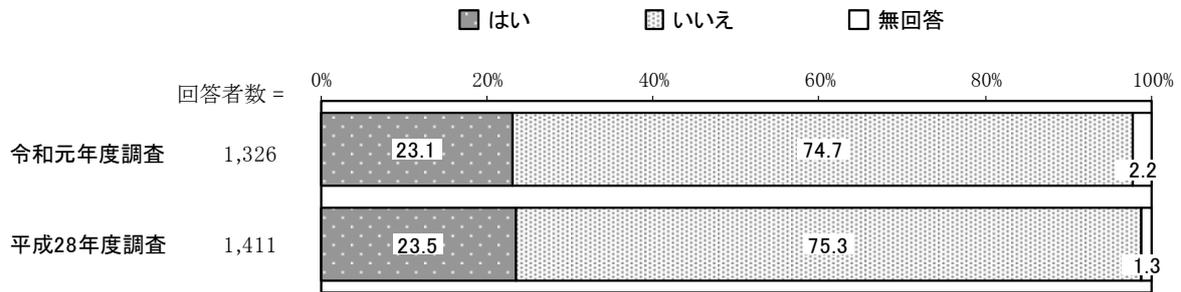
平成28年度調査と比較すると、「いいえ」が6.1ポイント減少しています。



問4（3）今日が何月何日かわからない時がありますか。

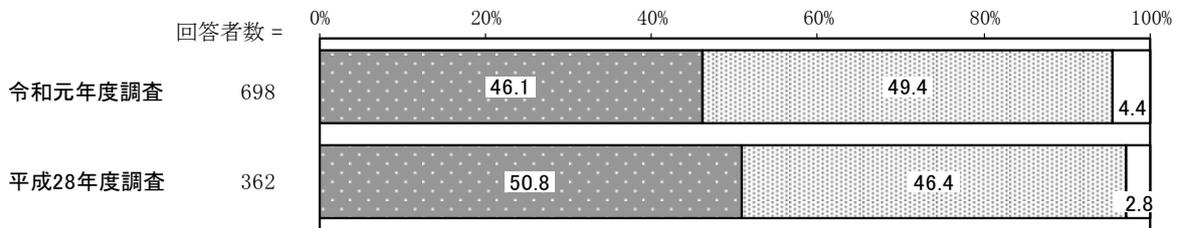
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

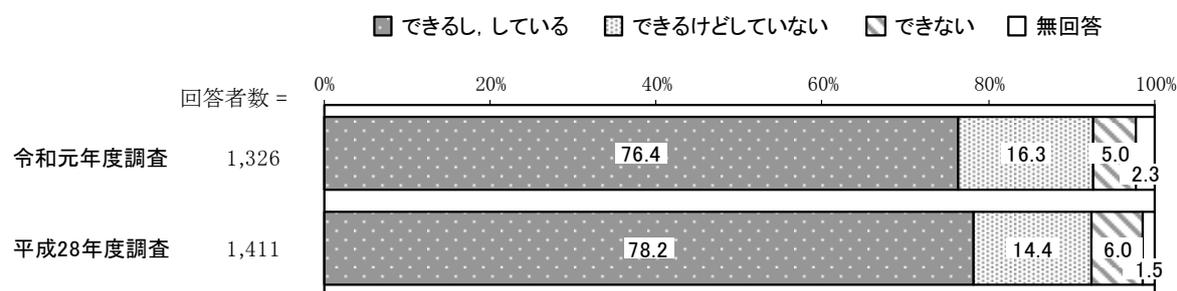
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 (4) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)

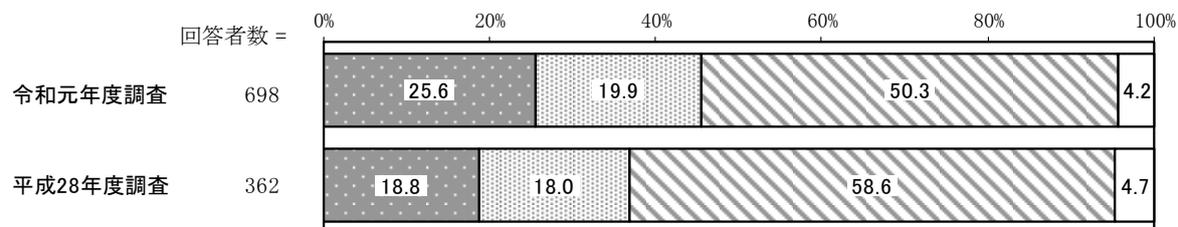
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

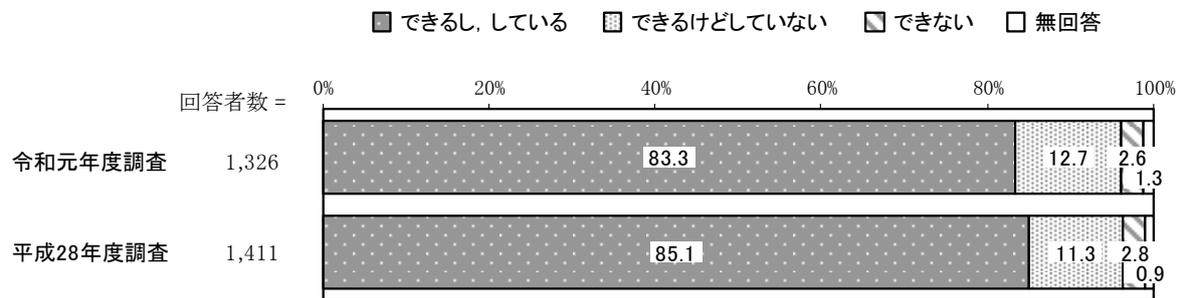
平成28年度調査と比較すると、「できるし、している」が6.8ポイント増加し、「できない」が8.3ポイント減少しています。



問4 (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。

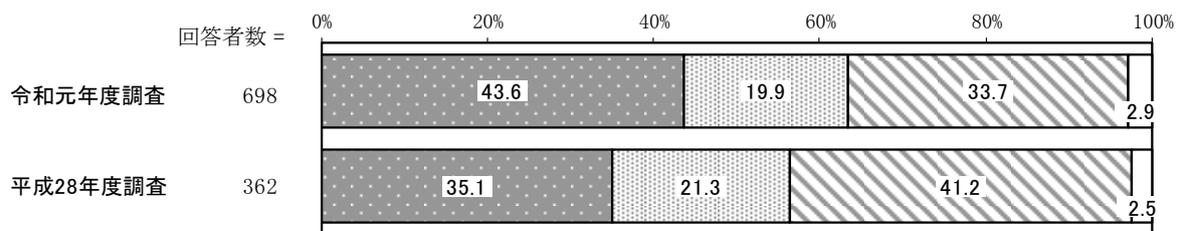
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

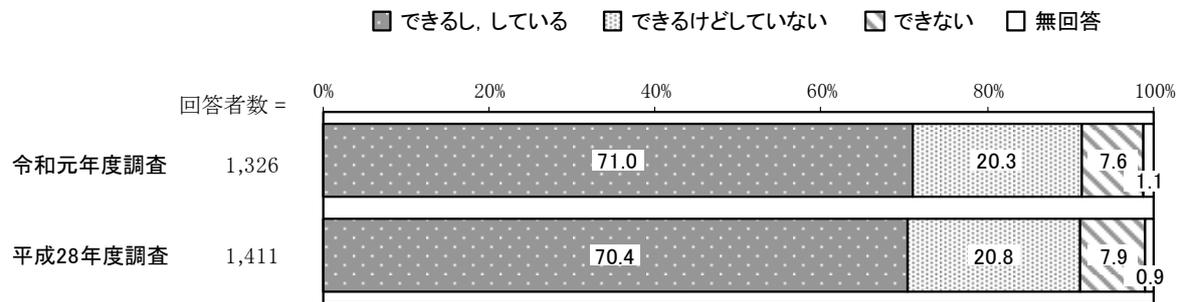
平成28年度調査と比較すると、「できるし、している」が8.5ポイント増加し、「できない」が7.5ポイント減少しています。



問4（6）自分で食事の用意をしていますか。

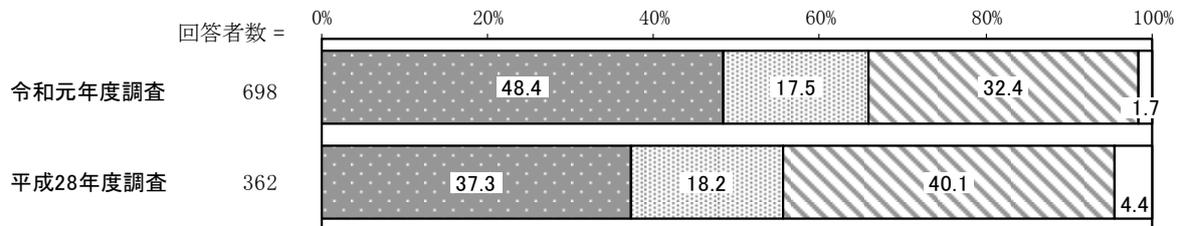
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

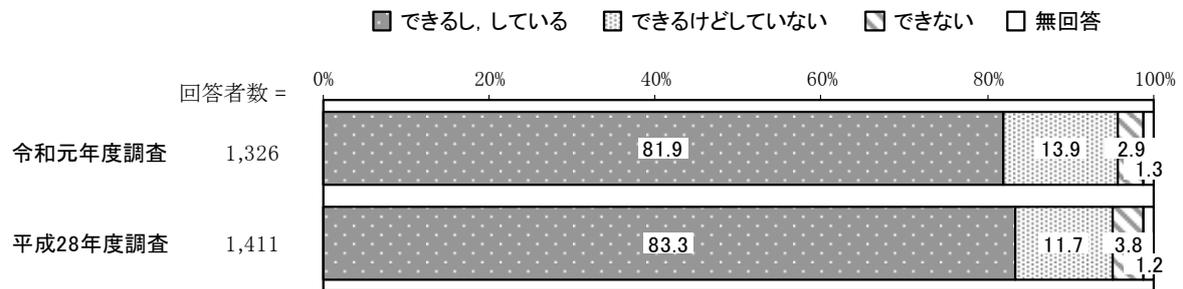
平成28年度調査と比較すると、「できるし、している」が11.1ポイント増加し、「できない」が7.7ポイント減少しています。



問 4 (7) 自分で請求書の支払いをしていますか。

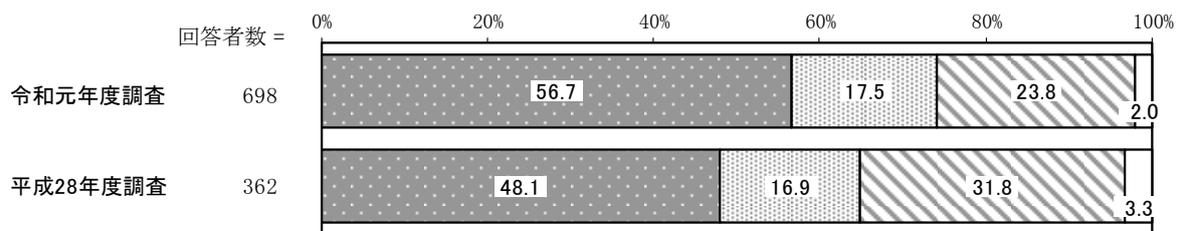
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

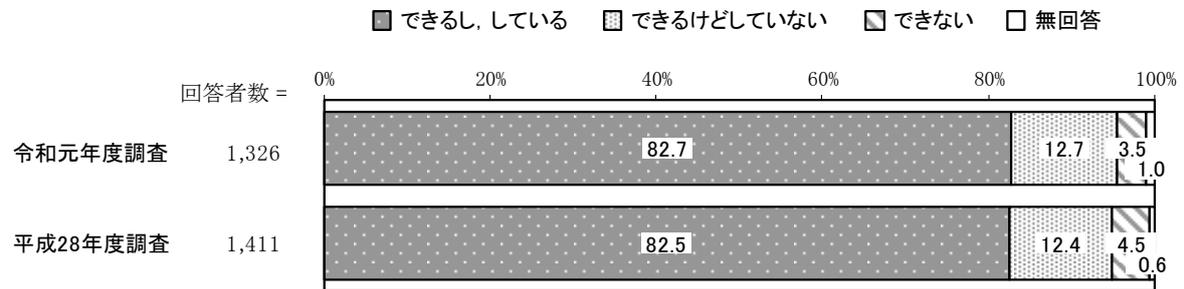
平成 28 年度調査と比較すると、「できるし、している」が 8.6 ポイント増加し、「できない」が 8.0 ポイント減少しています。



問 4 (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

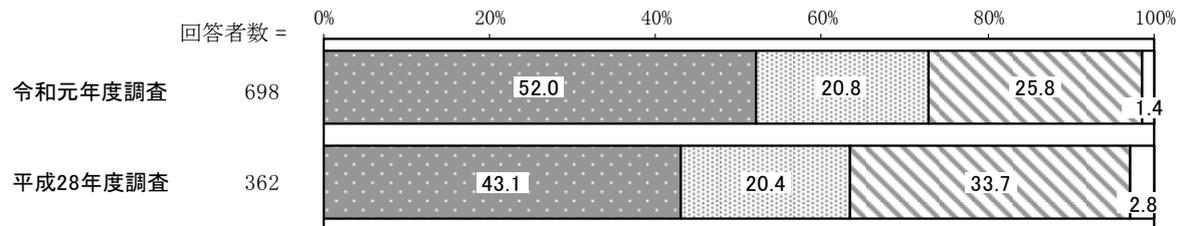
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

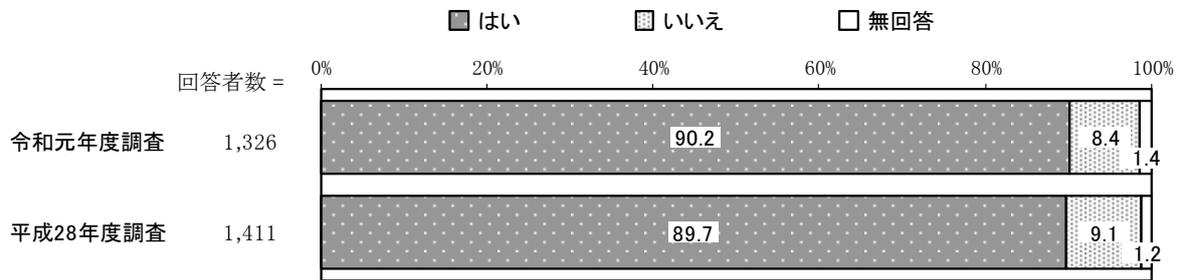
平成 28 年度調査と比較すると、「できるし、している」が 8.9 ポイント増加し、「できない」が 7.9 ポイント減少しています。



問 4 (9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。

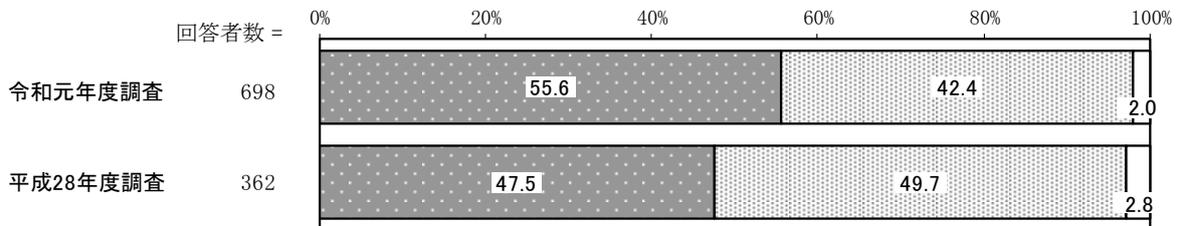
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

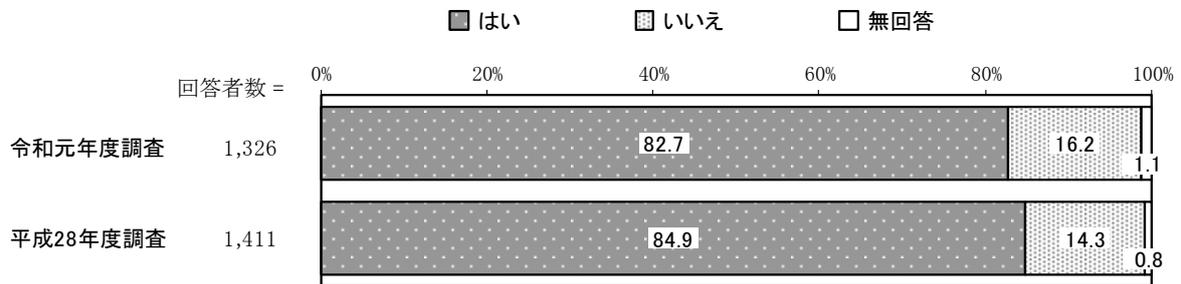
平成 28 年度調査と比較すると、「はい」が 8.1 ポイント増加し、「いいえ」が 7.3 ポイント減少しています。



問 4 (10) 新聞を読んでいますか。

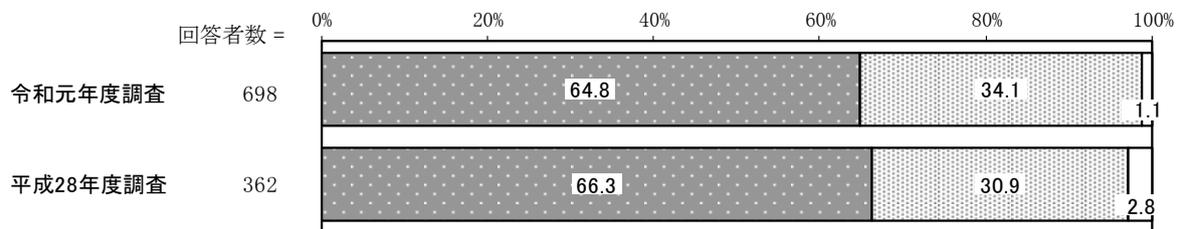
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

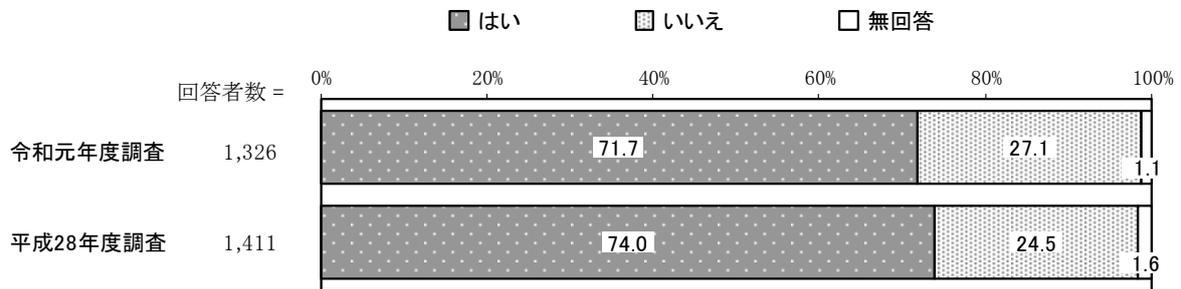
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 4 (11) 本や雑誌を読んでいますか。

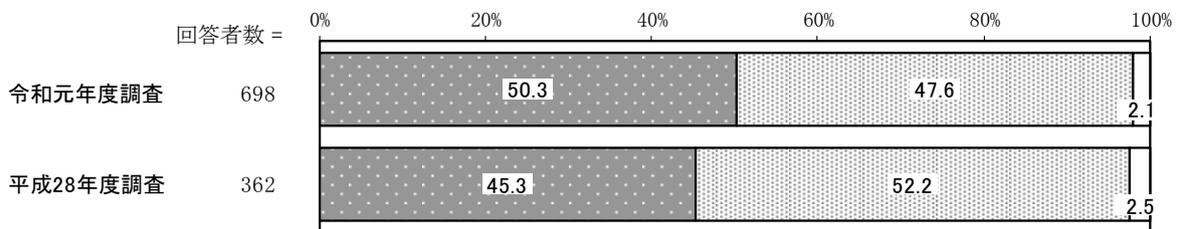
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

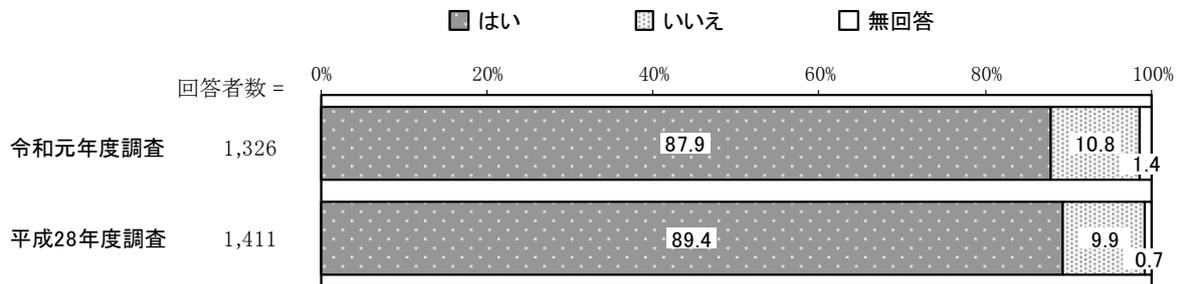
平成 28 年度調査と比較すると、「はい」が 5.0 ポイント増加しています。



問 4 (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。

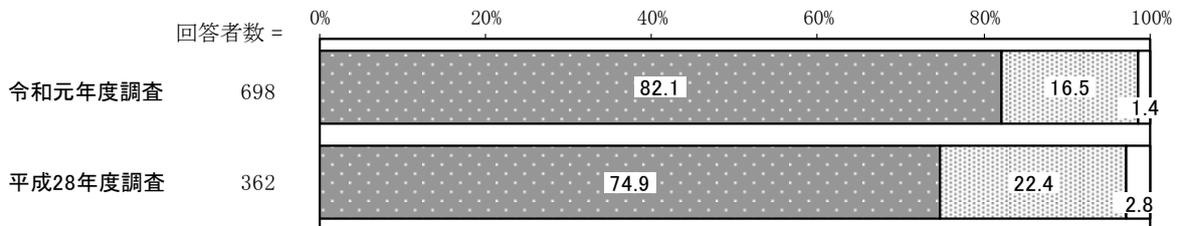
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

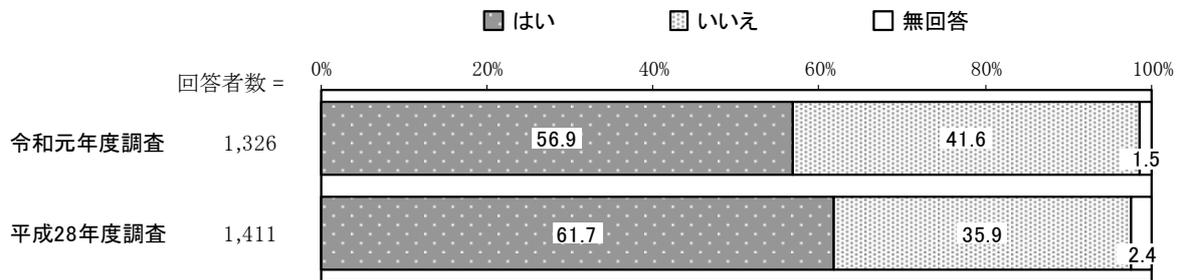
平成 28 年度調査と比較すると、「はい」が 7.2 ポイント増加し、「いいえ」が 5.9 ポイント減少しています。



問 4 (13) 友人の家を訪ねていますか。

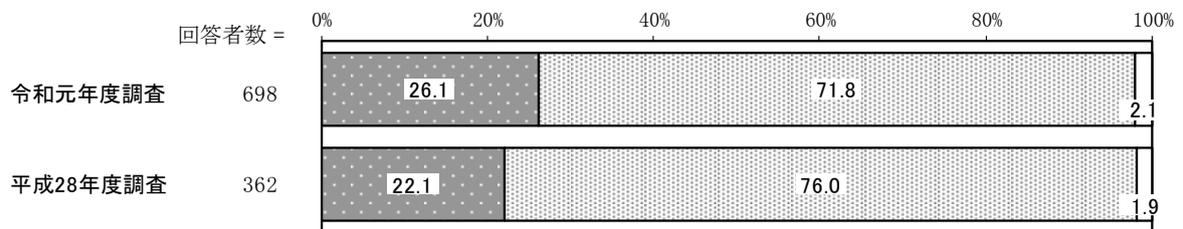
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

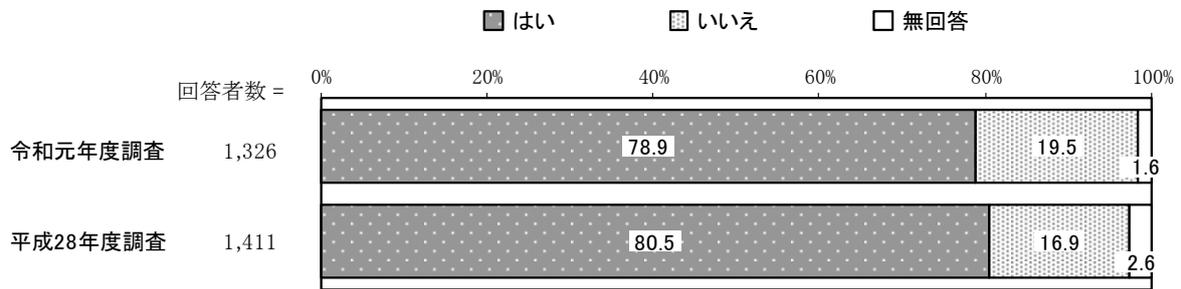
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 4 (14) 家族や友人の相談にのっていますか。

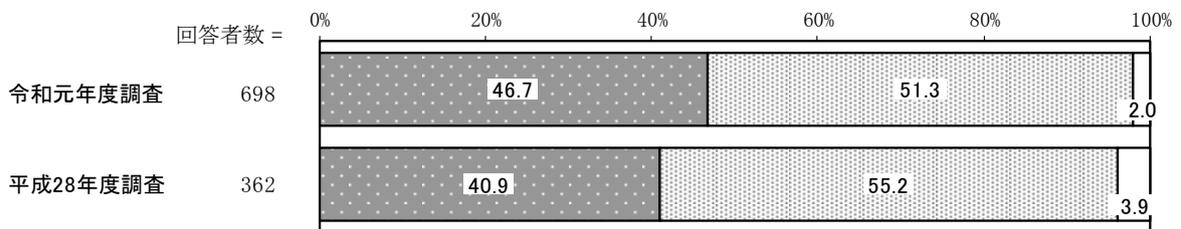
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

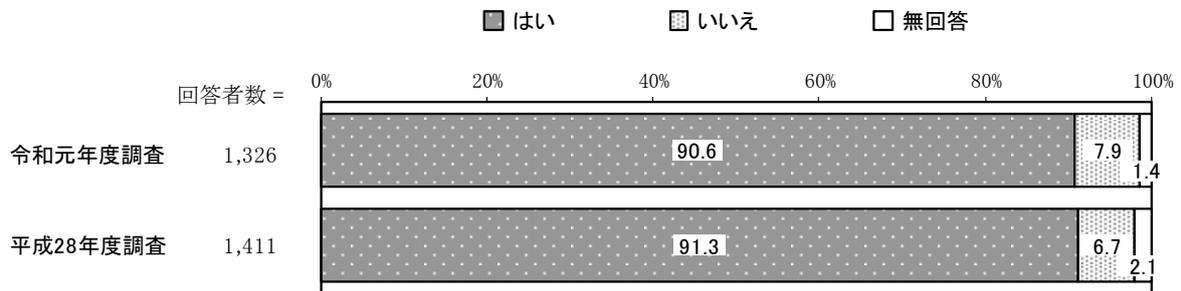
平成 28 年度調査と比較すると、「はい」が 5.8 ポイント増加しています。



問 4 (15) 病人を見舞うことができますか。

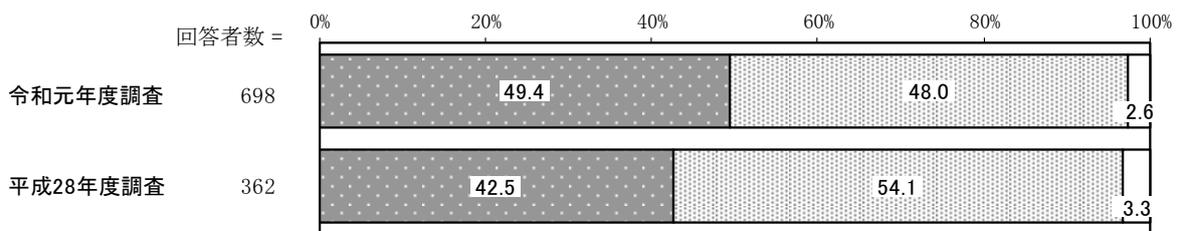
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

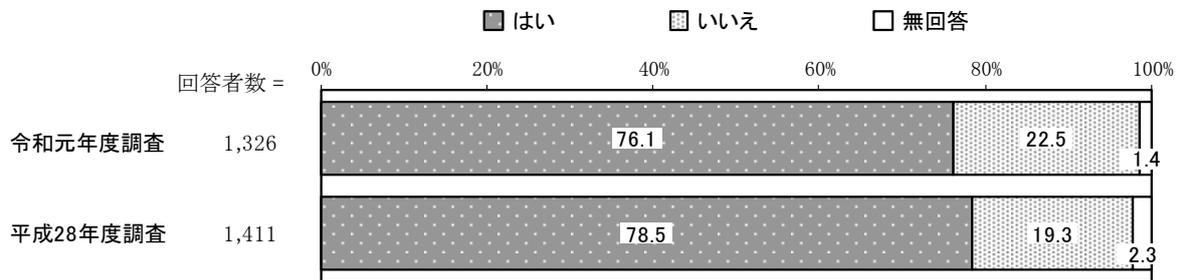
平成 28 年度調査と比較すると、「はい」が 6.9 ポイント増加し、「いいえ」が 6.1 ポイント減少しています。



問 4 (16) 若い人に自分から話しかけることがありますか。

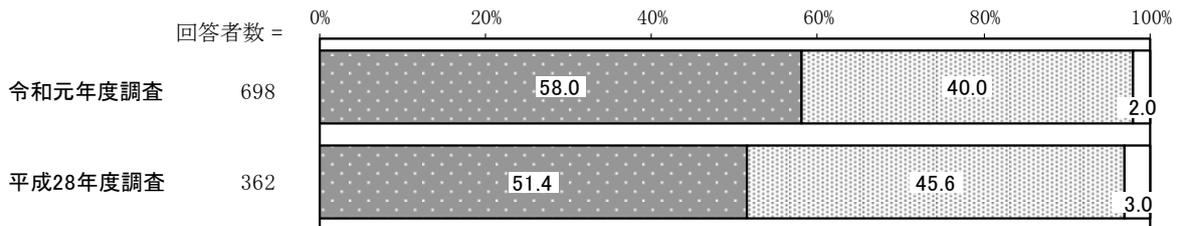
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

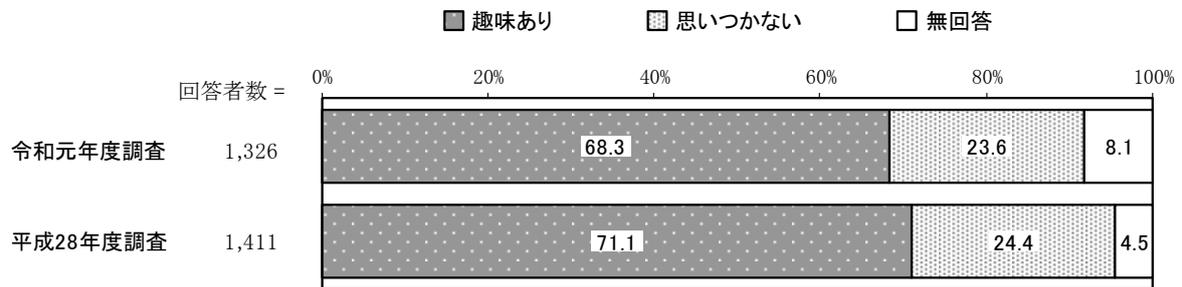
平成 28 年度調査と比較すると、「はい」が 6.6 ポイント増加し、「いいえ」が 5.6 ポイント減少しています。



問 4 (17) 趣味はありますか。

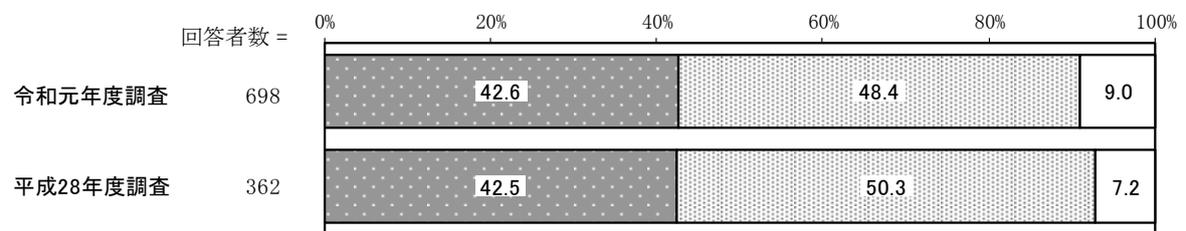
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

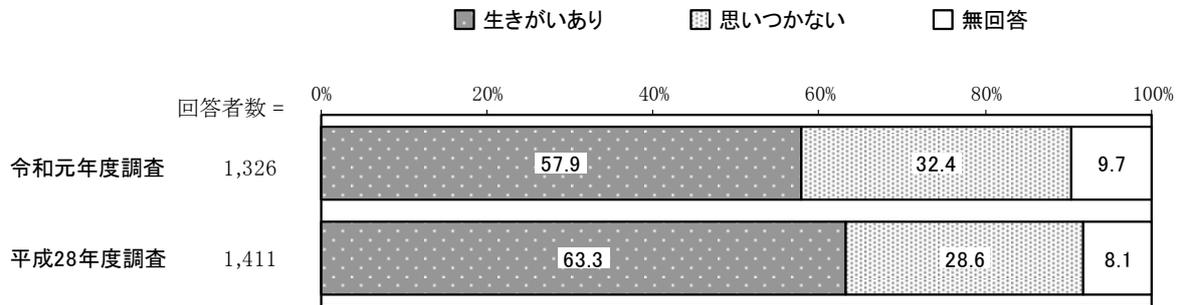
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 4 (18) 生きがいがありますか。

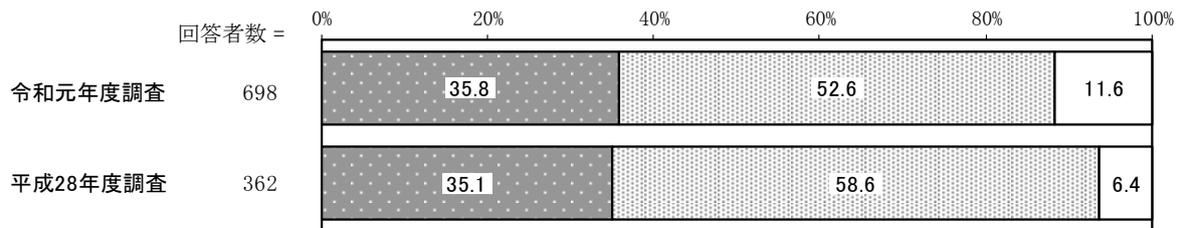
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、「生きがいあり」が 5.4 ポイント減少しています。



【要支援認定者】

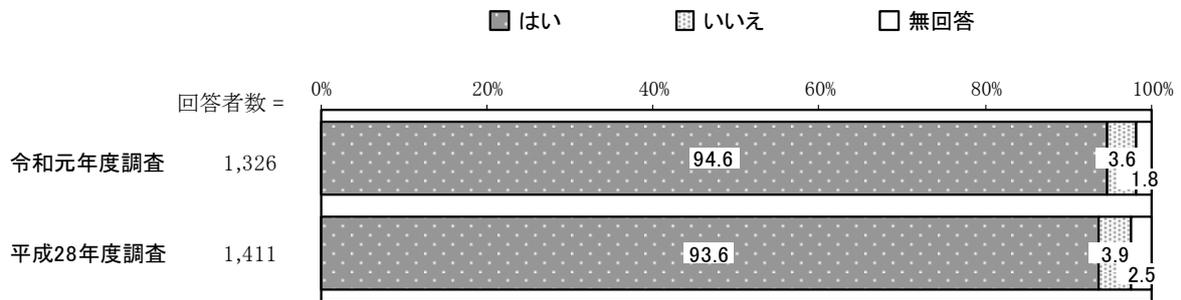
平成 28 年度調査と比較すると、「思いつかない」が 6.0 ポイント減少しています。



問 4 (19) 5分前のことが思い出せますか。

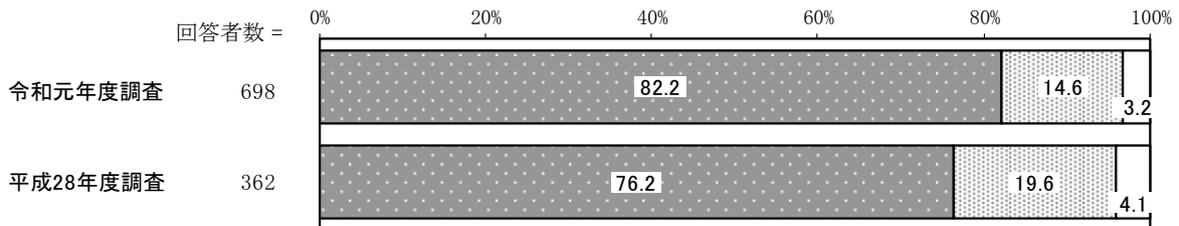
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

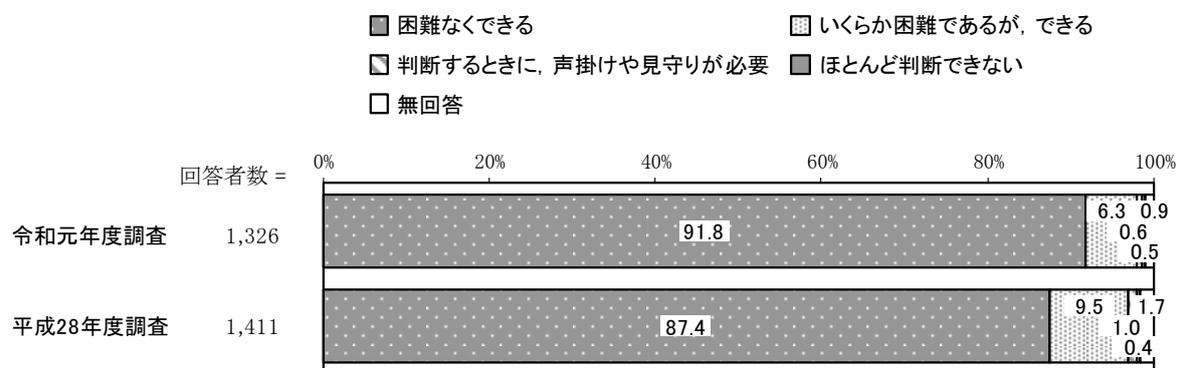
平成 28 年度調査と比較すると、「はい」が 6.0 ポイント増加し、「いいえ」が 5.0 ポイント減少しています。



問 4 (20) その日の活動（食事をする，衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか。

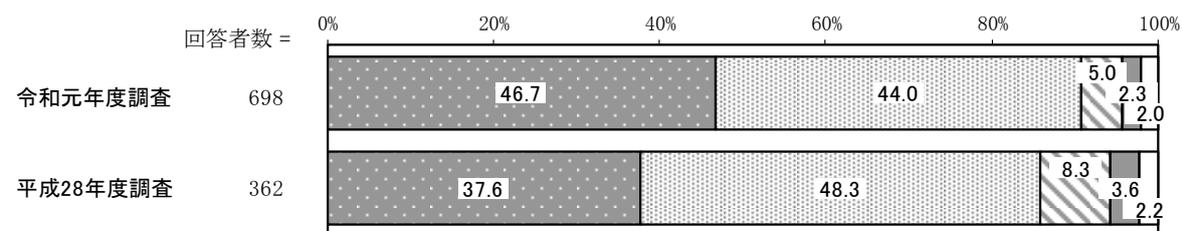
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると，大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

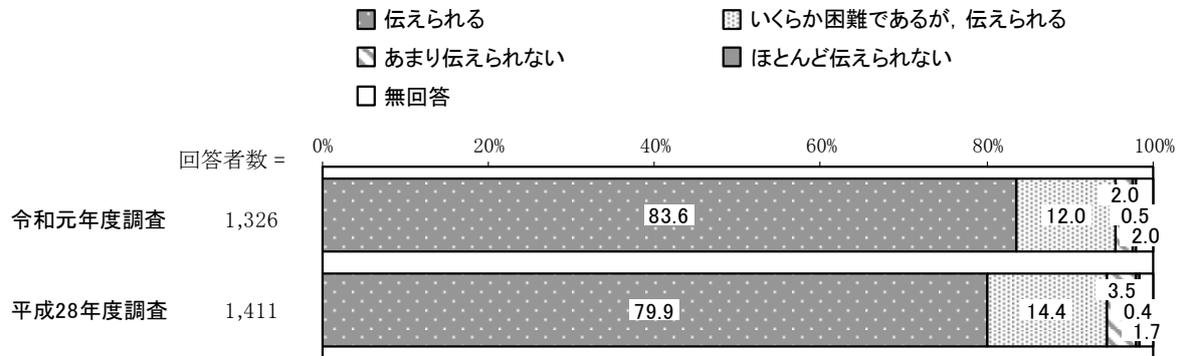
平成 28 年度調査と比較すると，「難なくできる」が 9.1 ポイント増加しています。



問4 (21) 人に自分の考えをうまく伝えられますか。

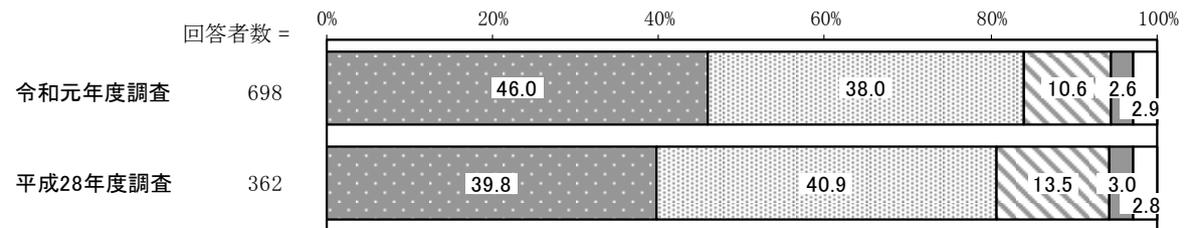
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

平成28年度調査と比較すると、「伝えられる」が6.2ポイント増加しています。



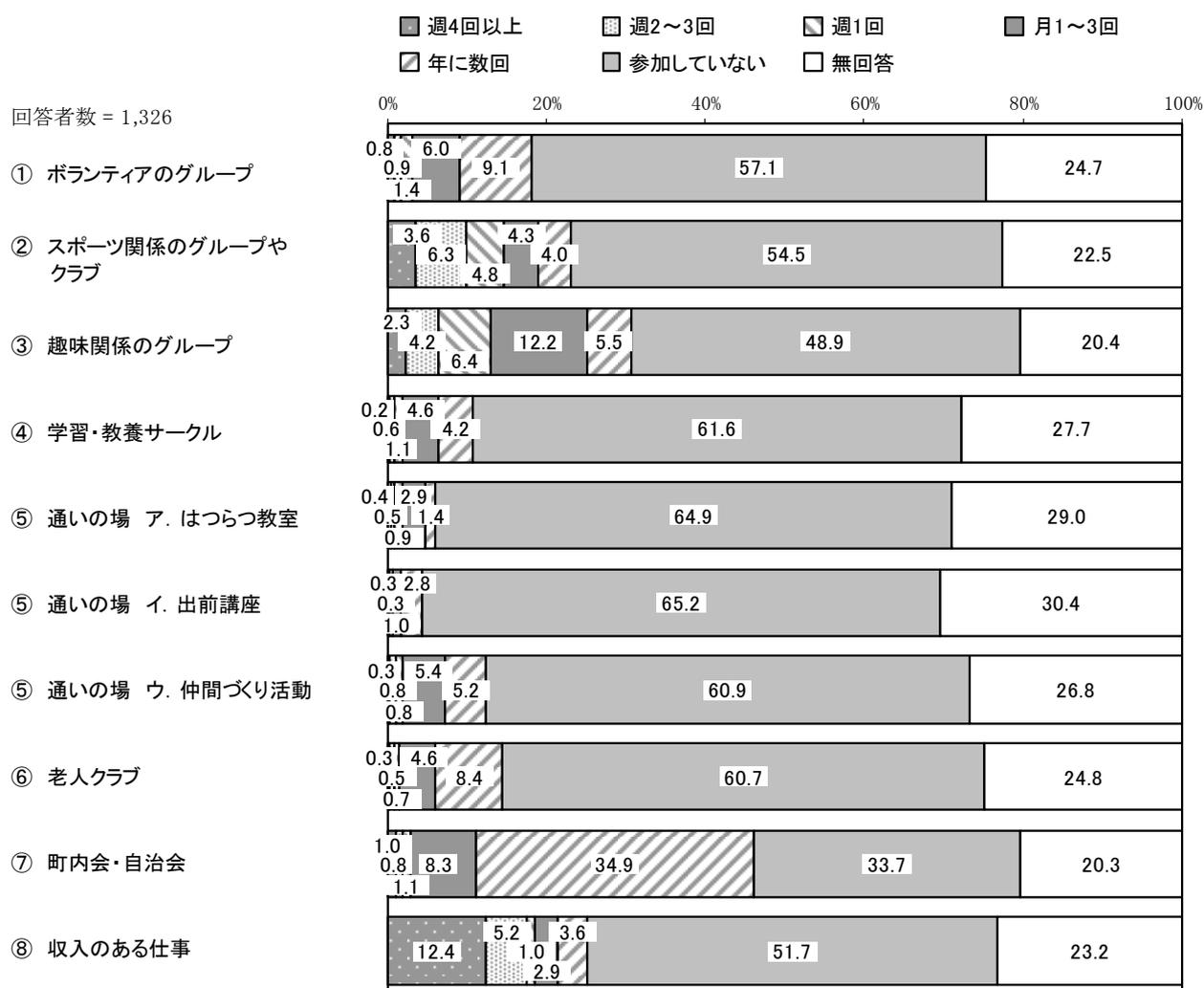
5 地域での活動について

問5（1）以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
 ※① - ⑧それぞれに回答してください

平成 28 年度調査と比較すると、すべての項目で「参加していない」が増加しており、特に④
 学習・教養サークルは7.8ポイント、⑥ 老人クラブは7.7ポイント増加しています。

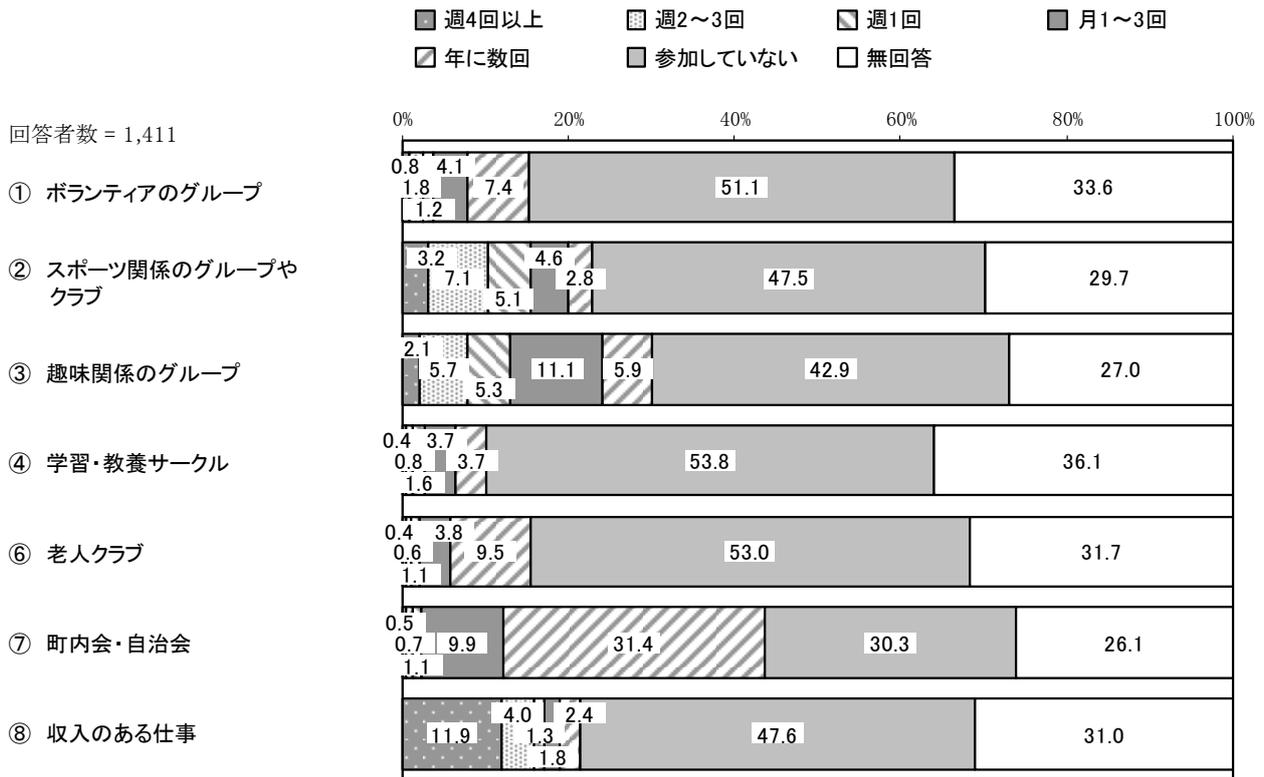
【一般高齢者】

<令和元年度調査>



<平成 28 年度調査>

回答者数 = 1,411

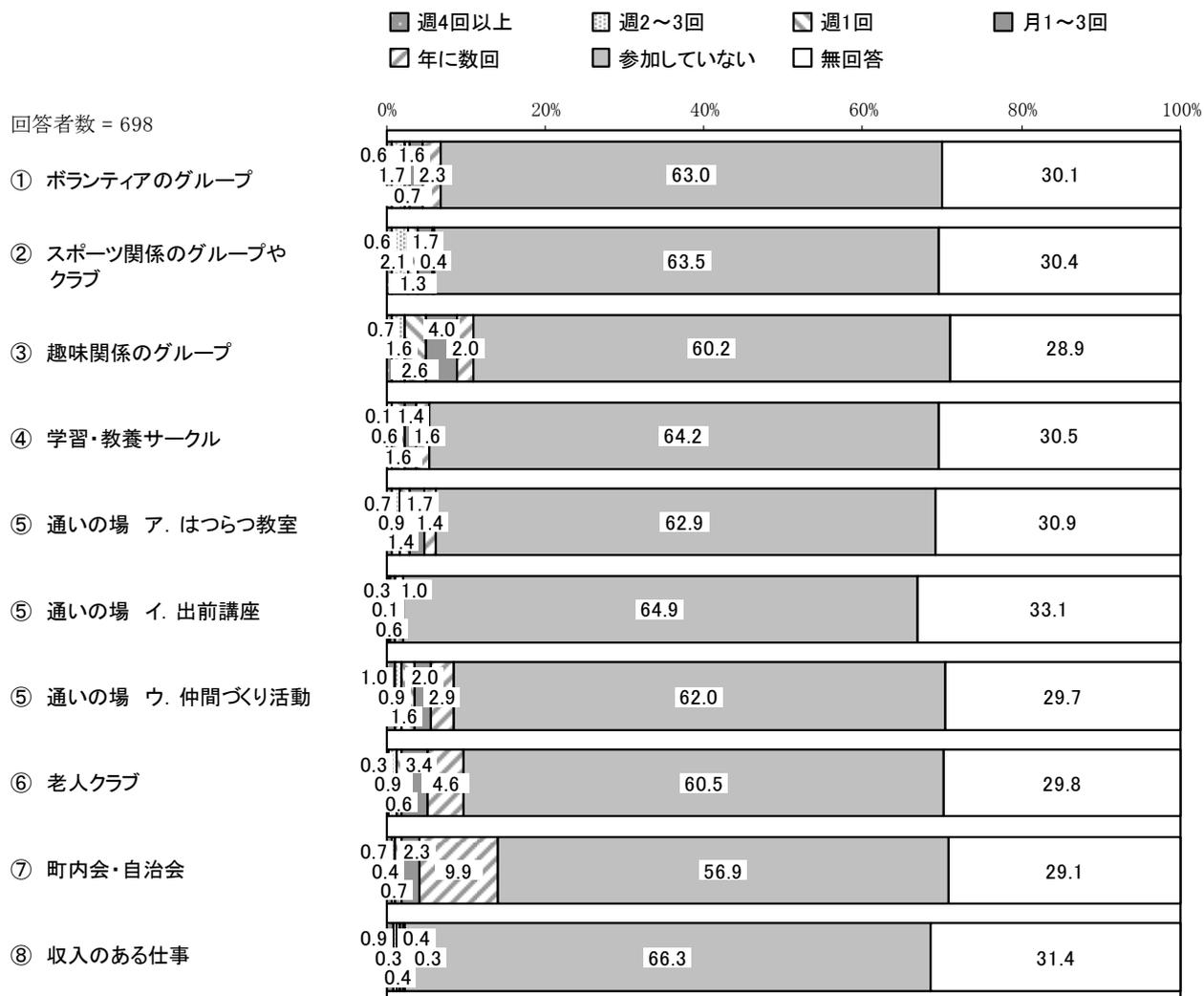


※平成 28 年度調査には「⑤通いの場」の項目はありません。

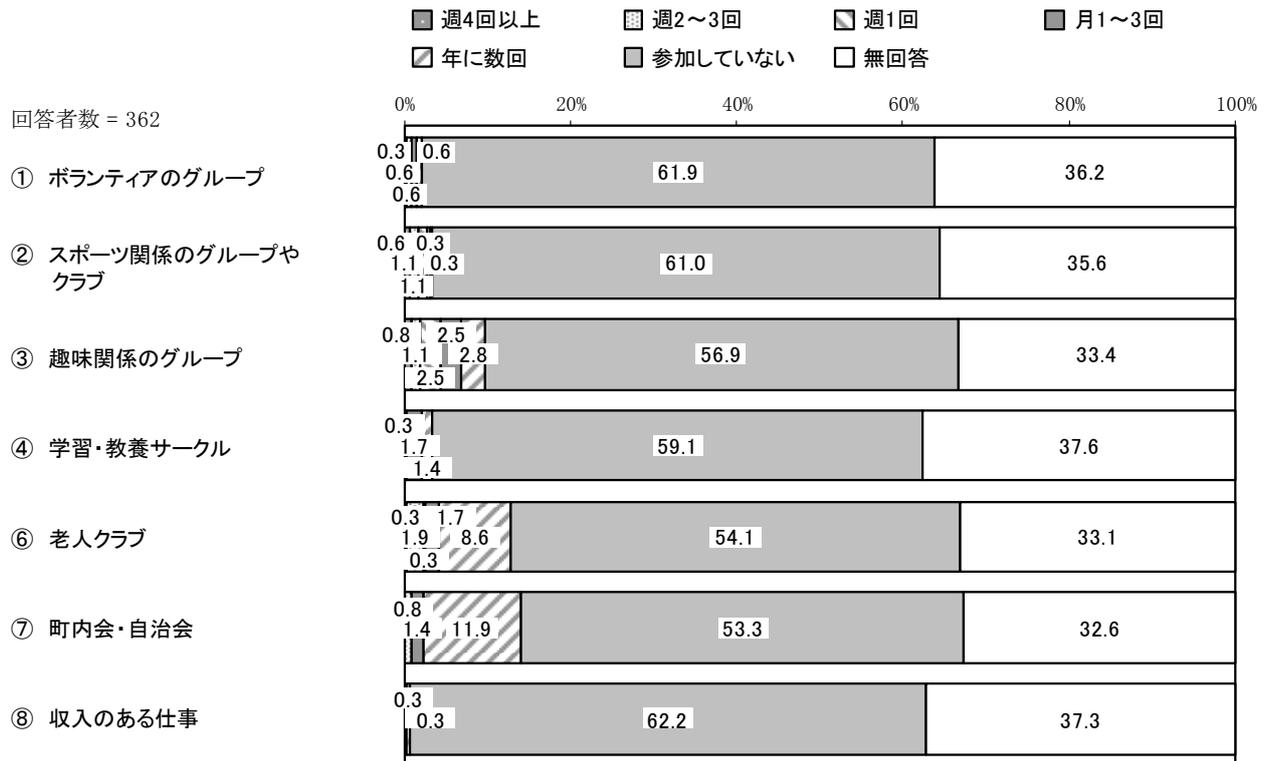
【要支援認定者】

平成 28 年度調査と比較すると、「参加していない」が④学習・教養サークルで 5.1 ポイント、⑥老人クラブで 6.4 ポイント増加しています。

<令和元年度調査>



<平成 28 年度調査>

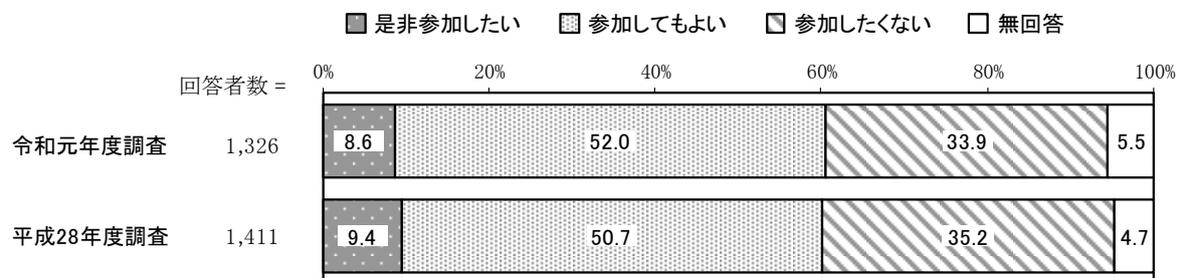


※平成 28 年度調査には「⑤通いの場」の項目はありません。

問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

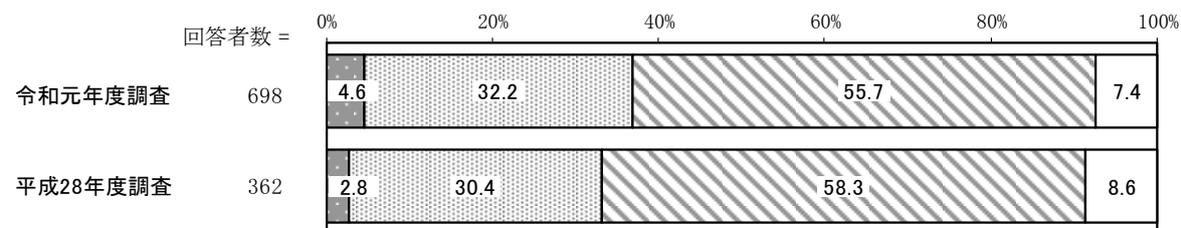
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

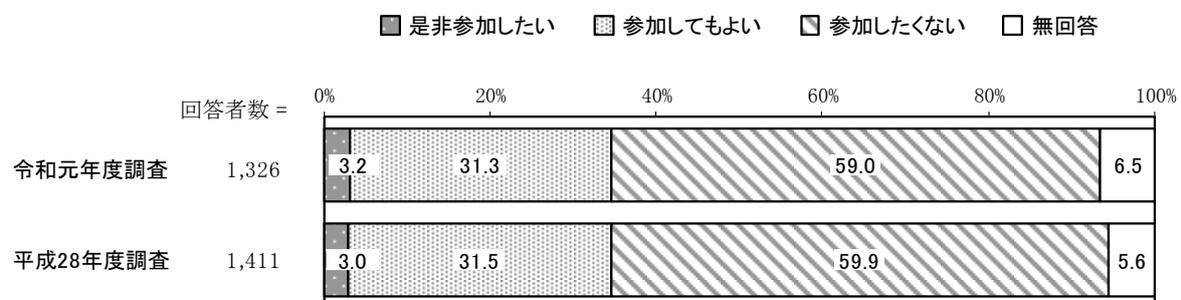
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

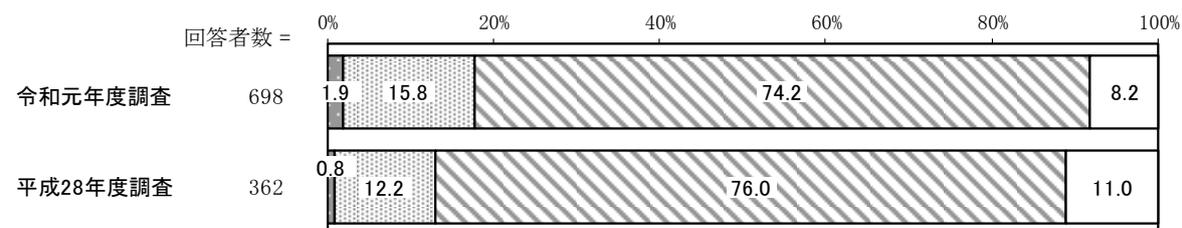
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

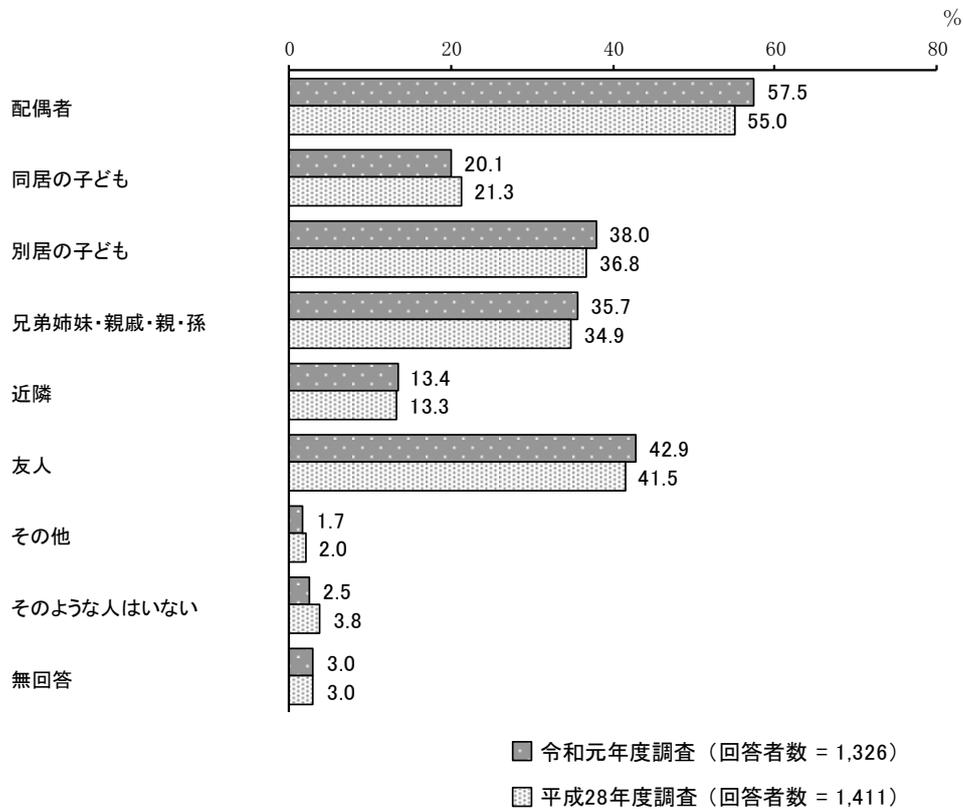


6 たすけあいについて

問6 (1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人。(いくつでも)

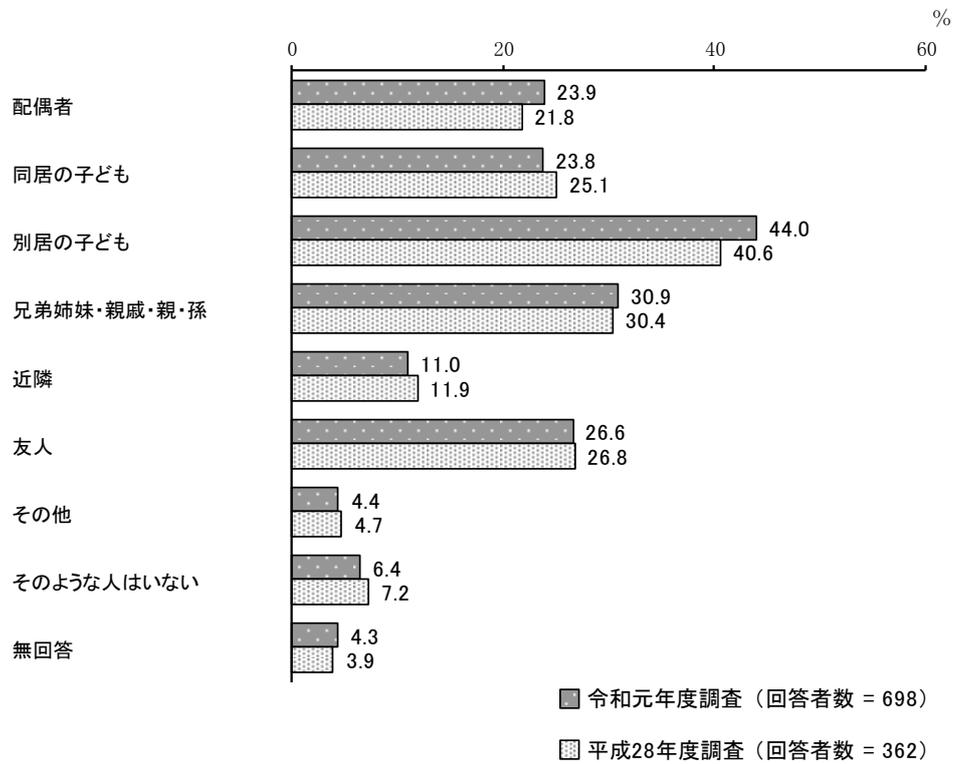
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

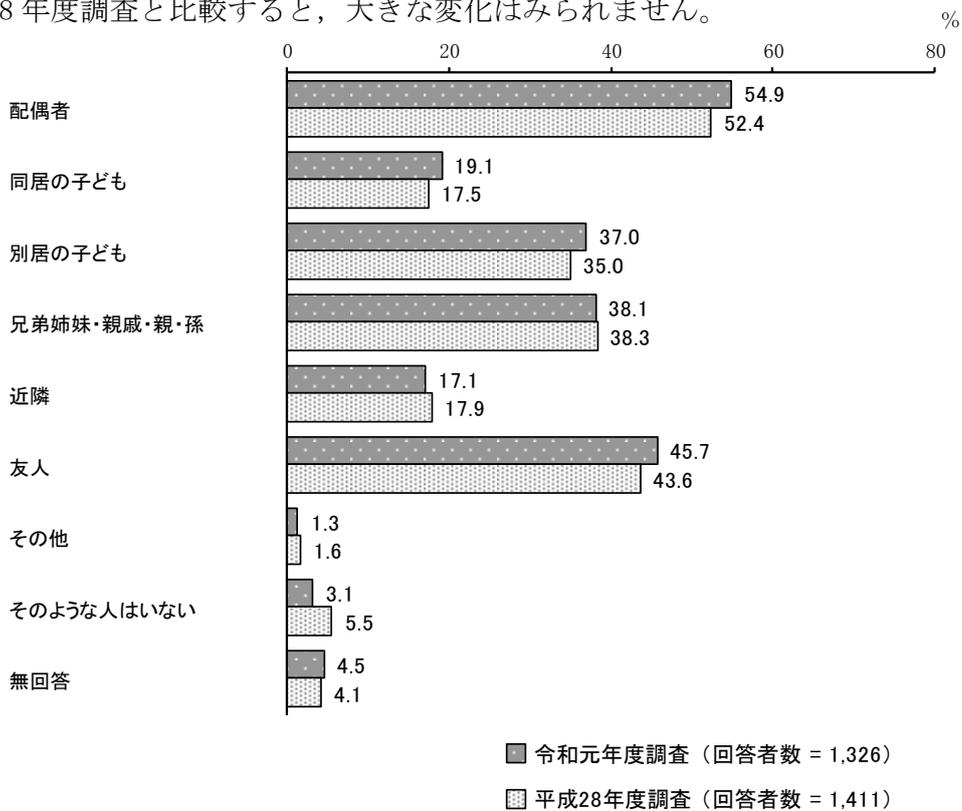
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人。(いくつでも)

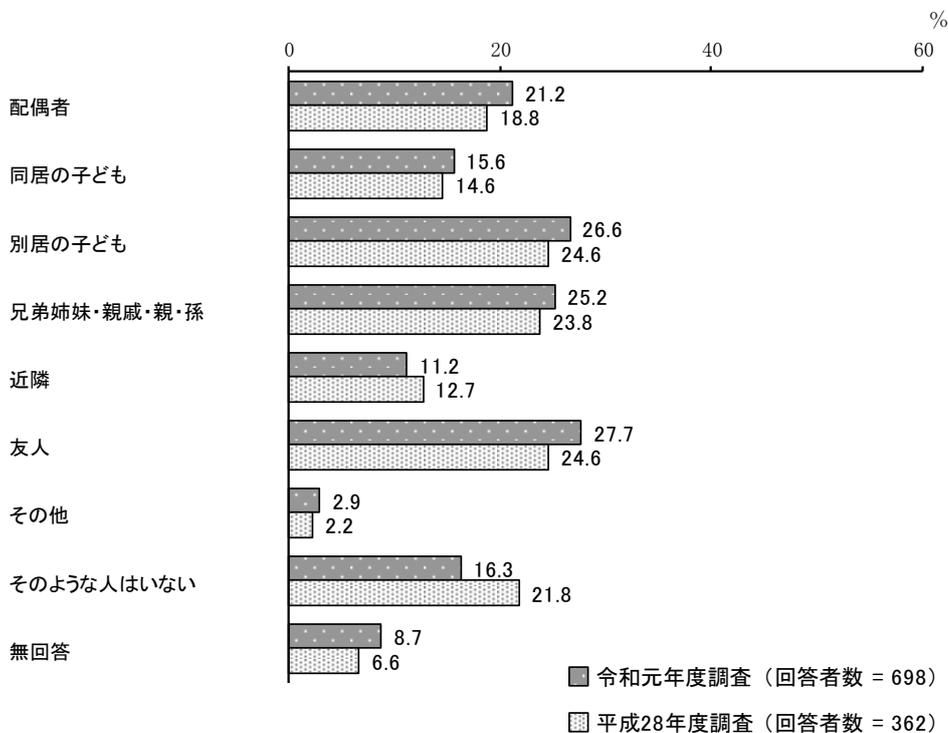
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

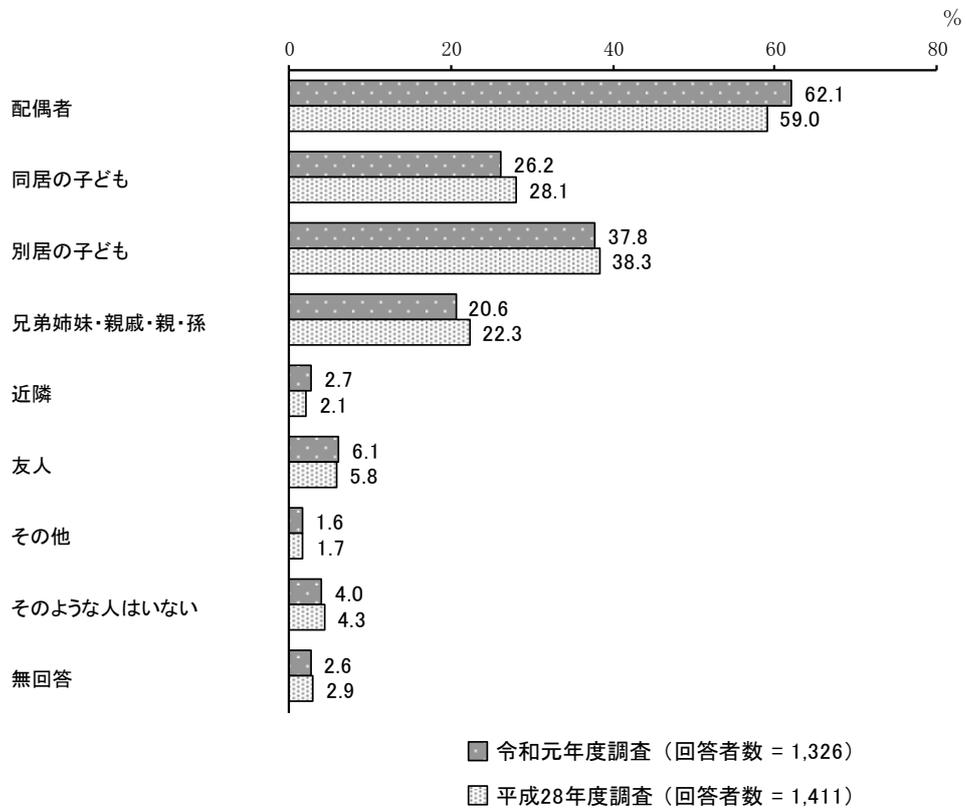
平成28年度調査と比較すると、「そのような人はいない」が5.5ポイント減少しています。



問6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。
(いくつでも)

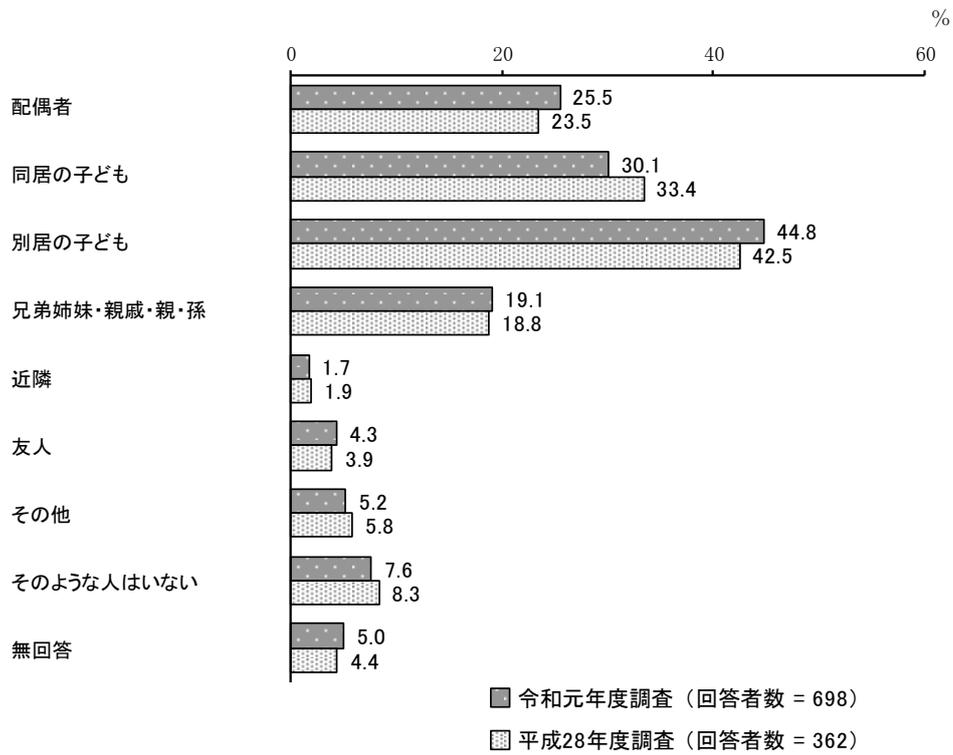
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

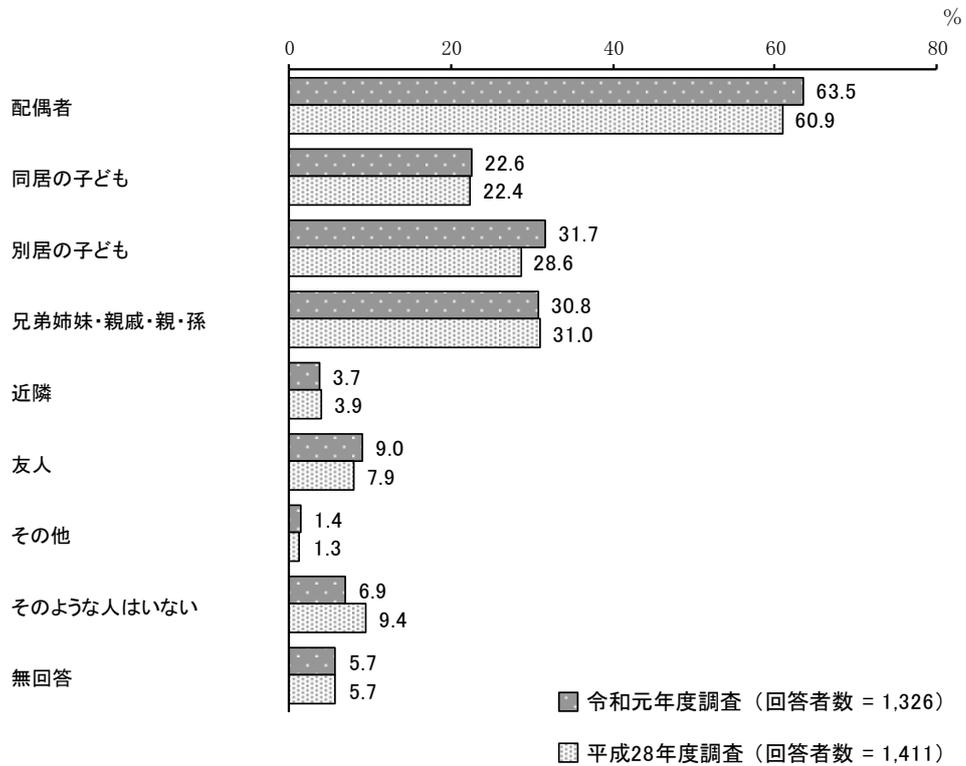
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 (4) 反対に、看病や世話をしてくれる人。(いくつでも)

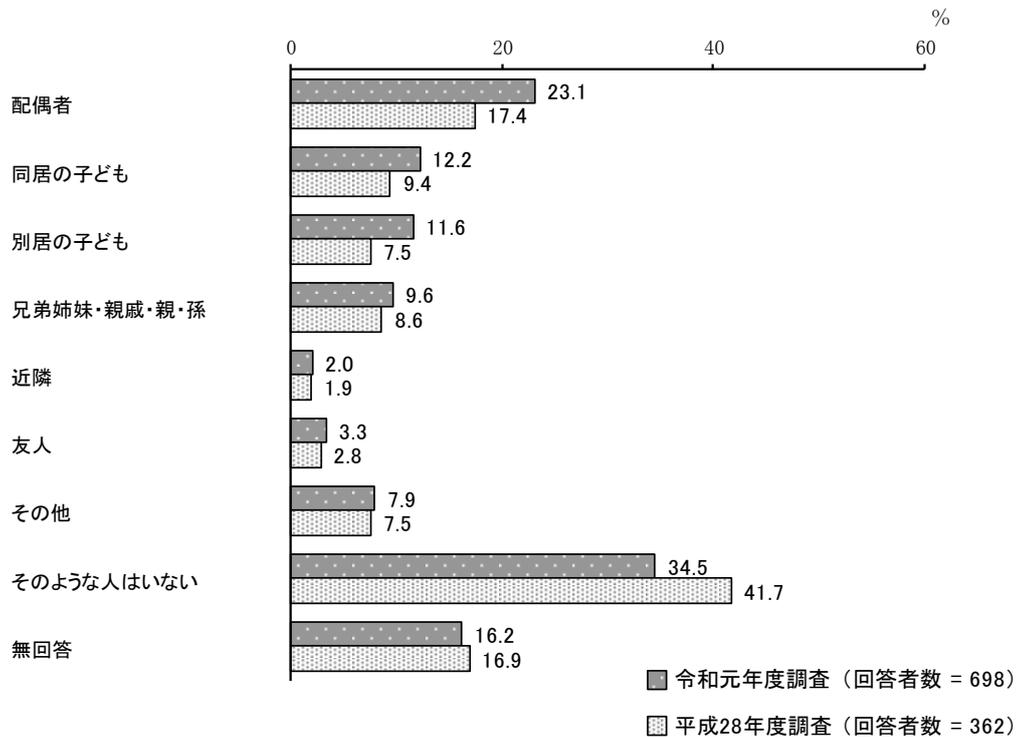
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

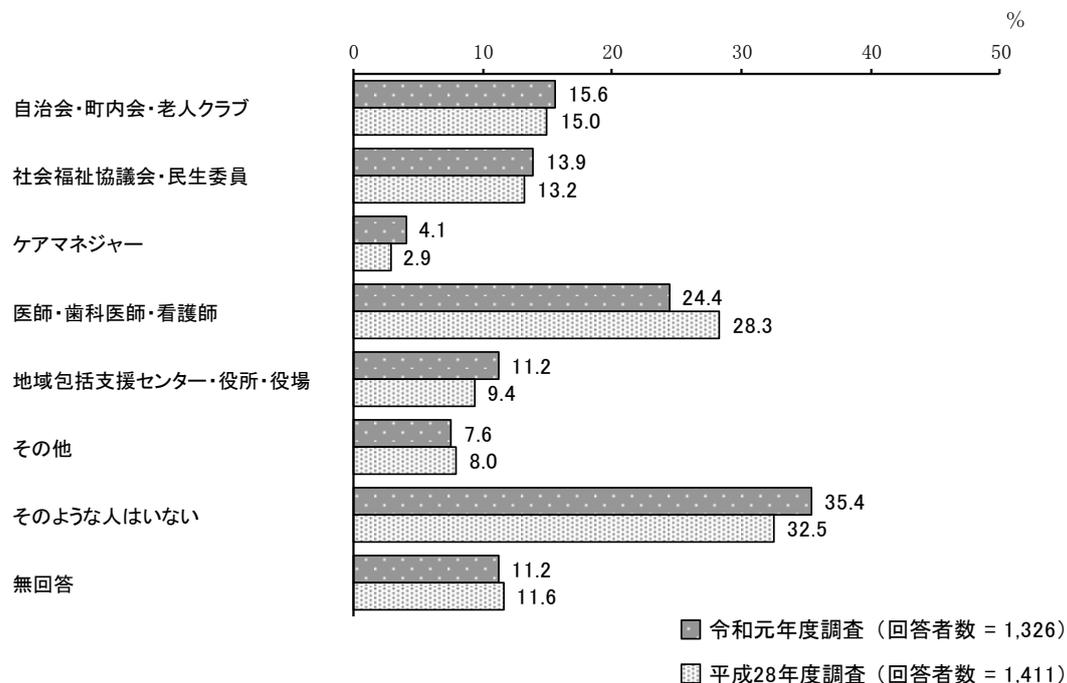
平成28年度調査と比較すると、「配偶者」が5.7ポイント増加し、「そのような人はいない」が7.2ポイント減少しています。



問6 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(いくつでも)

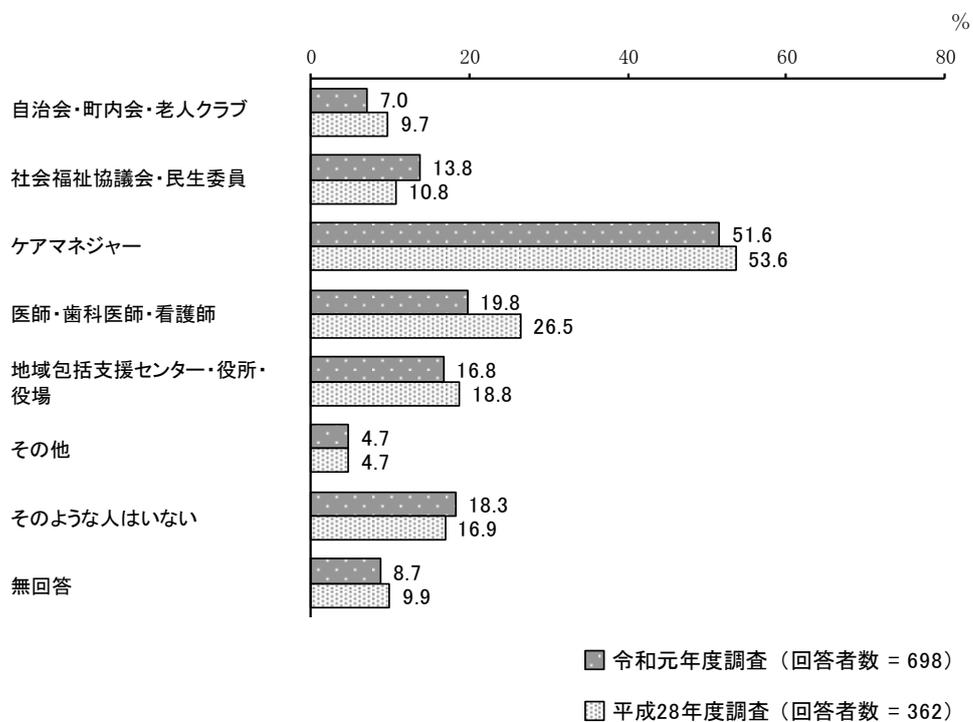
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

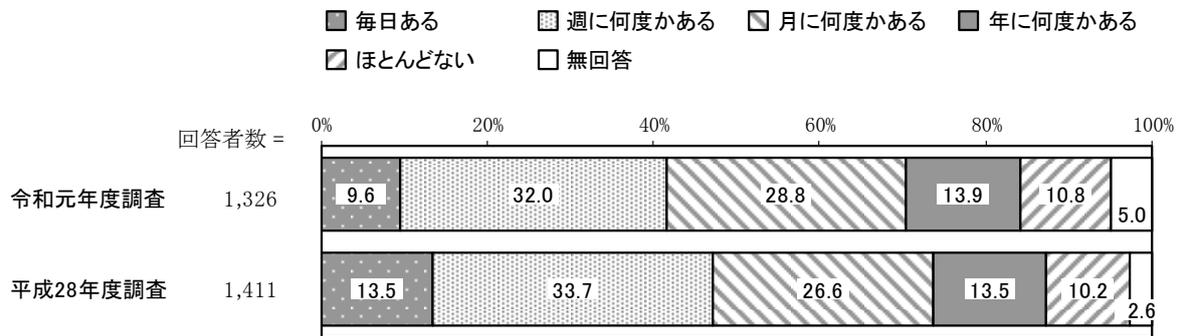
平成28年度調査と比較すると、「医師・歯科医師・看護師」が6.7ポイント減少しています。



問6 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

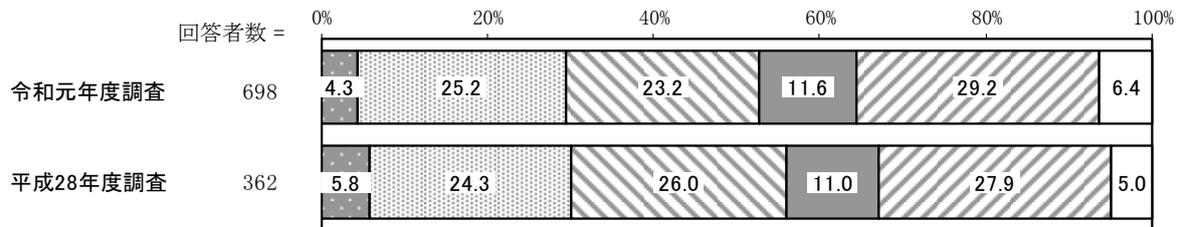
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

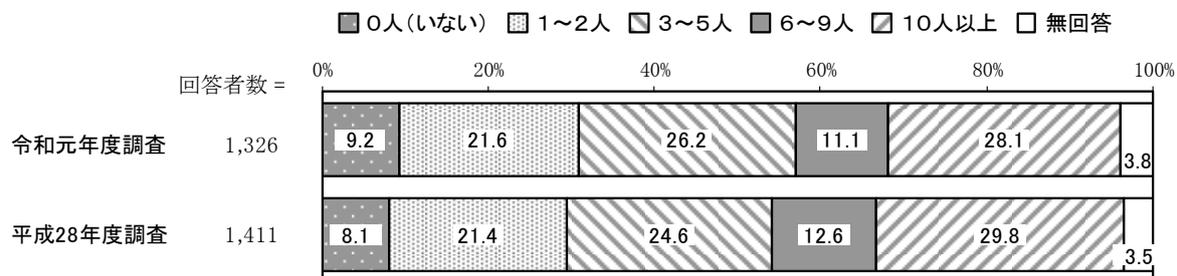
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 (7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。
 (同じ人には何度会っても1人と数えることとします)

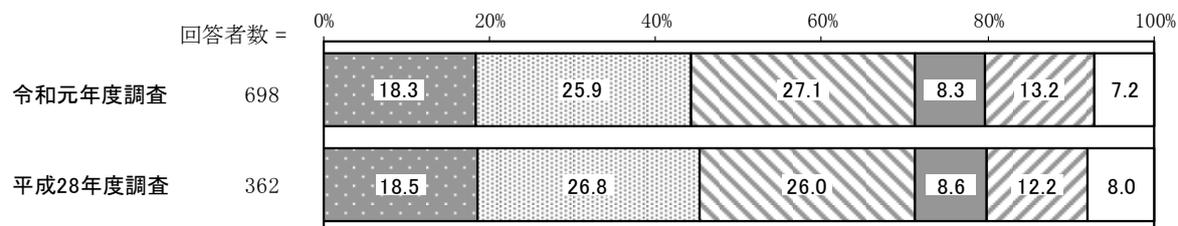
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

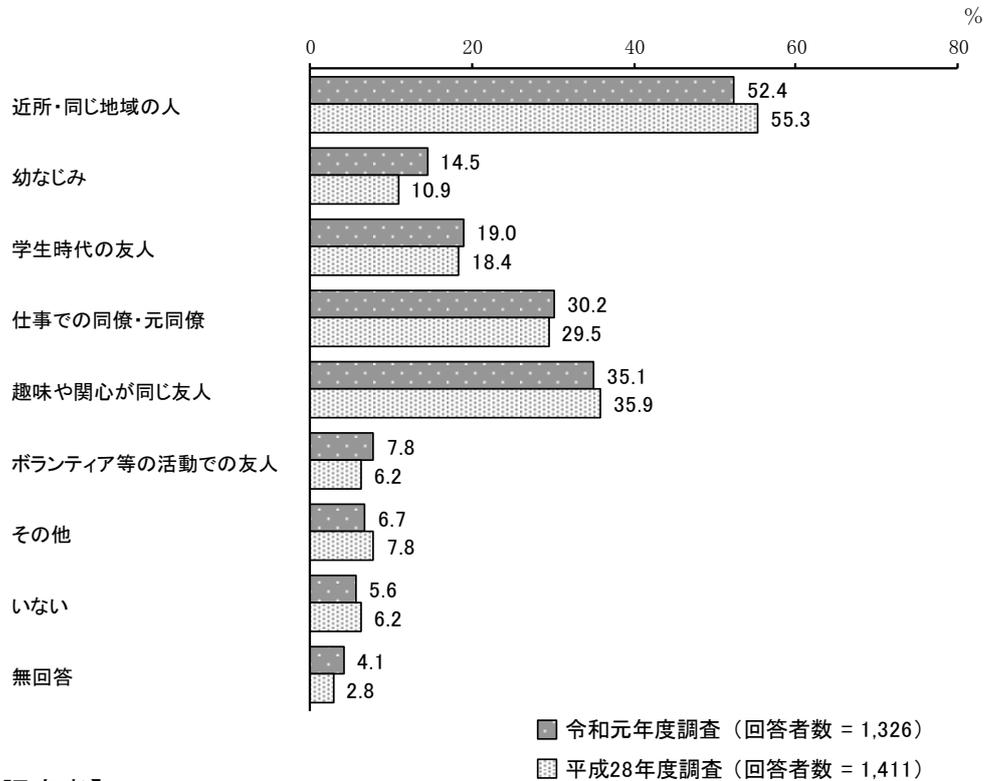
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

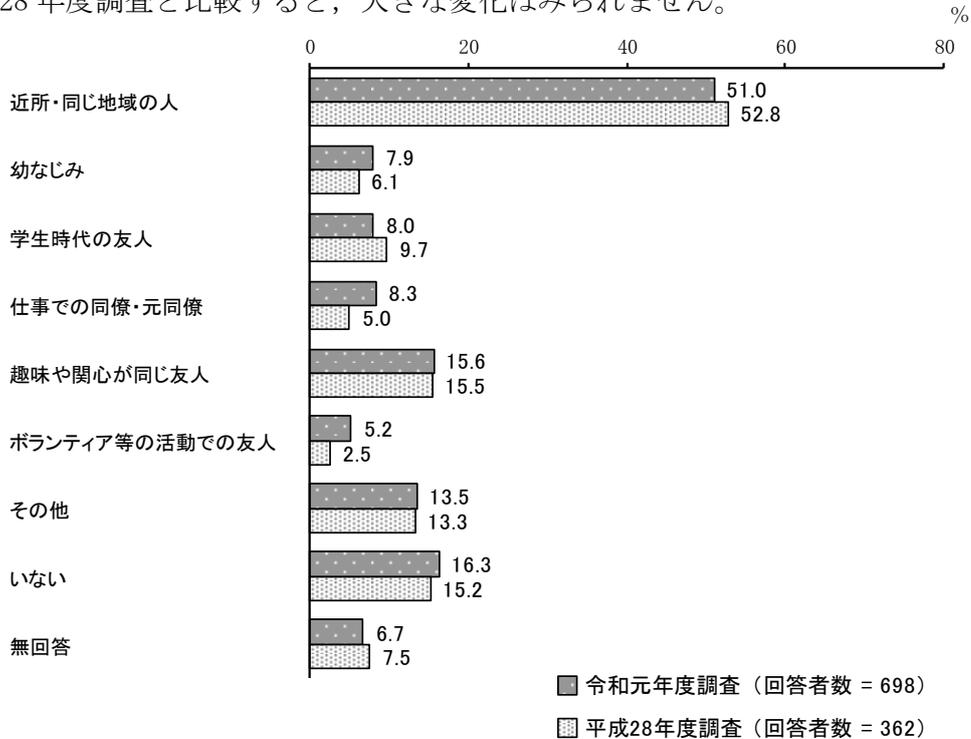
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

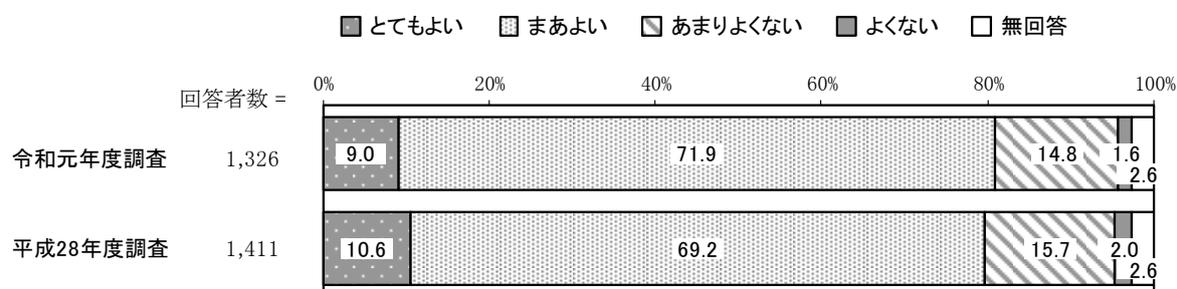


7 健康について

問7（1）現在のあなたの健康状態はいかがですか。

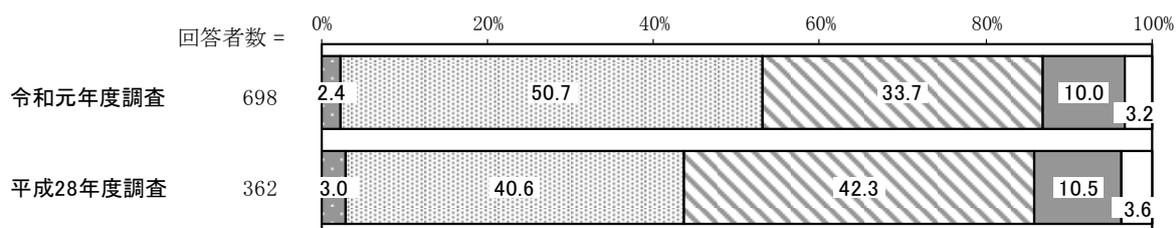
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

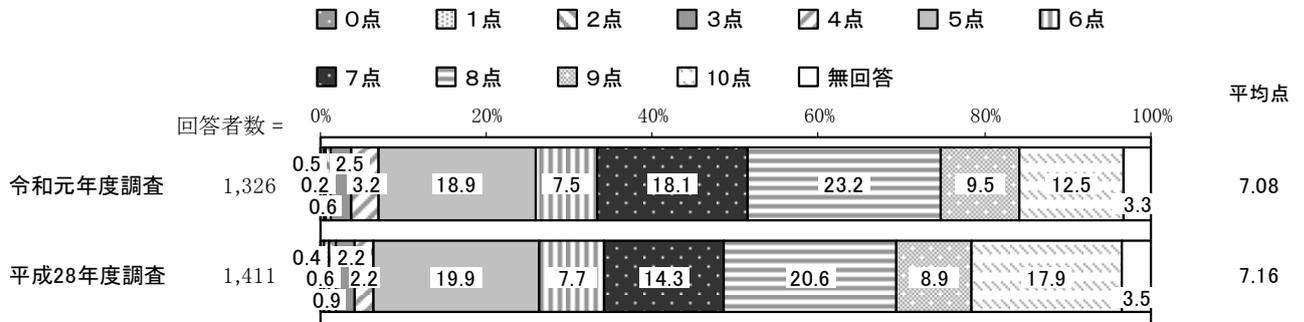
平成28年度調査と比較すると、“よい”が9.5ポイント増加し、“よくない”が9.1ポイント減少しています。



問7(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」を0点,「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

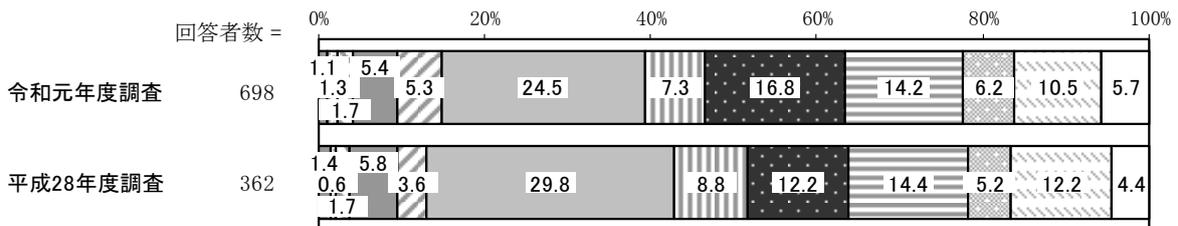
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、「10点」が5.4ポイント減少しており、平均点でも0.08点減少しています。



【要支援認定者】

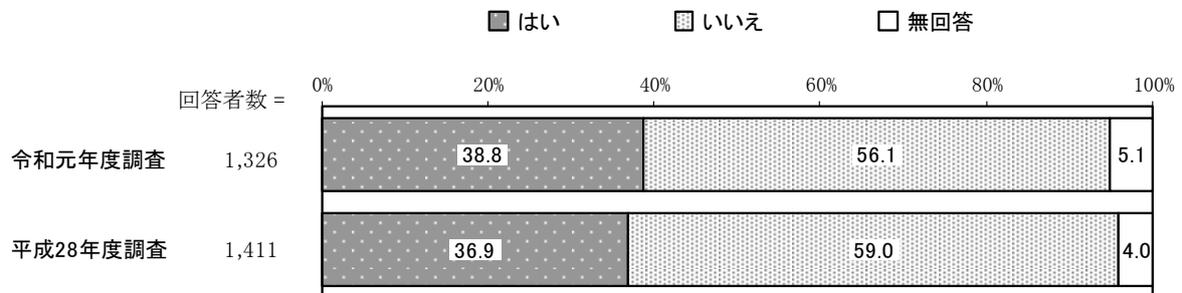
平成28年度調査と比較すると、「5点」が5.3ポイント減少しています。



問7 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

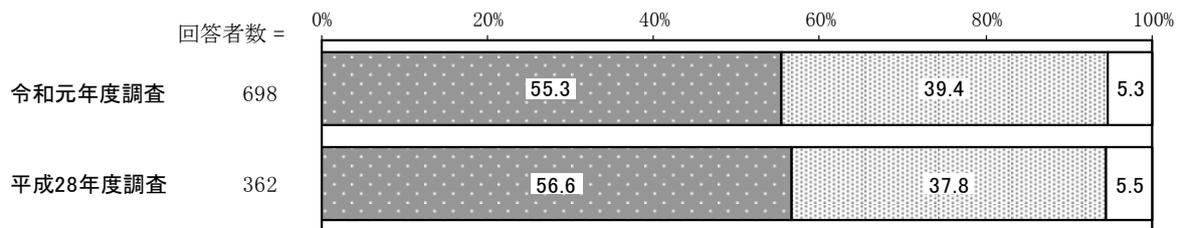
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

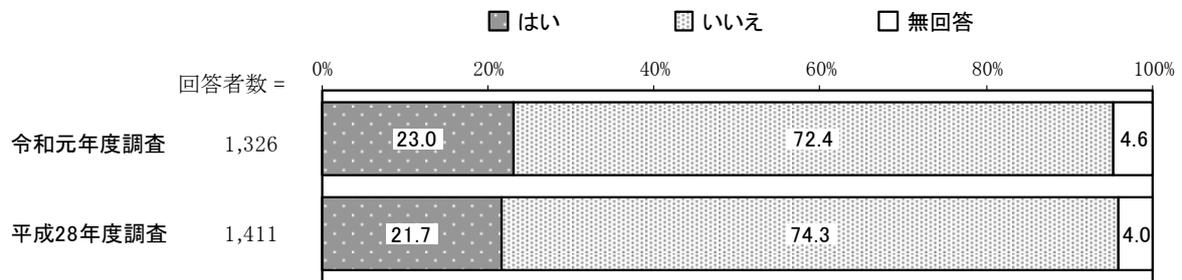
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問7（4）この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

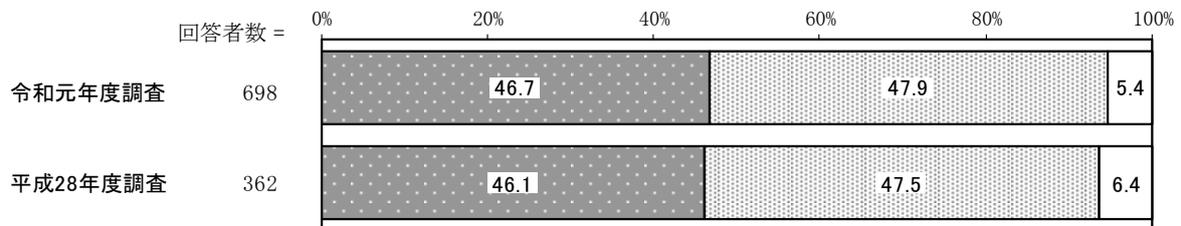
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

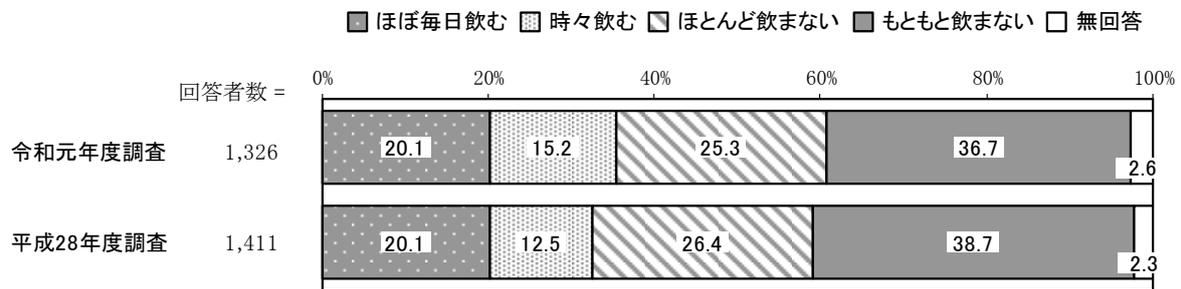
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 7 (5) お酒は飲みますか。

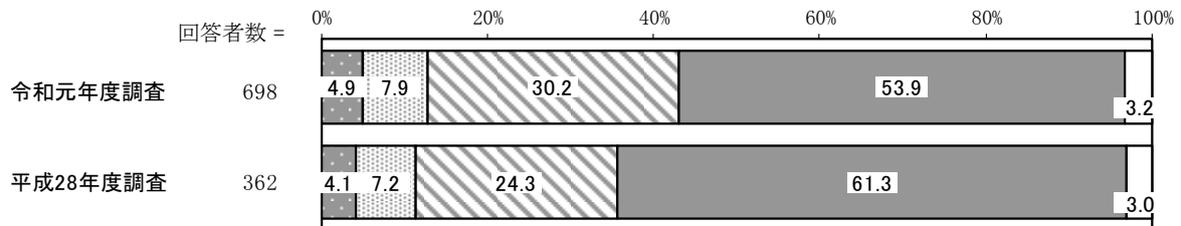
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

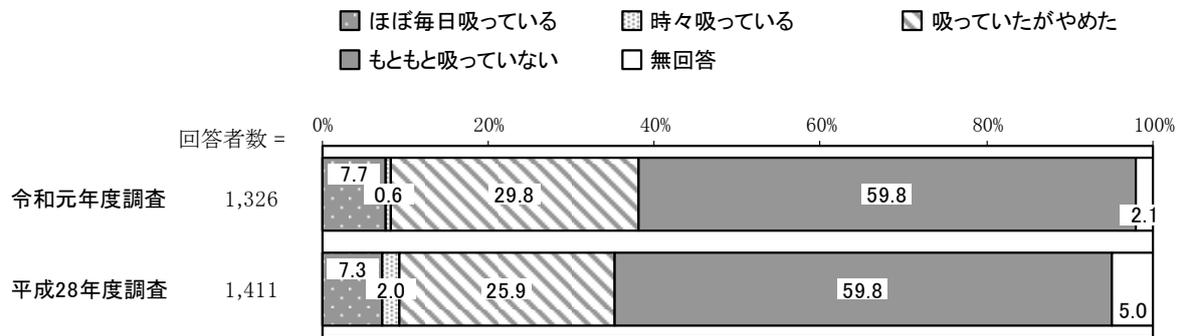
平成 28 年度調査と比較すると、「ほとんど飲まない」が 5.9 ポイント増加し、「もともと飲まない」が 7.4 ポイント減少しています。



問7 (6) タバコは吸っていますか。

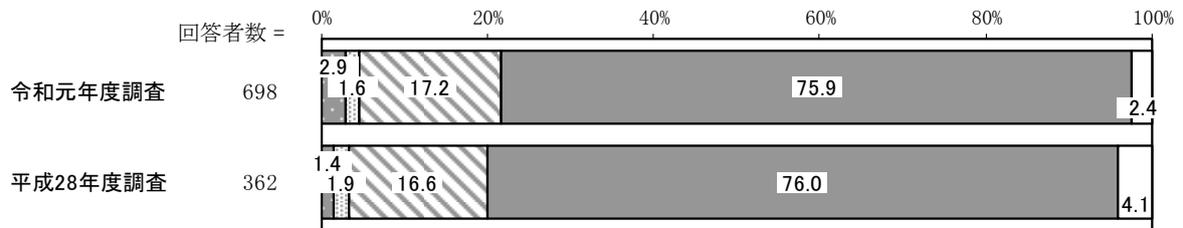
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

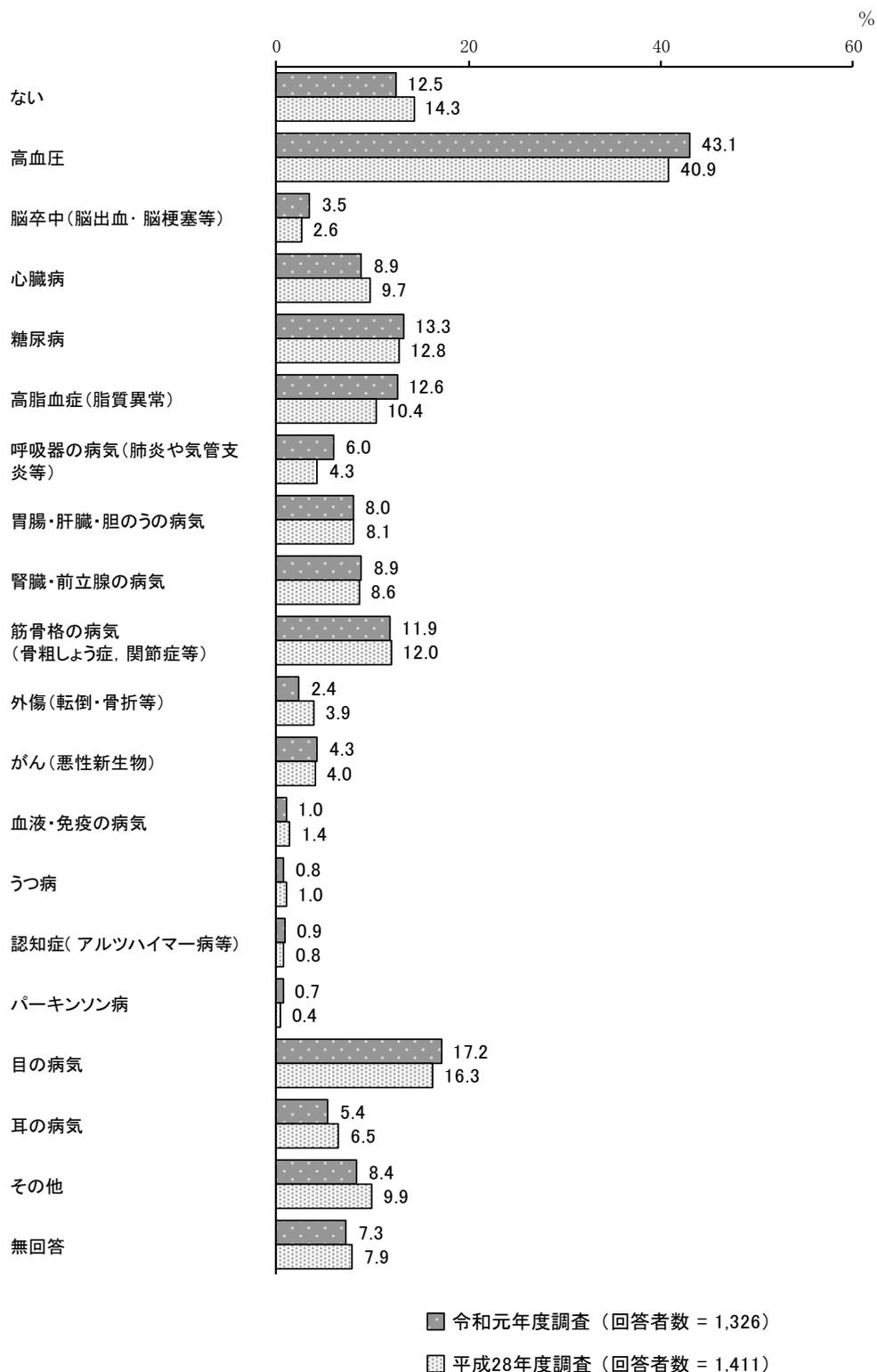
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問7 (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

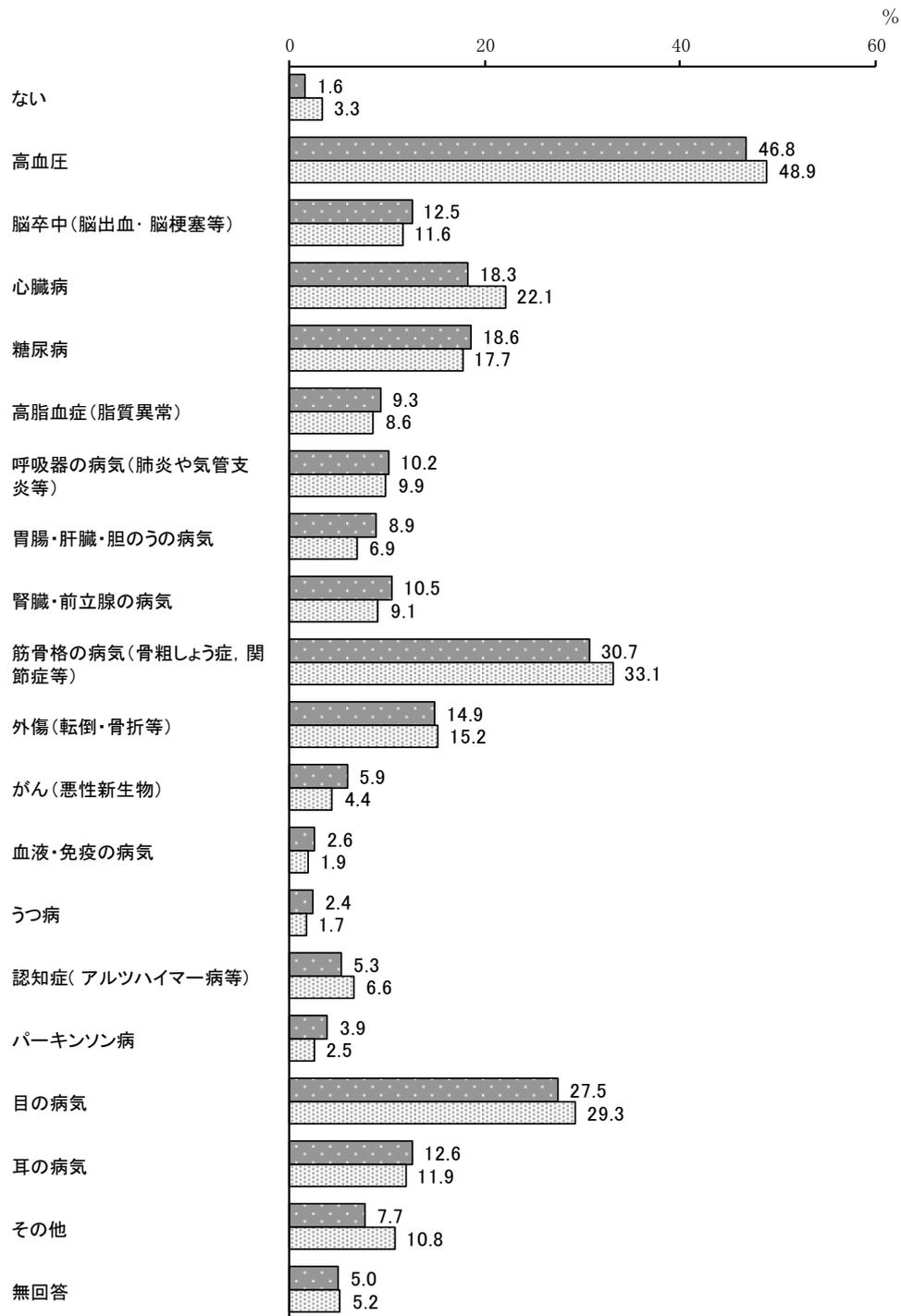
【一般高齢者】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



■ 令和元年度調査 (回答者数 = 698)

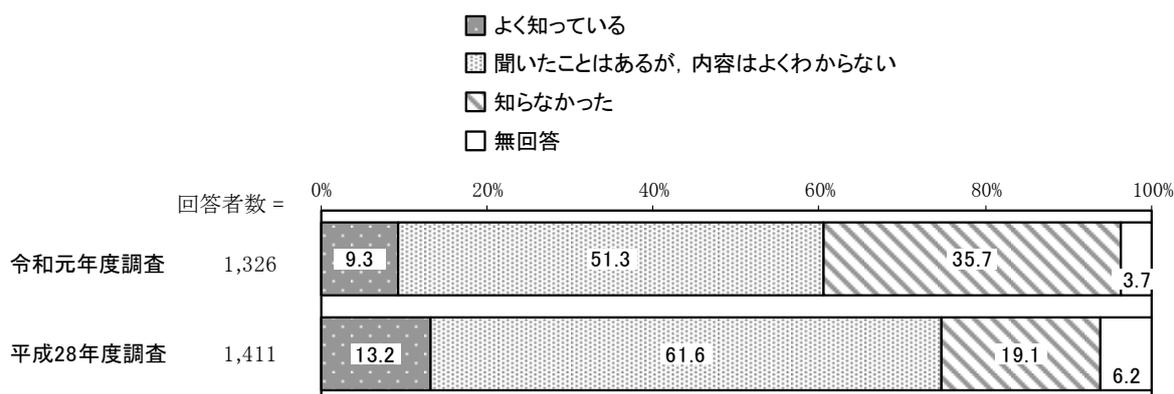
▨ 平成28年度調査 (回答者数 = 362)

8 介護・福祉サービスについて

問 10 (1) 平均寿命が 80 歳を超えていく中、長い人生を自分らしく過ごすためには、心と体の健康寿命も伸ばすことが大切です。本市では、高齢者の皆さん自らが介護予防を行う手助けとして「はつらつ教室」等、さまざまな「介護予防事業」を行っています。市が行う「介護予防事業」について当てはまるものを 1 つだけ選んでください。

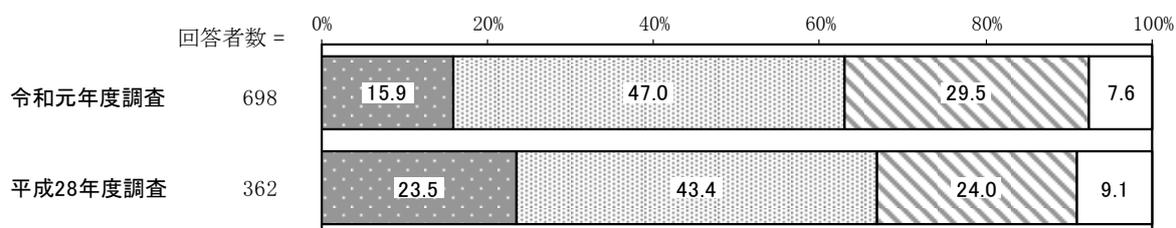
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」が 10.3 ポイント減少し、「知らなかった」が 16.6 ポイント増加しています。



【要支援認定者】

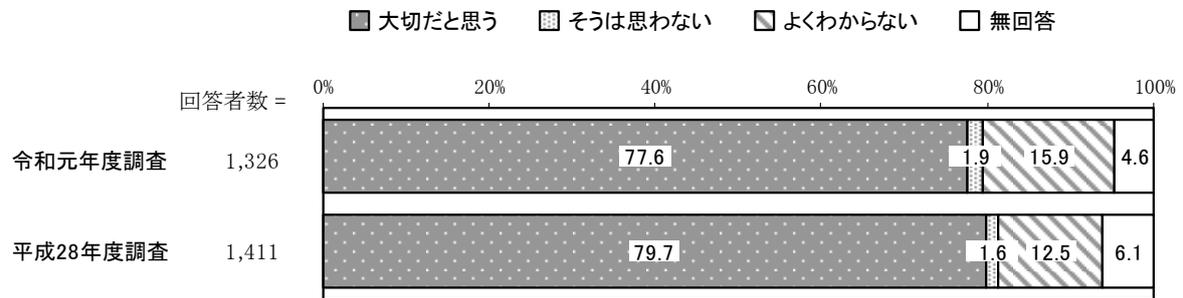
平成 28 年度調査と比較すると、「よく知っている」が 7.6 ポイント減少し、「知らなかった」が 5.5 ポイント増加しています。



問 10（2）介護予防の取り組みを推進することは、大切だと思いますか。

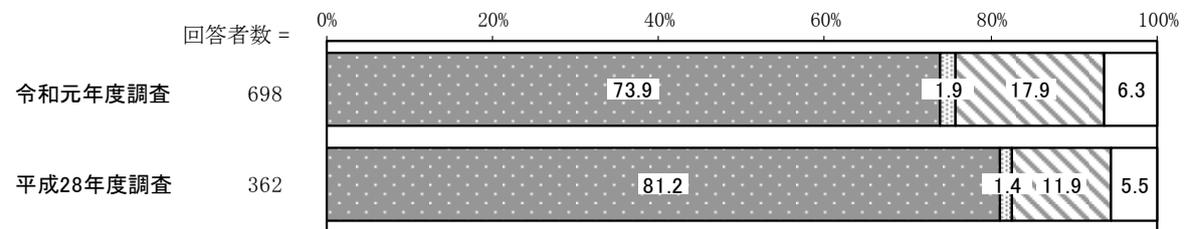
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要支援認定者】

平成 28 年度調査と比較すると、「大切だと思う」が 7.3 ポイント減少しています。

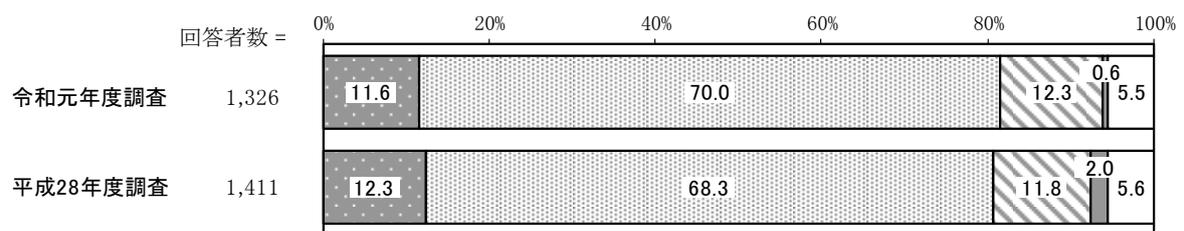


問 10（3）現在の介護保険に対するあなたの評価として一番近いものを1つだけ選んでください。

【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

- 介護サービスを利用することによって、自分や家族の介護に対する不安がかなり解消され、全体的に満足している
- ▨ 実際に介護サービスを利用していないので、満足できるものかどうか、よくわからない
- ▩ 将来、介護サービスを利用するかどうかわからないのに、介護保険料を払わなければならないなど、不満がある
- その他
- 無回答

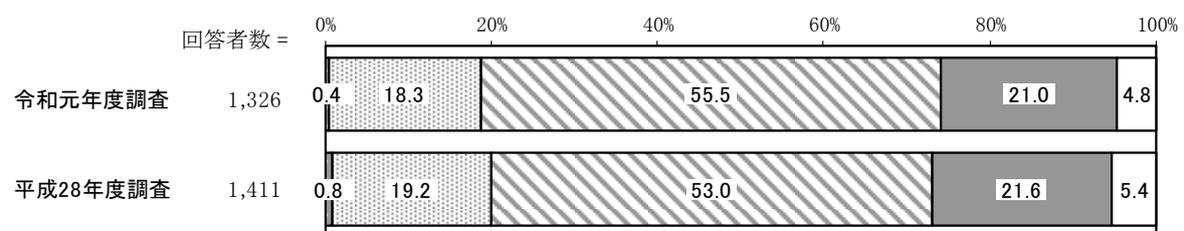


問 10（4）現在納付されている介護保険料の額についてどのように感じていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

- 安いと思う
- ▨ 適当だと思う
- ▩ 高いと思う
- わからない
- 無回答

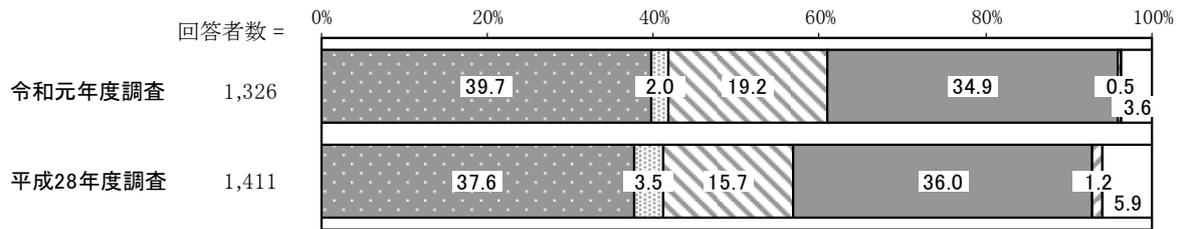


問 10（6）将来の住まいと介護サービスの利用について、どのように考えていますか。
一番近いものを1つだけ選んでください。

【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

- 介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい
- ▨ ケア付き住宅(高齢者向けの各種サービスの利用が可能な住宅)に早めに住み替えたい
- ▩ 介護が必要になったときに、施設(特別養護老人ホーム等)に入所したい
- 今のところよくわからない
- ▣ その他
- 無回答

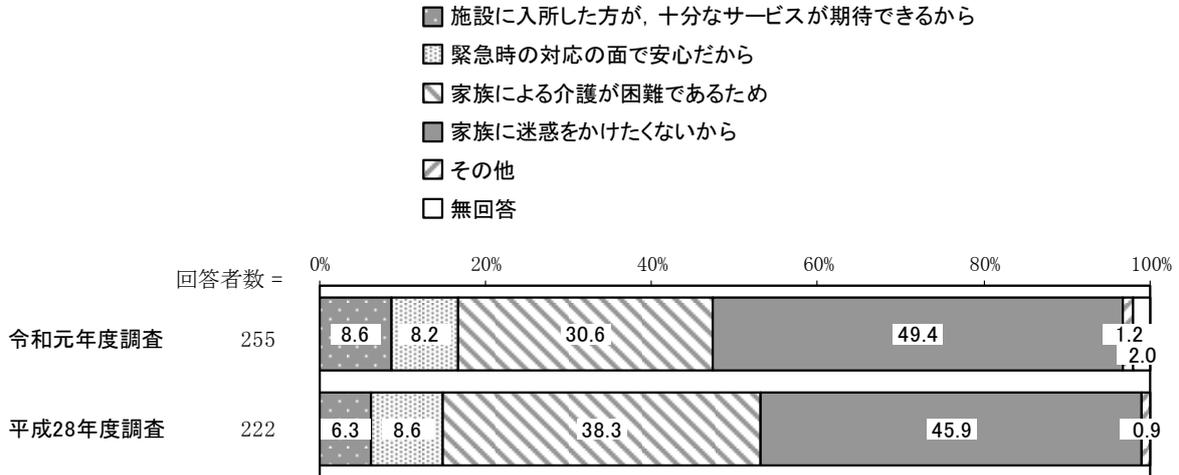


(6) で「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホーム）に入所したい」のかたのみ

問 10（7）施設入所を希望される主な理由を次の中から 1 つだけ選んでください。

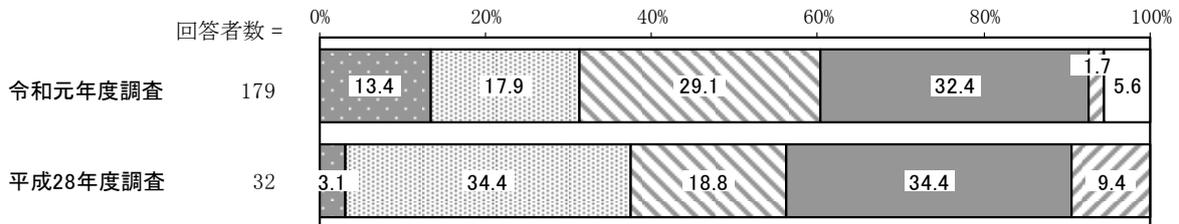
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、「家族による介護が困難であるため」が 7.7 ポイント減少しています。



【要支援認定者】

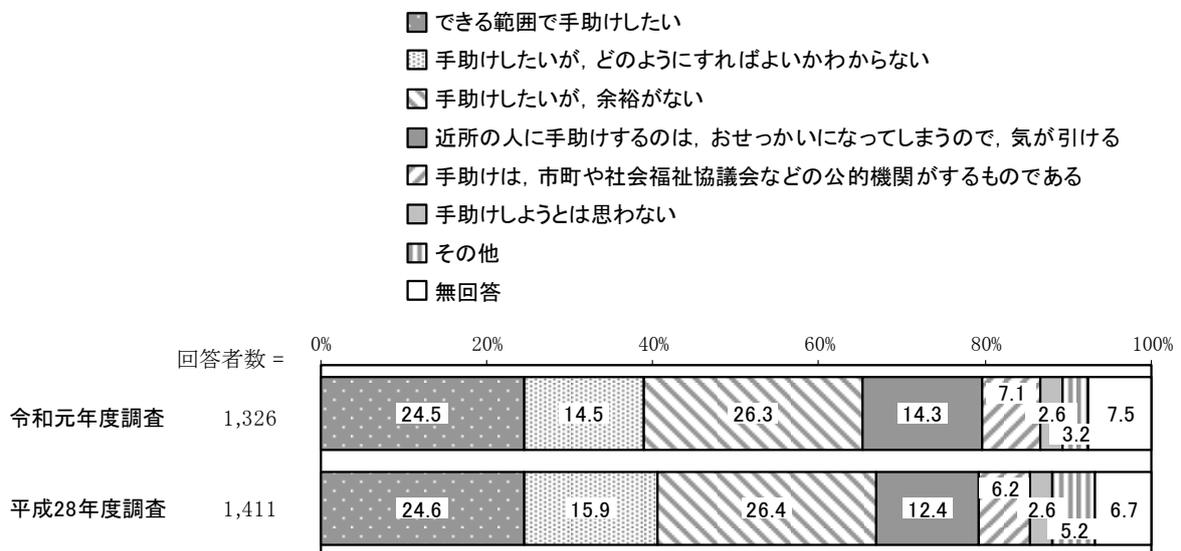
平成 28 年度調査と比較すると、「施設に入所した方が、十分なサービスが期待できるから」が 10.3 ポイント、「家族による介護が困難であるため」が 10.3 ポイント増加し、「緊急時の対応の面で安心だから」が 16.5 ポイント減少しています。



問 10（8）地域で何らかの日常生活の支援を必要としている一人暮らしの高齢者などへの手助けについてあなたの考えに近いものはどれですか。次の中から1つだけ選んでください。

【一般高齢者】

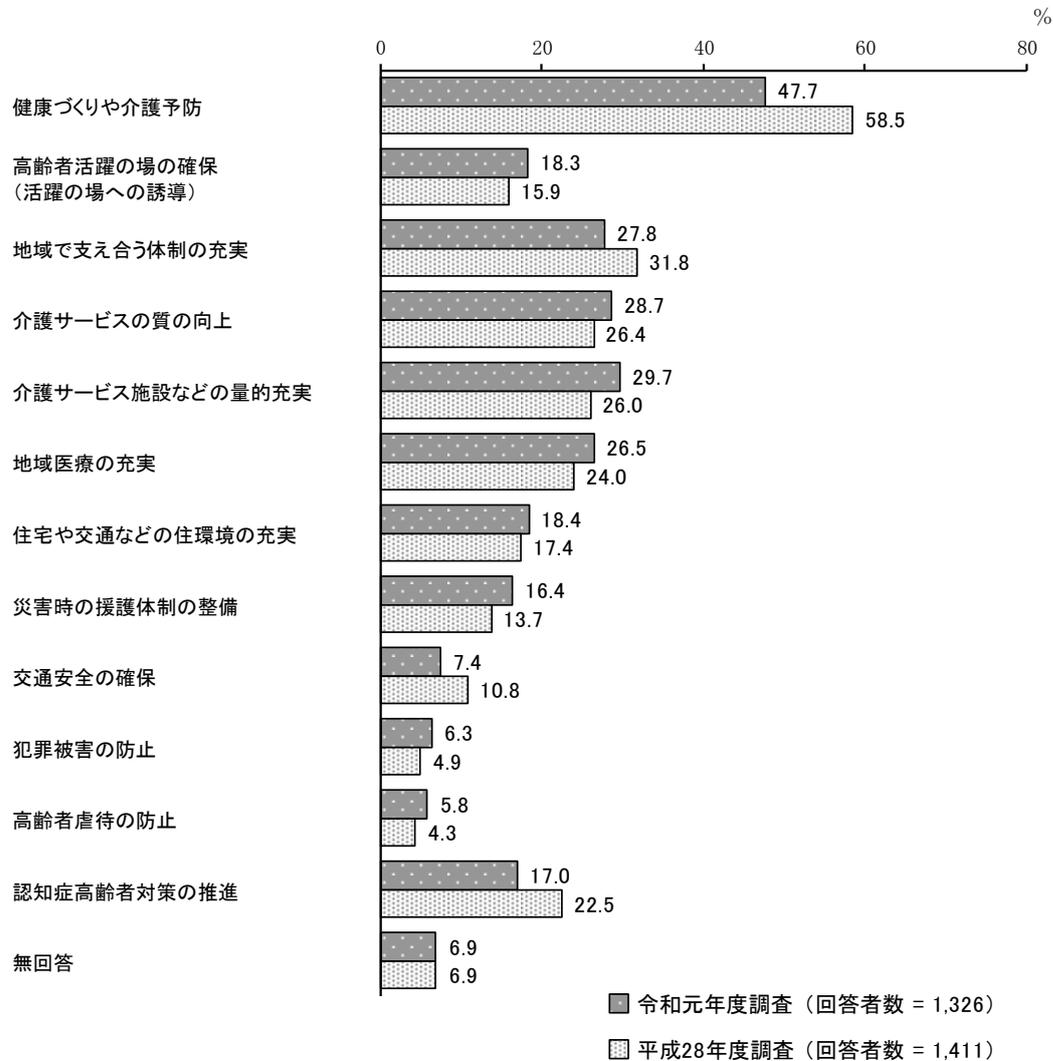
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 10（9）今後も高齢化が進行していく社会において、あなたが重要と思われる方策を次の中から3つまで選んでください。

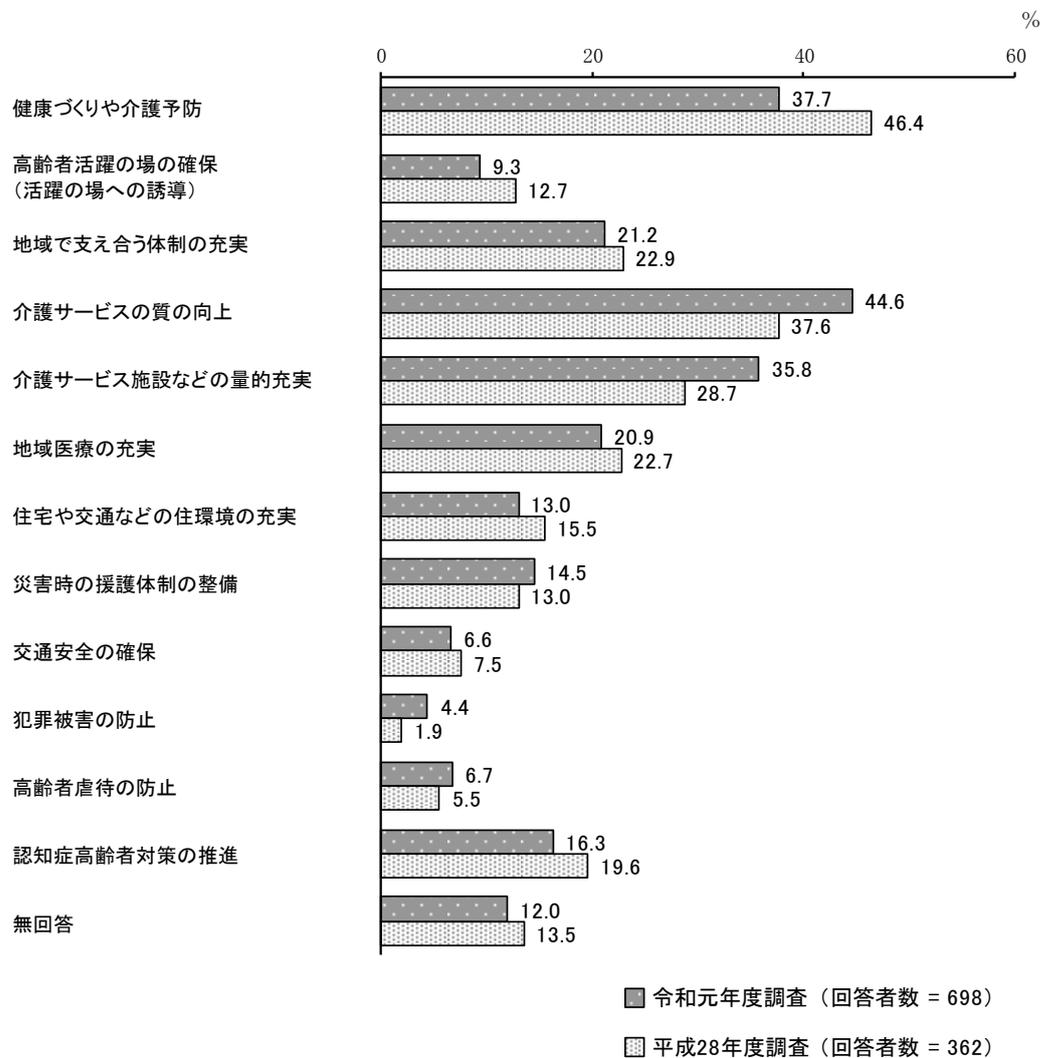
【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、「健康づくりや介護予防」が 10.8 ポイント、「認知症高齢者対策の推進」が 5.5 ポイント減少しています。



【要支援認定者】

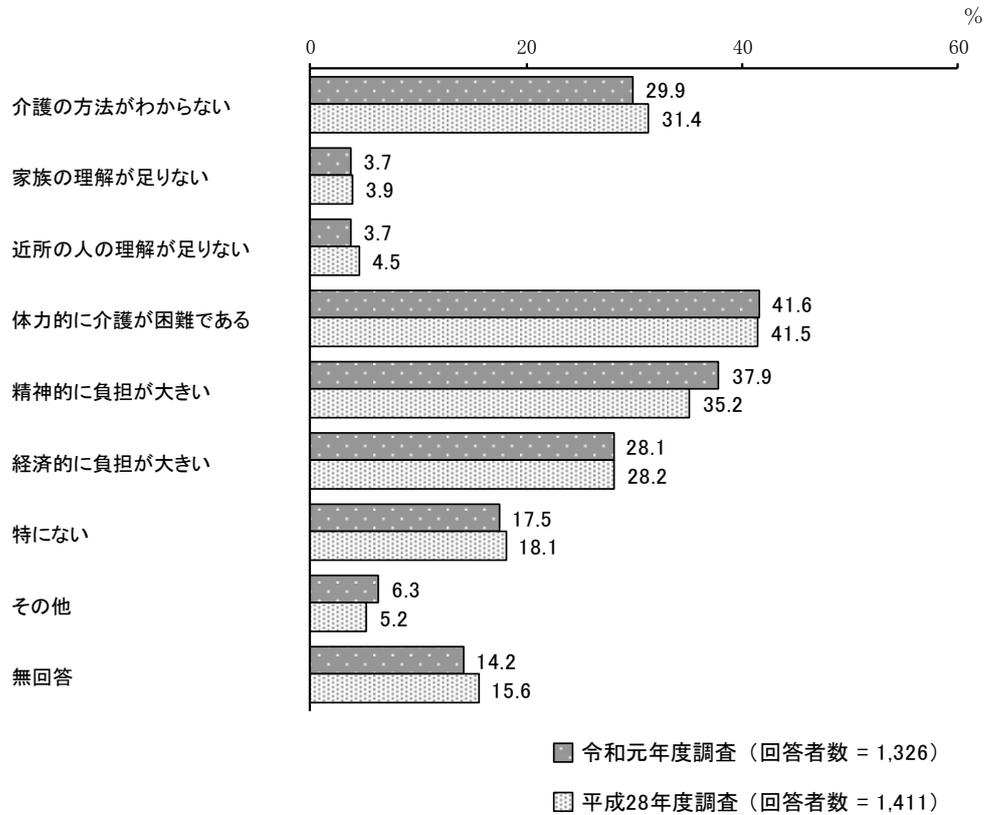
平成 28 年度調査と比較すると、「介護サービスの質の向上」が 7.0 ポイント、「介護サービス施設などの量的充実」が 7.1 ポイント増加し、「健康づくりや介護予防」が 8.7 ポイント減少しています。



問 10 (10) 介護を行う上で、困っていることを3つまで選んでください。

【一般高齢者】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



V 生活機能評価等に関する分析

1 機能別リスク該当者割合の分析

(1) 運動器

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

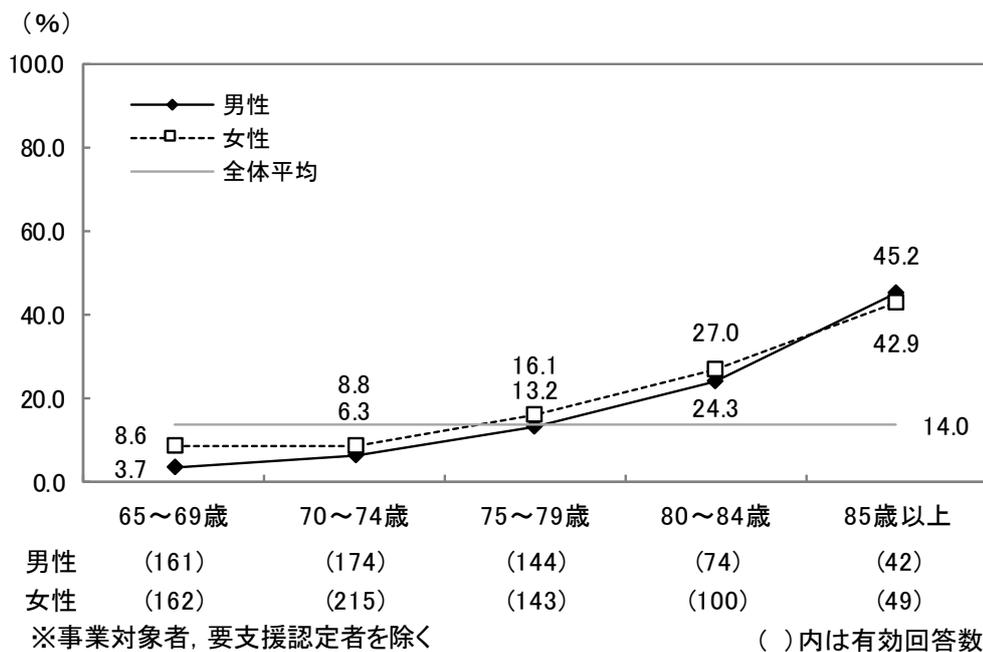
問番号	設問	該当する選択肢
問2 (1)	階段を手すりや壁をつたわずにのぼっていますか。	3. できない
問2 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問2 (3)	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問2 (5)	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体平均で14.0%が運動器の機能低下該当者となっています。

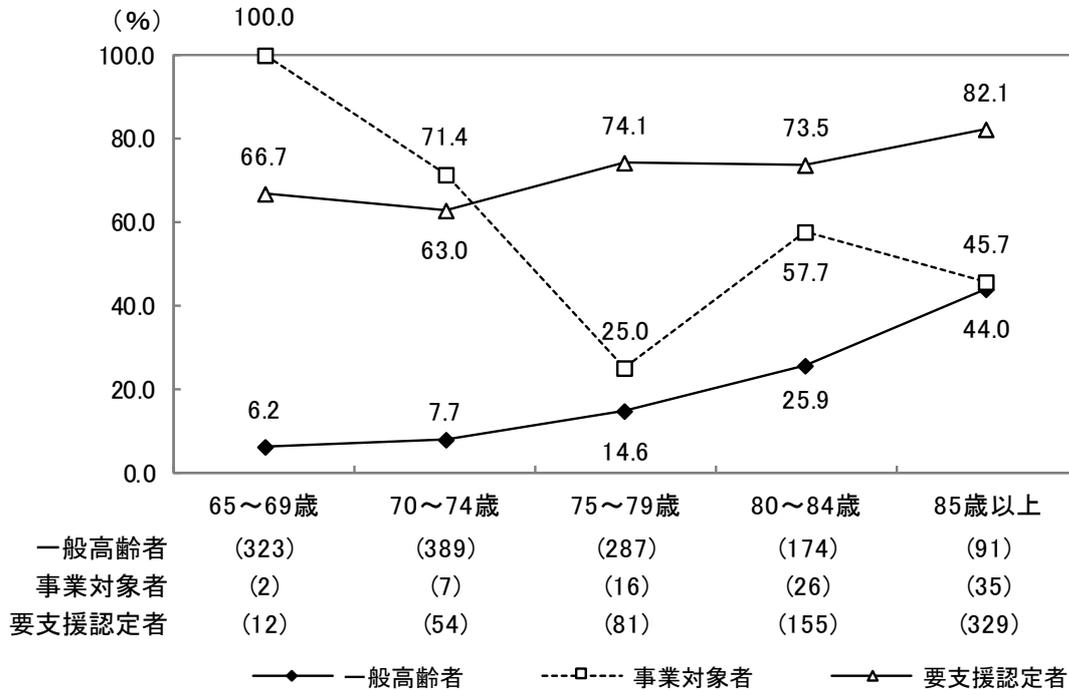
性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上を除き男性に比べて該当者割合が高く、85歳以上では42.9%と75～79歳に比べて26.8ポイント増加しています。一方、男性では、85歳以上では45.2%と75～79歳に比べて32.0ポイント増加しています。したがって、男性、女性ともに75歳から運動器におけるリスクが顕在化し、特に女性でリスクが高くなっています。

【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、事業対象者・要支援認定者では、一般高齢者に比べて割合が高くなっています。また、要支援認定者では、75歳以上で該当者が70%以上となっています。

【認定・該当状況別・年齢階級別】

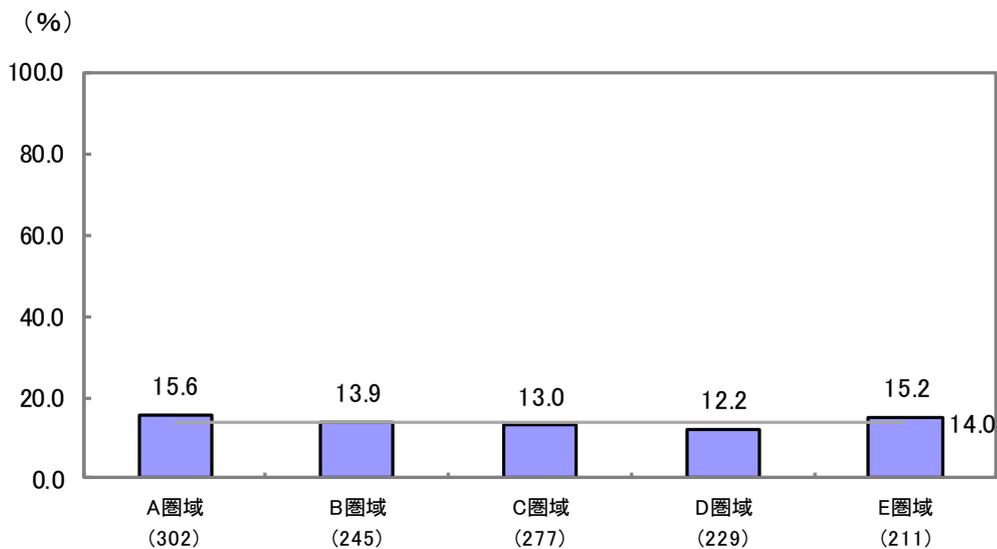


()内は有効回答数

圏域別にみると、A圏域、E圏域で該当者割合が全体平均の14.0%を超えています。

また、最も高い圏域はA圏域で15.6%、最も低い圏域はD圏域で12.2%となっており、3.4ポイントの差となっています。

【圏域別】



()内は有効回答数

(2) 閉じこもり

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

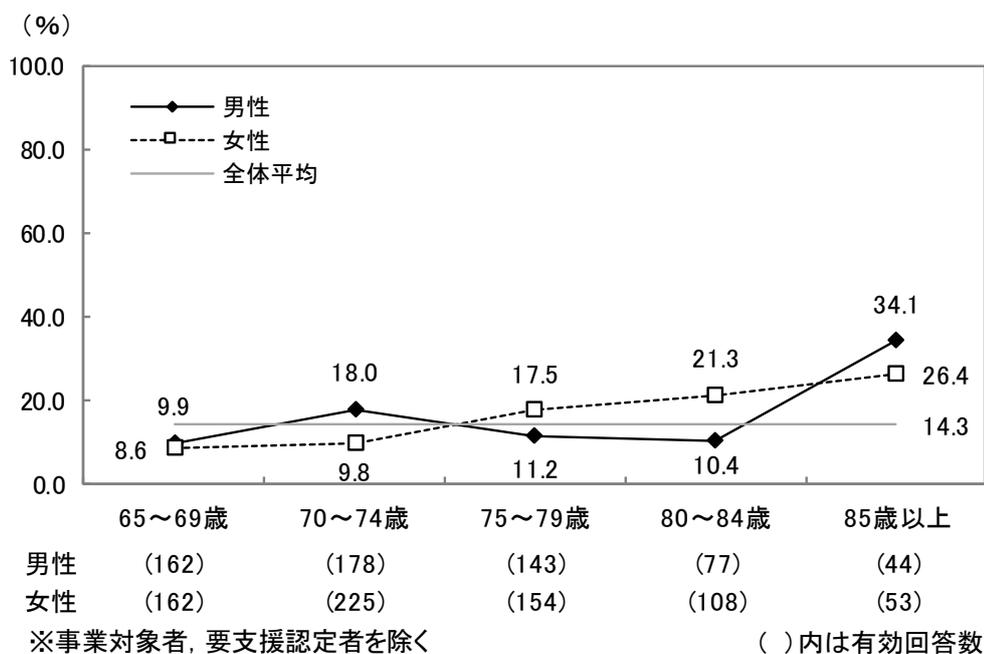
問番号	設問	該当する選択肢
問2(6)	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で14.3%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

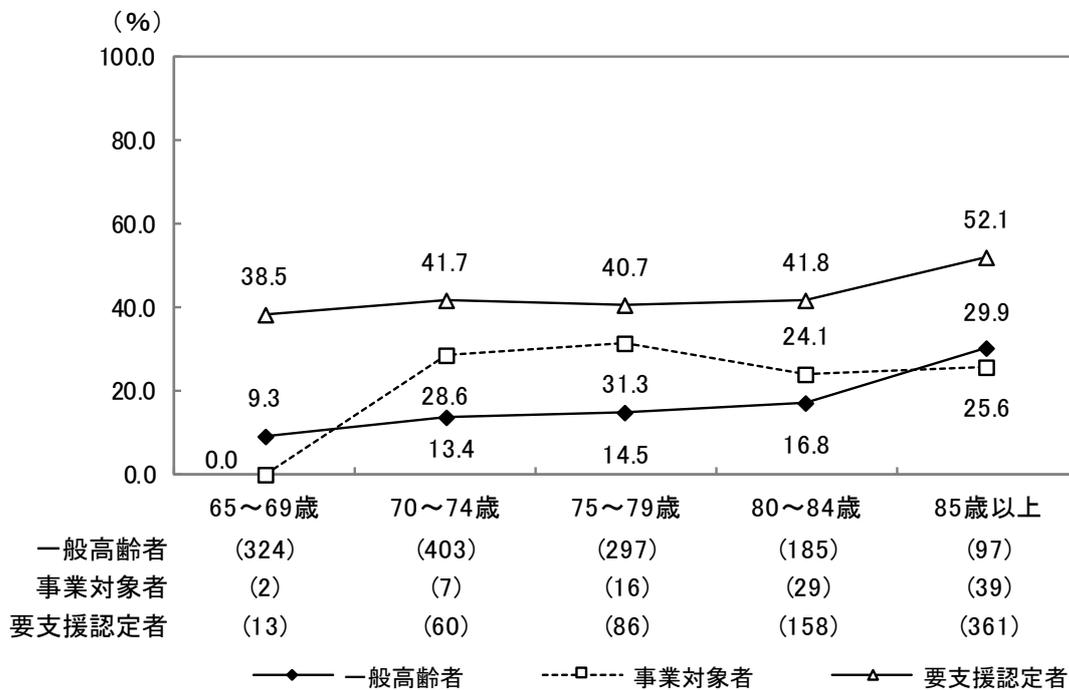
性別・年齢階級別にみると、女性では、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。また、男性では、85歳以上で女性に比べて割合が高く、7.7ポイントの差となっています。

【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、事業対象者・要支援認定者では、70～84歳で一般高齢者に比べて割合が高くなっています。また、一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっており、85歳以上で事業対象者を上回っています。

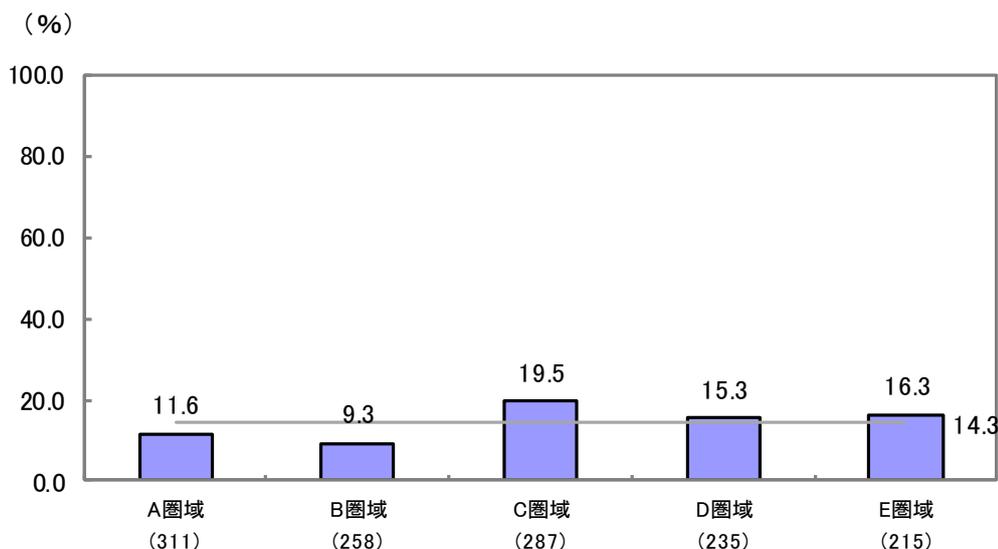
【認定・該当状況別・年齢階級別】



()内は有効回答数

圏域別にみると、C圏域、D圏域、E圏域で該当者割合が全体平均の14.3%を超えています。また、最も高い圏域はC圏域で19.5%、最も低い圏域はB圏域で9.3%となっており、10.2ポイントの差となっています。

【圏域別】



()内は有効回答数

(3) 転倒

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

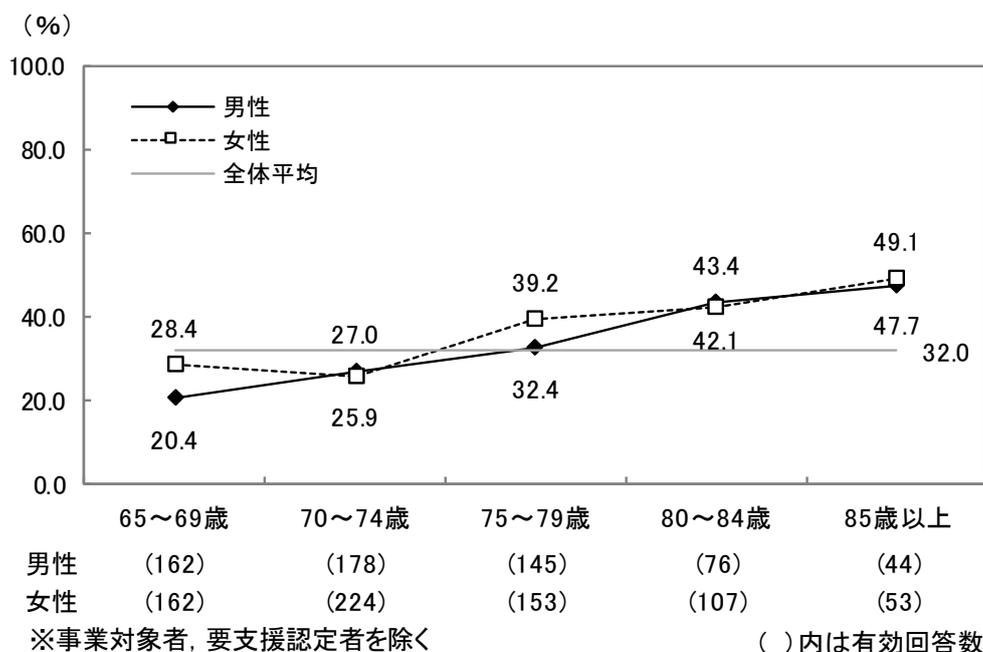
問番号	設問	該当する選択肢
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

【リスク該当状況】

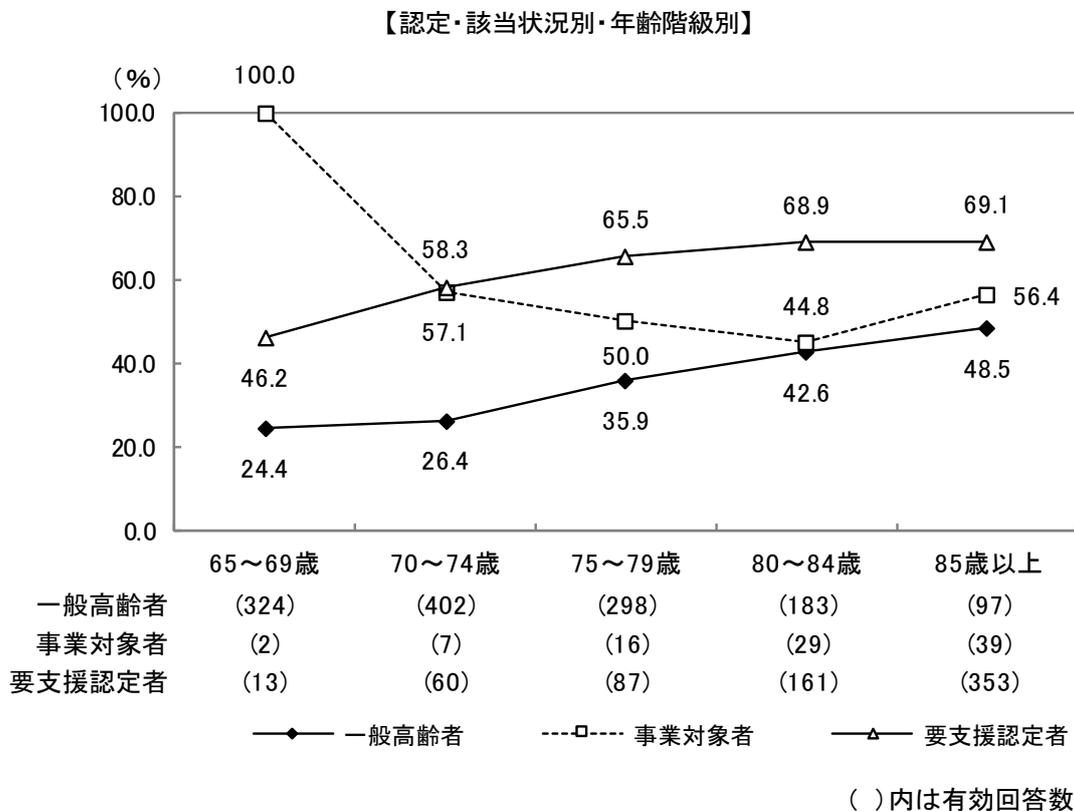
国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体平均で32.0%が転倒リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性では、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。また、男性、女性ともに75歳以上で全体平均を上回っています。

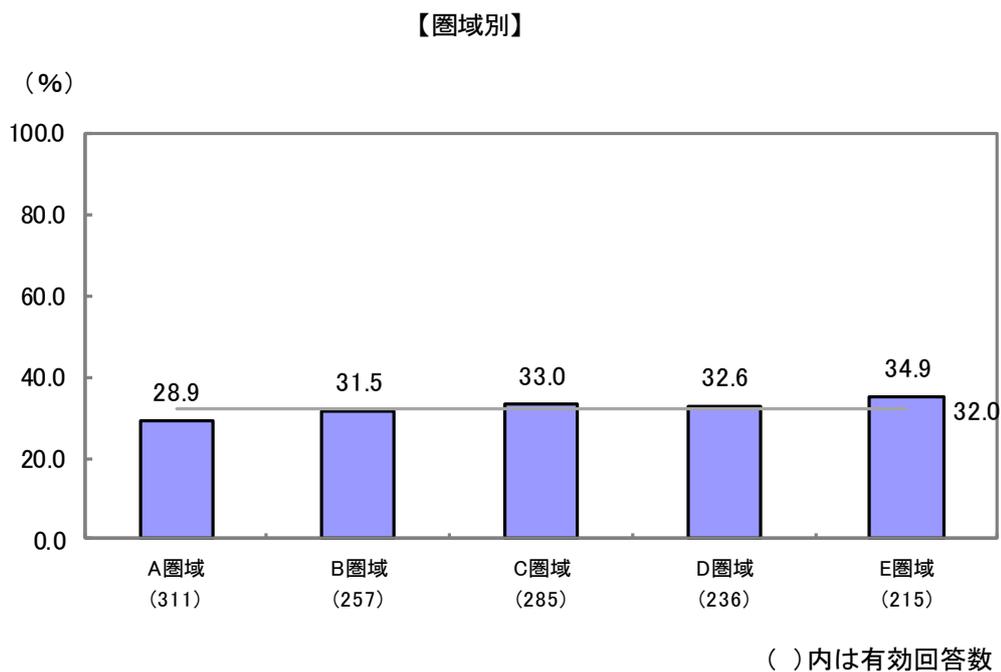
【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、事業対象者・要支援認定者では、一般高齢者に比べて割合が高くなっています。また、一般高齢者、要支援認定者では、年齢階級が上がるにつれて割合が増加しています。



圏域別にみると、C圏域、D圏域、E圏域で該当者割合が全体平均の32.0%を超えています。また、最も高い圏域はE圏域で34.9%、最も低い圏域はA圏域で28.9%となっており、6.0ポイントの差となっています。



(4) 栄養

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を栄養のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

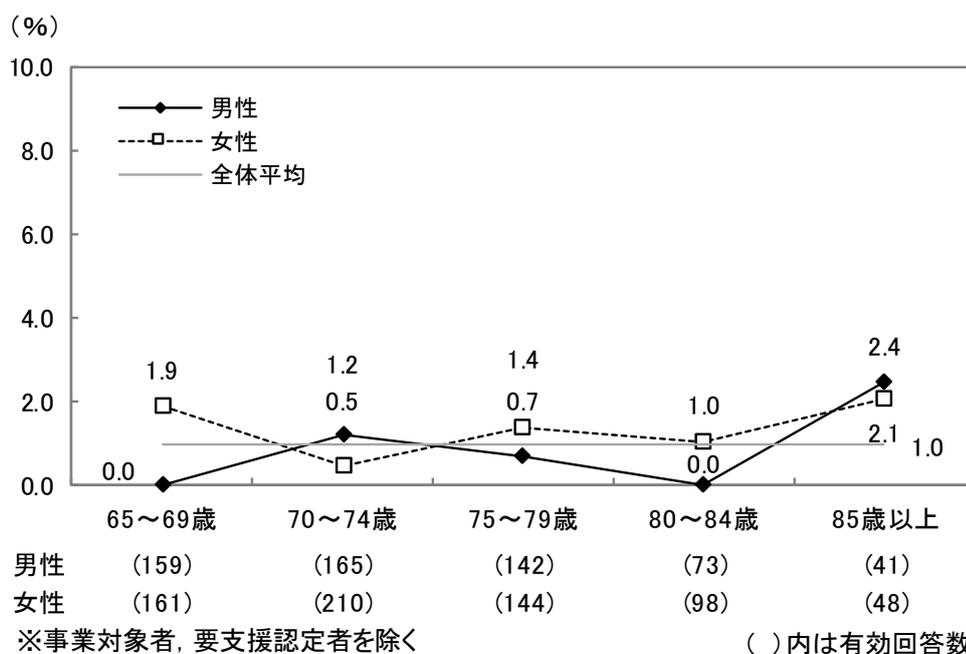
問番号	設問	該当する選択肢
問3 (1)	身長・体重をご記入ください。	BMI 18.5 未満
問3 (7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく栄養の評価結果をみると、全体平均で1.0%が低栄養リスクの該当者となっています。

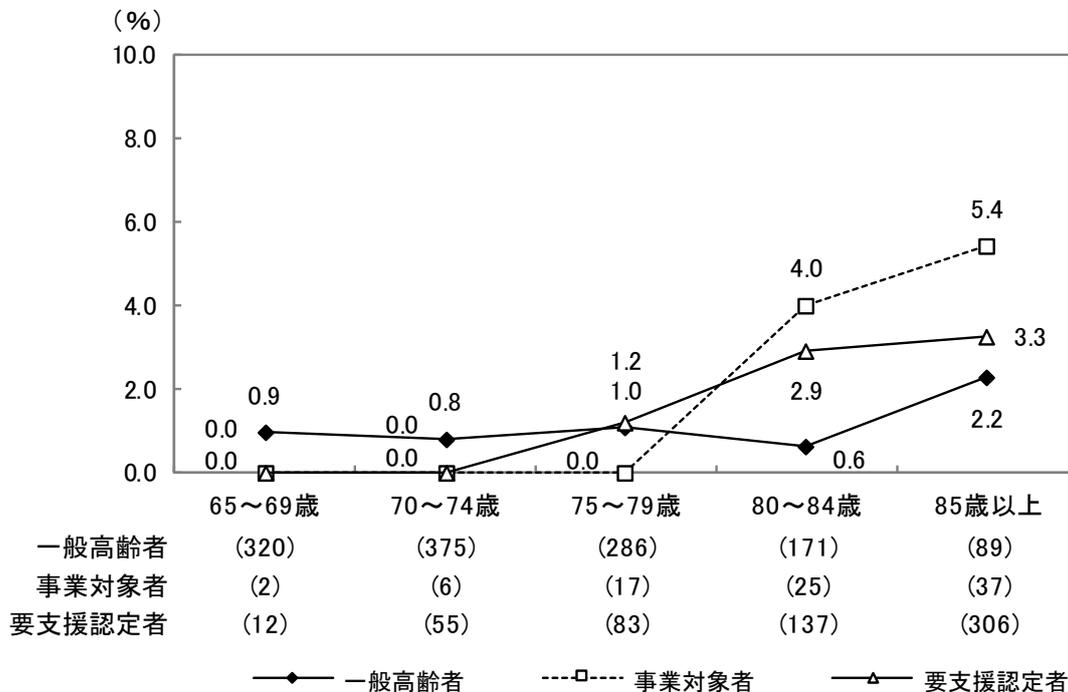
性別・年齢階級別にみると、男性と女性を比べると85歳以上でも0.3ポイントと大きな差はありません。

【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、該当者割合は、要支援認定者の85歳以上で5.4%と最も高くなっていますが、他のリスクに比べて加齢に伴うリスクへの影響は少ないことがうかがえます。

【認定・該当状況別・年齢階級別】

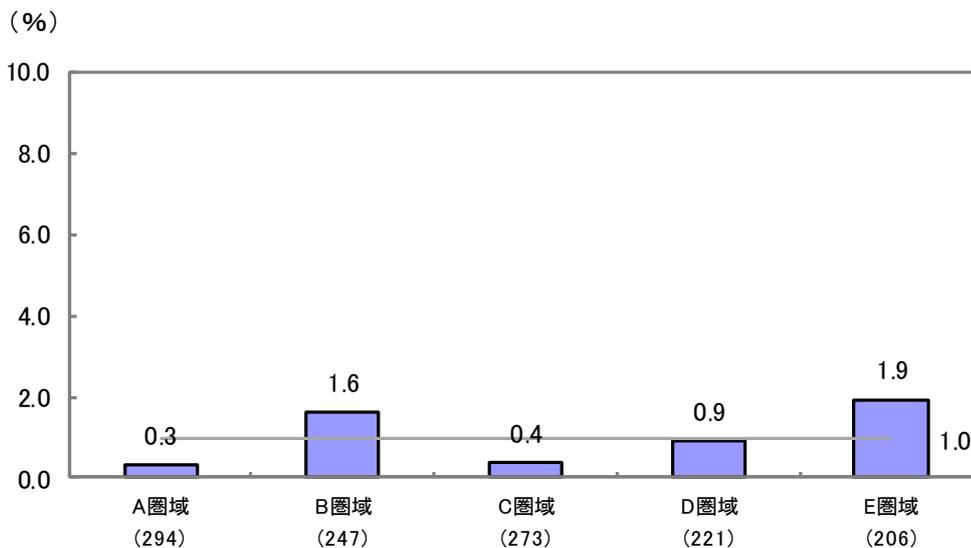


()内は有効回答数

圏域別にみると、B圏域、E圏域で該当者割合が全体平均の1.0%を超えています。

また、最も高い圏域はE圏域で1.9%、最も低い圏域はA圏域で0.3%となっており、1.6ポイントの差となっています。

【圏域別】



()内は有効回答数

(5) 口腔

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

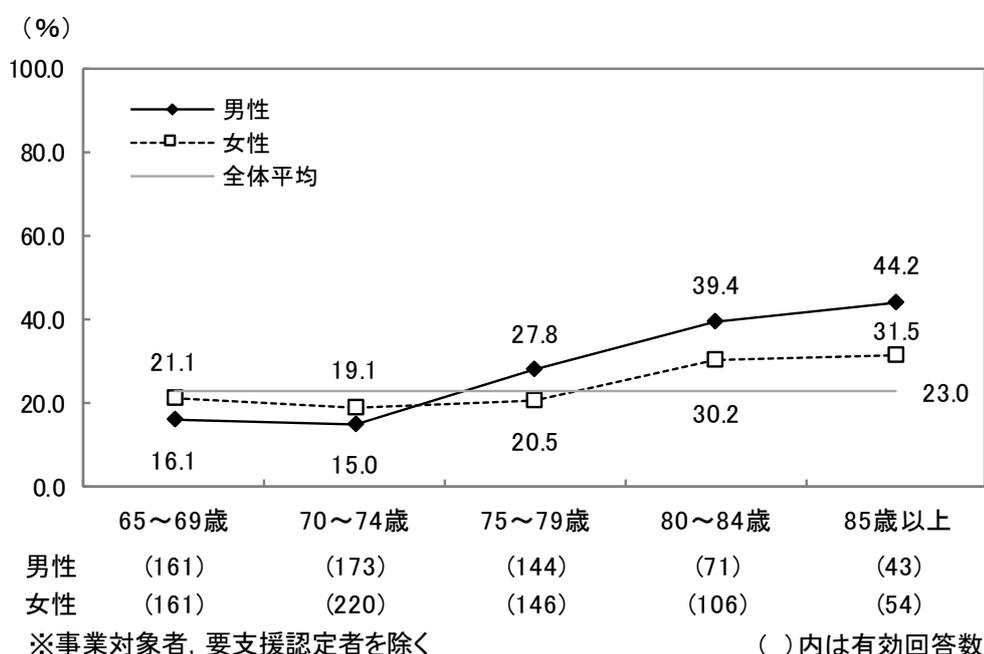
問番号	設問	該当する選択肢
問3(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問3(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問3(4)	口の渇きが気になりますか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく口腔の評価結果をみると、全体平均で23.0%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。

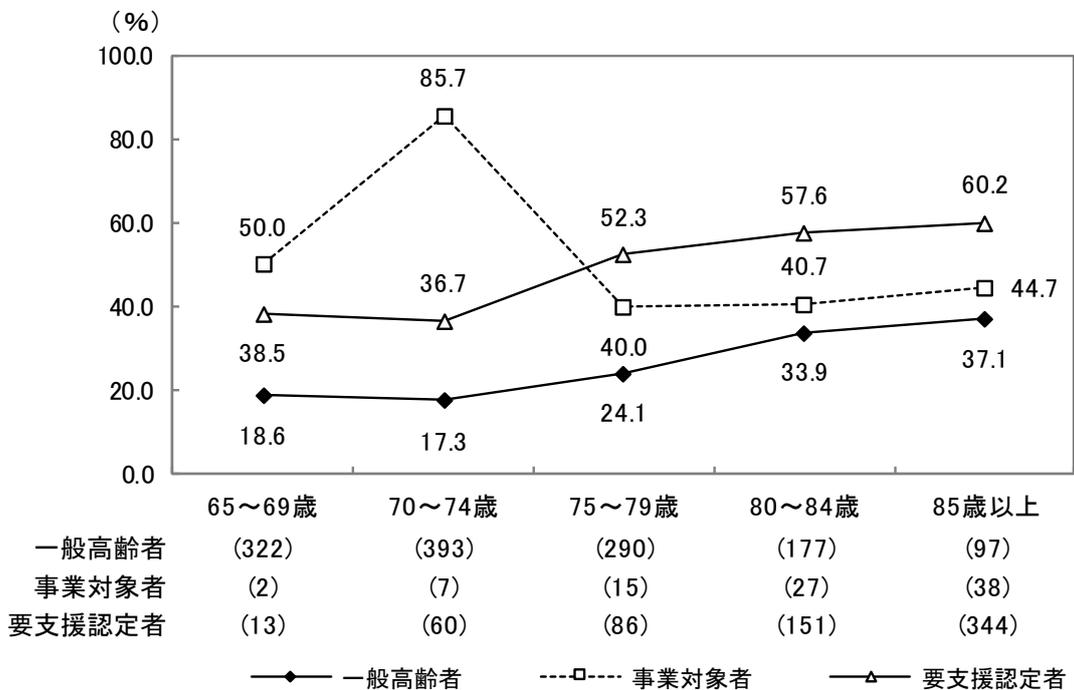
性別・年齢階級別にみると、男性、女性ともに、80～84歳で全体平均を超えており、85歳以上になるとリスクが高くなることがうかがえます。男性では、80～84歳で39.4%と75～79歳に比べて11.6ポイント増加しており、女性では、80～84歳で30.2%と75～79歳に比べて9.7ポイント増加しています。

【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、事業対象者・要支援認定者では、70歳から一般高齢者に比べて割合が高くなっています。また、一般高齢者、要支援認定者では、75歳から年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。

【認定・該当状況別・年齢階級別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
一般高齢者	(322)	(393)	(290)	(177)	(97)
事業対象者	(2)	(7)	(15)	(27)	(38)
要支援認定者	(13)	(60)	(86)	(151)	(344)

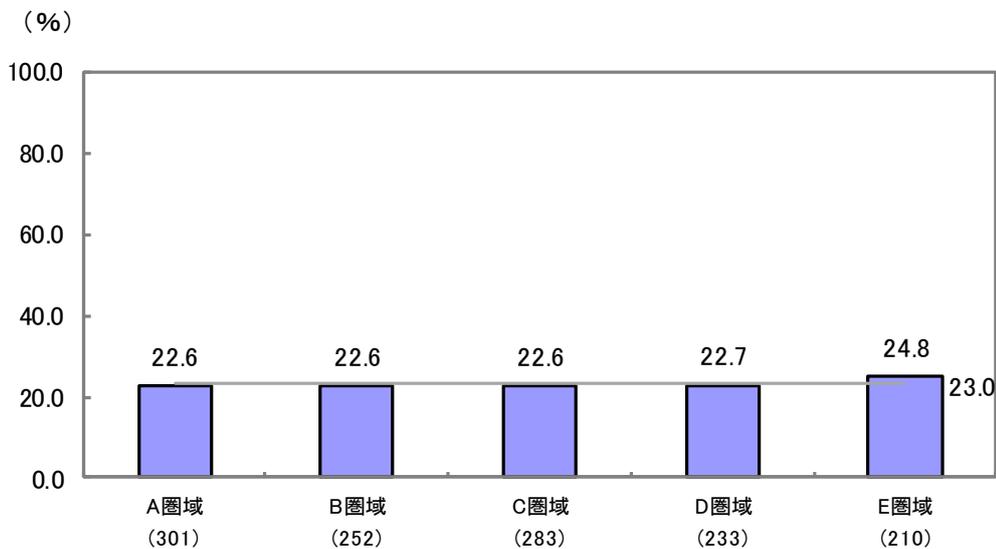
◆ 一般高齢者 □ 事業対象者 ▲ 要支援認定者

()内は有効回答数

圏域別にみると、E圏域で該当者割合が全体平均の23.0%を超えています。

また、最も高い圏域はE圏域で24.8%、最も低い圏域はA圏域、B圏域、C圏域で22.6%となっており、2.2ポイントの差となっています。

【圏域別】



()内は有効回答数

(6) 認知

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

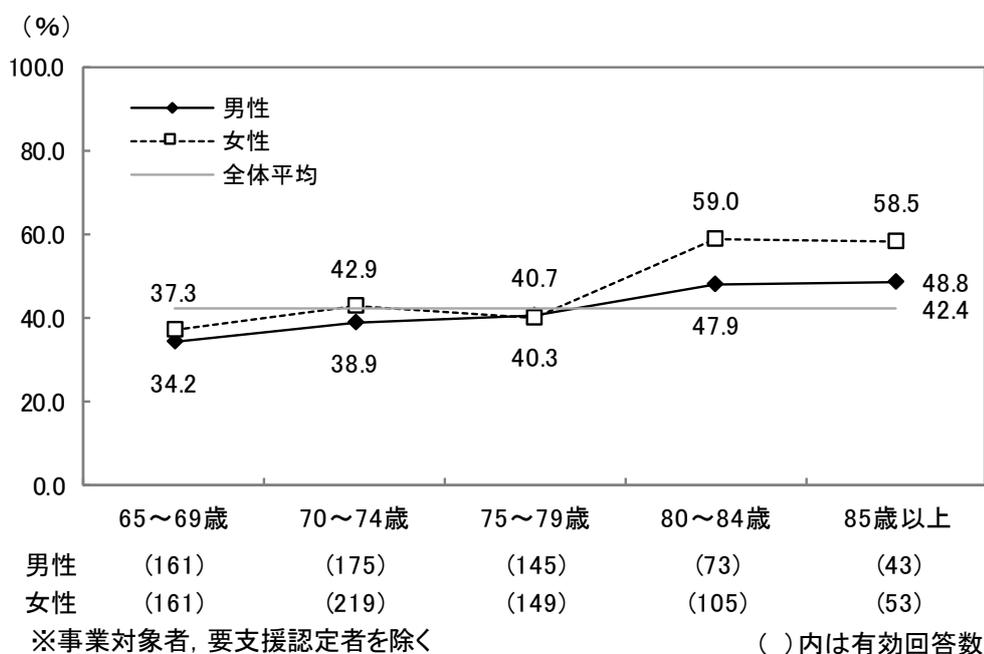
問番号	設問	該当する選択肢
問4 (1)	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体平均で42.4%が該当者となっています。

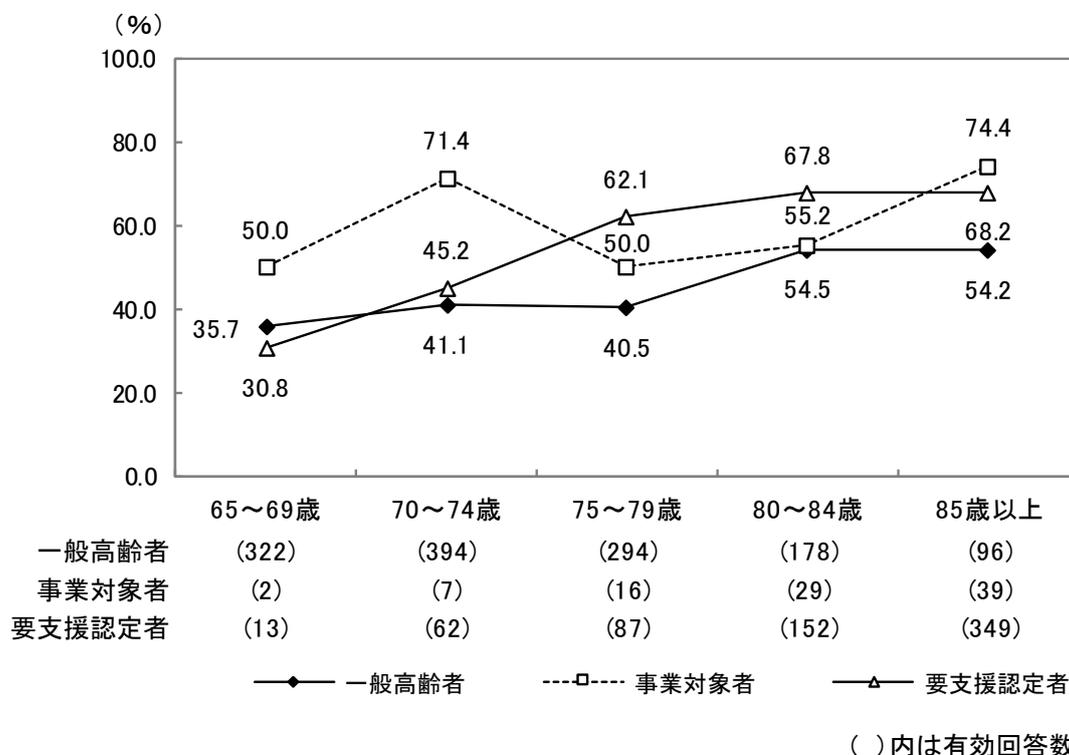
性別・年齢階級別にみると、女性では、75～79歳を除き男性に比べて割合が高くなっています。また、男性では、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。

【性別・年齢階級別】



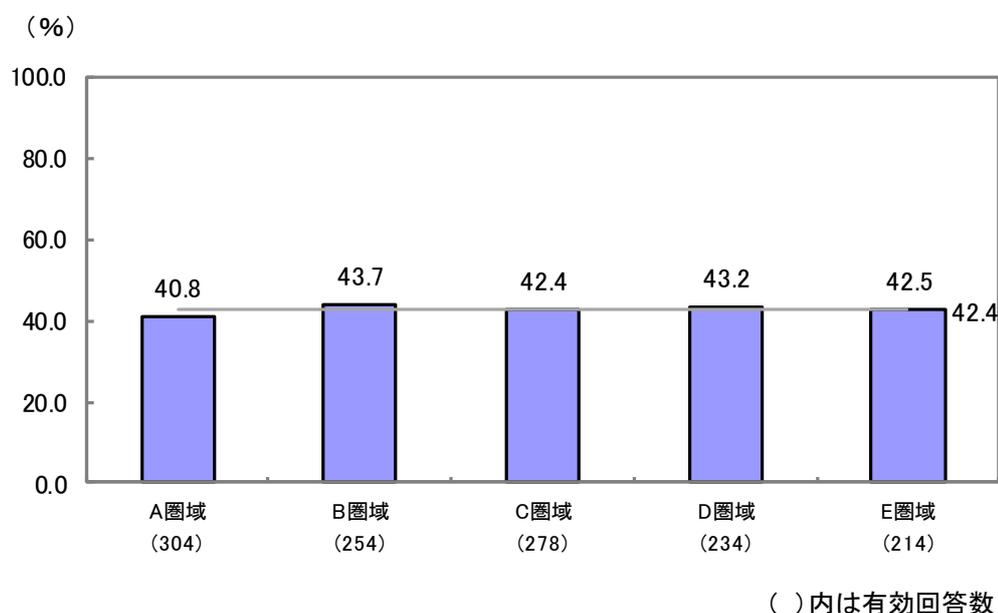
認定・該当状況別・年齢階級別にみると、事業対象者・要支援認定者では、一般高齢者に比べて割合が高くなっています。また、要支援認定者では、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。

【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、B圏域、D圏域、E圏域で該当者割合が全体平均の42.4%を超えています。また、最も高い圏域はB圏域で43.7%、最も低い圏域はA圏域で40.8%となっており、2.9ポイントの差となっています。

【圏域別】



(7) うつ

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

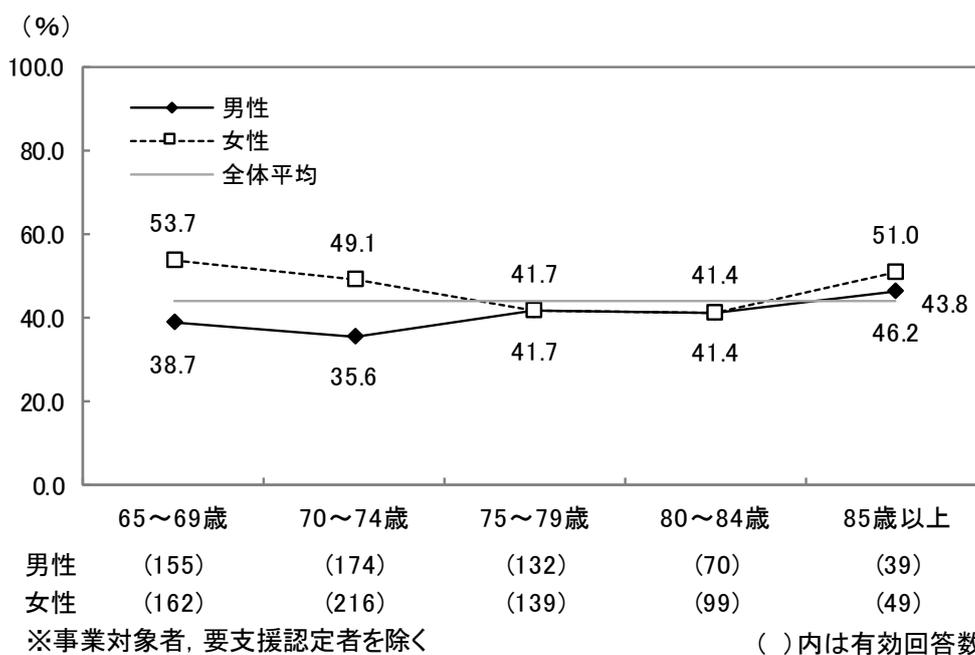
問番号	設問	該当する選択肢
問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問7(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づきうつの評価結果をみると、全体平均で43.8%が該当者となっています。

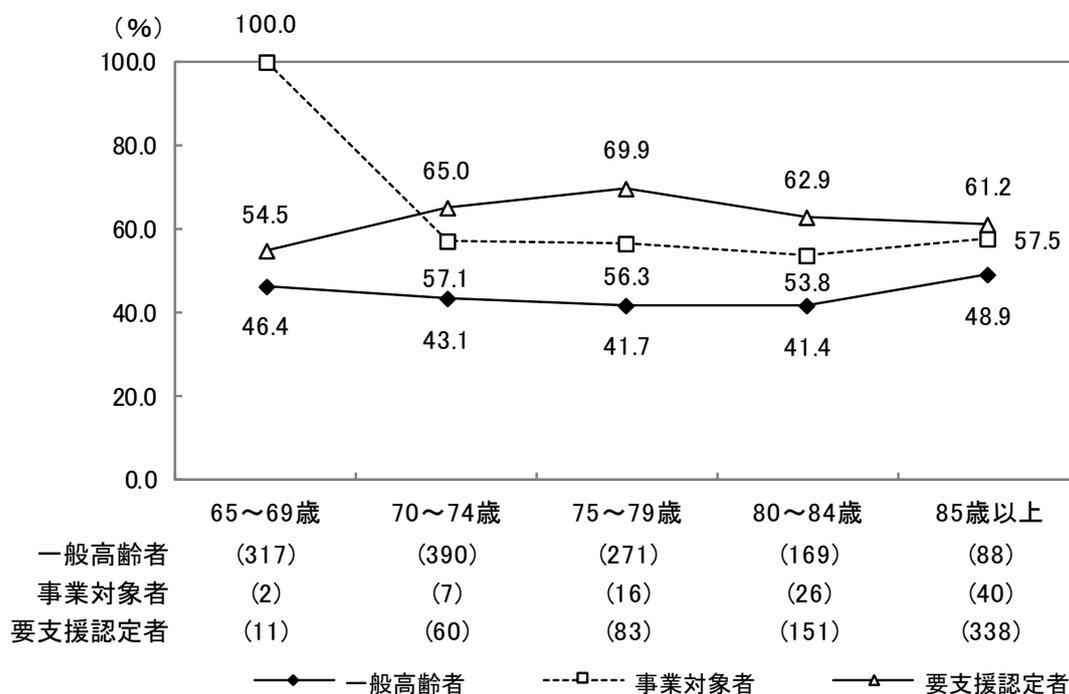
性別・年齢階級別にみると、男性に比べて女性で割合が高い傾向がみられますが、どちらも年齢階級での大きな変化はありません。

【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、事業対象者・要支援認定者では、一般高齢者に比べて割合が高くなっており、要支援認定者では、75～79歳で69.9%と最も高くなっています。

【認定・該当状況別・年齢階級別】

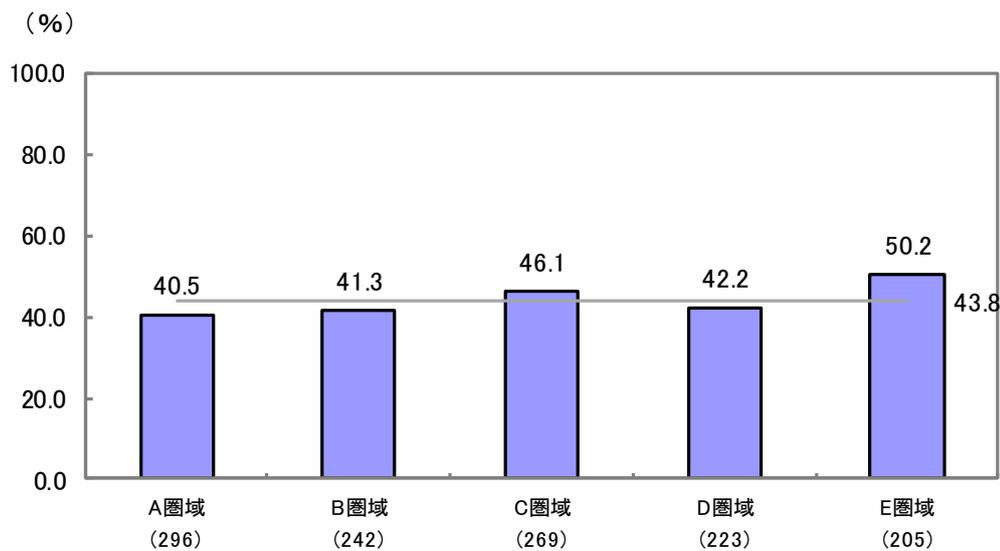


()内は有効回答数

圏域別にみると、C圏域、E圏域で該当者割合が全体平均の43.8%を超えています。

また、最も高い圏域はE圏域で50.2%、最も低い圏域はA圏域で40.5%となっており、9.7ポイントの差となっています。

【圏域別】



()内は有効回答数

2 日常生活

(1) 手段的自立度 (IADL)

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度 (IADL) に関する設問が5問あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

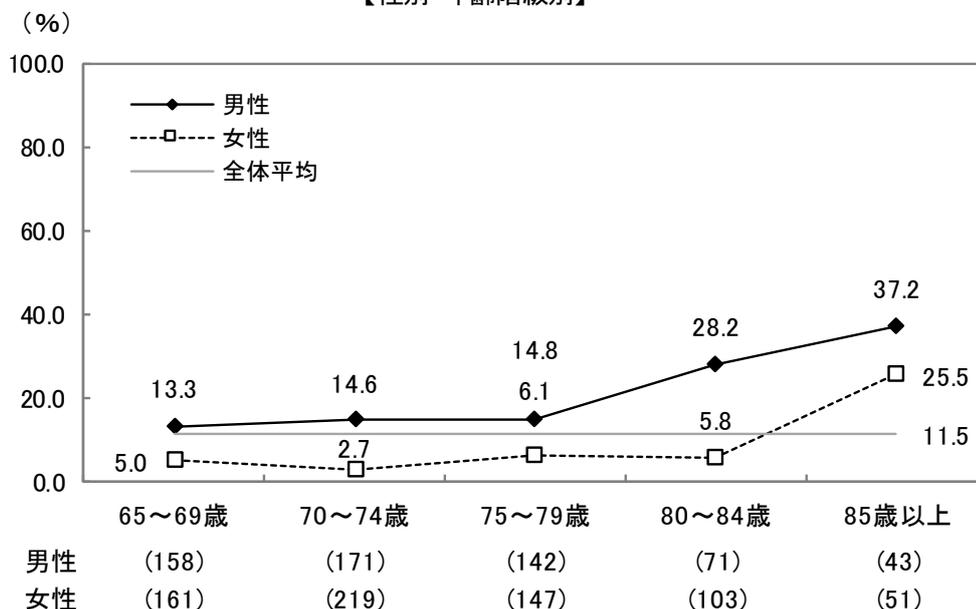
問番号	設問	該当する選択肢
問4 (4)	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (6)	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (7)	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

【該当状況】

全体平均では11.5%が手段的自立度の低下者となっています。

性別・年齢階級別でみると、男性では、80～84歳で28.2%と75～79歳に比べて13.4ポイント、女性では、85歳以上で25.5%と80～84歳に比べて19.7ポイント増加しています。

【性別・年齢階級別】

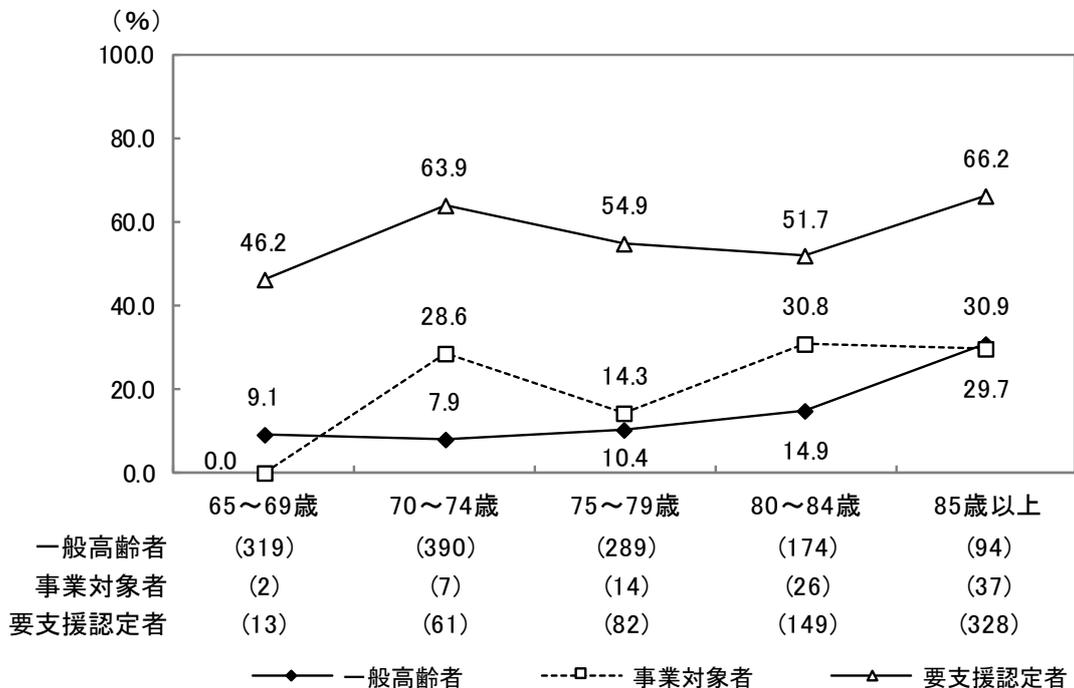


※事業対象者、要支援認定者を除く

()内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別でみると、事業対象者・要支援認定者では、75～84歳で一般高齢者に比べて割合が高くなっています。また、一般高齢者では、75歳から年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっており、85歳以上で事業対象者を上回っています。

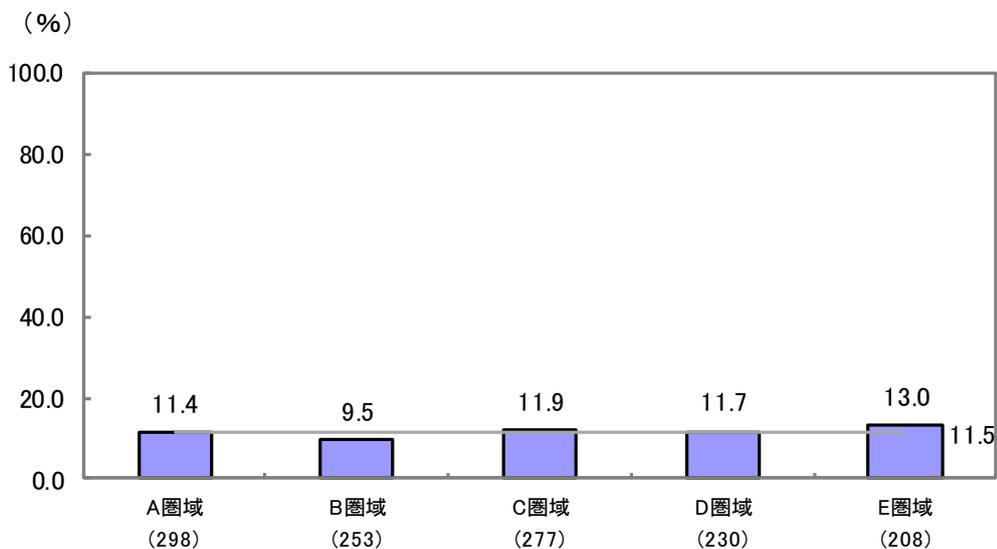
【認定・該当状況別・年齢階級別】



()内は有効回答数

圏域別にみると、C圏域、D圏域、E圏域で該当者割合が全体平均の11.5%を超えています。また、最も高い圏域はE圏域で13.0%、最も低い圏域はB圏域で9.5%となっており、3.5ポイントの差となっています。

【圏域別】



()内は有効回答数

3 社会参加

(1) 知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

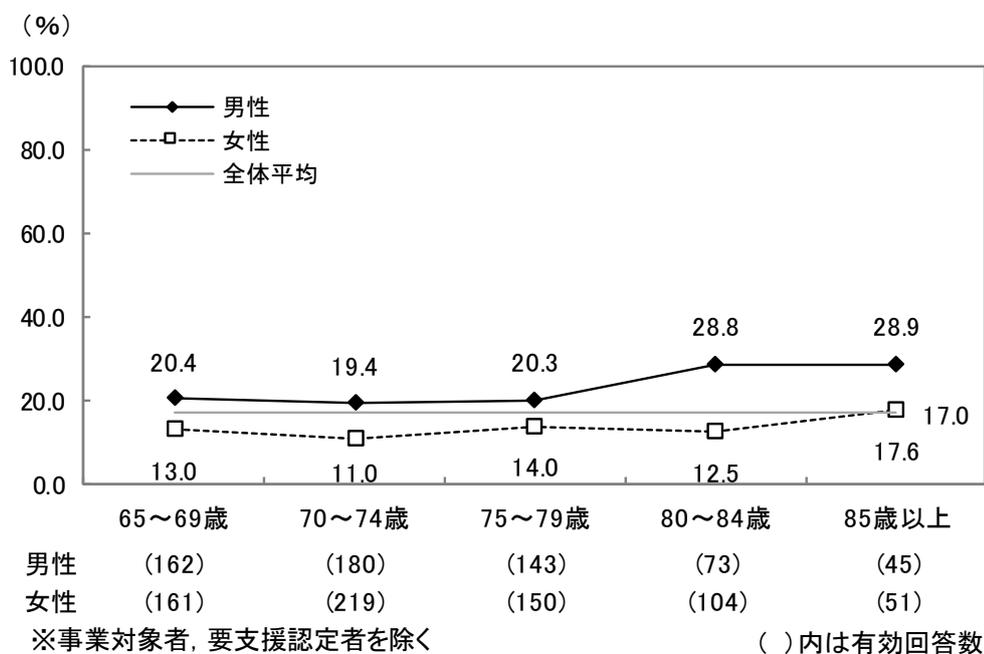
問番号	設問	該当する選択肢
問4 (9)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。	1. はい：1点
問4 (10)	新聞を読んでいますか。	1. はい：1点
問4 (11)	本や雑誌を読んでいますか。	1. はい：1点
問4 (12)	健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい：1点

【該当状況】

知的能動性の低下者は、全体平均では17.0%となっています。

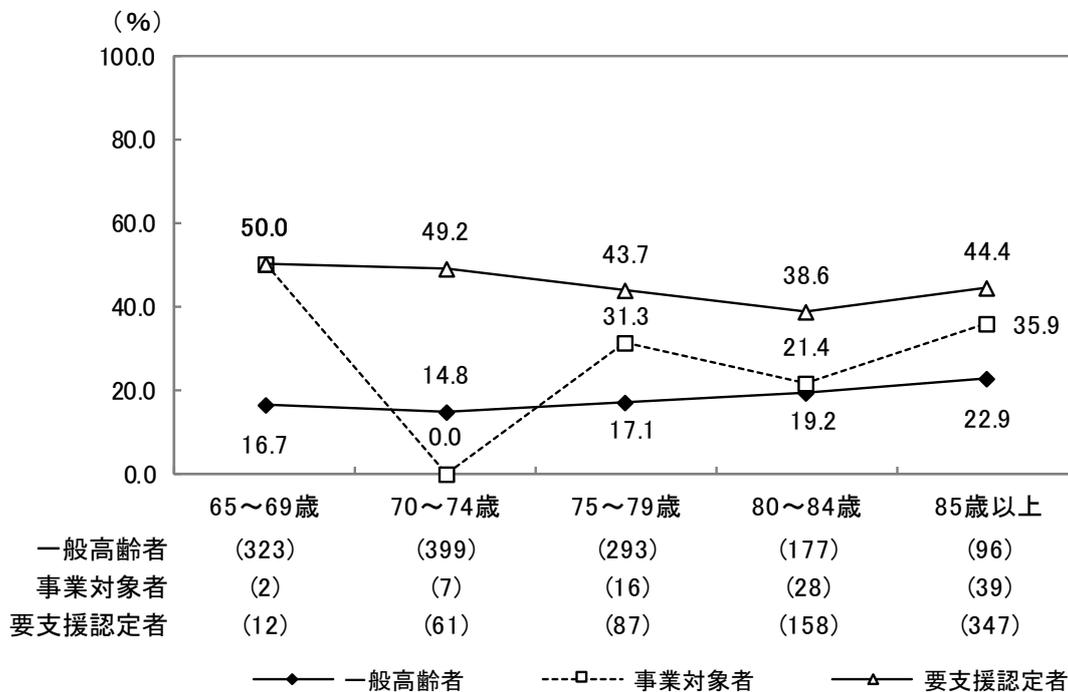
性別・年齢階級別でみると、男性では、すべての年代で女性に比べて割合が高くなっており、全体平均を上回っています。

【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別でみると、事業対象者・要支援認定者では、一般高齢者に比べて割合が高くなっています。また、一般高齢者では、75歳から年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。

【認定・該当状況別・年齢階級別】



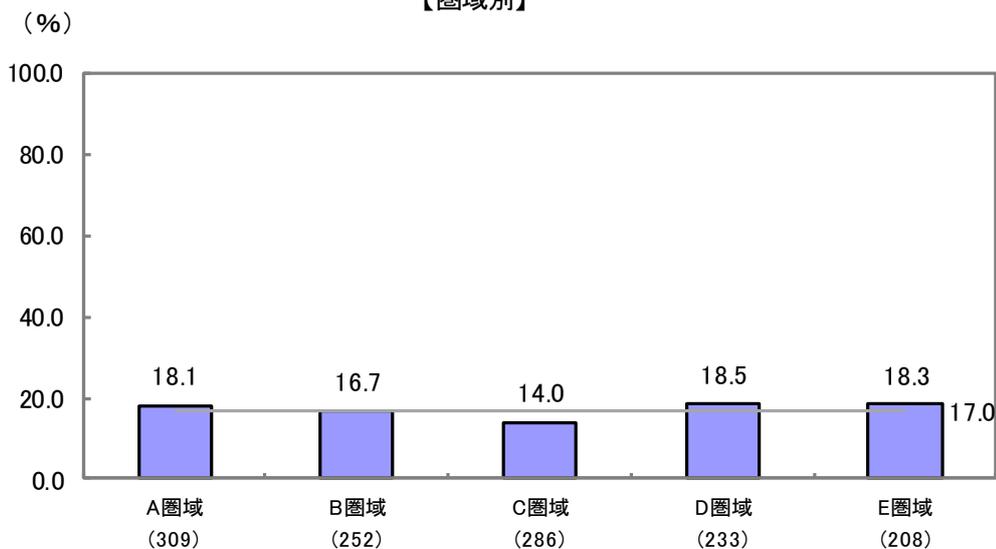
一般高齢者	(323)	(399)	(293)	(177)	(96)
事業対象者	(2)	(7)	(16)	(28)	(39)
要支援認定者	(12)	(61)	(87)	(158)	(347)

◆ 一般高齢者 □ 事業対象者 ▲ 要支援認定者

()内は有効回答数

圏域別にみると、A圏域、D圏域、E圏域で該当者割合が全体平均の17.0%を超えています。また、最も高い圏域はD圏域で18.5%、最も低い圏域はC圏域で14.0%となっており、4.5ポイントの差となっています。

【圏域別】



()内は有効回答数

(2) 社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を示しています。

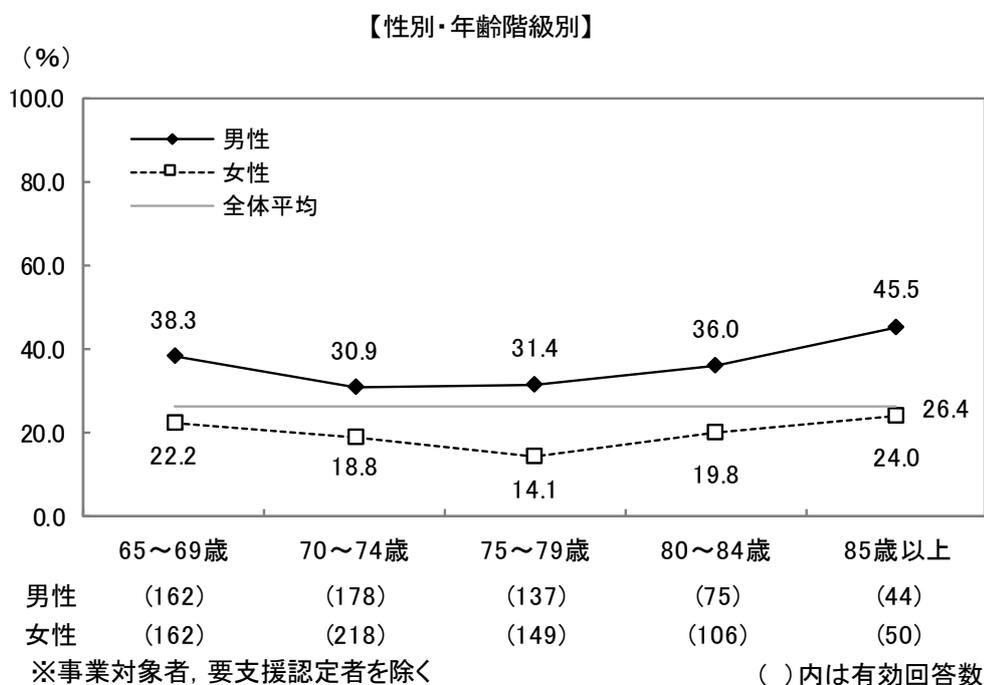
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問4 (13)	友人の家を訪ねていますか。	1. はい：1点
問4 (14)	家族や友人の相談にのっていますか。	1. はい：1点
問4 (15)	病人を見舞うことができますか。	1. はい：1点
問4 (16)	若い人に自分から話しかけることがありますか。	1. はい：1点

【該当状況】

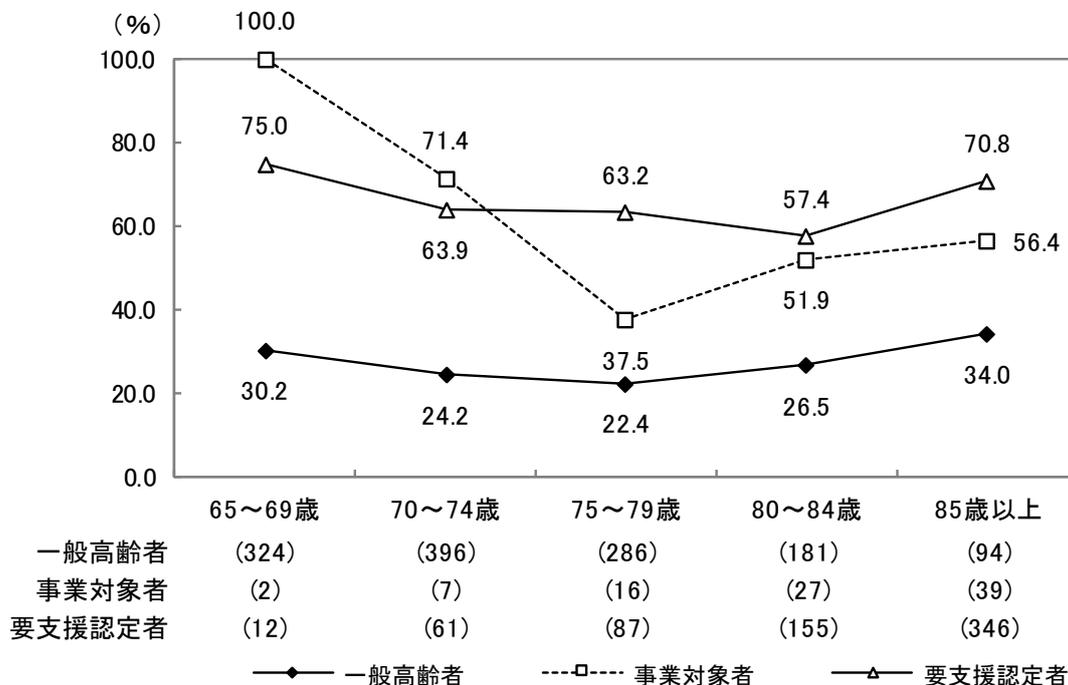
社会的役割の低下者は、全体平均では26.4%となっています。

性別・年齢階級別でみると、男性ではすべての年代で女性に比べて割合が高く、全体平均を上回っています。また、男性、女性ともに75歳から年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっていきます。



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、事業対象者・要支援認定者では、一般高齢者に比べて割合が高くなっており、要支援認定者では、85歳以上で70.8%と最も高くなっています。また、一般高齢者では、75歳から年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。

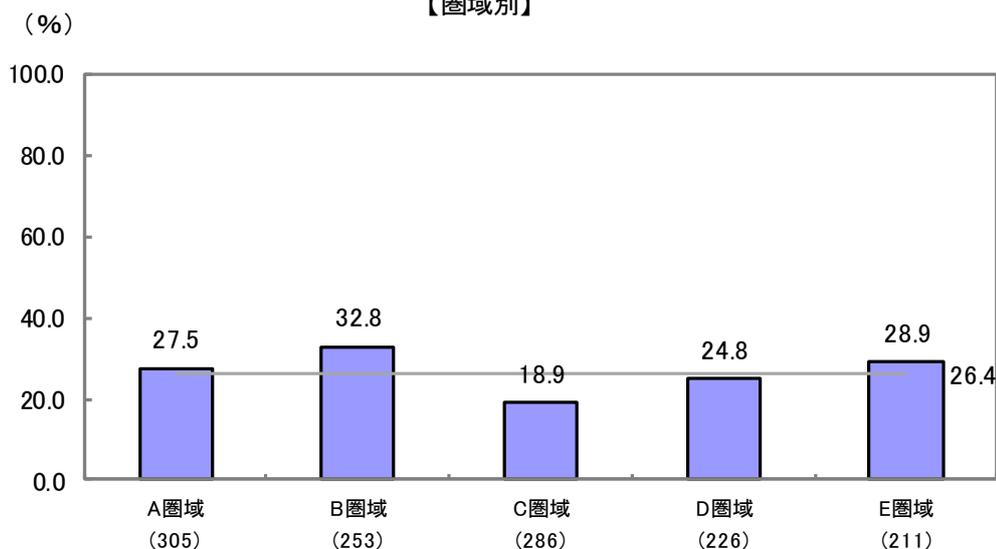
【認定・該当状況別・年齢階級別】



()内は有効回答数

圏域別にみると、A圏域、B圏域、E圏域で該当者割合が全体平均の26.4%を超えています。また、最も高い圏域はB圏域で32.8%、最も低い圏域はC圏域で18.9%となっており、13.9ポイントの差となっています。

【圏域別】



()内は有効回答数